表５　縄文時代遺物観察表　(1)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
21	1	SH38-175	G16	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	2	SH38-191	G16	－	－	斜位の刻み,横位の沈線,ナデ/貝腹縁刺突ナデ	黒褐色	黒褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	3	SH38-119	G16	－	－	刻み,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	橙色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	4	SH38-157	G16	－	－	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色				金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	5	SH38-155	G16	－	－	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/条痕→ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	6	SH38-189	G16	－	－	斜位の貝腹縁刺突,条痕→ナデ/工具ナデ	黒褐色	黒褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	7	SH38-51	G16	－	－	横位の連続刺突,条痕→ナデ/工具ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○	○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	8	SH38	G16	－	－	凹線/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○		金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	9	SH38-198	G16	－	－	刻み,斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	10	SH38	G16	－	－	横位の沈線+斜位の沈線,ナデ/ケズリ→ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	11	SH38	G16	－	－	縦位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	12	SH38	G16	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	灰褐色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	13	SH38-50	G16	－	－	口唇に横位の短沈線,ナデ/ナデ	灰白色	灰白色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	14	SH38	G16	－	－	刺突,横位の沈線/ナデ	黒褐色	黒褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	15	SH38	G16	－	－	横位の沈線＋貝腹縁刺突/ナデ	黒褐色	黒褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	16	SH38-153	G16	－	－	口唇に刻み,横位の沈線/ナデ	黒褐色	灰白色			○	金雲母,白粒多,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	17	SH38-143	G16	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色				金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	18	SH38-141	G16	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○		○	白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	19	SH38-132	G16	－	－	ナデ/ナデ	灰白色	にぶい赤褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	20	SH38-127	G16	－	－	横位の沈線,ナデ/横位の沈線ナデ	橙色	赤褐色		○	○	白粒,茶粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
	21	SH38-142	G16	－	－	刻み/ナデ	橙色	にぶい黄橙色		○		茶粒,白粒茶粒,白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	22	SH38	G16	－	－	縦位の沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色		○		茶粒,白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	23	SH38	G16	－	－	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		金雲母,茶粒,白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	24	SH38	G16	－	－	縦位の沈線,貝復縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
24	28	SH90-10	J17	－	－	横位の沈線,貝腹縁刺突,ヘラ刺突/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○			金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	
	29	SH90-5	J17	－	－	横位の沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい褐色	橙色	○			金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	30	SH90-2	J17	－	－	口唇に横位の短沈線,横位の沈線,ナデ/沈線,ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○	○		良	深鉢	口縁	Ⅳ
		SH90	J17	－	－											
	31	SH90	J17	－	－	横位の凹線,貝腹縁刺突/ナデ	橙色	橙色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	32	SH90	J17	－	－	ナデ/ナデ	橙色	橙色	○				良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
		SH90-14	J17	－	－											
	33	SH90-8	J17	－	－	ケズリ→ナデ/ナデ	橙色	橙色	○			金雲母	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
		SH90-9	J17	－	－											
	34	SH90	J17	－	－	ナデ/刻み,沈線,ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				金雲母	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
	35	SH90	J17	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○			良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
	36	SH90	J17	－	－	斜位の貝腹縁刺突ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	37	SH90-4	J17	－	－	ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	金雲母,茶粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
26	40	SH49	K23	－	－	ナデ→縄文/ナデ	灰白色	灰白色		○		金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	41	SH49-8	K23	－	－	横位の沈線,磨消縄文,ミガキ/ミガキ	灰白色	灰白色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	42	SH49	K23	－	－	横位の沈線,磨消縄文,横位の連続刺突,凹点,ミガキ/ミガキ	灰白色	灰白色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅹ
		SH49-12	K23	－	－											
		SH49-10	K23	－	－											
		SH49-45	K23	－	－											
	43	SH49-15	K23	－	－	ミガキ/ミガキ	黒褐色	にぶい橙色			○	白粒	良	深鉢	胴	Ⅹ
	44	SH49-3	K23	－	－	横位の沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	45	SH49-38	K23	－	－	口唇に斜位の刻み,ナデ/沈線,ナデ	黒褐色	橙色	○		○		良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
	46	SH49-34	K23	－	－	ナデ/沈線,ナデ	橙色	橙色			○	白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
36	53	SK86-8	J25	－	－	刺突から伸びる縦位の沈線,横位の沈線,工具ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	54	SK86-16	J25	－	－	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色					良	深鉢	胴部	Ⅵ
	55	SK86-15	J25	－	－	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	胴部	Ⅵ
	56	SK86-12	J25	－	－	沈線,磨消縄文,ミガキ/ミガキ	黒褐色	にぶい赤褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
		SK86	J25	－	－											
	57	SK86-6	J25	－	－	横位の沈線・連続刺突,ミガキ/ミガキ	灰褐色	灰褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	58	SK86	J25	－	－	横位の沈線,ミガキ/ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	59	SK86	J25	－	－	沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	60	SK86-14	J25	－	－	沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい褐色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	61	SK86-18	J25	－	－	工具ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
		SK86-19	J25	－	－											
	62	SK86	J25	－	－	沈線,ミガキ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	64	SK38-2	I14	－	－	沈線間に連点文,条痕→ナデ/条痕→ナデ	暗赤褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅷ
	65	SK40-51	I14	－	－	横位の沈線,工具ナデ/工具ナデ	黒褐色	黒褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
		－	－	－	－											
	66	－	I14	－	－	ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	67	SK40-28	I14	－	－	口唇に縄文,ミガキ/ミガキ	黒褐色	灰褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	68	SK40-25	I14	－	－	口唇に刺突,ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	中鉢	口縁	Ⅷ
	69	SK40-57	I14	－	－	工具ナデ/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	70	SK40-11	I14	－	－	工具ナデ/工具ナデ	橙色	橙色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
		SK40-12	－	－	－											
37	72	SK147	L17	－	－	横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	73	SK147	L17	－	－	指頭痕,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	74	SK145	L17	－	－	沈線間に二叉状工具による刺突,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	胴部	Ⅱ
	75	SK145	L17	－	－	沈線,ナデ/ナデ	暗褐色	褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅲ
	77	SK143	L18	－	－	横位の沈線＋羽状の短沈線,工具ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	78	SK143	L18	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	79	SK143-2	L18	－	－	口唇外面に鋸歯状沈線,工具ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅹ Ⅲ
	80	SK143-1	L18	－	－	工具ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	81	SK143-3	L18	－	－	工具ナデ/工具ナデ	黒褐色	赤褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
38	83	SK150	K17	－	－	沈線間に磨消縄文,ミガキ/条痕→ミガキ	にぶい褐色	赤褐色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		SK150-1	－	－	－											
		SK150-2	－	－	－											
	84	SK154	K18	－	－	口唇に横位の沈線・刺突,沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
		SK116	－	－	－											
	85	SK154	K18	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	86	SK154	K18	－	－	ケズリ→ナデ/工具ナデ	橙色	橙色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	87	SK177	J17	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	88	SK177	J17	－	－	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	89	SK177	J17	－	－	ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	浅鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	90	SK177	J17	－	－	ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	91	SK177	J17	－	－	ナデ/ナデ	灰褐色	橙色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	92	SK177	J17	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	93	SK178	J17	－	－	口唇部に斜位の刻み,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	94	SK178	J17	－	－	口唇部に斜位の刻み,ナデ/ナデ+ケズリ	黒褐色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ

表６　縄文時代遺物観察表　(2)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
38	95	SK178	J17	－	－	ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	黒褐色	褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	96	SK178	J17	－	－	ミガキ/ミガキ	にぶい黄褐色	褐色	○		○	白粒	堅緻	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅱ
	97	SK195	J17	－	－	口唇に横位の連続刺突,ナデ/条痕→ナデ	赤褐色	黒褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	98	SK195	J17	－	－	口唇に斜位の刻み,横位の沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	99	SK195	J17	－	－	口唇に斜位の刻み,沈線,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	100	SK195	J17	－	－	口唇・突帯に斜位の刻み,工具ナデ/工具ナデ	褐灰色	褐灰色	○			白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	101	SK195	J17	－	－	沈線間に縄文,ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		白粒,茶粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	102	SK195	J17	－	－	沈線間に磨消縄文,ミガキ/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
39	103	SK133	I17	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	104	SK133	I17	－	－	ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	105	SK133	I17	－	－	ナデ/条痕→ナデ	橙色	赤褐色	○			白粒	良	円盤状土製加工品	胴部	Ⅹ Ⅲ
	106	SK131	I17	－	－	口唇に刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	107	SK131	I17	－	－	ナデ/ナデ	赤褐色	橙色	○			白粒	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
	108	SK131	I17	－	－	ミガキ/斜位の刻み＋沈線間に縄文	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒,茶粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	Ⅹ Ⅳ
	109	SK126	I18	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	110	SK131	I18	－	－	ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	111	SK125-1	I19	－	－	凹線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	112	SK125-6	I19	－	－	斜位の沈線,条痕→ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色	○				良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	113	SK125-2	I19	－	－	横位の沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	114	SK125-5	I19	－	－	横位の連続刺突,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	115	SK125-4	I19	－	－	沈線間に磨消縄文,ミガキ/ミガキ	黒褐色	にぶい橙色	○				良	深鉢	胴部	Ⅹ
	116	SK124-1	J20	－	－	口唇に指頭による連続凹点,凹線,ナデ/工具ナデ	暗赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	117	SK114	K20	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	褐灰色	黒褐色	○				良	深鉢	口縁	Ⅲ
	118	SK114-42	K20	－	－	横位の沈線,その下位に斜位の貝腹縁連続刺突,ナデ/工具ナデ	灰褐色	灰褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		SK114-43	K20	－	－											
	119	19152	K20	Ⅱ	171.829	横位の沈線,その下位に斜位の貝腹縁連続刺突,工具ナデ/工具ナデ	赤褐色	にぶい赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		SK114-63	K20	－	－											
		SK114-36	K20	－	－											
		SK114-45	K20	－	－											
	120	SK114-41	K20	－	－	縦・横位の沈線,ナデ/工具ナデ→ナデ	黒褐色	黒褐色	○				良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	121	SK114-40	K20	－	－	沈線間に磨消縄文,縄文部に赤色顔料付着,ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	122	SK114-1	K20	－	－	ミガキ/ミガキ	褐灰色	褐灰色	○			白粒	良	鉢	略完形	Ⅹ Ⅱ
		SK114-9	K20	－	－											
		SK114-5	K20	－	－											
		SK114-4	K20	－	－											
		SK114-2	K20	－	－											
		SK114-3	K20	－	－											
		SK114-2A	K20	－	－											
		SK114-2B	K20	－	－											
		SK114-2C	K20	－	－											
		SK114-2D	K20	－	－											
		SK114-2E	K20	－	－											
		SK114-2G	K20	－	－											
		SK114-2F	K20	－	－											
	123	SK114-35	K20	－	－	工具ナデ/工具ナデ	橙色	褐色	○		○	白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	124	SK140	K20	－	－	口唇に指頭による刻み,ナデ/ナデ	橙色	褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	125	SK140	K20	－	－	縦位の短沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	126	SK140	K20	－	－	横位の沈線,ナデ/工具ナデ	橙色	橙色					良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	127	SK140	K20	－	－	ナデ/ナデ	明黄褐色	橙色		○	○	金雲母	良	台付Ⅲ	脚部	Ⅹ Ⅳ
40	128	SK115	L19	－	－	口唇に指頭による刻み,凹点,ナデ/工具ナデ	褐色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	129	SK115	L19	－	－	シンメトリーな弧状凹線文,口唇に斜位の刻み,工具ナデ/ナデ	にぶい橙色	黒色	○	○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	130	SK115	L19	－	－	口唇に指頭による刻み,S字状の凹線,ナデ→ケズリ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	131	SK115	L19	－	－	斜位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色				茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	132	SK115	L19	－	－	ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	133	SK115	L19	－	－	口唇部に連続刺突,沈線,ナデ/ナデ	橙色	褐灰色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ Ⅲ
	134	SK115	L19	－	－	横位の沈線間に横位の貝腹縁刺突	褐灰色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	135	SK115	L19	－	－	刺突から伸びる横位の沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	136	SK115- 3	L19	－	－	ナデ/ナデ	明赤褐色	橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	137	SK115	L19	－	－	ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ Ⅲ
	138	SK115	L19	－	－	ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	○	○		白粒	良	円盤状土製加工品	胴部	Ⅹ Ⅲ
	139	SK115	L19	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	○				良	円盤状土製加工品	胴部	Ⅹ Ⅲ
	140	SK115	L19	－	－	ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色		○	○	白粒	良	円盤状土製加工品	胴部	Ⅹ Ⅲ
	141	SK142-21	E55	－	－	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	○			白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅹ
		SK142-14	E55	－	－											
		SK142-12	E55	－	－											
		SK142	E55	－	－											
	142	SK142	E55	－	－	口唇下位の沈線間に磨消縄文,ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	143	SK142	E55	－	－	沈線間に磨消縄文,ミガキ/ミガキ	褐灰色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	144	SK142	E55	－	－	ミガキ/ミガキ	黒褐色	灰褐色	○		○	白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	145	SK142- 1	E55	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
		SK142	E55	－	－											
	146	SK142	E55	－	－	ミガキ/ミガキ	黒褐色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
43	150	－	C35	Ⅰ	－	山型押型文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○		良	深鉢	胴部	Ⅰ
	151	13191	K 7	イ上	171.804	格子目押型文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	橙色			○		良	深鉢	胴部	Ⅰ
	152	19930	F54	Ⅳ	171.451	変形撚糸文/ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	○	○			良	深鉢	口縁	Ⅰ
	153	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色				茶粒,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅰ
	154	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色				茶粒,白粒	良	深鉢	胴部	Ⅰ
	155	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	灰褐色	浅黄橙色				茶粒,白粒	良	深鉢	胴部	Ⅰ
	156	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	橙色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅰ
	157	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	橙色	にぶい褐色	○				良	深鉢	胴部	Ⅰ
	158	－	K22	－	－	変形撚糸文/ナデ	灰白色	にぶい黄橙色		○		茶粒,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅰ
	159	－	F18	－	－	変形撚糸文/ナデ	褐灰色	浅黄橙色			○		良	深鉢	胴部	Ⅰ
	160	－	J22	－	－	変形撚糸文/ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色			○		良	深鉢	口縁	Ⅰ
	161	－	J10	－	－	変形撚糸文/ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色				茶粒,白粒	良	深鉢	胴部	Ⅰ
	162	－	－	－	－	縄文押圧,ナデ/－	橙色	橙色		○			良	深鉢	胴部	Ⅰ
	163	－	K11	－	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	褐灰色	褐灰色		○		滑石,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅱ

表７　縄文時代遺物観察表　(3)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調		胎土				焼成	器種	部位	類別
43	164	－	K６	－	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/沈線,工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅱ
	165	－	J５	Ⅱ	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	灰赤色		○			良	深鉢	胴部	Ⅱ
	166	－	I６	Ⅱ	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	灰褐色	褐灰色		○		滑石,白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅱ
	167	SH34-375	G17	－	－	二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	褐灰色	褐灰色		○		滑石,茶粒,白粒	堅緻	深鉢	胴部	Ⅱ
	168	－	L６	－	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色		○		滑石,白粒	堅緻	深鉢	胴部	Ⅱ
	169	－	J６	Ⅱ	－	口唇に二叉状工具による刺突,二叉状工具による押引,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色			○	茶粒,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅱ
	170	－	J５	Ⅱ	－	口唇,口唇下位に二叉状工具による連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅱ
	171	－	－	Ⅱ	－	二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅱ
	172	－	K６	－	－	凹線文,二叉状工具による押引,ナデ/ナデ	灰褐色	褐灰色			○	滑石,白粒,茶粒	堅緻	深鉢	胴部	Ⅱ
	173	－	E15	－	－	凹線文,二叉状工具による連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅱ
	174	SH107	J５	－	－	凹線文,連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	明赤褐色	○	○	○		良	深鉢	口縁	Ⅱ
	175	－	J６	－	－	凹線文,連続刺突,ナデ/ナデ	褐色	褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅱ
	176	－	J７	Ⅱ	－	凹線文,沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	○	○		滑石,白粒,茶粒	堅緻	深鉢	胴部	Ⅱ
	177	－	J６	Ⅱ	－	口唇に連続刺突,凹線文,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	橙色		○	○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	178	－	L17	－	－	凹線文,条痕→ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	179	18667	K21	Ⅳ	171.89	凹線文,凹点文,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	180	－	G23	－	－	口唇横位の沈線,凹線文,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色		○		滑石,白粒,茶粒	堅緻	深鉢	口縁	Ⅲ
	181	－	K16	Ⅱ	－	口唇に連続刻み,凹線文,ナデ/工具ナデ	橙色	にぶい褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
44	182	－	K15	Ⅱ	－	口唇に連続凹点,凹線文,刺突,ナデ/ナデ	明黄褐色	灰黄褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	183	10695	G20	Ⅱ	171.48	口唇に連続凹点,凹線文,ナデ/工具ナデ	褐色	褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	184	22749	K19	Ⅳ	171.876	口唇に連続凹点,凹線文,ナデ/工具ナデ	褐色	褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	185	18888	M20	Ⅳ	171.673	口唇に連続凹点,直線的な沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○			金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	186	19012	L17	Ⅳ	171.502	口唇に連続凹点,凹線文,ナデ/ナデ	暗褐色	暗赤褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	187	－	J５	Ⅱ	－	口唇に凹点,凹線文,凹点,ナデ/工具ナデ	褐色	にぶい褐色	○		○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	188	22763	K19	Ⅳ	171.899	口唇,口唇下位に連続凹点文,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	にぶい橙色				滑石,茶粒	堅緻	深鉢	口縁	Ⅲ
	189	18699	K20	Ⅳ	171.969	口唇に連続凹点,口唇下位に連続凹点＋沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色				滑石,白粒	堅緻	深鉢	口縁	Ⅲ
	190	25419	K19	Ⅳ	171.657	口唇下位に連続凹点文,凹線文,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色				滑石,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	191	－	J19	Ⅱ	－	口唇に連続凹点,口唇下位に連続凹点,ナデ/ナデ	橙色	橙色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	192	－	F18	－	－	口唇に連続凹点,口唇下位に連続凹点文,凹線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	193	－	G16	Ⅰ	－	口唇に連続凹点,口唇下位に連続凹点文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	194	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/－	にぶい赤褐色	橙色		○		滑石	堅緻	深鉢	底部	Ⅲ
	195	25274	K17	Ⅳ	171.363	口唇に連続凹点,口唇下位に連続刺突,横位・斜位の沈線,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	196	17606	F15	Ⅳ	171.523	口唇に連続凹点,口唇下位に連続凹点文,ナデ/工具ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	197	－	J20	Ⅱ	－	口唇に連続凹点,S字状沈線,ナデ/－	明黄褐色	橙色			○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	198	－	F16	Ⅰ	－	口唇に連続凹点,S字状凹線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	199	－	M21	－	－	口唇に連続凹点,横位の沈線,ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい黄褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	200	17421	F16	Ⅳ	171.564	口唇に連続凹点,凹線文,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	201	－	J16	Ⅱ	－	口唇に連続凹点,凹線文,ナデ/工具ナデ	褐色	にぶい赤褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	202	－	J19	Ⅱ	－	口唇に連続凹点,沈線間に連続刺突,ナデ/工具ナデ	赤褐色	褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	203	－	L20	－	－	口唇に刻み,太沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	204	22724	K19	Ⅳ	171.853	口唇に連続凹点,太沈線,工具ナデ/工具ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	205	18898	M20	Ⅳ	171.64	口唇に連続凹点,斜位の連続太沈線,ナデ/ナデ	橙色	明褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	206	－	F18	－	－	口唇に刻み,斜位の連続太沈線,ナデ/ナデ	橙色	明褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	207	－	J19	Ⅱ	－	口唇に刻み,縦位の連続太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	208	－	G20	Ⅱ	－	口唇に刻み,連続凹点,ナデ/ナデ	明赤褐色	橙色		○		金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅲ
45	209	16602	F17	Ⅱ	171.486	口唇に斜位の刻みS字状?太沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	210	23686	K16	Ⅳ	171.523	刺突文,太沈線,工具ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	211	－	I19	Ⅳ	－	縦位の太沈線,貼付粘土紐上に連点,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	212	18296	G15	Ⅳ	171.562	口唇に斜位の刻み縦位の連点,ナデ/ナデ	にぶい褐色	灰褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	213	－	G16	－	－	縦位の太沈線,ケズリ→ナデ/ナデ+工具ナデ	赤褐色	明赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	214	18081	G15	Ⅳ	171.603	斜位の太沈線,貼付粘土紐上に連点,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	215	15538	F19	Ⅱ	171.296	口唇に刺突,沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	褐色	褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	216	－	K17	Ⅱ	－	突帯上に連点,ナデ/工具ナデ	にぶい黄褐色	明赤褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	217	－	J15	Ⅳ	－	口唇に刻み,貼付突帯上に連点,ナデ/ナデ	にぶい褐色	明赤褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	218	10446	F19	Ⅱ	171.378	口唇下位に斜位の刻み,沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	219	8008	F27	Ⅱ	170.862	突帯部に連続刺突,ミガキ/ナデ	明褐色	黒褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅲ
	220	19298	L19	Ⅱ	171.894	指頭圧痕,ナデ/工具ナデ	橙色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	221	19341	K16	Ⅳ	171.44	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	222	17789	H16	Ⅳ	171.632	太沈線,ナデ/工具ナデ→ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	223	12604	G19	Ⅳ	171.506	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅲ
	224	17718	G15	Ⅳ	171.624	太短沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	赤褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	225	－	K17	Ⅱ	－	縦位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	226	18651	K21	Ⅳ	171.881	沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	明赤褐色		○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	227	17443	G16	Ⅳ	171.652	ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	228	23502	K16	Ⅳ	171.521	斜位の太短沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	229	25817	L17	Ⅳ	171.299	横位の沈線,縦位の短沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	230	－	J５	Ⅱ	－	連続太短沈線,ナデ/ナデ	褐色	灰黄褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	231	18833	F16	Ⅳ	171.5	斜位の沈線,連続短沈線,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	232	－	J19	Ⅱ	－	連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
46	233	－	F17	Ⅰ	－	縦位の太短沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○	○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	234	－	J16	Ⅱ	－	連続刺突,ナデ/ナデ	褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	235	16646	F16	Ⅳ	171.597	羽状短沈線,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	236	－	J６	Ⅱ	－	縦位の太短沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	237	19243	K19	Ⅱ	171.92	凹線,縦位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色		○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	238	－	F16	Ⅳ	－	斜位の太沈線,刻み,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	239	12683	G19	Ⅳ	171.531	斜位の太沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	240	23256	L16	Ⅳ	171.521	逆S字状文,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	241	－	F16	－	－	太短沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○				良	深鉢	口縁	Ⅲ
	242	18830	F15	Ⅳ	171.464	沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	243	23383	K16	Ⅳ	171.571	凹線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	244	5891	F56	Ⅳ	169.686	ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	245	16850	F17	Ⅳ	171.555	ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	246	－	J39	－	－	太沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色		○	○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	247	SH107	J５	－	－	横位の太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	248	－	F20	Ⅱ	－	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	明赤褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ

表８　縄文時代遺物観察表　(4)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
46	249	－	H19	Ⅳ	－	沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	250	－	M18	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○				良	深鉢	口縁	Ⅲ
	251	－	E17	－	－	沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色					良	深鉢	口縁	Ⅲ
	252	－	J17	Ⅱ	－	羽状の太沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色			○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	253	10340	F21	Ⅱ	171.336	太沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○				良	深鉢	口縁	Ⅲ
	254	－	J18	Ⅱ	－	太沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	255	19177	K19	Ⅱ	171.952	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	256	－	H17	Ⅳ	－	太沈線,連続太短沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	257	－	I17	Ⅳ	－	斜位の太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	258	－	K20	－	－	太沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	259	－	F17	Ⅰ	－	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	260	17279	G16	Ⅳ	171.614	連続凹点,ナデ/ケズリ→ナデ	明赤褐色	明赤褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	261	19176	K19	Ⅱ	171.951	太沈線,ナデ/工具ナデ+ナデ	にぶい褐色	明赤褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	262	17956	H15	Ⅳ	171.671	逆S字状文,ナデ/工具ナデ	赤褐色	にぶい褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	263	23047	K17	Ⅳ	171.593	羽状刺突,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	264	24488	K18	Ⅳ	171.508	掘り込みによるクサビ形文,ミガキ/ナデ	褐色	赤褐色			○	茶粒,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	265	－	L17	－	－	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	266	11281	F22	Ⅱ	171.193	太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	267	－	D44	Ⅱ	－	口唇・突帯に斜沈線,ナデ/工具ナデ→ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	268	13609	G22	Ⅳ	171.306	横位・斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	269	－	H16	Ⅳ	－	連続太短沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	○			茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	270	16287	H17	Ⅳ	171.547	連続太短沈線,突帯上に連点,ナデ+ケズリ/ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅲ
47	271	17730	G16	Ⅳ	171.54	横位の沈線,短沈線,連続刺突,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	○			茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅲ
		17535	G16	Ⅳ	171.608											
	272	－	G16	－	－	逆S字状文,ナデ/ナデ	にぶい橙色	赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	273	22908	K17	Ⅳ	171.569	沈線,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
		23133	L17	Ⅳ	171.613											
	274	18669	K20	Ⅳ	172.002	沈線,刻み,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	275	17442	G16	Ⅳ	171.613	口唇に斜位の刻み,沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	276	22751	K19	Ⅳ	171.826	斜位の太沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	277	18696	K20	Ⅳ	171.972	縦位・斜位の太沈線,工具ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	278	17442	G16	Ⅳ	171.613	縦位の太沈線,工具ナデ+ケズリ/工具ナデ	赤褐色	赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
		17167	F16	Ⅳ	171.532											
	279	－	J18	Ⅱ	－	口唇に刻み,縦位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	280	16359	E19	Ⅱ	171.342	縦位の沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	281	－	K18	－	－	縦位の沈線,工具ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色			○		良	深鉢	口縁	Ⅲ
	282	－	H20	－	－	縦位の沈線,ナデ/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	283	－	J19	Ⅱ	－	斜位の太沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	284	16091	G19	Ⅳ	171.326	斜位の太沈線,工具ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
		16097	G19	Ⅳ	171.393											
		－	G20	－	－											
	285	－	L16	Ⅱ	－	斜位の沈線,ナデ/工具ナデ	赤褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	286	22631	K18	Ⅳ	171.7	斜位の太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	287	－	J18	Ⅱ	－	斜位の沈線,ナデ/－	にぶい褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	288	19110	L20	Ⅳ	171.788	斜位の太沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	○		○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	289	16882	G16	Ⅳ	171.621	斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	290	19305	K18	Ⅱ	171.823	斜位の沈線,太沈線,ナデ/工具ナデ	橙色	にぶい褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅲ
	291	24786	K21	Ⅳ	171.783	口唇に沈線,条痕→ナデ/条痕→ナデ	橙色	橙色	○		○	金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	292	－	K16	－	－	口唇に沈線,刻み,ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	293	－	K16	－	－	口唇の沈線間に刻み,ナデ/－	にぶい褐色	赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	294	25729	K17	Ⅳ	171.305	口唇の沈線間に貝腹縁刺突,貝腹縁刺突/ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	295	－	I19	Ⅳ	－	口唇の沈線間に貝腹縁刺突,貝腹縁刺突ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色		○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	296	－	K19	Ⅱ	－	口唇に沈線,沈線の両側に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい橙色		○			良	深鉢	口縁	Ⅳ
	297	－	K18	－	－	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	298	18629	F15	Ⅳ	171.462	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅳ
	299	－	I17	Ⅳ	－	斜位の連続刺突,工具ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
48	300	18573	F16	Ⅳ	171.474	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	301	－	J17	Ⅱ	－	連続刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	302	－	J 6	Ⅱ	－	斜位の連続刺突,ナデ/工具ナデ	黒褐色	赤褐色	○		○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	303	－	J17	Ⅱ	－	斜位の連続刻み,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	304	10739	H20	Ⅱ	171.546	斜位の連続刺突,ナデ/工具ナデ	黒褐色	黒褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		10740	H20	Ⅱ	171.499											
	305	15431	G20	Ⅳ	171.457	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	306	－	F57	－	－	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	明褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	307	－	K19	－	－	斜位の連続縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色		○	○		良	深鉢	口縁	Ⅳ
	308	－	F16	－	－	斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	淡橙色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	309	4300	C38	Ⅱ	170.331	斜位の連続刺突,ケズリ→ナデ/ケズリ→ナデ	赤褐色	赤褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	310	16364	E19	Ⅳ	170.999	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	311	22589	K18	Ⅳ	171.767	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	312	16296	H17	Ⅳ	171.609	斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	313	22692	K19	Ⅳ	171.891	波頂部下位に縦位の刺突斜位の連続刺突ナデ/ナデ	橙色	赤褐色		○	○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	314	－	G20	－	－	斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	315	－	F15	－	－	縦位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	316	15718	G20	Ⅳ	171.215	斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい褐色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	317	8758	F29	Ⅲ	170.839	斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	318	11982	F21	Ⅱ	171.305	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	319	16563	E18	Ⅱ	171.331	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	320	19009	L17	Ⅳ	171.56	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/条痕→ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅳ
	321	17723	G15	Ⅳ	171.64	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	322	17537	G16	Ⅳ	171.586	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	323	12681	G19	Ⅳ	171.557	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	324	24789	K21	Ⅳ	171.772	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	325	12060	F20	Ⅱ	171.356	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕→ナデ/条痕→ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○		良	深鉢	口縁	Ⅳ
	326	23539	K16	Ⅳ	171.708	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○	○		良	深鉢	口縁	Ⅳ
	327	－	J16	Ⅱ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	灰黄褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	328	4669	I52	Ⅱ	169.738	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	329	16120	H19	Ⅳ	171.498	横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ,スス付着	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	330	25485	K21	Ⅳ	171.72	横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	暗赤褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
49	331	－	K16	Ⅳ	－	横位の貝腹縁刺突,斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	褐色	褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		23503	K16	Ⅳ	171.526		褐色	褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	332	－	I16	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	333	－	G16	Ⅳ	－	縦位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ

表９　縄文時代遺物観察表　(5)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
49	334	16697	H17	Ⅳ	171.47	鋸歯状の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	明赤褐色	褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	335	－	G15	－	－	横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	336	－	E24	Ⅳ	－	横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	褐色	明赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	337	－	I16	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色		○		金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	338	16992	G15	Ⅳ	171.641	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	褐色	褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	339	22789	K19	Ⅳ	171.864	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	340	19322	K18	Ⅱ	171.704	横位の沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい赤褐色	褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	341	15533	F19	Ⅱ	171.359	横位の条痕,ナデ/工具ナデ	黒褐色	にぶい褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	342	4073	G29	Ⅱ	170.809	横位の沈線,ナデ/ナデ	黄灰色	明褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	343	8919	G25	Ⅲ	170.162	横位の沈線,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	344	22569	K18	Ⅳ	171.659	横位の沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		22572	K18	Ⅳ	171.699											
	345	22619	K18	Ⅳ	171.797	横位の沈線,ナデ/工具ナデ	黒褐色	灰褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		22620	K18	Ⅳ	171.779											
	346	17179	F16	Ⅳ	171.594	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	347	16662	G17	Ⅳ	171.523	横位の凹線,弧状沈線,ナデ/工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	348	17173	F16	Ⅳ	171.561	横位の沈線,ナデ/条痕→ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	349	オウテン	J9	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅳ
	350	16286	H17	Ⅳ	171.617	横位の沈線,刺突,ナデ/ナデ	灰褐色	橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	351	－	K20	－	－	口唇・突帯部に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	352	－	K16	－	－	口唇・突帯部に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	353	－	L19	－	－	口唇に刻み,横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	354	24599	K19	Ⅳ	171.79	口唇に刻み,横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
50	355	－	I52	Ⅱ	－	口唇に刻み,波頂部下に刺突,横位の沈線,ナデ/波状沈線,ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	356	－	－	－	－	口唇・突帯部に斜位の刻み,横位の沈線,ナデ/ナデ	褐色	褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		12621	G19	Ⅳ	171.449											
	357	16597	E17	Ⅱ	171.413	口唇・突帯部に斜位の刻み,横位の沈線,ナデ/ナデ	褐色	灰褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	358	20833	G23	Ⅳ	171.326	横位の沈線,縦位の連続刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	明赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	359	17117	F15	Ⅳ	171.551	口唇・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ,橋状把手あり	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	360	15790	G19	Ⅱ	171.383	波頂部下位に飾り突起,口唇・突帯部に斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	361	17490	H16	Ⅳ	171.693	口唇・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	明赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	362	－	J18	Ⅳ	－	突帯部に斜位の連続刺突,刺突から伸びる横位の凹線,ナデ/ナデ	明赤褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	363	－	G21	－	－	突帯部に斜位の連続刺突,刺突から伸びる横位の凹線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	364	－	F16	－	－	横位の沈線,斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	365	－	H19	Ⅳ	－	横位の凹線,口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	366	－	J17	Ⅱ	－	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	367	－	J17	Ⅳ	－	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	368	15379	H20	Ⅳ	171.49	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	369	15929	H19	Ⅳ	171.461	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,刺突,ナデ/ナデ	灰黄褐色	褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
51	370	15012	G20	－	171.353	波頂部下位に刺突,口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	371	16966	G15	Ⅳ	171.634	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	372	15490	G20	Ⅳ	171.37	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	灰褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	373	－	K16	－	－	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,刺突,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	374	19307	K18	Ⅱ	171.832	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	375	10817	H19	Ⅱ	171.555	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	376	15646	D19	Ⅱ	171.002	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/ナデ	灰黄褐色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	377	14797	F20	Ⅱ	171.402	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/工具ナデ	赤褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	378	17462	H16	Ⅳ	171.677	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の凹線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	379	12855	H18	Ⅳ	171.584	横位の凹線,突帯部に斜位の連続刺突,刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	380	17577	F16	Ⅳ	171.549	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,曲線文,ナデ/－	黒褐色	にぶい褐色	○	○	○	茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	381	16126	H19	Ⅳ	171.492	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,横位の沈線,ナデ/工具ナデ	赤褐色	赤褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	382	－	I37	－	－	口唇下位・突帯部に縦位の連続刺突,曲線文,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	383	17010	F15	Ⅳ	171.605	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,波状文,ナデ/ナデ	黒褐色	橙色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	384	17009	F15	Ⅳ	171.58	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,波状文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	385	－	K16	Ⅱ	－	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,曲線文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	386	－	J17	Ⅱ	－	突帯部に斜位の連続刺突,刺突から伸びる横位の沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	387	25776	K21	Ⅳ	171.656	突帯部に縦位の連続刺突,横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色		○	○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅳ
		25765	K21	Ⅳ	171.583											
		25507	K21	Ⅳ	171.747											
		25772	K21	Ⅳ	171.568											
	388	16647	G16	Ⅳ	171.502	口唇に刻み,曲線文,横位の貝腹縁刺突,条痕→ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	389	22643	K19	Ⅳ	171.864	口唇・突帯部に縦位の連続刺突,横位の沈線,刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		19265	K19	Ⅱ	171.924											
	390	19266	K19	Ⅱ	171.915	口唇・突帯部に縦位の連続刺突,横位の沈線,刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
52	391	22640	K19	Ⅳ	171.636	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ

表10　縄文時代遺物観察表　(6)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
52	392	－	K20	－	－	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	393	10880	G19	Ⅱ	171.554	口唇下位・突帯部に斜位の連続刺突,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	明褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	394	24522	K19	Ⅳ	171.862	突帯部に連続刺突,斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	395	－	E17	－	－	突帯部に縦位の連続刺突,斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/条痕→ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	396	23680	K16	Ⅳ	171.577	横位・縦位の沈線,横位の貝腹縁刺突,ナデ/条痕→ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	397	14738	E20	Ⅱ	171.271	横位の沈線間に横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
		14738	E20	Ⅱ	171.271	横位の沈線間に横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	398	－	L18	－	－	横位の沈線間に横位の貝腹縁刺突ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	橙色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	399	16841	H18	Ⅳ	171.441	横位の沈線間に横位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	400	24711	K20	Ⅳ	171.824	横位の沈線間に斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	明褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	401	－	G15	Ⅳ	－	横位の沈線間に斜位の連続刺突ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	402	22606	K18	Ⅳ	171.685	横位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	403	－	K21	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突その中に連点,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅳ
	404	23569	K16	Ⅳ	171.449	刺突間に横位の沈線,斜位の沈線,斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	○	○		金雲母,白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅴ
	405	2712	B42	Ⅱ	170.003	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	406	12942	L26	Ⅱ	171.513	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	明褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	407	21662	F23	Ⅳ	171.125	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
		－	G21	－	－											
		11948	G21	Ⅱ	171.4											
	408	15043	E24	Ⅲ	170.466	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	409	－	L18	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	にぶい褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	410	18281	F15	Ⅳ	171.486	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
		17083	F15	Ⅳ	171.548											
	411	10636	H21	Ⅱ	171.447	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	412	18370	G16	Ⅳ	171.625	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕	橙色	橙色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅴ
53	413	19285	L19	－	171.84	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕/条痕＋ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	○	○	○		良	深鉢	口縁	Ⅴ
	414	18978	L18	Ⅳ	171.484	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	暗赤褐色	黒褐色			○	金雲母,白粒多	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	415	1699	E43	Ⅱ	170.454	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	暗赤褐色	黒褐色	○			金雲母,白・茶粒多	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	416	2839	B41	Ⅱ	170.154	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	暗赤褐色	黒褐色	○			金雲母,白・茶粒多	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	417	－	E24	Ⅱ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕	にぶい赤褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	418	－	F29	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	419	15852	G19	Ⅱ	171.431	斜位の連続貝腹縁刺突,横位の連続刺突ナデ/ナデ	暗赤褐色	黒褐色		○		白粒多	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	420	－	J18	Ⅱ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色	○		○		良	深鉢	口縁	Ⅴ
	421	－	I10	Ⅱ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	422	11304	F22	Ⅱ	171.229	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色				金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	423	－	I16	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	にぶい褐色		○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	424	1703	E43	Ⅱ	170.422	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	暗赤褐色	黒褐色				金雲母,白粒多	良	深鉢	口縁	Ⅴ
		1804	E43	Ⅱ	170.524											
	425	－	G16	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	赤褐色				金雲母	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	426	11203	F22	Ⅱ	171.241	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	橙色	赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	427	－	G21	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	428	16564	E18	Ⅱ	171.322	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色			○		良	深鉢	口縁	Ⅴ
	429	19331	L18	Ⅳ	171.5	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	赤褐色	暗赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	430	10704	H20	Ⅱ	171.544	口唇に縄文,斜位の連続貝腹縁刺突ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅴ
	431	14153	E23	Ⅳ	170.779	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/条痕＋ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色	○	○		金雲母	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	432	3404	B40	Ⅱ	170.263	斜位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色				金雲母,白粒多	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	433	13970	F22	Ⅳ	171.177	斜位の連続貝腹縁刺突,横位の沈線,条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色				金雲母,白粒多	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	434	14863	G21	Ⅱ	171.354	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	暗赤褐色	黒褐色			○	金雲母	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	435	－	H23	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色	○		○		良	深鉢	胴部	Ⅴ
	436	－	I 6	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	437	－	F15	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	褐色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	438	12134	G20	Ⅱ	171.462	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	暗赤褐色	黒褐色	○	○			良	深鉢	胴部	Ⅴ
	439	－	L25	－	－	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	440	21673	F22	Ⅳ	171.091	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	明赤褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	441	－	E20	Ⅳ	－	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	赤褐色	黒褐色	○	○	○		良	深鉢	胴部	Ⅴ
	442	22626	K18	Ⅳ	171.77	斜位の連続貝腹縁刺突条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	褐色	黒褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	443	3725	B40	Ⅱ	170.033	条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	暗赤褐色	黒褐色				金雲母,白粒多	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	444	－	G27	Ⅱ	－	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色			○	茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	445	17048	F15	Ⅳ	171.603	斜位の連続貝腹縁刺突,条痕＋ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色		○		茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
	446	17165	F16	Ⅳ	171.579	斜位の連続貝腹縁刺突横位の連点文ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅴ
54	447	－	K16	－	－	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅵ
	448	－	F16	Ⅳ	－	横位の沈線間に連点文横位の貝腹縁刺突ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅵ
	449	－	J16	Ⅱ	－	口唇に刻み,横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅵ
	450	－	J17	Ⅱ	－	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅵ
	451	12510	E22	Ⅳ	170.975	沈線間に貝腹縁刺突ナデ/工具ナデ,スス付着	黒色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	胴部	Ⅵ
	452	－	F16	－	－	沈線間に貝腹縁刺突,刺突,ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅵ
	453	－	J14	Ⅱ	－	沈線,縄文?,ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい橙色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅵ
	454	11017	G18	Ⅱ	171.601	横位の沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	455	－	J18	Ⅱ	－	横位の沈線間に縄文,ナデ/工具ナデ	赤褐色	赤褐色				金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	456	－	－	－	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ＋ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
	457	－	C35	－	－	横位の沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黄橙色	にぶい黄橙色				金雲母,白粒多	良	鉢	口縁	Ⅶ
	458	－	M20	－	－	沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				金雲母,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	459	12209	H20	Ⅱ	171.482	突起部,横位の沈線,ナデ→ミガキ/ナデ	明黄褐色	明黄褐色			○		良	鉢	口縁	Ⅶ
	460	－	G16	Ⅱ	－	口唇に縄文,横位の沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	461	22667	K19	Ⅳ	171.75	横位の沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	462	－	F22	Ⅳ	－	横位の沈線,渦巻文,ナデ/ナデ	黄褐色	浅黄色		○	○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
	463	－	K21	－	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	464	17533	G16	Ⅳ	171.624	沈線,突起部に穿孔,ナデ/ナデ	褐灰色	褐灰色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
	465	4100	H29	Ⅱ	170.898	突起部に穿孔,渦巻文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	黒褐色				白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
	466	16185	G18	－	171.502	突起部に穿孔,沈線,磨消縄文,ミガキ/ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
	467	12156	G20	Ⅱ	171.502	突起部あり,沈線,磨消縄文,ナデ＋ミガキ/ナデ＋ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	金雲母,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
		15432	G20	Ⅳ	171.374											
	468	15010	G20	Ⅱ	171.374	沈線,渦巻文,ナデ＋ミガキ/ナデ＋ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ

表11　縄文時代遺物観察表　(7)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
55	469	－	G15	－	－	口唇に沈線,沈線,刺突,ナデ+ミガキ/ナデ+ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	○		○	金母雲,白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅶ
		－	G16	－	－											
	470	－	J16	Ⅳ	－	沈線,磨消縄文,ナデ+ミガキ/ナデ+ミガキ	橙色	明黄褐色			○		良	鉢	口～胴	Ⅶ
	471	14108	E23	Ⅳ	170.596	沈線,磨消縄文,ナデ+ミガキ/ナデ	橙色	にぶい黄橙色			○	茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	472	13081	H21	Ⅳ	171.318	口唇に沈線,沈線,刺突,ナデ/ナデ	明黄褐色	明黄褐色				金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	473	－	JK13	カクラン	－	口唇に沈線,沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	474	17053	F15	Ⅳ	171.59	口唇に沈線,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	475	15886	H19	Ⅳ	171.481	口唇に沈線+刻み,沈線,ナデ/ナデ	明黄褐色	明黄褐色		○	○	茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	476	－	L24	－	－	口唇に沈線,沈線,ナデ+ミガキ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	477	18950	K18	Ⅳ	171.601	口唇に沈線,沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	478	22980	K17	Ⅳ	171.52	口唇に沈線,沈線+磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	479	－	J17	Ⅱ	－	口唇に沈線,横位の沈線間に磨消縄文,ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅶ
	480	18515	F16	Ⅳ	171.436	口唇に刻み,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○		良	鉢	口縁	Ⅶ
	481	21567	F23	Ⅳ	171.167	口唇に羽状の刻み,沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	褐灰色	○	○	○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	482	12688	G19	Ⅳ	171.507	口唇に沈線・刻み,沈線,刺突,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	483	24175	K17	Ⅳ	171.511	口唇に沈線・刻み,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○			良	鉢	口～胴	Ⅷ
	484	12664	G19	Ⅳ	171.544	口唇に羽状の刻み,渦巻文,磨消縄文,ナデ→ミガキ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	485	16075	G18	Ⅳ	171.306	口唇に刻み,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	486	17166	F16	Ⅳ	171.568	口唇に沈線,沈線,縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色	○				良	鉢	口縁	Ⅷ
	487	15911	H19	Ⅳ	171.453	口唇に沈線・刻み,沈線間に疑似縄文（ヘラ刻み),ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	488	18252	F15	Ⅳ	171.484	口唇に沈線・刻み,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色		○		白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
		18253	F15	Ⅳ	171.482											
	489	25533	K21	Ⅳ	171.687	口唇に沈線・刻み,刺突,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/工具ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	490	19250	K19	Ⅱ	171.945	口唇に沈線,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/工具ナデ	灰褐色	橙色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
56	491	16366	E19	Ⅳ	170.91	口唇に沈線・刻み,刺突,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色	○	○		白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	492	8752	F29	Ⅲ	170.861	口唇に沈線・刻み,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
		8754	F29	Ⅲ	170.914											
	493	－	C35	－	－	口唇に沈線,横位の沈線間に磨消縄文,刺突,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	494	23189	K17	Ⅳ	171.525	口唇に沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	495	－	J16	Ⅱ	－	口唇に沈線,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	にぶい褐色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	496	17506	G16	Ⅳ	171.629	口唇に沈線,磨消縄文,橋状把手,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	497	23111	K17	Ⅳ	171.597	口唇に沈線・刻み,沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	褐灰色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	498	－	J17	Ⅳ	－	口唇に曲線文,飾り部に穿孔,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	浅黄色	○				良	鉢	口～胴	Ⅷ
	499	17000	F15	Ⅳ	171.561	口唇に沈線・刻み,橋状把手,沈線,渦巻文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
		18736	F16	Ⅳ	171.507											
		－	F16	Ⅳ	－											
	500	－	J21	Ⅱ	－	口唇に沈線・刻み,橋状把手,沈線,渦巻文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	褐灰色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
57	501	17261	G16	Ⅳ	171.564	口唇に刻み,突起部あり,沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	淡黄色		○	○		良	鉢	口～胴	Ⅷ
	502	15977	F19	Ⅱ	171.351	口唇に刻み・刺突,突起部あり,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色		○		白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	503	12538	F23	Ⅳ	171.101	口唇に刻み,突起部に穿孔痕,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	黒褐色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	504	－	G15	－	－	口唇に刻み・沈線,沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	橙色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		16993	G15	Ⅳ	171.587											
	505	－	J19	Ⅱ	－	口唇に沈線,沈線,ナデ/ナデ	淡黄色	淡黄色		○			良	鉢	口縁	Ⅷ
	506	77821	E26	Ⅱ	－	沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	褐灰色			○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	507	14284	D29	Ⅳ	170.112	口唇に沈線・刻み,沈線,ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	○		○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	508	8581	E25	Ⅲ	170.477	口唇に沈線・刻み,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	褐灰色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	509	21389	F22	Ⅳ	171.23	口唇に沈線,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	510	－	F16	Ⅳ	－	口唇に沈線,横位の沈線,刺突,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	511	13980	F21	Ⅳ	171.156	口唇に沈線・刻み,飾り部に穿孔,曲線文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色		○		白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	512	16881	G16	Ⅳ	171.601	口唇に沈線・刻み,刺突から伸びる沈線,渦巻文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	513	－	K20	－	－	口唇に沈線,沈線橋状把手,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	514	10762	H20	Ⅱ	171.556	口唇に羽状の刻み,沈線,橋状把手,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	橙色	にぶい橙色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	515	8900	E30	Ⅲ	170.606	口唇に沈線,橋状把手,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	516	13096	F20	Ⅳ	171.351	口唇に沈線・刻み,橋状把手欠損,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	517	－	I16	Ⅳ	－	口唇に刻み,沈線,橋状把手,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	灰黄褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
58	518	17436	F16	Ⅳ	171.57	口唇に刻み,突起部に穿孔,沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	519	843	E46	Ⅱ	170.668	口唇に刻み,沈線,突起部に穿孔,ナデ/ナデ	褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	520	11030	H18	Ⅱ	171.655	口唇部に刻み,突起部に穿孔,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	521	－	F16	－	－	口唇に刻み,突起部に穿孔,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	522	－	C36	Ⅰ	－	突起部に穿孔,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	523	－	J7	Ⅱ	－	口唇に刻み,突起部に刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	524	－	K17	Ⅱ	－	口唇に羽状の刻み,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい赤褐色	灰褐色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	525	25879	K21	Ⅳ	171.534	口唇に沈線・刻み,橋状把手欠損,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	526	22982	K17	Ⅳ	171.568	口唇に沈線・刻み,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	527	9391	D29	Ⅲ	170.298	口唇に沈線・刻み,ナデ→ミガキ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		14286	D29	Ⅳ	170.136											

表12　縄文時代遺物観察表　(8)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
58	528	12660	G19	Ⅳ	171.504	口唇に沈線・刻み,沈線,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	529	16106	G19	Ⅳ	171.43	口唇に沈線・刻み,沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄色	にぶい黄色			○		良	鉢	口縁	Ⅷ
	530	－	－	－	－	口唇に沈線・刻み,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄色	にぶい黄橙色			○	茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	531	13104	K 7	イ上	171.536	口唇に沈線・刻み,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	532	－	F16	－	－	口唇に刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	533	11537	G23	Ⅱ	171.228	口唇に沈線,沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	○	○		白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	534	21467	H23	Ⅳ	171.299	口唇に沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	535	－	J18	Ⅱ	－	口唇に沈線・刻み,縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	橙色				白粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	536	－	J16	Ⅱ	－	口唇に刻み,突起部に穿孔痕,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	明黄褐色	にぶい黄褐色	○			白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	537	－	H49	Ⅱ	－	口唇に刻み,縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	橙色		○	○	白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	538	12540	F23	Ⅳ	171.096	口唇に沈線・刻み,突起部に刺突,沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色					良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	539	－	G57	Ⅳ	－	口唇に刻み,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄褐色	褐灰色			○	白粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	540	－	C35	Ⅱ	－	口唇に沈線,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄色	灰黄色	○		○	白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	541	17032	F15	Ⅳ	171.597	口唇に刻み,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○			良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	542	－	I17	Ⅳ	－	口唇に刻み,沈線磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	543	17054	F15	Ⅳ	171.608	口唇に沈線,沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
59	544	5027	H51	Ⅱ	169.449	口唇に刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色				白粒,茶粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	545	22990	K19	－	171.565	口唇に沈線・刻み,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○			白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	546	15401	H20	Ⅳ	171.496	口唇に沈線・刻み,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	灰黄褐色	○			白粒,茶粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	547	21888	H22	Ⅳ	171.278	沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色				白粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	548	21907	H23	Ⅳ	171.42	口唇に沈線,沈線,刺突,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色				白粒	良	浅鉢	口～胴	Ⅷ
	549	17444	G16	Ⅳ	171.66	飾り突起あり,沈線,渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白・茶粒多	良	不明	胴部	Ⅷ
		－	G16	Ⅰ	－		にぶい黄橙色	明褐色								
	550	17816	G16	Ⅳ	171.638	曲線文,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白・茶粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
	551	－	G16	－	－	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	褐灰色	褐灰色	○	○		金雲母,白・茶粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
	552	12630	G19	Ⅳ	171.543	渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	553	－	－	－	－	渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	灰黄褐色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	554	10254	F21	Ⅱ	171.346	渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
	555	4525	G50	Ⅱ	169.897	渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白・茶粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
	556	－	F15	－	－	渦巻文,磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	557	12607	G19	Ⅳ	171.545	曲線文,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	558	－	J19	Ⅱ	－	沈線,磨消縄文,ナデ/工具ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	559	16293	G17	Ⅳ	171.613	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	560	22522	H28	Ⅳ	171.174	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	561	17654	G15	Ⅳ	171.626	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	562	－	F15	Ⅳ	－	沈線,磨消縄文,ナデ/工具ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	563	10870	G19	Ⅱ	171.562	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	564	15250	F20	Ⅳ	171.186	沈線,磨消縄文,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	565	18231	F16	Ⅳ	171.511	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	566	19190	K19	Ⅱ	171.939	沈線,磨消縄文,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	567	9045	D28	Ⅲ	170.289	沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	568	4043	G29	Ⅱ	170.801	渦巻文,ナデ/ナデ	にぶい黄色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	569	10617	H21	Ⅱ	171.512	渦巻文,ナデ/ナデ	明黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	570	－	H19	Ⅳ	－	沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	571	13979	F21	Ⅳ	171.21	沈線,渦巻文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	黒褐色				白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	572	9210	D29	Ⅲ	170.263	曲線文,ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	暗灰黄色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	573	－	F16	Ⅰ	－	沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	574	17187	F16	Ⅳ	171.61	曲線文,ナデ/工具ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色	○		○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	575	－	G15	－	－	沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	576	17059	F15	Ⅳ	171.573	沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	577	19320	K18	Ⅱ	171.77	沈線,ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	浅黄色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	578	18084	G15	Ⅳ	171.589	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	579	1608	D43	Ⅱ	169.979	沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	褐灰色	灰褐色		○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	580	17140	F16	Ⅳ	171.575	沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄色	灰黄褐色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
		17139	F16	Ⅳ	171.523											
60	581	11930	G21	Ⅱ	171.375	口唇に沈線・刻み,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒色	黒色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	582	16243	H18	Ⅳ	171.58	口唇に沈線,縄文,ナデ/ナデ	灰白色	灰黄褐色		○		茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	583	－	H21	－	－	口唇に沈線,縄文,ナデ/ナデ	浅黄色	浅黄色				茶粒多	良	鉢	口縁	Ⅷ
	584	4000	G28	Ⅱ	170.836	口唇に沈線・刻み,縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	褐灰色			○	白粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
	585	－	J17	Ⅱ	－	口唇に縄文,縄文/沈線,縄文,穿孔	灰黄褐色	褐灰色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	586	8877	E30	Ⅲ	170.709	口唇飾り部に穿孔,ナデ/沈線,縄文	黒褐色	明褐色				白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		22990	K17	Ⅳ	171.565											
	587	20922	H23	Ⅳ	171.347	口唇飾り部に穿孔,ナデ/沈線,ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	588	3008	D44	Ⅳ	169.697	口唇飾り部に穿孔,沈線/刺突,沈線,縄文	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色				白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		3336	D44	Ⅳ	169.604											
	589	17935	G15	Ⅳ	171.606	口唇に刻み,飾り部に穿孔,沈線,縄文,ナデ/沈線間に磨消縄文,ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色				金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	590	24464	K18	Ⅳ	171.681	口唇に沈線,沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口～胴	Ⅷ
		22596	K18	Ⅳ	171.742											
	591	－	J 6	Ⅱ	－	橋状把手,ナデ/刺突,曲線文,ナデ	橙色	黒褐色		○	○	金雲母,白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	592	17869	F16	Ⅳ	171.523	橋状把手,沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/刺突＋沈線,ナデ→ミガキ	黒色	黒色				白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		17168	F16	Ⅳ	171.528											
	593	17171	F16	Ⅳ	171.534	沈線,刺突,磨消縄文,ナデ→ミガキ/刺突・沈線,ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色		○	○	金雲母	良	鉢	口縁	Ⅷ
	594	23433	K16	Ⅳ	171.654	口唇外面に縄文,沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色		○	○	金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	595	－	J12	Ⅱ	－	口唇外面に縄文沈線ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	黒褐色				金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	596	18899	M20	Ⅳ	171.581	口唇外面に縄文,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	597	25440	K18	Ⅳ	171.662	口唇外面に刻み,沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒色	灰黄褐色				金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
		25421	K18	Ⅳ	171.673											
	598	18728	L20	Ⅳ	171.813	口唇外面に縄文沈線ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	褐灰色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	599	22696	K19	Ⅳ	171.7	口唇に縄文沈線ナデ→ミガキ/沈線ナデ→ミガキ	灰黄褐色	褐灰色				白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	600	7586	E26	Ⅱ	170.925	口唇に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄色		○	○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	601	22730	K19	Ⅳ	171.937	口唇外面に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	褐灰色				白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	602	21240	G22	Ⅳ	171.306	口唇に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	灰黄褐色				白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
61	603	－	J16	Ⅱ	－	口唇外面に縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	604	16858	E18	Ⅳ	171.135	口唇に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒色	黒色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	605	21747	K19	Ⅳ	171.805	口唇に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	○			白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	606	15028	E25	Ⅲ	170.559	口唇に疑似縄文（貝腹縁）,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	鉢	口縁	Ⅷ

表13　縄文時代遺物観察表　(9)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
61	607	－	K19	Ⅱ	－	口唇に縄文,ナデ→ミガキ/沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ	褐灰色	黒褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	608	－	J14	Ⅱ	－	口唇に刻み,口唇外面に縄文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色			○	金雲母,白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	609	25528	K21	Ⅳ	171.626	口唇外面に縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	Ⅷ
	610	17162	F16	Ⅳ	171.555	沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
		－	F16	－	－											
	611	24625	K19	Ⅳ	171.751	沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	橙色	橙色	○		○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	612	－	J 9	オウテン	－	沈線間に磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色				白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	613	11952	G21	Ⅱ	171.345	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	褐灰色	にぶい黄橙色				茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	614	－	K37	－	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	褐色	にぶい褐色	○		○	金雲母,白粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
	615	－	J 5	Ⅱ	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	灰褐色			○	金雲母,白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	616	10273	F21	Ⅱ	171.307	沈線間に磨消縄文,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	617	－	D31	Ⅰ	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	618	20658	H53	Ⅳ	169.634	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	橙色	橙色			○	白粒多・茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	619	17433	F16	Ⅳ	171.577	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	620	22816	K18	Ⅳ	171.517	沈線,磨消縄文,赤色顔料付着,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○		良	鉢	胴部	Ⅷ
	621	22703	K19	Ⅳ	171.943	沈線,疑似縄文（貝?）,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	褐色		○	○	白粒多	良	鉢	胴部	Ⅷ
		－	K18	Ⅰ	－											
	622	22516	H28	Ⅳ	171.343	曲線文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい褐色	褐色	○				良	鉢	胴部	Ⅷ
	623	－	K19	Ⅳ	－	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
		22645	K19	Ⅳ	171.796											
	624	17265	G16	Ⅳ	171.538	沈線＋磨消縄文,赤色顔料付着,ナデ→ミガキ/ナデ	黒褐色	暗褐色		○	○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	625	19288	L19	Ⅱ	171.884	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色			○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	626	－	L21	－	－	沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	褐灰色	褐灰色	○				良	鉢	胴部	Ⅷ
	627	－	K17	Ⅱ	－	沈線＋磨消縄文,赤色顔料付着,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	にぶい黄橙色				白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	628	10531	G21	Ⅱ	171.399	沈線＋磨消縄文,赤色顔料付着,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	629	15216	G20	Ⅳ	171.313	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	○				良	鉢	胴部	Ⅷ
	630	－	J46	Ⅱ	－	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
62	631	22652	K19	Ⅳ	171.67	沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
		24540	K19	Ⅳ	171.662											
		22648	K19	Ⅳ	171.646											
	632	－	H16	Ⅱ	－	渦巻文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	灰黄褐色	黒褐色	○		○	金雲母,白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	633	23635	K16	Ⅳ	171.556	刺突＋渦巻文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	634	16572	E18	Ⅱ	171.413	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	明褐灰色				白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	635	25987	H49	Ⅳ	169.705	沈線＋磨消縄文,刺突,ナデ/ナデ	灰白色	灰白色					良	鉢	胴部	Ⅷ
	636	24508	K19	Ⅳ	171.781	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色	○			白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	637	21997	H26	Ⅳ	171.288	曲線文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	明黄褐色	明黄褐色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	638	1597	E43	Ⅱ	169.987	刺突,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	暗褐色	明黄褐色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
		1606	E43	Ⅱ	170.038											
		1602	E43	Ⅱ	170.011											
		1607	D43	Ⅱ	170.118											
	639	－	K19	Ⅳ	－	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○		良	鉢	胴部	Ⅷ
	640	－	K19	Ⅳ	－	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色			○		良	鉢	胴部	Ⅷ
	641	17405	F15	－	171.532	刺突沈線＋磨消縄文ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	642	11456	E27	Ⅳ	170.548	沈線,磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黒褐色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	643	20799	G23	Ⅳ	171.211	沈線,疑似縄文（貝?）,ナデ/ナデ	灰白色	灰白色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	644	19185	K19	Ⅱ	171.968	沈線＋磨消縄文ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黄灰色				白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	645	19241	K19	Ⅱ	171.982	曲線文＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	黄褐色	黄灰色	○			白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	646	23135	K17	Ⅳ	171.606	沈線＋磨消縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	黄褐色			○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	647	24685	L19	Ⅳ	171.599	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	灰白色	灰白色			○	白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	648	22743	K19	Ⅳ	171.918	沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	黒褐色	灰黄褐色				白粒,茶粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
63	649	10422	F20	Ⅱ	171.4	縄文,ナデ/ナデ→ミガキ	灰黄褐色	にぶい橙色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	650	－	K18	－	－	沈線＋磨消縄文,ナデ/工具ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	鉢	胴部	Ⅷ
	651	16721	E17	Ⅳ	171.324	口唇に斜位の刻み・粘土紐貼付,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	652	－	J18	Ⅱ	－	口唇に斜位の刻み・W字状粘土紐貼付,ナデ/ナデ→ミガキ	黒褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	653	15772	D20	Ⅳ	170.8	口唇に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	654	17130	F16	Ⅳ	171.539	口唇に斜位の刻み・粘土紐貼付,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	655	－	J17	Ⅱ	－	口唇に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	明黄褐色	にぶい黄褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	656	－	F21	Ⅳ	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	657	－	K18	Ⅰ	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	658	－	J17	Ⅱ	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色				金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	659	－	J18	Ⅱ	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/条痕→ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	660	－	K16	－	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	661	－	E19	Ⅳ	－	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	黒褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	662	16211	G19	Ⅳ	171.498	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	663	23119	K17	Ⅳ	171.62	口唇下位に斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色				茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	664	17229	G16	Ⅳ	171.616	口唇に斜位の刻み,口唇下位に斜線文ナデ/ナデ	明赤褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	665	－	J11	－	－	口唇下位に羽状沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	666	－	I17	Ⅳ	－	口唇下位に羽状沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	667	－	L19	－	－	口唇下位に羽状沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	668	22765	K19	Ⅳ	171.891	口唇に斜位の刻み,口唇下位に横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	669	19267	K19	Ⅱ	171.868	口唇に斜位の刻み,口唇下位に横位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	670	4536	G50	Ⅱ	169.806	口唇に斜位の刻み,口唇下位に横位の沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	671	22196	I28	Ⅳ	171.118	口唇に斜位の刻み,口唇下位に横位の沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	672	17021	F15	Ⅳ	171.599	口唇下位に横位の沈線,ナデ→ミガキ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
		－	F15	Ⅳ	－											
	673	10902	G20	Ⅱ	171.543	口唇下位に横位の沈線,ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
64	674	16098	G19	Ⅳ	171.293	口唇下位に横位の沈線＋磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	675	13064	F22	Ⅳ	171.169	口唇下位に矩形の沈線＋磨消縄文ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	676	26081	I47	Ⅳ	170.111	口唇下位に横位の沈線＋磨消縄文ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	677	－	K16	Ⅱ	－	口唇下位に横位の沈線＋磨消縄文,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	678	－	G16	Ⅳ	－	沈線＋磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ

表14　縄文時代遺物観察表　⑽

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
64	679	－	J18	Ⅱ	－	口唇に逆W字状粘土紐貼付,粘土紐に縄文,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	680	－	J17	Ⅱ	－	口唇に逆W字状粘土紐貼付,粘土紐に縄文,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	681	－	J17	Ⅱ	－	口唇に逆W字状粘土紐貼付,粘土紐に縄文,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	灰褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	682	17082	F15	Ⅳ	171.528	口唇から突帯にかけ粘土紐貼付,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	683	14147	E24	Ⅳ	170.727	口唇に粘土紐貼付,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	684	12002	F21	Ⅱ	171.34	口唇にW字状の粘土紐貼付,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	褐灰色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	685	8808	F29	Ⅲ	170.796	口唇にW字状の粘土紐貼付,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	686	－	K18	－	－	口唇・口唇飾り突起に斜位の刻み,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	687	－	E47	Ⅱ	－	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	灰褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	688	19296 19297	L19 L19	Ⅱ Ⅱ	171.884 171.888	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/工具ナデ	褐色	黒褐色		○	○	白粒,赤粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	689	22678	K19	Ⅳ	171.888	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/工具ナデ	黒褐色	暗褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	690	22707	K19	Ⅳ	171.863	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/工具ナデ	灰褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	691	－	L20	－	－	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	692	24588	K19	Ⅳ	171.758	口唇から突帯にかけS字状飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	693	－	－	－	－	口唇に円形の飾り突起,突帯に斜位の刻み,ナデ/工具ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	694	21316	I24	Ⅳ	171.325	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	695	16765	H17	Ⅳ	171.505	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
65	696	24521	K19	Ⅳ	171.656	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	697	15077	E24	Ⅲ	170.573	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	698	22716	K19	Ⅳ	171.871	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	699	－ －	J17 J18	Ⅱ Ⅱ	－ －	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	700	14146 －	E23 E23	Ⅳ Ⅱ	170.727 －	突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	701	18171	G16	Ⅳ	171.565	突帯に斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	702	22544	L19	Ⅳ	171.854	突帯上位に斜位の刺突,ナデ/ナデ	暗褐色	褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	703	9936	F22	Ⅱ	171.265	口唇に飾り突起,突帯に斜位の刻み,その上位に波状沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	704	21862	K19	Ⅳ	171.883	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に縦位の刻み,その上位に波状沈線,ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	705	－	K19	Ⅳ	－	突帯に連点,その上位に波状沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	706	2755	B42	Ⅱ	169.958	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	707	－	J16	Ⅱ	－	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	708	22621	K18	Ⅳ	171.728	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	褐灰色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	709	－	J16	Ⅱ	－	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	褐灰色	橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	710	15076	E24	Ⅲ	170.515	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	711	－	K22	－	－	口唇・突帯に斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	712	8661	F27	Ⅲ	170.674	口唇に羽状の刻み,突帯に斜位の刻みナデ/ナデ	黒褐色	橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	713	－	K16	－	－	口唇に縄文,突帯に斜位の刻みナデ/ナデ	橙色	橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	714	－	G16	Ⅰ	－	口唇に縄文,突帯に斜位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	715	19191	K19	Ⅱ	171.963	口唇に縄文,口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	灰褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	716	－	J17	Ⅳ	－	口唇に縄文,口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	717	14630	F19	Ⅱ	171.426	口唇に縄文,口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	718	17778	H16	Ⅳ	171.666	口唇に縄文,口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	719	15185	H20	Ⅳ	171.345	口唇に縄文,口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	黒褐色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	720	16021	E19	Ⅱ	171.266	突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	灰黄褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
66	721	15070	E24	Ⅲ	170.447	口唇に縄文押圧,飾り突起,突帯に斜位の貝腹縁刺突,ケズリ,ナデ/工具ナデ	橙色	橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	722	－	G16	Ⅰ	－	口唇に縄文,突帯に斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	褐色	褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	723	－	F 6	Ⅰ	－	口唇に縄文,突帯に斜位の貝腹縁刺突ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	724	10749	H20	Ⅱ	171.558	口唇に斜位の貝腹縁刺突,突帯に斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	灰褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	725	14097	E23	Ⅳ	170.519	突帯に斜位の貝腹縁刺突,その上位に刺突のあるボタン状突起,ナデ/ナデ	にぶい褐色	褐灰色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅷ
	726	－	K18	－	－	口唇に飾り突起,その下位に刺突のあるボタン状突起,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	727	13042	L15	Ⅲ	171.334	口唇外面・突帯に斜位の細沈線,その間に横位の沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	728	19278 －	K19 K19	Ⅱ －	171.939 －	口唇・突帯間に横位の沈線,突帯に斜位の刻み,ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	729	24587 22718	K19 K19	Ⅳ Ⅳ	171.849 171.866	口唇に斜位の刻み,突帯に連点,その間に波頂部を中心に相対する斜沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	730	19219	K19	Ⅱ	171.999	口唇にW字状の粘土紐貼付,沈線/－	にぶい褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	731	11671	E24	Ⅱ	170.896	横位の沈線＋条痕,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	732	－	J17	Ⅱ	－	横位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	733	－	H16	－	－	刺突から伸びる横位の沈線,斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	734	16020	E19	Ⅱ	171.291	深い斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	735	10445	F19	Ⅱ	171.343	口唇に斜位の刻み,飾り突起,ナデ/ナデ	橙色	にぶい黄褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	736	－	J17	Ⅱ	－	口唇に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	737	851	E46	Ⅱ	170.699	口唇に飾り突起,突起上に縄文,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	738	－	K19	Ⅱ	－	口唇に飾り突起,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	739	21343	I24	Ⅳ	171.282	口唇に飾り突起,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
67	740	10714	H20	Ⅱ	171.47	口唇に飾り突起,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	741	－	K17	Ⅱ	－	口唇にW字を意識した刻み,ナデ/工具ナデ	黒褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ

表15　縄文時代遺物観察表　(11)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
67	742	－	K18	－	－	口唇から突帯にかけ飾り突起,突帯に斜位の縄文押圧,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	灰白色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	743	19192	K19	Ⅱ	171.957	口唇から突帯にかけ飾り突起,ナデ/工具ナデ＋ナデ	黒褐色	赤褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅷ
	744	11967	G21	Ⅱ	171.364	口唇に飾り突起,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○			良	深鉢	口縁	Ⅷ
	745	－	J14	Ⅱ	－	口唇に飾り突起,突起上に縄文,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	746	－	F17	Ⅳ	－	口唇から垂下する飾り突起,突起上に沈線・縄文,ナデ/ナデ,ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅷ
	747	17043	F15	Ⅳ	171.552	縄文/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色		○		白粒,茶粒	良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	748	－	K17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色			○		良	浅鉢	口縁	Ⅷ
	749	－	G16	－	－	ナデ/－	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	Ⅲ	Ⅲ部	Ⅷ
	750	16010	E19	Ⅱ	171.243	ナデ/沈線,ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	Ⅲ	Ⅲ部	Ⅷ
	751	22820	K18	Ⅳ	171.536	口唇に刺突,ナデ/ナデ	灰黄色	黄灰色					良	ミニチュア土器	口縁	Ⅷ
	752	－	J17	Ⅱ	－	工具ナデ→ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	脚部	Ⅷ
	753	－	J11	Ⅱ	－	ナデ/工具ナデ→ナデ	橙色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	脚部	Ⅷ
	754	－	K14	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	黒色	黒褐色	○				良	深鉢	底部	Ⅷ
	755	－	J14	Ⅱ	－	沈線＋磨消縄文,ナデ/ナデ	黄灰色	浅黄色		○	○	白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅸ
		－	J14	Ⅱ	－											
		－	J14	Ⅱ	－											
		－	J15	Ⅱ	－											
	756	5794	H55	Ⅳ	169.582	沈線＋磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	757	11228	G23	Ⅱ	171.325	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色		○	○	金母雲,白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	758	－	K17	Ⅱ	－	沈線,刺突,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	759	－	G20	Ⅳ	－	横位の沈線間に疑似縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	760	11297	F22	Ⅱ	171.256	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	761	1728	E43	Ⅱ	170.398	沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	762	－	J17	Ⅱ	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	763	15725	G20	Ⅳ	171.318	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	764	－	L20	－	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	765	－	J15	Ⅳ	－	沈線間に磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
68	766	17818	G16	Ⅳ	171.643	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	767	－	K20	－	－	沈線,刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	768	－	J11	Ⅱ	－	刺突,沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	769	－	K17	Ⅱ	－	沈線,条痕,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	770	14384	E21	Ⅳ	170.995	沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	771	－	J18	Ⅱ	－	条痕,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	772	23617	K16	Ⅳ	171.564	沈線,疑似縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	773	－	K18	－	－	沈線,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	774	23609	K16	Ⅳ	171.592	口唇に刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	深鉢	口～胴	Ⅸ
	775	25151	L17	Ⅳ	171.442	ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	776	－	D32	Ⅱ	－	口唇外面に縄文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅸ
	777	17016	F15	Ⅳ	171.575	沈線,鋸歯状文,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	778	5821	H56	Ⅳ	169.672	沈線,連続刺突,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色			○	茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	779	－	H53	Ⅱ	－	沈線,連続刺突,磨消縄文,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	780	23584	K16	Ⅳ	171.681	沈線間に鋸歯状文,連点文,疑似縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○		○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
		－	K16	Ⅱ	－											
	781	－	F15	－	－	細沈線,細短沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅸ
	782	5654	E56	Ⅳ	170.127	口唇外面に沈線＋磨消縄文,連続刺突,沈線間に波状文,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	赤褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅹ
	783	25201	K15	Ⅳ	171.439	沈線＋磨消縄文,連続刺突,対向弧文,ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色				茶粒	良	深鉢	口～胴	Ⅹ
		23844	K15	Ⅳ	171.475											
		24796	K15	Ⅳ	171.497											
		23846	K15	Ⅳ	171.489											
		23843	K15	Ⅳ	171.474											
	784	4123	H28	Ⅱ	170.623	口唇外面に沈線・刺突・磨消縄文,連続刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	785	19541	G56	Ⅳ	171.264	口唇外面に沈線・磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	786	19478	E56	Ⅲ	171.869	口唇外面に沈線・磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	787	11061	F24	Ⅱ	170.917	口唇外面に沈線・磨消縄文,対向弧文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	788	－	K24	－	－	口唇外面に沈線・磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
	789	－	H28	Ⅱ	－	口唇外面に沈線・磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
		－	H29	Ⅱ	－											
	790	19479	E56	Ⅳ	171.839	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
		－	E56	Ⅳ	－											
	791	15984	F19	Ⅱ	171.392	補修孔あり,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
69	792	－	K21	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	Ⅹ
		25554	K21	Ⅳ	171.595											
	793	－	K16	－	－	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
		23841	K15	Ⅳ	171.48											
		24795	K15	Ⅳ	171.425											
	794	－	J16	Ⅱ	－	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	795	5300	F54	Ⅳ	169.792	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,凹点,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	796	19837	F54	Ⅳ	171.423	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
		5657	E56	Ⅳ	170.096											
	797	5206	H49	Ⅱ	169.888	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	798	4423	C34	Ⅱ	265.607	沈線,疑似縄文/ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	799	11111	F22	Ⅱ	171.276	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文,凹点,対向弧文/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	800	－	J11	－	－	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	801	－	E19	－	－	頸部に連続刺突,沈線,磨消縄文/ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	深鉢	胴部	Ⅹ
	802	11308	E22	Ⅱ	171.07	ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい黄褐色			○	白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
		－	E22	Ⅳ	－											
	803	5663	E56	Ⅳ	170.058	ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい黄褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	804	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/ミガキ	にぶい黄橙色	黄橙色				茶粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	805	7688	E27	Ⅱ	170.49	ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	806	7688	E27	Ⅱ	170.49	ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	807	5601	E54	Ⅳ	170.268	ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	底部	Ⅹ
	808	8475	E27	Ⅲ	170.473	横位の凹線,ナデ/ナデ	赤褐色	黒褐色		○		白粒	良	鉢	口縁	ⅩⅠ
		8929	E27	Ⅲ	170.407											
		8930	E27	Ⅲ	170.415											
	809	7690	E27	Ⅱ	170.556	横位の凹線,ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○			白粒	良	鉢	口縁	ⅩⅠ
	810	－	E27	Ⅱ	－	横位の凹線,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色				白粒	良	鉢	口縁	ⅩⅠ

表16　縄文時代遺物観察表　⑫

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
69	811	22916	L17	Ⅳ	171.464	胴部屈曲部に小さな刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい橙色	○	○	○	金雲母,白粒	良	鉢	胴部	XⅠ
		23778	L17	Ⅳ	171.43											
		22919	L17	Ⅳ	171.544											
	812	15354	E28	Ⅲ	170.418	沈線,ナデ/沈線,ナデ	黒褐色	にぶい褐色			○	白粒	良	深鉢	口～胴	XⅡ
	813	14217	F28	Ⅳ	170.762	沈線,ナデ/沈線,ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅡ
	814	8000	F27	Ⅱ	170.955	沈線,ナデ/沈線,ナデ	褐灰色	灰黄褐色			○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	XⅡ
	815	12286	F19	Ⅱ	171.448	口唇外面に沈線,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい褐色	橙色				白粒,茶粒	良	浅鉢	口縁	XⅡ
	816	9253	E30	Ⅲ	170.469	ミガキ/沈線,ミガキ	赤褐色	赤褐色				白粒,茶粒	良	浅鉢	口縁	XⅡ
	817	10671	G20	Ⅱ	171.471	ミガキ/沈線,ミガキ	黒褐色	にぶい黄橙色				白粒	良	浅鉢	口縁	XⅡ
	818	9252	E30	Ⅲ	170.493	ナデ/ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒,茶粒	良	浅鉢	口～胴	XⅡ
70	819	9308	D30	Ⅲ	170.566	ナデ→ミガキ/ナデ	橙色	橙色	○			白粒,茶粒	良	浅鉢	口～胴	XⅡ
		9653	D30	Ⅲ	170.585											
	820	18486	J38	Ⅱ	170.637	沈線,赤色顔料付着,ナデ→ミガキ/ナデ→ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	鉢	口～胴	XⅡ
	821	4201	J46	Ⅱ	170.304	口唇に沈線・刺突のある突起,突起下位に刺突のあるボタン状突起,ナデ/ナデ	浅黄色	黒褐色		○		白粒	良	鉢	口～胴	XⅡ
	822	－	K16	－	－	ミガキ/ミガキ	黒褐色	黒褐色			○		良	鉢	口縁	XⅡ
	823	SH85-12	－	－	－	三叉文,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい褐色	○				良	鉢	胴部	XⅡ
	824	8674	F28	Ⅲ	170.956	工具ナデ→ミガキ/工具ナデ→ミガキ	黒褐色	にぶい黄色		○	○	白粒	良	深鉢	胴部	XⅡ
	825	18153	F16	Ⅳ	171.495	工具ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅡ
	826	12165	G20	Ⅱ	171.483	工具ナデ/工具ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅡ
	827	22114	J27	Ⅳ	171.295	条痕＋ナデ/条痕＋ナデ	黒褐色	黒褐色	○			白粒	良	鉢	口～胴	XⅡ
	828	15798	G19	Ⅱ	171.532	条痕＋ナデ/ミガキ	にぶい黄橙色	灰黄色	○			白粒	良	鉢	口縁	XⅡ
	829	－	C34	－	－	工具ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色			○	白粒,茶粒	良	鉢	口縁	XⅡ
	830	－	J10	－	－	工具ナデ/工具ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色					良	鉢	口縁	XⅡ
	831	18486	J38	Ⅱ	170.637	ケズリ＋ナデ/条痕＋工具ナデ	明黄褐色	明黄褐色		○		白粒	良	鉢	口～胴	XⅡ
71	832	3211	B40	Ⅱ	170.281	底部に布目圧痕,条痕→ナデ/ナデ	にぶい橙色	橙色		○	○	白粒,茶粒	良	不明	底部	XⅡ
		－	B40	Ⅱ	－											
		3734	B40	Ⅱ	170.089											
		3410	B40	Ⅱ	170.172											
		3716	B40	Ⅱ	170.071											
	833	3149	B41	Ⅱ	170.371	底部にアンギン圧痕/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	不明	底部	XⅡ
	834	2934	B41	Ⅱ	170.241	底部にアンギン圧痕/ナデ	にぶい黄褐色	橙色				白粒,茶粒	良	不明	底部	XⅡ
	835	2791	B42	Ⅱ	170.047	底部にアンギン圧痕/ナデ	にぶい黄橙色	明黄褐色				白粒,茶粒	良	不明	底部	XⅡ
	836	15716	G20	Ⅳ	171.287	口唇にねじり紐状飾り,条痕/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	837	－	I10	Ⅱ	－	口唇にねじり紐状飾り,ナデ/ナデ	橙色	にぶい黄橙色		○		茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	838	－	D20	Ⅱ	－	口唇にねじり紐状飾り,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	839	11709	G24	Ⅱ	171.049	口唇にねじり紐状飾り,ナデ/ナデ	橙色	にぶい褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	840	－	H16	－	－	口唇に斜位の刻み,ナデ/ナデ	黒褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	841	－	L17	－	－	口唇に斜位の刻み,横位の連続刺突ナデ/ナデ	黒褐色	橙色				白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	842	－	K21	－	－	口唇に部分的な貝押圧,沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	843	16893	F28	Ⅳ	170.63	口唇に斜位の刻み,沈線,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	844	13868	F19	Ⅳ	171.328	口唇に斜位の刻み,S字状沈線,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
		11966	G21	Ⅱ	171.353		橙色	にぶい黄橙色								
	845	18715	L20	Ⅳ	171.811	口縁に交差する斜位の沈線,ナデ/ナデ	橙色	灰黄褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	846	－	J16	Ⅱ	－	口縁に沈線,連続短沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	○		○	茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	847	－	J11	Ⅱ	－	沈線,条痕→ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色			○	茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	848	17031	F15	Ⅳ	171.602	貝腹縁刺突,粘土紐貼付,ナデ/ナデ	橙色	暗赤褐色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	849	23886	K16	Ⅳ	171.418	沈線,貝腹縁押圧,ナデ/ナデ	にぶい橙色	褐灰色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	850	16633	F17	Ⅳ	171.566	矩形沈線,ナデ/ナデ	褐灰色	橙色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	851	9444	D27	Ⅲ	170.275	沈線間に連点文,ナデ/ナデ	黄橙色	橙色					良	深鉢	口縁	XⅢ
	852	25753	K21	Ⅳ	171.571	沈線間に連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	853	－	K20	－	－	条痕＋沈線,ナデ/条痕→ナデ	にぶい褐色	暗褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	854	17848	G16	Ⅳ	171.583	口唇に沈線・羽状の刻み,沈線,ナデ/沈線,ナデ	灰黄褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
		17854	F16	Ⅳ	171.596											
	855	15085	E24	Ⅲ	170.383	口唇に沈線・斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色				白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	856	12566	H23	Ⅳ	171.182	口唇に沈線,沈線,連続刺突,ナデ/－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色				白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	857	－	D35	Ⅰ	－	口唇に沈線・羽状の刻み,刺突,ナデ/沈線,刻み,ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
72	858	17543	G16	Ⅳ	171.605	口唇に羽状の刻み,沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色				白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	859	－	G20	Ⅱ	－	沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	灰黄褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	860	－	K21	－	－	貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	861	1624	D43	Ⅱ	170.13	沈線,ナデ/ナデ	黒褐色	灰黄褐色			○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	862	－	F17	－	－	沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色				茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	863	24647	K19	Ⅳ	171.736	斜位の沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	橙色	○	○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	864	7701	E25	Ⅱ	170.689	口唇に斜位の刻み・刺突,沈線,刺突ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	865	13040	L15	Ⅲ	171.304	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	橙色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	866	11868	G21	Ⅱ	171.352	羽状に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	867	－	J10	－	－	羽状に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	褐灰色	にぶい橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	868	17523	G16	Ⅳ	171.626	沈線間に貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	869	－	K16	Ⅱ	－	口唇に縄文,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	870	－	J18	Ⅳ	－	縦位の粘土紐貼付飾り,沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	871	23507	K16	Ⅳ	171.551	縦位の粘土紐貼付飾り,沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	灰褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	872	－	K18	Ⅰ	－	沈線,貝腹縁連続刺突,赤色顔料付着,ナデ/ナデ	赤褐色	明赤褐色	○				良	不明	口縁	XⅢ
	873	－	K18	Ⅰ	－	沈線,貝腹縁連続刺突,赤色顔料付着,ナデ/ナデ	赤褐色	明赤褐色					良	不明	口縁	XⅢ
	874	－	G21	－	－	刺突,沈線,ナデ/ナデ	黄灰色	灰白色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	875	－	I37	－	－	横位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色		○		白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	876	－	K17	－	－	横位の連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色			○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	877	－	J17	Ⅱ	－	口唇に刻み,ナデ/工具ナデ→ナデ	橙色	橙色				白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	878	17434	F16	Ⅳ	171.568	口唇に刻み,ナデ/工具ナデ→ナデ	黒褐色	にぶい褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口～胴	XⅢ
	879	19308	K18	Ⅱ	171.848	工具ナデ→ナデ/工具ナデ→ナデ	明褐色	明赤褐色	○		○	白粒	良	深鉢	口～胴	XⅢ
		19309	K18	Ⅱ	171.842			灰褐色								
	880	23906	K18	Ⅳ	171.466	ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色			○	白粒,茶粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
73	881	17469	H16	Ⅳ	171.704	ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
		17468	H16	Ⅳ	171.701											
		－	H16	Ⅳ	－											
		17759	H16	Ⅳ	171.639											
		－	H16	－	－											
	882	－	J47	Ⅳ	－	ナデ/ナデ	褐色	にぶい赤褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口～胴	XⅢ
	883	－	H22	－	－	ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	884	17726	G15	Ⅳ	171.622	ナデ/工具ナデ→ナデ	にぶい褐色	灰褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	885	17437	G16	Ⅳ	171.606	ナデ/ナデ	灰褐色	暗褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ

表17　縄文時代遺物観察表　⒀

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
73	886	15515	H19	Ⅳ	171.511	ナデ/ナデ	にぶい褐色	黒褐色	○	○	○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	887	21725	K19	Ⅳ	171.751	ナデ/ナデ	黒褐色	褐色		○	○	白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	888	－	F15	Ⅳ	－	沈線,ヘナタリ,ナデ/ナデ	明褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	口縁	XⅢ
	889	－	G16	－	－	沈線,ヘナタリ,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色		○	○	金雲母,白粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	890	17091	F15	Ⅳ	171.517	ヘナタリ,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	891	－	K20	－	－	縦位の凹線,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	892	－	I19	Ⅳ	－	沈線/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	893	－	G36	Ⅰ	－	細沈線による菱形格子目文,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	胴部	XⅢ
	894	－	J15	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	895	22674	K19	Ⅳ	171.824	ナデ/ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色	○	○			良	深鉢	底部	XⅢ
		24532	K19	Ⅳ	171.662											
	896	22644	K19	Ⅳ	171.891	工具ナデ→ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
		19262	K19	Ⅱ	171.961											
	897	18885	M20	Ⅳ	171.65	ケズリ＋ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	898	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	899	－	J17	Ⅳ	－	工具ナデ→ナデ/工具ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	900	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	明赤褐色		○	○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	901	－	J17	Ⅱ	－	指頭圧痕,ナデ/ナデ	灰黄褐色	にぶい褐色	○	○		白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
74	902	22748	K19	Ⅳ	171.819	ナデ/ナデ	褐灰色	褐灰色		○	○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	903	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい赤褐色	○	○	○		良	深鉢	底部	XⅢ
	904	－	K21	－	－	ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	905	3990	G28	Ⅱ	170.972	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	906	18681	J20	Ⅳ	171.941	工具ナデ→ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	橙色	○		○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	907	－	J17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	908	－	J12	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	909	－	I17	Ⅱ	－	ナデ/ナデ	黄灰色	にぶい赤褐色				白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	910	－	J17	Ⅱ	－	工具ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	911	17751	H16	Ⅳ	171.623	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	黄灰色	浅黄色	○			白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	912	23816	K16	Ⅳ	171.398	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	913	－	J16	Ⅱ	－	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○		○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	914	23587	K16	Ⅳ	171.481	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	915	23156	K17	Ⅳ	171.595	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	にぶい褐色	明赤褐色	○	○		白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
		－	K17	Ⅱ	－											
	916	24170	K17	Ⅳ	171.437	モジリ編み圧痕,ナデ/ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	○			白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	917	23076	K17	Ⅳ	171.443	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	918	－	J16	Ⅱ	－	スダレ状圧痕/ ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	○	○	○	白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	919	23136	K17	Ⅳ	171.558	平編み圧痕,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	920	－	K16	－	－	綾編み圧痕,ナデ/ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	○			金雲母,白粒	良	深鉢	底部	XⅢ
	921	－	J16	Ⅱ	－	スダレ状圧痕,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	深鉢	底部	XⅢ
75	922	－	J16	Ⅳ	－	渦巻凹・沈線文,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	○		○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	923	10754	H20	Ⅱ	171.535	沈線,斜位の刻み,穿孔途中,ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色		○	○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	924	17200	F16	Ⅳ	171.588	沈線,斜位の刻み,穿孔途中,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	925	－	J39	－	－	沈線,貝腹縁刺突,粘土紐貼付,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○		○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	926	－	F20	Ⅳ	－	斜位の貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色		○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	927	16903	F28	Ⅳ	170.595	ナデ/ナデ	橙色	橙色	○		○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	928	21300	I22	Ⅳ	171.387	沈線,ナデ/ナデ→ミガキ	灰黄色	灰黄色	○			白粒,茶粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	929	12695	G19	Ⅳ	171.559	沈線,磨消縄文,ナデ/工具ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	930	17050	F15	Ⅳ	171.523	ねじり紐状突起,斜向沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	931	23427	K16	Ⅳ	171.51	沈線,ナデ/ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	932	12852	H18	Ⅳ	171.571	ナデ/ナデ	明黄褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	933	16571	E18	Ⅱ	171.229	ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	934	－	K18	－	－	ナデ/ナデ	にぶい橙色	明赤褐色	○	○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	935	22880	L17	Ⅳ	171.464	ナデ/ナデ	黄褐色	灰黄褐色	○	○	○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	936	22979	K17	Ⅳ	171.522	ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	褐色	○	○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	937	15827	G19	Ⅱ	171.485	ナデ/ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	○		○		良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	938	14642	G19	Ⅱ	171.491	ミガキ/ミガキ	灰黄褐色	灰黄褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	939	－	F20	Ⅱ	－	ナデ/－	にぶい黄褐色	褐色	○	○	○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	940	25844	K19	Ⅳ	171.639	ヘナタリ,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	暗赤褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	941	－	F20	Ⅱ	－	ミガキ/ミガキ	黒褐色	にぶい黄褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	942	17381	F15	Ⅳ	171.555	ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	褐色	○	○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	943	－	E25	Ⅳ	－	ナデ/ナデ,中央に穿孔途中	にぶい褐色	にぶい赤褐色	○	○		白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	944	－	F20	Ⅱ	－	穿孔あり,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○			白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	945	19491	F56	Ⅳ	171.555	穿孔あり,ナデ/ナデ,沈線	にぶい橙色	にぶい橙色		○		白粒,茶粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
	946	－	G15	－	－	穿孔あり,ナデ/赤色顔料付着	赤褐色	にぶい黄褐色	○	○	○	白粒	良	円盤形土製加工品	－	XⅢ
76	947	18927	K21	Ⅳ	171.792	沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黒褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	XⅣ
	948	－	K16	－	－	飾り部,沈線,穿孔,ナデ/沈線,ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	XⅣ
	949	22138	J27	Ⅳ	171.165	飾り部,穿孔,刻み,連続刺突文,ナデ/沈線,ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	XⅣ
	950	19342	K16	Ⅳ	171.485	飾り部,穿孔,刻み,沈線,ナデ/沈線,刻み,ナデ	暗赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	XⅣ
	951	24398	K17	Ⅳ	171.485	飾り部,穿孔,刻み,沈線,ナデ/刻み,ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付Ⅲ	Ⅲ部	XⅣ

表18　縄文時代遺物観察表　(14)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高(m)	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
76	952	－	J17	Ⅱ	－	飾り部,粘土紐貼付,刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	953	－	I19	Ⅳ	－	斜位の刻み,ナデ/ナデ	にぶい赤褐色	赤褐色		○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	954	18984	K21	Ⅳ	171.544	沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	955	9999	G21	Ⅱ	171.475	飾り部,連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色		○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	956	－	－	－	－	飾り部,刺突から伸びる沈線,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
77	957	23379	K16	Ⅳ	171.576	沈線,刻み,ナデ/波状沈線,ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	958	25826	K17	Ⅳ	171.286	飾り突起部,刻み,沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	暗赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	959	3132	B41	Ⅱ	170.279	飾り部,穿孔,沈線,ナデ/沈線,ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	960	21571	F23	Ⅳ	171.14	飾り部,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	961	－	G15	－	－	沈線,刻み,穿孔,ナデ/刻み,ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	962	－	J17	－	－	ナデ/刺突,沈線,貝腹縁刺突,ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○		金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	963	－	J17	Ⅱ	－	ナデ→ミガキ/沈線,貝腹縁刺突,粘土紐貼付部に縄文,ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	○		○	金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	964	3851	C39	Ⅱ	170.494	ナデ/粘土紐貼付部に刺突,ナデ	橙色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	965	－	F17	Ⅰ	－	ナデ/口唇に粘土紐貼付,ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	966	14923	D21	Ⅳ	170.987	工具ナデ→ナデ/沈線,口唇に粘土紐貼付,ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○	○	白粒,茶粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	967	821	E46	Ⅱ	170.662	ナデ/刺突から伸びる沈線,口唇に粘土紐貼付,ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	968	17580	F15	Ⅳ	171.545	ナデ→ミガキ/沈線,連続刺突,口唇に粘土紐貼付,ナデ→ミガキ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
78	969	24022	K16	Ⅳ	171.374	飾り突起部,穿孔あり,ナデ/沈線,ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	970	23615	K16	Ⅳ	171.562	口唇に横位の沈線,ナデ/沈線,ナデ	明褐色	橙色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	971	15981	F19	Ⅱ	171.397	口唇平坦面に波状の粘土紐貼付,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○		○	金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	972	－	K16	－	－	口唇部に逆W字状の粘土紐貼付,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/貝腹縁刺突,ナデ	橙色	橙色			○	白粒,茶粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	973	23863	K16	Ⅳ	171.381	口唇部に逆W字状の粘土紐貼付,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/貝腹縁刺突,ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
		23937	K16	Ⅳ	171.444											
		－	K16	Ⅳ	－											
	974	23630	K16	Ⅳ	171.551	口唇に波状の粘土紐貼付,ナデ/ナデ	にぶい黄橙色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
		23632	K16	Ⅳ	171.566											
		23634	K16	Ⅳ	171.503											
	975	－	F16	－	－	口唇に斜位の刻み,ナデ/沈線,ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	976	21941	I24	Ⅳ	171.336	ナデ/沈線,ナデ/赤褐色		赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	977	11271	F23	Ⅱ	171.14	ナデ/沈線,ナデ/赤褐色		赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	978	－	I17	Ⅳ	－	ナデ/矩形の沈線間に疑似縄文（貝),ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	979	10434	F20	Ⅱ	171.396	ナデ/矩形の沈線間に縄文,ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	○			白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	980	25695	K17	Ⅳ	171.446	ナデ/細沈線間に連続刺突,ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○			白粒,茶粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	981	－	H30	Ⅱ	－	口唇に斜位の刻み,ナデ/沈線間に連点文,ナデ	明褐色	明褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	982	－	F15	Ⅳ	－	ナデ/沈線,ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	○	○		茶粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	983	18198	G16	Ⅳ	171.578	ナデ/沈線間に疑似縄文,ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	984	17080	F15	Ⅳ	171.527	口唇突起部に刺突,連続短沈線,ナデ/沈線,ナデ	にぶい黄色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	985	2582	E43	Ⅱ	170.228	ナデ/沈線,疑似縄文（貝),ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	986	11384	D27	Ⅱ	170.193	ナデ/沈線,連続刺突,ナデ	赤褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	987	21795	k18	Ⅳ	171.752	ナデ/刻み,ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○	○		金雲母,白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
79	988	14831	F20	Ⅳ	171.288	口唇にS字状の粘土紐貼付,縄文,ナデ/ナデ	黒褐色	黒褐色	○	○		白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	989	15995	F19	Ⅱ	171.437	ナデ/竹管刺突から伸びる沈線間に縄文,ナデ	にぶい褐色	黄褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	990	－	D19	Ⅳ	－	ナデ/沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ→ミガキ	赤褐色	にぶい黄橙色	○		○	白粒	良	台付皿	皿部	XⅣ
	991	－	J16	Ⅱ	－	ナデ→ミガキ/沈線,貝腹縁連続刺突,ナデ→ミガキ	褐色	褐色		○	○	金雲母,白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	992	アオP2923	－	－	－	ナデ→ミガキ/飾り突起に穿孔,刺突,沈線間に疑似縄文,ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○		金雲母,白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	993	アオP2923	－	－	－	ナデ→ミガキ/刺突,沈線間に疑似縄文,ナデ→ミガキ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	○	○	○	金雲母,白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	994	23798	K16	Ⅳ	171.49	沈線,刺突,刻み,赤色顔料付着,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
		23469	K16	Ⅳ	171.541											
		－	K16	－	－											
		－	K16	－	－											
	995	21331	I24	Ⅳ	171.318	沈線,竹管刺突,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	○		○	白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	996	17812	G16	Ⅳ	171.639	沈線,ナデ/ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	997	23798	K16	Ⅳ	171.49	沈線,刻み,刺突,赤色顔料付着,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	998	11775	H22	Ⅱ	171.429	横位の連続貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	明赤褐色	黄橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	999	14603	E19	Ⅱ	171.402	沈線,刻み,竹管刺突/ナデ	明赤褐色	黄橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1000	－	J17	Ⅱ	－	斜沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1001	4353	C36	Ⅱ	－	縦・横位の沈線間に疑似縄文（貝),ナデ/ナデ	橙色	にぶい黄橙色		○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
		4351	C36	Ⅱ	－											
	1002	17102	F15	Ⅳ	171.553	横位の貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1003	18569	F16	Ⅳ	171.458	斜位の貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1004	17359	F19	Ⅳ	171.363	斜位の貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1005	－	J17	Ⅱ	－	沈線,縦位の連続沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1006	15237	F20	Ⅱ	171.242	縦位の連続沈線＋縦位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	明褐色	明褐色	○	○	○	金雲母,白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1007	－	F15	Ⅲ	－	沈線,貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1008	16092	G19	Ⅳ	171.516	竹管刺突＋沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1009	14977	E20	Ⅱ	171.144	沈線状に縄文押圧,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○			白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1010	－	F30	Ⅱ	－	縦・横位の沈線＋縄文/ナデ	明黄褐色	明黄褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1011	12619	G19	Ⅳ	171.46	沈線＋貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1012	24840	K16	Ⅳ	171.343	沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	橙色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1013	4280	C37	Ⅱ	170.461	沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1014	21220	G22	Ⅳ	171.306	沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
80	1015	21121	F22	Ⅳ	171.277	条痕,斜位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1016	21494	F22	Ⅳ	171.248	沈線,斜位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色			○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
		21120	F22	Ⅳ	171.286											
	1017	－	J17	Ⅱ	－	沈線,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1018	22921	L17	Ⅳ	171.554	竹管刺突から伸びる沈線＋貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1019	11445	E27	Ⅱ	170.263	沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1020	17146	F16	Ⅳ	171.581	沈線,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1021	15245	F20	Ⅱ	171.268	沈線から伸びる斜位の連続沈線,ナデ/ナデ	橙色	にぶい橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
		10424	F20	Ⅱ	171.397											
		8632	G27	Ⅲ	170.839											
	1022	22755	K19	Ⅳ	171.849	刺突から伸びる縦位の連続沈線,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1023	21790	K18	Ⅳ	171.763	縦位の連続沈線,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1024	－	M19	－	－	太めな縦位の連続沈線,ナデ→ミガキ/ナデ	にぶい橙色	黄橙色		○		白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1025	14749	E20	Ⅱ	171.202	弧状の沈線,ナデ/ナデ	にぶい褐色	橙色		○	○	金雲母,白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ

表19　縄文時代遺物観察表　⒂

挿図	番号	取上番号	出土区	層	標高（m）	文様・器面調整等（外/内）	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 カクセン	胎土 他	焼成	器種	部位	類別
80	1026	15135	E24	Ⅲ	170.391	横位の貝腹縁連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	明黄褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1027	−	J16	Ⅱ	−	深めの沈線,刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1028	25434	K19	Ⅳ	171.67	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	橙色	明黄褐色			○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1029	22904	L17	Ⅳ	171.47	沈線,斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1030	−	J6	Ⅱ	−	横位の沈線,連続刺突,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1031	−	J17	Ⅱ	−	横位の連続爪形文,ナデ/ナデ	明褐色	明褐色	○			白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1032	17664	F16	Ⅳ	171.54	横位の刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1033	17610	F15	Ⅳ	171.511	底部にスダレ編み圧痕,指頭痕,ナデ/ナデ	赤褐色	にぶい褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1034	14197	F28	Ⅳ	170.773	刻み,ナデ/ナデ	赤褐色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1035	23541	K16	Ⅳ	171.426	斜位の貝腹縁刺突,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1036	−	L16	Ⅱ	−	ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1037	16579	E18	Ⅱ	171.371	ナデ/ナデ	黒褐色	にぶい橙色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1038	22672	K19	Ⅳ	171.872	ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1039	15743	G19	Ⅱ	171.574	ナデ/ナデ	にぶい褐色	赤褐色	○	○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1040	21834	K19	Ⅳ	171.718	沈線,凹点,ナデ/ナデ	赤褐色	赤褐色	○		○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1041	19168	K19	Ⅱ	171.988	渦巻文状の沈線間に縄文,ナデ/工具ナデ	橙色	黄橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1042	−	J15	Ⅱ	−	沈線間に縄文,竹管刺突,ナデ/ナデ	黄橙色	黄橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1043	12939	L26	Ⅱ	171.516	沈線,縄文,ナデ/ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○		白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1044	1234	E46	Ⅱ	170.526	沈線間に縄文,ナデ/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1045	−	I15	Ⅳ	−	渦巻文状の沈線,縄文/ナデ	橙色	橙色	○	○	○	白粒,茶粒	良	台付皿	脚部	XⅣ
	1046	22587	K18	Ⅳ	171.727	竹管文＋沈線＋縄文,ナデ/ナデ	橙色	橙色		○		白粒	良	台付皿	脚部	XⅣ

表20　縄文時代遺物観察表　⒃

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
21	25	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	G	16	−	SH38-184	23.5	21.5	2.58	5.8
	26	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	G	16	−	SH38	18.5	16.5	1.01	4
	27	棒状礫	−	AN	Ⅱ	G	16	−	SH38-202	67	34	74.75	23.5
24	38	磨製石斧	不明	SH	−	K	23	−	SH90	40	36.5	30.83	16
	39	礫器	Ⅱ	AN	Ⅱ	K	23	−	SH90	117.5	163.5	128	34
27	47	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	J	25	−	SH49	21.5	17.5	1.65	5.8
	48	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	J	25	−	SH49-33	18	23	1.67	4.8
	49	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅵ	J	25	−	SH49	18.5	17	0.77	3.8
	50	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	J	25	−	SH49	19	24	2.12	5.3
	51	打製石鏃	Ⅰ-a-1	めのう系	蛋白石	J	25	−	SH49	26	15	1.13	3.7
28	52	打製石斧	Ⅱ	AN	Ⅱ	M	22	−	集石１号３	145.5	104.5	552	28
36	63	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅴ	K	11	−	SK86	19	12	0.42	3.8
	71	石皿	−	AN	Ⅱ	I	14	−	SK40№１	224	198	3300	61
37	76	石皿	−	AN	Ⅱ	L	17	−	SK152- 1	210	204	3932	99
	82	石皿	−	AN	Ⅱ	K	17	−	SK148№１	225	231	6300	71
40	147	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	E	55	−	SK142	13.6	20.5	1.14	4.2
	148	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	E	55	−	SK142	21	15	0.84	4.5
	149	磨製石斧	Ⅰ	蛇紋岩	−	E	55	−	SK142	106.5	51	133.87	25

表21　縄文時代遺物観察表　⒄

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
87	1047	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	E	27	4	14188	47.292	263.343	170.477	14	14	0.51	2.5
	1048	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅳ	B	41	2	2862	18.478	405.311	170.244	15.5	15.2	0.65	3.9
	1049	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅳ	F	18	4	14673	58.974	179.743	171.602	15.3	11.9	0.53	3.7
	1050	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	B	41	2	2911	14.202	404.466	170.169	17.9	12.8	0.71	3.9
	1051	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	G	16	2	一括	−	−	−	14.9	14.2	0.62	3.7
	1052	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅵ	D	19	2	16379	38.890	184.360	171.012	19	14	0.67	4.2
	1053	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	B	42	2	3081	18.227	414.689	170.205	19	16	0.54	2
	1054	打製石鏃	Ⅰ-a-1	CH	−	E	29	3	9208	39.961	281.214	170.307	18.5	13	0.71	3.6
	1055	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅴ	J	46	2	4194	90.381	453.021	170.301	14.2	15.8	1.06	5.5
	1056	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	E	20	4	13889	45.830	199.652	171.209	16.2	14.3	1.28	5.3
	1057	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅲ	F	18	4	14678	56.059	177.991	171.589	16.4	15.4	1.16	4.9
	1058	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	B	42	2	3647	18.537	414.464	169.974	18.2	15.9	0.92	4
	1059	打製石鏃	Ⅰ-a-1	めのう系	玉髄	G	15	4	17658	70.140	147.843	171.691	18.8	14.8	0.88	3.5
	1060	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	E	26	2	一括	−	−	−	19.6	16.3	1.59	6.2
	1061	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅵ	F	55	4	5509	55.837	540.160	169.824	22.8	16.3	1.71	5.3
	1062	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	E	55	4	7391	45.458	543.036	169.991	23	18	2.09	5.5
	1063	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅵ	F	55	4	19588	58.503	543.527	171.331	22	21	2.28	4.1
	1064	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅵ	E	24	2	一括	41.885	426.904	170.210	14.8	16.2	1.67	5.2
	1065	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	F	20	2	10428	57.867	190.030	171.421	23	21	2.3	5
	1066	打製石鏃	Ⅰ-a-1	めのう系	玉髄	F	55	4	26090	57.091	540.021	169.475	23.4	18.9	2.54	8.3
	1067	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	F	28	2	3959	59.727	278.623	170.856	24	25	5.94	11.5
	1068	打製石鏃	Ⅰ-a-1	AN	Ⅰ	H	51	2	4567	45.324	514.495	169.716	14.2	12.5	0.44	3.2
	1069	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅴ	−		−	SH104一括	−	−	−	13.5	15.5	0.37	2.3
	1070	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅲ	E	45	2	1081	40.331	449.244	170.342	16.8	14.1	0.64	3.2
	1071	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅳ	E	21	4	14430	49.203	205.314	171.235	17.6	14.2	1.26	5.8
	1072	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅰ	H	19	4	12794	72.417	184.930	171.577	17.7	15.8	1	4.7
	1073	打製石鏃	Ⅰ-a-1	CH	−	D	44	2	2389	35.901	431.233	170.050	15	16	1.11	5
	1074	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅲ	K	16	4	23465	105.674	152.976	171.570	17.5	14.1	0.61	3.6
	1075	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	E	28	4	12332	42.654	273.902	170.129	18.9	16.1	1.13	5.1
	1076	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅳ	F	55	4	7042	53.706	540.472	169.803	18.8	19.9	1.14	3.7
88	1077	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	E	55	4	一括	−	−	−	21.9	20.5	2.56	7.3
	1078	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅴ	H	20	4	15387	71.334	191.204	171.524	21.3	19.1	1.84	5.3
	1079	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	F	54	4	7348	51.400	536.315	170.034	21.3	23.7	3.73	7.3
	1080	打製石鏃	Ⅰ-a-1	OB	Ⅱ	E	55	4	一括	−	−	−	24	20	3.44	9.5
	1081	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	B	41	2	3679	14.247	401.583	169.998	14.5	11	0.24	2
	1082	打製石鏃	Ⅰ-a-2	CH	−	F	17	4	16625	56.511	160.350	171.527	16	12	0.61	3
	1083	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	F	19	2	12246	58.316	185.890	171.464	15	11	0.33	3
	1084	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	I	21	4	21383	82.037	203.326	171.379	15.6	12.4	0.52	3.6
	1085	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅵ	K	17	4	25198	105.325	160.523	171.342	14.6	13.3	0.49	4
	1086	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	L	16	4	25158	110.385	159.704	171.368	14.1	15.2	0.78	4.6
	1087	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅵ	−		−	SK189	−	−	−	15	11.1	0.23	2.5
	1088	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	K	17	4	19081	105.979	166.413	171.566	15.9	13.6	0.48	2.8
	1089	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	E	55	4	5612	46.357	543.249	170.180	14.5	15.5	0.55	3.5

表22　縄文時代遺物観察表　⒅

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長(mm)	最大幅(mm)	重量(g)	厚さ(mm)
88	1090	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	F	21	－	一括	－	－	－	16.5	13.5	0.39	2.5
	1091	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	H	54	4	20577	73.814	534.263	169.635	15.7	12.8	0.32	2.8
	1092	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	I	46	2	4236	87.419	457.118	170.506	17.8	14.3	0.51	2.4
	1093	打製石鏃	Ⅰ-a-2	CH	－	G	50	2	4524	50.314	522.689	169.821	18	15	0.72	3
	1094	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅵ	F	15	4	17633	57.001	148.081	171.561	18.8	13.9	0.93	5.1
	1095	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	－		－	SK185	－	－	－	19.5	14	0.52	2.6
	1096	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	H	20	4	15210	72.244	196.350	171.318	17	16.4	0.78	3.4
	1097	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	J	13	2	一括	－	－	－	17	15.1	0.49	2.8
	1098	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	D	46	2	1196	30.240	455.556	169.805	19	17	0.7	4
	1099	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	G	20	4	13760	62.719	196.413	171.405	19.9	18	0.81	2.8
	1100	打製石鏃	Ⅰ-a-2	SH	－	F	28	2	3884	55.427	271.770	170.783	19	20	1.12	3.5
	1101	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	E	43	2	1767	48.522	424.190	170.517	22.5	17.5	0.98	3
	1102	打製石鏃	Ⅰ-a-2	HF	－	G	21	2	14849	61.607	204.626	171.302	23	13.5	1.46	5
89	1103	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅵ	J	9	－	赤2830	－	－	－	22.5	16	1.36	6
	1104	打製石鏃	Ⅰ-a-2	CH	－	C	46	2	1249	28.118	450.107	169.864	25	18	1.51	4
	1105	打製石鏃	Ⅰ-a-2	SH	－	I	54	4	20586	83.662	539.096	169.541	15.7	12.8	0.47	3.6
	1106	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	F	55	4	25946	57.217	540.030	169.484	13.9	13	0.46	4.3
	1107	打製石鏃	Ⅰ-a-2	SH	－	L	14	4	一括	－	－	－	14.2	12.2	0.38	2.8
	1108	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	E	27	3	9763	48.589	268.146	170.868	14.1	12	0.33	2.5
	1109	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	H	21	4	14807	70.093	204.331	171.299	19	13.5	0.49	2.8
	1110	打製石鏃	Ⅰ-a-2	CH	－	B	41	2	3128	12.366	401.565	170.124	16.8	13.7	0.61	3.2
	1111	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	E	25	4	15024	48.636	241.188	170.747	17.3	13.3	0.66	4.2
	1112	打製石鏃	Ⅰ-a-2	AN	Ⅰ	H	23	2	11596	77.968	229.429	171.222	15.3	14.1	0.45	3.1
	1113	打製石鏃	Ⅰ-a-2	SH	－	E	20	2	14783	45.892	193.838	171.237	16.3	14.4	0.45	3
	1114	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	H	21	2	11838	72.460	205.371	171.531	14.3	17.4	0.73	3.7
	1115	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅵ	G	16	4	一括	－	－	－	18.2	14.5	0.7	3.7
	1116	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅲ	K	19	4	24621	108.625	181.572	171.790	17.5	16.5	0.98	4.2
	1117	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	H	15	－	一括	－	－	－	17.3	23.7	1.62	4.6
	1118	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	F	55	4	6629	53.811	545.587	169.678	18.2	18.3	1.08	5.3
	1119	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	G	53	2	一括	－	－	－	19.2	18.6	1.47	6
	1120	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅳ	D	22	2	10246	38.332	210.744	171.075	18.1	19.1	1.05	3.6
	1121	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	G	19	4	15686	65.249	189.327	171.471	22	18.9	1.41	4.4
	1122	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	H	52	2	4672	79.225	513.970	169.696	24.2	21.2	1.92	5.6
	1123	打製石鏃	Ⅰ-a-2	OB	Ⅱ	L	22	4	一括	－	－	－	23.5	22	2.38	5.4
	1124	打製石鏃	Ⅰ-a-2鋸	OB	Ⅳ	J	18	2	一括	－	－	－	13.9	14	0.57	3.8
	1125	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅴ	－		－	SH103一括	－	－	－	14	11.5	0.27	3
	1126	打製石鏃	Ⅰ-a-3	CH	－	－		－	－	－	－	－	22	17	1.11	5
	1127	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅲ	K	6	2	一括	－	－	－	16	12	0.28	2.5
	1128	打製石鏃	Ⅰ-a-3	AN	Ⅰ	G	54	4	5769	60.715	538.952	169.753	17.5	13.5	0.39	3.1
	1129	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅱ	F	55	4	6662	55.670	545.801	169.672	18.1	15.1	0.87	5.5
	1130	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅴ	K	15	2	一括	－	－	－	18.5	13.9	0.82	4.2
	1131	打製石鏃	Ⅰ-a-3	CH	－	F	20	2	15118	54.101	192.489	171.262	17.8	15.7	0.73	3.3
	1132	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅴ	－		－	13315	98.858	62.100	171.826	13.8	14	0.29	3.2
	1133	打製石鏃	Ⅰ-a-3	OB	Ⅳ	G	54	4	20673	60.940	214.522	171.304	15.5	15.2	0.53	3.8
	1134	打製石鏃	Ⅰ-a-3	AN	Ⅰ	H/L	13	横転	一括	－	－	－	22.5	18.5	0.88	3.8
	1135	打製石鏃	Ⅰ-a-3	CH	－	F	55	4	7165	57.038	542.710	169.758	17.1	15.8	0.79	4.1
	1136	打製石鏃	Ⅰ-a-3鋸	CH	－	I	15	4	一括	－	－	－	15.8	12.6	0.47	3.4
90	1137	打製石鏃	Ⅰ-a-3鋸	CH	－	G	20	4	15425	69.232	195.088	171.417	18.2	13.4	0.4	2.7
	1138	打製石鏃	Ⅰ-a-3鋸	OB	Ⅲ	G	21	2	11882	68.282	204.614	171.439	14.6	14.2	0.52	3.5
	1139	打製石鏃	Ⅰ-a-3鋸	OB	Ⅲ	G	53	2	一括	－	－	－	19.5	14.1	0.61	3.5
	1140	打製石鏃	Ⅰ鋸破損	OB	Ⅲ	F	30	3	8840	56.210	293.509	170.675	17.8	15.4	0.75	3.8
	1141	打製石鏃	Ⅰ-b-1	OB	Ⅲ	K	18	4	22618	103.605	179.898	171.759	18	13.5	0.56	3
	1142	打製石鏃	Ⅰ-b-1	AN	Ⅰ	－		－	SK32	－	－	－	15.5	10.5	0.41	2.5
	1143	打製石鏃	Ⅰ-b-1	AN	Ⅰ	H	49	－	一括	－	－	－	13.3	18.4	0.61	2.2
	1144	打製石鏃	Ⅰ-b-1?破	OB	Ⅴ	J	16	－	一括	－	－	－	22	16.9	0.78	2.9
	1145	打製石鏃	Ⅰ-b-1	CH	－	E	24	3	15087	42.847	236.273	170.466	25	15	2.27	6.5
	1146	打製石鏃	Ⅰ-b-1	OB	Ⅲ	G	52	2	4737	65.224	515.074	169.623	25.6	16.1	2.61	8.9
	1147	打製石鏃	Ⅰ-b-1	SH	－	F	57	4	5902	58.421	560.225	169.727	29	20	4.4	10
	1148	打製石鏃	Ⅰ-b-1	OB	Ⅵ	F	55	4	19640	55.357	546.138	171.362	22.2	15.3	1.42	5.2
	1149	打製石鏃	Ⅰ-b-1	CH	－	F	55	4	7306	51.399	546.304	169.878	24.9	17.2	2.29	5.8
	1150	打製石鏃	Ⅰ-b-1	OB	Ⅲ	K	16	4	一括	－	－	－	14.6	17.3	1.32	5.8
	1151	打製石鏃	Ⅰ-b-1	OB	Ⅴ	E	20	2	10149	44.439	198.251	171.231	21.1	19.3	1.84	4.7
	1152	打製石鏃	Ⅰ-b-1鋸	CH	－	H	21	4	13642	74.451	205.943	171.401	18.1	8.7	0.45	3.9
	1153	打製石鏃	Ⅰ-b-1破損	OB	Ⅱ	F	22	4	12527	54.043	215.705	171.200	24.3	17.8	2.29	5.7
	1154	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	－		－	SK187	－	－	－	15.3	10.5	0.3	3.2
	1155	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	E	44	2	1425	48.329	438.694	170.601	17	12	0.48	2.5
	1156	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	G	19	2	11867	57.178	188.942	171.375	19.6	13.9	0.92	4.1
	1157	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅳ	B	41	2	2880	14.668	405.319	170.259	16.8	11.4	0.54	3.5
	1158	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	J	14	2	一括	－	－	－	17	12.9	0.49	3.5
	1159	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	D	45	2	987	33.876	446.687	170.121	19.4	13.8	0.82	3.9
	1160	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	I	24	4	21347	85.008	238.588	171.254	19.2	14	0.85	4.3
	1161	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	J	22	－	一括	－	－	－	20.9	14.5	1.35	6.3
	1162	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	－		－	北側一括	－	－	－	24.5	16	1.31	3.8
	1163	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	B	41	2	3152	18.399	400.782	170.356	19.5	15	0.58	2.5
	1164	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅵ	E	24	3	15067	43.065	236.933	170.516	22	13	1	5
	1165	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅳ	－		埋土	SK52	－	－	－	24.5	18	7.2	3
91	1166	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅲ	H	21	2	11855	77.580	200.112	171.428	24.5	15	0.72	3
	1167	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅵ	D	46	2	1216	39.454	452.893	170.517	25.1	13.2	0.88	4.2
	1168	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅵ	G	19	4	16086	63.145	187.103	171.458	23	16	0.84	3.5
	1169	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅳ	J	16	－	－	－	－	－	20.2	18	0.83	3
	1170	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	F	15	4	18285	54.478	145.503	171.478	25.3	15.5	1	4.3
	1171	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	E	44	2	1008	41.551	438.631	170.278	24	18	0.96	2.5
	1172	打製石鏃	Ⅰ-b-2	めのう系	玉髄	H	47	4	一括	－	－	－	18.6	12	0.46	3.6
	1173	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	H	15	4	18230	78.218	149.449	171.664	21	13.5	0.81	3.8
	1174	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅱ	F	19	4	17365	59.345	182.510	171.251	22.3	15.1	0.91	3.2
	1175	打製石鏃	Ⅰ-b-2破	AN	Ⅰ	－		－	SH112一括	－	－	－	21.5	17.5	0.76	3.9
	1176	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	G	51	2	4483	54.669	515.415	169.800	20.5	16	0.67	3
	1177	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅱ	G	19	4	12718	68.683	189.207	171.522	28.1	17	2.01	5.9
	1178	打製石鏃	Ⅰ-b-2	めのう系	玉髄	D	46	2	1114	39.297	457.810	170.654	27	19	1.24	4
	1179	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅴ	D	45	2	2156	32.834	450.165	169.633	17	14.5	0.54	3
	1180	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅳ	F	54	4	5410	58.539	540.036	169.831	13.1	15.6	0.43	3.2
	1181	打製石鏃	Ⅰ-b-2	CH	－	E	25	4	14302	44.139	240.557	170.639	18.9	19.2	1.36	3.9
	1182	打製石鏃	Ⅰ-b-2	AN	Ⅰ	H	49	2	一括	－	－	－	18.7	17.6	1.08	4.5
	1183	打製石鏃	Ⅰ-b-2	OB	Ⅳ	K	19	4	22657	105.294	180.299	171.733	18	20.5	1.17	3.5
	1184	打製石鏃	Ⅰ-b-2鋸	OB	Ⅱ	J	17	2	一括	－	－	－	23	13.2	0.91	4.1

表23　縄文時代遺物観察表　⑲

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長(mm)	最大幅(mm)	重量(g)	厚さ(mm)
91	1185	打製石鏃	Ⅰ-b-3	CH	－	D	45	2	1388	39.526	440.664	170.163	22	14.5	0.67	3
	1186	打製石鏃	Ⅰ-b-3	CH	－	B	42	2	3093	14.561	420.162	169.892	26	14.5	0.8	3.5
	1187	打製石鏃	Ⅰ-b-3	めのう系	玉髄	E	55	4	5624	44.849	546.135	170.018	25	15.5	1.26	6
	1188	打製石鏃	Ⅰ-b-3	めのう系	玉髄	F	54	4	6322	54.651	539.145	169.787	21.2	12.5	0.61	3.3
	1189	打製石鏃	Ⅰ-b-3	CH	－	F	55	4	6107	57.841	542.701	169.814	20.8	16.6	1	3.7
	1190	打製石鏃	Ⅰ-b-3	AN	Ⅰ	G	29	2	4122	67.255	284.396	170.653	18.5	17.1	0.76	3.5
92	1191	打製石鏃	Ⅰ-b-3	めのう系	玉髄	E	28	－	一括	－	－	－	23.2	19.6	1.28	4.4
	1192	打製石鏃	Ⅰ-b-3	OB	Ⅵ	F	15	4	一括	－	－	－	19.7	22.8	1.6	5
	1193	打製石鏃	Ⅰ-b-3	OB	Ⅵ	F	22	2	9977	43.221	217.647	171.071	14.8	21.1	0.88	3.8
	1194	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅳ	－		－	SH102一括	－	－	－	16	11.2	0.25	1.9
	1195	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅲ	G	20	2	12102	64.282	192.276	171.467	25	12.5	0.94	3.9
	1196	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅲ	D	27	3	9096	38.767	269.735	170.327	24	14.8	1.18	5.1
	1197	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅳ	D	45	2	1334	33.152	444.770	169.838	22.3	12.6	0.52	3.7
	1198	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅳ	J	19	2	一括	－	－	－	25.1	16	1.11	3.4
	1199	打製石鏃	Ⅰ-b-3鋸	OB	Ⅳ	K	14	2	－	－	－	－	33	14.5	1.19	4.3
	1200	打製石鏃	Ⅰ-b-4	AN	Ⅰ	H	17	4	－	－	－	－	29.5	17.5	1.62	3.6
	1201	打製石鏃	Ⅰ-b-4	CH	－	K	19	4	－	－	－	－	27	19	1.15	3.5
	1202	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	SH	－	－		－	SH102一括	－	－	－	21	13.4	0.68	4
	1203	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	CH	－	B	39	2	4337	18.265	388.767	170.215	24.2	17.4	1.59	5.4
	1204	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	OB	Ⅵ	G	23	4	21664	60.888	224.166	171.122	27.4	12.9	0.92	4.3
	1205	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	OB	Ⅴ	F	26	2	一括	－	－	－	20.6	13.1	0.69	3.4
	1206	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	OB	Ⅳ	K	6	4	20358	101.963	53.690	172.625	19.6	13.8	0.5	2.9
	1207	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	OB	Ⅳ	J	6	2	一括	－	－	－	20.2	13.1	0.79	3.1
	1208	打製石鏃	Ⅰ-b-4鋸	OB	Ⅲ	D	34	2	一括	－	－	－	22	15.6	1.24	5
	1209	打製石鏃	Ⅰ-b破損	OB	Ⅵ	F	56	4	5942	52.613	558.008	169.850	16.1	12.9	0.7	3.8
	1210	打製石鏃	Ⅰ-b破損	OB	Ⅱ	J	6	－	一括	－	－	－	20.4	19.3	2	5.8
	1211	打製石鏃	Ⅰ-b破損	CH	－	F	23	2	9903	51.679	214.944	171.243	23.6	19	2.41	5.7
	1212	打製石鏃	Ⅰ-c-2	CH	－	B	41	2	2940	18.020	401.753	170.310	22	11	0.49	2.5
	1213	打製石鏃	Ⅰ-c-2	SH	－	G	23	4	12557	61.902	228.948	171.054	27.5	14	1.19	3.5
	1214	打製石鏃	Ⅰ-c-2	SH	－	J	15	4	一括	－	－	－	35	17	2.08	6
	1215	打製石鏃	Ⅰ-c-3	CH	－	E	30	3	8893	47.144	297.695	170.726	33	16	3.16	6.5
	1216	打製石鏃	Ⅱ-b-4鋸	CH	－	D	29	3	9649	34.397	282.250	170.121	18.9	11.8	0.45	2.6
93	1217	打製石鏃	Ⅱ-c-2	OB	Ⅳ	D	44	2	2645	32.795	437.032	169.987	20	12	0.86	4
	1218	打製石鏃	Ⅱ-b-2	CH	－	H	48-49	－	炉27	－	－	－	27.9	19.9	1.8	5.4
	1219	打製石鏃	Ⅲ	CH	－	E	28	2	12299	45.206	270.708	170.257	25	18.5	2.92	6.7
	1220	打製石鏃	Ⅲ	OB	Ⅱ	E	55	4	一括	－	－	－	27.2	23	4.23	7.8
	1221	打製石鏃	Ⅲ	OB	Ⅲ	F	16	4	18240	54.698	150.992	171.458	18.4	10	0.53	3.5
	1222	打製石鏃	Ⅲ-b-2	AN	Ⅰ	C	45	2	1293	28.994	445.078	169.764	21	10.5	0.66	3
	1223	打製石鏃	Ⅲ-b-2	HF	－	F	54	4	5310	54.495	536.790	169.894	24	12	1.62	6
	1224	打製石鏃	Ⅲ-c-1	AN	Ⅰ	B	40	2	3777	14.501	392.046	170.062	32	9	0.74	2
	1225	打製石鏃	未製品	CH	－	F	43	2	1630	41.885	426.904	170.210	22	14.5	1.08	5.8
94	1226	両面加工尖頭器	－	OB	Ⅱ	H	21	2	10590	71.376	200.095	171.485	33	20.7	5.82	10.7
	1227	両面加工尖頭器	－	OB	Ⅱ	F	54	4	20546	58.694	537.213	169.557	31.2	20	4.94	9.3
	1228	両面加工尖頭器	－	OB	Ⅱ	F	22	4	13968	54.065	211.833	171.128	31.1	27.2	7.3	11.7
	1229	両面加工尖頭器	－	OB	Ⅱ	C	46	2	1241	29.924	451.045	169.826	37.6	21.8	7.25	10.6
	1230	石匙	－	CH	－	K	6	2or4	20280	100.304	57.224	172.745	26.2	36.9	6.48	7.3
	1231	石匙	－	AN	Ⅰ	D	45	2	615	38.053	449.038	170.435	39	22.3	5.01	8.4
	1232	石匙	－	OB	Ⅱ	J	26	4	22460	96.884	258.240	171.247	44.5	68	31.11	17.6
95	1233	石匙	－	CH	－	G	19	4	16228	68.294	181.329	171.423	50.5	53.5	20.3	11
	1234	石匙	－	AN	Ⅰ	D	26	2	7777	39.567	252.740	170.674	77.8	50.5	55.95	12.6
96	1235	スクレイパー	－	OB	Ⅳ	D	45	2	800	35.879	444.968	170.066	16.2	9.8	0.53	3.2
	1236	スクレイパー	－	OB	Ⅳ	D	30	3	9305	33.241	295.668	170.328	17.8	13.3	0.98	4.4
	1237	スクレイパー	－	OB	Ⅲ	L	17	4	22894	112.531	164.099	171.501	21.8	14.1	1.25	5.4
	1238	スクレイパー	－	OB	Ⅲ	L	16	4	23296	114.611	150.407	171.439	18.9	17.8	1.47	7
	1239	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	G	52	2	4837	64.560	511.142	169.644	34.1	31.3	8.72	8.9
	1240	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	M	20	4	18871	121.406	198.762	171.761	34.3	23.8	8.15	11.6
	1241	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	E	55	4	一括	－	－	－	40	28.8	8.62	10
	1242	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	G	19	4	15497	61.504	189.993	171.364	44.1	24.8	7.87	11.2
	1243	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	H	50	4	20656	71.636	495.685	169.533	64.9	45.4	33.73	15.8
97	1244	スクレイパー	－	OB	Ⅲ	D	22	2	10247	37.903	211.022	171.087	14.5	21.3	1.8	6.5
	1245	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	D	50	2	18	33.105	495.593	170.505	18.1	36.1	4.93	10.4
	1246	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	H	49	2	8061	60.638	260.748	170.984	56.9	24.7	14.67	11.6
	1247	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	F	56	4	20648	57.258	550.699	169.536	43.4	33.2	15.05	10
	1248	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	J	12	2	－	－	－	－	32.5	25.5	9.47	11.5
	1249	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	J	19	2	－	－	－	－	52.5	60	50.13	18.5
98	1250	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	J	19	2	－	－	－	－	41	43.2	23.75	17
	1251	スクレイパー	－	CH	－	G	16	4	17532	64.813	150.733	171.602	20.8	35.5	7.94	10.8
	1252	スクレイパー	－	CH	－	J	6	－	一括	－	－	－	28.6	57	21.3	13.6
	1253	スクレイパー	－	AN	Ⅰ	B	40	2	3175	18.601	394.189	170.471	40.9	52.8	14.27	7.5
	1254	スクレイパー	－	AN	Ⅰ	B	41	2	3695	10.863	400.165	169.938	28	72	21.52	13
99	1255	スクレイパー	－	AN	Ⅰ	H	54	4	5715	74.796	539.389	169.467	44.3	66.2	26.88	11.2
	1256	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	H	19	4	16131	71.586	184.020	171.456	35.8	56.6	22.96	16.5
	1257	スクレイパー	－	AN	Ⅰ	J	35	－	一括	－	－	－	39.7	58.6	18.06	10.7
	1258	スクレイパー	－	AN	Ⅰ	B	42	2	2793	13.360	412.438	169.977	46.3	74	31.97	13.4
100	1259	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	－		－	SH106一括	－	－	－	39	38	13.65	13.8
	1260	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	－		－	SH102一括	－	－	－	28.9	28.9	6.32	10.1
	1261	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	－		－	SH102一括	－	－	－	40.5	44	25.15	15
	1262	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	－		－	SH102一括	－	－	－	36	56.5	19.35	12
	1263	スクレイパー	－	OB	Ⅱ	－		－	SH97一括	－	－	－	45.5	60	32.05	19
101	1264	石錐	－	OB	Ⅲ	F	16	4	18237	56.680	150.133	171.479	22.5	14.5	1.15	4.8
	1265	石錐	－	OB	Ⅵ	F	15	4	18055	56.192	147.091	171.515	23.8	13.6	1.27	4.9
	1266	石錐	－	OB	Ⅴ	－		－	SH103	－	－	－	25.5	11.5	1.3	7
	1267	石錐	－	AN	Ⅰ	F	54	4	5307	54.346	536.937	169.896	34.5	11	2.07	6
	1268	石錐	－	AN	Ⅰ	E	22	4	10019	43.310	214.744	171.107	30	21	4.78	9.5
	1269	石錐	－	OB	Ⅱ	E	55	4	5617	45.649	543.388	170.200	25	15	2.76	9.5
	1270	石錐	－	めのう系	玉髄	H	28	2	4027	74.764	275.146	170.978	45	23	3.97	7
	1271	石錐	－	AN	Ⅰ	G	16	4	17986	60.682	156.065	171.530	33.8	28.1	3.62	6.9
	1272	楔形石器	－	OB	Ⅱ	G	16	4	17264	61.934	154.773	171.526	19.2	17	2.57	8
	1273	楔形石器	－	OB	Ⅱ	F	54	4	5337	55.566	537.086	169.846	27.8	22.6	4.79	9
	1274	楔形石器	－	OB	Ⅱ	E	19	2	10924	48.666	186.518	171.398	20	20.3	2.69	6
	1275	楔形石器	－	OB	Ⅵ	H	56	4	5819	71.772	552.977	169.754	26	14	1.55	5
	1276	楔形石器	－	OB	Ⅱ	J	5	2	－	－	－	－	30.8	21	8.86	13
	1277	異形石器	－	OB	Ⅳ	J	14	2	－	－	－	－	8	17	0.28	3
102	1278	二次加工剥片	A	OB	Ⅲ	E	20	2	14742	42.978	195.382	171.200	20.6	11.5	0.86	4.1

表24　縄文時代遺物観察表　⑳

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長(mm)	最大幅(mm)	重量(g)	厚さ(mm)
102	1279	二次加工剥片	A	CH	−	B	41	2	2862	18.478	405.311	170.244	20.1	12.6	1.64	7.1
	1280	二次加工剥片	A	OB	Ⅵ	I	54	4	25996	81.942	533.531	169.321	22.5	16.7	1.2	5.6
	1281	二次加工剥片	A	OB	Ⅲ	K	23	−	−	−	−	−	25.5	12.9	1.28	5.2
	1282	二次加工剥片	A	OB	Ⅳ	F	18	4	14681	57.074	174.166	171.577	26.9	10.2	1.07	5
	1283	二次加工剥片	A	OB	Ⅲ	E	19	4	12872	47.574	189.907	171.374	23.4	14	0.92	3.9
	1284	二次加工剥片	A	OB	Ⅲ	G	20	4	15700	66.079	191.069	171.322	24.2	13.2	1.07	4.7
	1285	二次加工剥片	A	AN	I	F	54	4	6138	54.988	535.960	169.758	20.4	13.3	1.57	5.3
	1286	二次加工剥片	A	OB	Ⅲ	F	43	2	1859	50.468	429.955	170.495	24.1	12.5	2	7.7
	1287	二次加工剥片	A	OB	Ⅵ	H	16	4	17474	72.570	154.724	171.693	27.8	12.5	2.97	9.7
	1288	二次加工剥片	A	OB	Ⅳ	J	6	4	一括	−	−	−	32	18.7	5.32	11.1
	1289	二次加工剥片	A	OB	Ⅳ	E	30	3	8873	48.611	291.127	170.578	30.5	17	3.89	7.1
	1290	二次加工剥片	A	OB	Ⅱ	G	16	4	17511	66.721	150.771	171.615	36.6	23.6	6.81	8.9
	1291	二次加工剥片	A	OB	Ⅱ	F	28	2	11534	57.022	280.152	171.028	30.8	22.5	5.15	7.1
	1292	二次加工剥片	A	SH	−	F	55	4	6514	57.005	541.902	169.859	38.6	16.3	5.07	10.1
	1293	二次加工剥片	A	OB	Ⅱ	E	30	2	11521	45.643	298.632	170.628	52.9	33.9	25.18	16.9
	1294	二次加工剥片	A	OB	Ⅱ	L	17	4	19020	110.511	164.721	171.554	36.1	20	6.87	12.8
103	1295	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	F	26	2	一括	−	−	−	10.1	14	0.54	3.5
	1296	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	E	23	3	9789	53.289	216.344	171.252	13.2	16	0.75	3.6
	1297	二次加工剥片	B	SH	−	H	25	4	14233	78.742	235.654	171.132	14.2	13.8	0.51	2.8
	1298	二次加工剥片	B	OB	Ⅳ	D	34	2	一括	−	−	−	17.2	17.7	1.77	7.7
	1299	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	B	41	2	3386	13.402	400.849	170.136	15.9	9.6	0.49	3.2
	1300	二次加工剥片	B	OB	Ⅵ	G	21	4	13695	62.349	204.478	171.352	19.3	19.1	2.37	6
	1301	二次加工剥片	B	OB	Ⅴ	L	15	4	23311	110.591	149.832	171.496	23.3	16.4	1.17	3.7
	1302	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	B	42	2	2684	18.465	415.998	170.175	23.7	19.2	3.2	7.7
	1303	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	F	56	4	5974	53.448	555.586	169.810	22.3	21.8	1.97	5.1
	1304	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	E	23	2	11641	43.204	225.110	170.878	18.2	18.8	1.74	6.5
	1305	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	F	23	2	9830	52.841	221.959	171.251	21.5	27.4	5.3	8.8
	1306	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	D	20	2	14929	36.833	197.352	171.098	24.9	27.9	5.69	8.1
	1307	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	K	18	4	一括	−	−	−	29	22.2	5.85	10.8
	1308	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	E	23	2	11355	47.362	223.746	171.027	14.7	20.8	2.81	7.8
	1309	二次加工剥片	B	AN	I	F	20	2	12054	59.521	191.380	171.458	17	26.1	2.99	6.7
	1310	二次加工剥片	B	AN	I	J	13	2	一括	−	−	−	19	23.5	2.81	9
	1311	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	J	24	4	21352	90.093	231.111	171.334	32.6	36.1	13.52	11.6
	1312	二次加工剥片	B	CH	−	E	27	2	11468	48.609	269.735	170.667	32.1	30.1	5.76	8.4
104	1313	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	F	16	4	17671	56.598	154.886	171.554	18.6	20.8	1.16	4.1
	1314	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	G	52	2	一括	−	−	−	14.5	22.9	1.37	4.4
	1315	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	G	53	2	一括	−	−	−	29.4	19.4	2.75	7.8
	1316	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	F	15	4	17114	52.434	149.475	171.551	29.1	20.6	3.18	7.1
	1317	二次加工剥片	B	OB	Ⅲ	D	21	2	10230	39.311	201.433	171.138	18.2	21.4	1.91	7.5
	1318	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	K	18	4	18964	107.380	170.997	171.578	25.1	23.4	3.03	6.5
	1319	二次加工剥片	B	CH	−	E	44	2	1440	42.582	436.050	170.558	17.1	26.5	3.9	7.3
	1320	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	K	18	4	22822	106.923	172.575	171.569	25.2	27.1	3.36	8.6
	1321	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	E	55	4	5629	45.780	547.556	170.087	38.8	34.8	7.7	7.4
	1322	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	G	18	4	16339	61.662	179.327	171.535	24.9	23.7	4.97	9.4
	1323	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	E	18	−	一括	−	−	−	32	37.2	10.49	9.7
	1324	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	F	16	4	16912	55.851	155.593	171.551	30.2	25.3	4.96	8.1
	1325	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	G	15	表/4	一括	−	−	−	26.3	32.1	10.06	12.7
	1326	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	G	55	4	19568	68.843	547.783	171.291	31.7	34.4	11.44	12.9
105	1327	二次加工剥片	B	CH	−	F	16	4	18246	52.303	150.031	171.473	43.6	30.5	10.33	9.1
	1328	二次加工剥片	B	OB	Ⅱ	E	28	3	9175	46.566	276.676	170.385	45.9	35.2	13.98	13.4
	1329	二次加工剥片	B	AN	I	K	13	2	一括	−	−	−	42	45	11.72	6.9
	1330	二次加工剥片	C	OB	Ⅲ	K	18	4	22605	103.984	177.629	171.700	17.5	16.7	1.39	5.4
	1331	二次加工剥片	C	OB	Ⅱ	D	20	2	14935	38.865	194.457	171.145	20.1	28.7	4.34	14.5
	1332	二次加工剥片	C	OB	Ⅵ	F	20	2	15234	59.061	195.162	171.238	25.6	35.8	9.05	14.2
	1333	二次加工剥片	C	OB	Ⅲ	G	18	4	16336	67.610	174.460	171.560	31.7	20.9	5.21	11.3
	1334	二次加工剥片	C	OB	Ⅱ	E	44	2	1421	45.397	438.017	170.476	19.5	30	5.6	9.8
	1335	二次加工剥片	C	CH	−	F	19	2	15541	54.552	188.615	171.331	24.6	26.7	5.98	10.7
	1336	二次加工剥片	C	OB	Ⅱ	D	19	2	14590	39.604	188.192	171.320	35.3	34.4	17.27	14.3
106	1337	二次加工剥片	C	OB	Ⅱ	G	22	4	20869	68.393	217.196	171.379	41.2	29.3	11.9	17.4
	1338	二次加工剥片	C	CH	−	K	13	2	一括	−	−	−	38.5	22.5	9.04	11.5
	1339	二次加工剥片	D	OB	I	G	52	2	一括	−	−	−	21.1	17.3	1.58	5
	1340	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	D	55	−	一括	−	−	−	23.3	20.6	3.01	7.1
	1341	二次加工剥片	D	AN	I	G	54	4	19861	62.808	536.345	171.669	18.6	19.2	0.86	3.3
	1342	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	F	54	4	5340	55.667	537.302	169.841	29.9	27.1	7.47	9.4
	1343	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	C	45	2	1905	57.128	437.229	169.587	27.1	23.6	6.75	11.4
	1344	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	F	27	2	8043	56.849	267.567	170.812	41.3	32	10.64	10
	1345	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	F	18	2	10991	57.764	172.593	171.657	28.2	30.6	12.43	13.1
	1346	二次加工剥片	D	OB	Ⅱ	D	37	2	4380	38.975	362.951	266.223	32.8	31	14.77	15.8
	1347	二次加工剥片	E	OB	Ⅲ	F	15	4	17373	54.827	146.936	171.514	17.2	9.2	0.35	2.5
	1348	二次加工剥片	E	OB	Ⅳ	G	17	4	一括	−	−	−	24.5	13.5	1.7	6.1
	1349	二次加工剥片	E	OB	Ⅱ	J	29	2	一括	−	−	−	24.2	16.2	2.15	9.4
	1350	二次加工剥片	E	CH	−	H	50	2	4826	73.618	496.967	169.659	25.4	16.3	2.76	7.7
	1351	二次加工剥片	F	AN	I	H	16	2	一括	−	−	−	33	14.7	2.12	5.7
107	1352	サイドブレイド	−	OB	Ⅱ	L	17	4	22876	112.379	165.107	171.495	21	125	1.14	5.2
	1353	サイドブレイド	−	OB	Ⅲ	F	24	2	11692	54.859	239.161	171.036	23.5	12.5	1.22	4.5
	1354	サイドブレイド	−	OB	Ⅵ	D	46	2	478	35.238	454.671	170.145	26.5	13.5	1.49	6
	1355	サイドブレイド	−	OB	Ⅲ	C	45	2	1360	29.355	440.019	170.098	29	19	4.18	10.8
	1356	サイドブレイド	−	OB	Ⅳ	F	17	4	一括	30.240	455.556	169.805	26	17	2.6	6.8
	1357	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅵ	F	55	4	19627	56.002	546.446	171.304	14.5	8.2	0.2	2.5
	1358	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅲ	D	20	2	14696	37.000	191.917	171.278	23.6	14.2	1.76	5.5
	1359	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅳ	−		−	SH112	−	−	−	24	12	1.25	5.5
	1360	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅱ	C	35	2	4349	22.372	346.199	265.522	33.9	41.9	16.42	11.6
	1361	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅱ	G	23	2	11233	64.017	227.356	171.242	38.4	27.2	8.6	9.6
	1362	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅲ	J	15	2	−	−	−	−	32	23.9	5.09	8.9
	1363	微細剥離痕剥片	−	OB	Ⅱ	G	16	4	17841	64.298	151.394	171.583	28.9	33.1	8.56	10.8
108	1364	石核	I-a	OB	Ⅲ	G	24	2	11707	62.335	238.543	171.085	21.8	27.6	8.54	14.9
	1365	石核	I-a	OB	Ⅱ	D	31	3	9296	32.380	302.530	170.405	34	32	20.71	22
	1366	石核	I-a	OB	Ⅱ	G	16	4	18211	67.829	152.104	171.613	40	41.5	30.08	25
	1367	石核	I-a	OB	Ⅱ	G	24	2	11193	65.711	232.270	171.183	31.3	28.9	15.64	18.9
	1368	石核	I-a	OB	Ⅳ	K	12	2	−	−	−	−	15	36.5	7.37	16
	1369	石核	I-a	OB	Ⅲ	F	17	4	一括	−	−	−	24.5	43.4	17.2	16.6
	1370	石核	I-a	OB	Ⅱ	D	44	4	2977	31.751	438.328	169.604	58.8	53.4	88.79	38.9
	1371	石核	I-c	OB	Ⅳ	G	22	4	21190	65.216	219.717	171.291	21	24	6.7	13

表25　縄文時代遺物観察表　(21)

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長(mm)	最大幅(mm)	重量(g)	厚さ(mm)
108	1372	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	G	16	4	16883	64.691	156.708	171.537	42	37.5	32.73	25
	1373	石核	Ⅰ-b	OB	Ⅱ	J	9	2	−	−	−	−	29	40	37.78	39.5
	1374	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	F	20	2	15573	58.238	196.675	171.154	37	46	33.94	17
	1375	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	K	17	4	一括	−	−	−	34.5	35	14.96	12
	1376	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	D	28	3	9420	38.597	279.725	170.179	33	52	24.32	19.5
109	1377	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	F	26	3	8589	59.568	259.032	171.047	47	40	32.8	17
	1378	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	F	17	4	一括	−	−	−	45	36	25.59	19
	1379	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	G	21	2	10551	64.215	203.548	171.404	43	50	41.92	21.5
	1380	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	I	55	4	5759	81.264	544.146	169.585	44	39	55.11	28.5
	1381	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅲ	G	21	2	10520	67.078	206.949	171.430	21.9	21.1	7.37	17.4
	1382	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	I	10	2	−	−	−	−	34	32	26.42	24.7
	1383	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅲ	I	10	2	−	−	−	−	31.5	27.5	8.46	9.7
	1384	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	F	17	4	16625	56.511	160.350	171.527	17.7	26.1	11.53	27.7
	1385	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅵ	F	21	−	一括	−	−	−	19.6	26	6.47	13.3
	1386	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅳ	J	10	2	−	−	−	−	21	42	14.06	18.6
	1387	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	E	43	2	1643	45.557	429.549	170.367	36.7	59.8	60.1	31.8
	1388	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	E	21	4	14425	48.569	203.421	171.064	36.2	41.2	37.73	31.7
	1389	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	K	18	4	21773	100.225	178.138	171.815	46.1	47.9	75.57	33.3
	1390	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	H	49	2	一括	−	−	−	25.9	46.2	38.12	35.7
110	1391	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	H	22	2	11797	78.472	213.973	171.471	26.7	45.2	44.58	40.3
	1392	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	E	28	2	11470	46.026	269.992	170.327	39.7	38.9	30.35	21.4
	1393	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	E	43	2	2571	44.921	422.896	170.365	39.5	36.9	31.7	22.6
	1394	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	C	38	2	一括	−	−	−	32.3	58.9	50.47	31.6
	1395	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	K	19	4	21830	100.904	182.611	171.812	37.1	73	98.48	43.3
	1396	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	K	17	4	23148	107.112	164.367	171.606	41	76.5	151.22	42
	1397	石核	Ⅰ-c	めのう系	玉髄	E	44	2	1400	45.405	439.561	170.532	30	58	82.06	37
	1398	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	E	25	3	8533	42.123	249.169	170.485	36	43	31.77	19.5
	1399	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	J	26	4	22455	91.908	257.083	171.305	35.8	63.4	110.78	46.5
111	1400	石核	Ⅰ-c	OB	Ⅱ	K	17	4	24290	107.353	164.381	171.445	22.4	57.1	55.48	52.3
	1401	石核	Ⅱ-b	OB	Ⅱ	−		−	−	−	−	−	15.9	56.2	28.75	15.6
	1402	石核	Ⅱ-b	OB	Ⅱ	J	12	2	−	−	−	−	30	45	34.91	24
	1403	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	L	16	4	一括	−	−	−	30.1	31	16.52	21.4
	1404	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅲ	J	27	4	22134	94.118	263.693	171.319	23.7	33.5	11.45	19.2
	1405	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	G	56	3	19526	67.496	554.009	171.434	31.1	27	11.26	14.1
	1406	石核	Ⅱ-c	CH	−	J	14	2	−	−	−	−	24	30.9	9.11	12
	1407	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	E	43	2	1596	40.664	429.082	169.948	25.7	33.3	21.16	30.8
	1408	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	D	43	2	1620	38.298	429.364	169.969	27.1	33.4	21.33	32.7
	1409	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅲ	J	14	2	−	−	−	−	19	27	7.16	16.5
	1410	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	G	54	4	19898	65.154	534.428	171.598	44.1	44.2	39.17	27.2
	1411	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	H	23	4	21915	74.941	227.648	171.164	37.2	47.2	50.65	38.8
112	1412	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅲ	J	15	2	−	−	−	−	23	57	44.01	37
	1413	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	E	23	4	12464	46.533	228.980	170.764	33	48	47.21	26
	1414	石核	Ⅱ-c	OB	Ⅱ	E	23	4	14150	42.279	221.944	170.811	46.3	41.6	40.71	19.1
	1415	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	C	44	2	2509	25.851	438.665	169.792	30.4	50.1	59.28	61.2
	1416	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	M	22	−	一括	−	−	−	38.3	30.2	52.52	38.8
	1417	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	C	36	2	一括	−	−	−	43	33.5	54.96	35
	1418	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	I	23	4	21028	86.804	229.839	171.342	30	34	22.96	19.5
	1419	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	G	15	4	一括	−	−	−	32	50	92.04	53
	1420	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	K	17	4	23138	109.480	164.661	171.557	26.4	35.8	31.28	29.7
	1421	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	E	35	2	4453	46.276	347.268	266.222	27	45	73.98	48
	1422	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	L	15	3	13034	113.673	140.779	171.281	54.5	61.5	150.12	45
	1423	石核	Ⅲ	OB	Ⅱ	I	19	4	一括	−	−	−	43.9	55.1	116.72	38.1
113	1424	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	E	26	2	7816	47.070	254.481	170.843	83	51.2	159.97	31.2
	1425	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	G	21	4	14828	67.816	200.667	171.296	71.2	58.5	183.59	38
	1426	磨製石斧	Ⅲ	砂岩	−	J	13	2	−	−	−	−	70	46	113.4	32.5
	1427	磨製石斧	Ⅰ	蛇紋岩	−	I	23	4	21312	80.706	227.896	171.335	75.7	46.6	81.55	16.8
	1428	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	J	10	2	−	−	−	−	100	59.8	199	31
	1429	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	F	42	2	一括	−	−	−	93.8	67.9	343	36.2
	1430	磨製石斧	Ⅰ	砂岩	−	K	16	4	一括	−	−	−	98.7	65	300	28.9
	1431	磨製石斧	Ⅰ	蛇紋岩	−	F	15	4	18035	52.790	149.552	171.533	92.7	60.6	133.02	16.8
	1432	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	G	22	4	−	−	−	−	111	59.7	234	29.5
	1433	磨製石斧	Ⅰ	砂岩	−	H	50	2	4792	78.236	491.401	169.878	93.7	32	131.69	40
	1434	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	F	27	2	7910	54.523	261.508	170.893	115.2	55	200	24.2
	1435	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	K	16	4	24015	101.456	153.952	171.307	140	60.7	393	33.3
	1436	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	G	19	2	10845	67.718	182.014	171.569	71	71	188.34	36.7
114	1437	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	L	32	2	一括	−	−	−	139	58.2	488	37.8
	1438	磨製石斧	Ⅰ	蛇紋岩	−	J	14	−	26178	−	−	−	156.8	68.6	608	44.3
	1439	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	−		−	16408	59.359	131.281	171.198	135.5	67.6	622	46
	1440	磨製石斧	Ⅰ	SH	−	F	15	4	18825	56.344	146.278	171.517	145.8	63.4	501	37.6
	1441	磨製石斧	Ⅰ	AN	Ⅱ	I	9	2	−	−	−	−	130	61.5	436	42
	1442	磨製石斧	Ⅰ	AN	Ⅱ	I	19	4	一括	−	−	−	197	60.9	529	43.6
	1443	磨製石斧	ⅠorⅡ	SH	−	−		−	SH62-9	−	−	−	64	50.5	62.93	21
115	1444	磨製石斧	Ⅱ	蛇紋岩	−	−		−	SH110一括	−	−	−	137.8	57.1	277	25.2
	1445	磨製石斧	Ⅲ	蛇紋岩	−	−		−	SH51-66	−	−	−	100.5	31.5	61.05	19.5
	1446	磨製石斧	Ⅲ	SH	−	G	15	4	一括	−	−	−	44.7	18.9	14.87	12.5
	1447	磨製石斧	Ⅲ	蛇紋岩	−	G	22	4	21185	61.854	219.190	171.309	54.8	17.4	15.3	8.8
	1448	磨製石斧	Ⅲ	蛇紋岩	−	−		−	SH34-543	−	−	−	31	20.4	10.38	12.4
	1449	磨製石斧	Ⅲ	HF	−	F	15	4	17104	54.349	145.438	171.516	50.2	10.8	7.01	8
	1450	磨製石斧	Ⅲ	SH	−	−		−	SH70-31	−	−	−	51	28.8	18.55	10.3
	1451	打製石斧	Ⅰ	HF	−	G	28	2	一括	−	−	−	63	45	78.85	20.7
	1452	打製石斧	Ⅰ	SH	−	L	16	4	24830	111.349	154.001	171.433	89	50	154.86	26.7
	1453	打製石斧	Ⅰ	AN	Ⅱ	J	13	2	−	−	−	−	56.1	43.5	55.65	21.2
	1454	打製石斧	Ⅰ	AN	Ⅱ	−		−	SH104	−	−	−	76.5	52.5	116.83	25.5
	1455	打製石斧	Ⅱ	HF	−	F	57	4	5928	55.533	564.191	169.664	61	42	39	11.6
	1456	打製石斧	Ⅱ	AN	Ⅱ	−		−	SH85一括	−	−	−	42	43.5	33.7	17
	1457	打製石斧	Ⅱ	HF	−	F	27	2	7958	57.598	262.060	170.994	100.2	57	71.87	12
	1458	打製石斧	Ⅱ	AN	Ⅱ	K	10	−	SH17-89	−	−	−	86.5	57	87.24	13.8
	1459	打製石斧	Ⅱ	SH	−	K	11	−	一括	−	−	−	121.1	62	158.77	18

表26　縄文時代遺物観察表　(22)

挿図	番号	器種1	器種2	石材1	石材2	出土区		層	取上番号	X	Y	Z	最大長(mm)	最大幅(mm)	重量(g)	厚さ(mm)
115	1460	打製石斧	Ⅱ	SH	−	D	30	3	9311	38.806	294.246	170.396	137	48.2	137.89	12.8
	1461	打製石斧	Ⅱ	HF	−	F	21	2	14873	59.349	200.970	171.351	109	47.8	64.81	12
	1462	打製石斧	Ⅱ	AN	Ⅱ	K	7	PS5	SH25 19136	−	−	−	86.5	98.5	200	19.5
116	1463	打製石斧	Ⅱ	HF	−	F	16	4	18015	59.805	151.763	171.575	129	92.5	448	28.5
	1464	打製石斧	Ⅱ	SH	−	J	11	2	−	−	−	−	77.5	67.5	81.8	12
	1465	打製石斧	Ⅲ	砂岩	−	D	50	2	12	32.440	498.017	170.257	80.6	46.7	103.58	22.3
	1466	打製石斧	Ⅲ	HF	−	E	44	2	1458	45.049	431.111	170.383	68	63.3	88.61	15.3
	1467	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	−		−	SH31-13	−	−	−	84	67	83.53	13
	1468	打製石斧	Ⅲ	SH	−	E	46	2	882	45.317	450.660	170.557	118.7	57	143	21.8
	1469	打製石斧	Ⅲ	SH	−	E	45	2	1064	41.073	446.330	170.240	89.2	53.3	93	17
	1470	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	−		−	SH51-25	−	−	−	119	74.5	258	25.5
	1471	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	K	17	4	19000	109.084	161.014	171.578	125	52.2	184.95	24.5
	1472	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	E	55	4	5611	46.251	543.010	170.123	114	69.7	168.2	20.8
	1473	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	−		−	26180	−	−	−	149.8	81.2	299	23.5
	1474	打製石斧	Ⅲ	AN	Ⅱ	−		−	SH44-53	−	−	−	129	87.5	210	20
	1475	打製石斧	不明	AN	Ⅱ	G	19	2	10891	61.985	189.535	171.495	77.9	77.1	198	23.6
117	1476	礫器	Ⅱ	SH	−	F	54	4	6889	56.630	538.044	169.572	36	69.5	30.39	11.3
	1477	礫器	Ⅳ	AN	Ⅱ	D	46	2	1107	38.493	459.166	170.490	64.5	67.8	72.76	12
	1478	礫器	Ⅲ	AN	Ⅱ	L	20	4	24691	110.049	197.759	171.718	124	134.5	540	−
	1479	礫器	Ⅳ	SH	−	B	40	2	3185	16.936	398.966	170.342	47.5	46	20.92	7
	1480	礫器	Ⅴ	AN	Ⅱ	F	27	2	8030	54.606	268.374	170.774	93.6	110	181.73	18
	1481	礫器	Ⅴ	SH	−	F	16	4	一括	−	−	−	57	71.8	91.16	20
	1482	礫器	Ⅴ	SH	−	−		−	SH51-3	−	−	−	113.5	134	854	55
	1483	擦切石器	−	SH	−	C	20	4	一括	−	−	−	70.8	43.6	27.82	7
	1484	石錘	−	砂岩	−	G	22	4	13617	68.652	210.295	171.489	53.2	60.6	87.97	25
	1485	石錘	−	AN	Ⅱ	D	45	2	652	35.134	447.836	170.493	56	33	25.53	14
	1486	石錘	−	SH	−	E	31	−	一括	−	−	−	108.8	96.5	224	22
	1487	石錘	−	砂岩	−	E	31	−	一括	−	−	−	119	84.5	1010	79
118	1488	磨石	Ⅰb	砂岩	−	J	17	2	一括	−	−	−	48.2	43.6	78.12	25.8
	1489	磨石	Ⅰb	AN	Ⅱ	−		−	SH93	−	−	−	64.2	51.5	185.94	43.1
	1490	磨石	Ⅰb	AN	Ⅱ	−		−	SH101一括	−	−	−	55.5	59.5	239	51.2
	1491	磨石	Ⅰb	砂岩	−	J	16	4	一括	−	−	−	96.5	73	398	39
	1492	磨石	Ⅱb	砂岩	−	J	17	2	一括	−	−	−	108.5	84.9	681	48.5
	1493	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	K	13	2	一括	−	−	−	98.5	59.8	278	47.8
	1494	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	J	17	2	一括	−	−	−	97	83.9	618	48.2
	1495	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	−		−	SH93-2	−	−	−	77.5	110	645	49.8
119	1496	磨石	−	砂岩	−	−		−	SH64一括	−	−	−	154	79	635	37.5
	1497	磨石	Ⅱb	砂岩	−	J	6	2	一括	−	−	−	115	91	824	51.2
	1498	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	J	15	4	一括	−	−	−	76	112	678	49
	1499	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	−		−	SH95一括	−	−	−	83	95	549	43.9
	1500	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	−		−	SH92一括	−	−	−	75.1	111.8	659	47.5
	1501	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	J	16	2	一括	−	−	−	74	158	585	43
120	1502	磨石	Ⅱb	AN	Ⅱ	J	9	−	26184	−	−	−	132	111	1300	57
	1503	磨石	−	AN	Ⅱ	−		−	SH78-5	−	−	−	129	104	1060	46
		磨石	−	AN	Ⅱ	−		−	SH78-5	−	−	−	129	104	1060	46
	1504	磨石	−	AN	Ⅱ	−		−	SK153-1	−	−	−	126	112	1005	47
	1505	磨石類	−	AN	Ⅱ	J	12	−	26183	−	−	−	105	107.5	1380	-
121	1506	磨石類	−	AN	Ⅱ	J	13	−	26181	−	−	−	145.5	137.5	2690	-
	1507	敲石	Ⅰb	砂岩	−	K	13	2	一括	−	−	−	63	45	150.82	35.7
	1508	敲石	Ⅱb	砂岩	−	J	16	4	一括	−	−	−	190	88.9	1200	50
122	1509	石皿	−	AN	Ⅱ	K	17	4	25715	105.917	160.694	171.346	115.5	128	900	-
	1510	石皿	−	AN	Ⅱ	J	4	2	一括	−	−	−	108	930	710	-
	1511	石皿	−	AN	Ⅱ	K	12	2	一括	−	−	−	80.5	72	590	-
	1512	石皿	−	AN	Ⅱ	K	16	4	24009	109.635	154.122	171.383	170	151	2660	-
	1513	石皿	−	AN	Ⅱ	K	14	−	26179	−	−	−	266	221	3810	-
123	1514	石皿	−	AN	Ⅱ	J	17	2	一括	−	−	−	−	−	−	-

表27　弥生時代遺物観察表　(1)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	文様・器面調整等		色調		胎土						器種	部位	類別
					内面	外面	内面	外面	石英	長石	角閃石	輝石	砂粒	雲母			
150	1	SK202	K12	−	指頭押圧・ナデ	ヘラミガキ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺棺	−	−
151	2	SK66	L13	−	ナデ	ヘラミガキ	橙色	橙色	○	○	○				壺	胴部	−
	3	SK69-1	L12	−	工具ナデ	ヘラミガキ	橙色	橙色	○	○	○				壺	胴部	−
	4	SK189	K13	−	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				甕	底部	−
	5	SK189	K13	−	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					壺	口縁部	−
	6	SK189	K13	−	工具ナデ	工具ナデ	浅黄色	黄茶褐色	○	○			○		壺	胴部	−
	7	SK189	K13	−	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				壺	胴部	−
152	8	SK63	K13	−	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	−
	9	SK63	K13	−	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	胴部	−
	10	SK50	K14	−	ヘラミガキ	ヘラミガキ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	−	−
	11	SK51-1	L14	−	指頭押圧・ヘラミガキ	ヘラミガキ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					壺	−	−
		SK51-2	L14	−	指頭押圧・ヘラミガキ	ヘラミガキ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	12	SK45	K14	−	ナデ	ヘラミガキ・ナデ	橙色	橙色	○	○			○		壺	−	−
	13	SK111-1	J23	−	ナデ	ヘラミガキ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	−	−

表28　弥生時代遺物観察表　(2)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	文様・器面調整等		色調		胎土						器種	部位	類別
					内面	外面	内面	外面	石英	長石	角閃石	輝石	砂粒	雲母			
154	15	2725	B42	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○		○		甕	口縁部	Ⅰ
		2746	−	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○		○				
		2726	B42	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○		○				
	16	1641	E43	2	工具ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
		1809	E43	2	工具ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○		○				
	17	3810	B39	2	ナデ	ナデ	黄茶褐色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	18	4253	I46	2	工具ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗赤茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	19	4254	I46	2	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○	○			甕	口縁部	Ⅰ
	20	4233	I46	2	ナデ	工具ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	21	448	D46	2	ヘラミガキ	工具ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	22	4214	J46	2	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	23	3803	B40	2	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ

表29　弥生時代遺物観察表　(3)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	文様・器面調整等 内面	文様・器面調整等 外面	色調 内面	色調 外面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 角閃石	胎土 輝石	胎土 砂粒	胎土 雲母	器種	部位	類別
154	24	26123	I17	4	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	25	2753	B42	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	26	4239	I46	2	ナデ	工具ナデ	黄褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	27	－	J46	2	ナデ	ナデ	黄褐色	茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	28	5083	I50	2	ナデ	ナデ	浅黄色	茶褐色	○	○		○			甕	口縁部	Ⅰ
	29	－	K13	2	ナデ	ナデ	茶褐色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	30	1778	E43	2	ナデ	ナデ	黄褐色	茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	31	－	J15	2	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	32	－	I40	2	ナデ	工具ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○					甕	口縁部	Ⅰ
	33	4132	J44	2	ナデ	ナデ	浅黄色	黄茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	34	1054	E45	2	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅰ
	35	9363	D27	3	ナデ	ヘラミガキ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	36	－	L16	－	ヘラミガキ	ヘラミガキ	浅黄色	浅黄色		○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	37	21962	J24	4	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
155	38	－	I17	4	ナデ	ナデ	赤褐色	黄茶褐色	○	○	○		○		甕	口縁部	Ⅱ
	39	20496	F55	4	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	40	13037	L15	2	工具ナデ	工具ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	41	24911	K17	4	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	42	25521	K21	4	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	43	25950	F55	4	ナデ	ヘラミガキ	浅黄色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	44	23633	K16	4	ヘラミガキ	ヘラミガキ	浅黄色	浅黄色	○						甕	口縁部	Ⅱ
	45	3148	B41	2	ナデ	ヘラミガキ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
		3466	B40	2	ナデ	ヘラミガキ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
	46	3209	B40	2	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅱ
	47	3219	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	胴部	Ⅱ
		3406	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		3407	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		－	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		3411	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		3719	B40	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		2859	B41	2	ナデ	工具ナデ・ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
	48	－	M17	－	工具ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
	49	1263	C45	2	ナデ	ヘラミガキ	黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
	50	－	K13	2	ナデ	ヘラミガキ	赤茶褐色	赤褐色	○		○				甕	口縁部	Ⅲ
	51	－	J14	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
	52	14686	E18	2	工具ナデ	ヘラミガキ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
	53	－	D54	－	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
	54	－	J13	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○					甕	口縁部	Ⅲ
	55	13011	K14	3	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○					甕	口縁部	Ⅲ
	56	－	K13	2	ヘラミガキ	不明	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅲ
156	57	9733	E27	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅳ
	58	8503	D27	3	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○		○		甕	口縁部	Ⅳ
	59	9539	E28	3	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅳ
	60	2570	E43	2	不明	不明	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅳ
	61	24915	K17	4	工具ナデ	工具ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○	○				甕	胴部	Ⅳ
		－	K17	2	工具ナデ	工具ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○	○						
	62	24060	K16	4	工具ナデ	工具ナデ	暗黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				甕	胴部	Ⅳ
		19338	K16	4	工具ナデ	工具ナデ	暗黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
		－	K17	4	工具ナデ	工具ナデ	暗黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
	63	－	L15	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	赤褐色	赤褐色	○	○	○				甕	底部	Ⅳ
	64	－	I47	4	ナデ	ナデ	黄褐色	暗黄褐色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅴ
		－	I48	4	ナデ	ナデ	黄褐色	暗黄褐色	○	○	○						
	65	26064	I47	4	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅴ
	66	－	J37	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	浅黄色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅴ
	67	8850	F30	3	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅴ
	68	－	J37	2	ナデ	ナデ	暗赤褐色	浅黄色	○	○	○				甕	口縁部	Ⅴ
	69	26033	I47	4	ナデ	ナデ	茶褐色	浅黄色	○	○	○			○	甕	口縁部	Ⅴ
	70	－	D31	オウ	ヘラミガキ	ナデ	浅黄色	茶褐色	○	○	○			○	甕	口縁部	Ⅴ
	71	14354	E24	4	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗赤茶褐色	○	○	○		○	○	甕	口縁部	Ⅴ
	72	21685	F23	4	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○			○	甕	口縁部	Ⅴ
	73	14047	E25	4	ハケ目	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○		○		○	甕	口縁部	Ⅴ
157	74	8951	E27	3	ヘラケズリ	工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○			○	甕	底部	Ⅵ
		11459	E27	2	ヘラケズリ	工具ナデ	明赤褐色	明赤褐色	○	○	○			○			
	75	－	J16	2	ナデ	工具ナデ	明赤褐色	黄褐色	○	○				○	甕	底部	Ⅵ
	76	－	J9	2	ナデ	工具ナデ	茶褐色	明赤褐色	○	○	○			○	甕	底部	Ⅵ
	77	17661	H15	4	工具ナデ	工具ナデ	明赤褐色	浅黄色	○	○	○			○	甕	底部	Ⅵ
	78	439	D46	2	しぼり・ナデ	工具ナデ	明赤褐色	茶褐色	○	○	○				壺	口縁部	Ⅶ
	79	9946	F22	2	ヘラミガキ	工具ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	80	－	I35	2	ナデ	ナデ	橙色	橙色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	81	20147	H54	3	工具ナデ	ヘラミガキ・ナデ	橙色	黄褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅷ
		20162	H54	3	工具ナデ	ヘラミガキ・ナデ	橙色	黄褐色	○	○	○			○			
		20163	H54	3	工具ナデ	ヘラミガキ・ナデ	橙色	黄褐色	○	○	○			○			
		20159	H54	3	工具ナデ	ヘラミガキ・ナデ	橙色	黄褐色	○	○	○			○			
	82	3735	B40	2	ナデ	工具ナデ	橙色	橙色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅷ
	83	25928	F55	4	工具ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	84	4720	G51	2	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	85	－	E25	2	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅷ
	86	22203	I28	4	不明	ハケ目	灰色	暗茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	87	20600	G57	4	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	88	4189	J46	2	ナデ	ヘラミガキ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	口縁部	Ⅶ
	89	399	D46	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅷ
		1135	D46	2	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○			○			
	90	12694	G19	4	工具ナデ	ナデ	茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅷ
	91	15620	E19	2	ナデ	工具ナデ・ヘラミガキ	暗赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	底部	Ⅸ
	92	－	J35	2	工具ナデ	ナデ	橙色	橙色	○	○	○				壺	底部	Ⅸ
	93	－	J12	2	ナデ	工具ナデ	茶褐色	浅黄色	○	○	○			○	壺	底部	Ⅸ
	94	－	I15	2	ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				壺	底部	Ⅸ
	95	8512	D27	3	ナデ	ナデ	橙色	橙色	○	○					壺	底部	Ⅸ
	96	－	－	－	ヘラミガキ	工具ナデ・ヘラミガキ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	底部	Ⅸ
158	97	26458	K16	4	工具ナデ	ハケ目	浅黄色	浅黄色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	98	－	J6	－	ナデ	ナデ	茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	99	－	J6	2	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅹ
	100	－	J6	2	ナデ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	101	－	L16	2	ハケ目	ハケ目	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ

表30　弥生時代遺物観察表　(4)

挿図	番号	取上番号	出土区	層	文様・器面調整等		色調		胎土						器種	部位	類別
					内面	外面	内面	外面	石英	長石	角閃石	輝石	砂粒	雲母			
158	102	－	K16	－	ナデ	ハケ目	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	103	－	K12	2	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅹ
	104	20353	K6	2	工具ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅹ
		－	K6	－	工具ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○			○			
	105	－	H16	2	ナデ	ナデ	茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	106	－	K23	－	ナデ	ハケ目	茶褐色	茶褐色	○	○	○				壺	胴部	Ⅹ
	107	11876	G21	2	ナデ	ハケ目	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○			○	壺	胴部	Ⅹ
	108	SK202	K12	－	ヘラミガキ	ヘラミガキ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					鉢	－	Ⅺ
	109	SK202	K12	－	ヘラミガキ	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○			○		鉢	－	Ⅺ
	110	SK202	K12	－	ヘラミガキ	ヘラミガキ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					鉢	胴部	Ⅺ
	111	－	K12	2	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	○	○				○	壺？	口縁部？	Ⅻ
	112	－	J19	2	ハケ目	ヘラミガキ	茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				？	胴部	Ⅻ
	113	10776	H20	2	工具ナデ	工具ナデ・ヘラミガキ	黄褐色	黄褐色	○	○	○				高坏？	脚部？	Ⅻ

表31　弥生時代遺物観察表　(5)

挿図	番号	器種	石材1	出土区	層	取上番号	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
158	114	抉入柱状片刃石斧	SH	－	－	SH93- 3	136.7	32.5	305	36.9

表32　弥生時代遺物観察表　(6)

挿図	番号	器種	出土区	層	取上番号	X	Y	Z	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
152	14	銅戈	－	－	SK31	－	－	－	78.5	33.5	39.8	7.1

表33　弥生時代遺物観察表　(7)

挿図	番号	器種	出土区	層	取上番号	X	Y	Z	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
159	115	破鏡	K13-14	4	26190	－	－	－	26	75	22.3	3

表34　古墳時代遺物観察表　(1)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
195	1	SH114	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					○		
196	2	SH114	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	3	SH114	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	4	SH114	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	5	SH114	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	6	SH114	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	7	SH114	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	8	SH114	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	9	SH114	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	10	SH114	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○						茶粒	
197	11	SH113	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○							
	12	SH113	甕	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黒褐色	○	○							
	13	SH113	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○	○						
	14	SH113	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	15	SH113	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○	○						
	16	SH113	鉢	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
199	17	SH104	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○							
	18	SH104	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	19	SH104	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	20	SH104	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
	21	SH104	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○							
	22	SH104	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	23	SH104	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	24	SH104	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	25	SH104	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	26	20288	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○							
	27	SH104	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○							
	28	SH104	壺	ケズリ後ナデ	ハケメ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	29	SH104	壺	ケズリ後ナデ	ハケメ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	30	SH104	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	31	SH104	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	32	SH104	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○	○							
	33	SH104	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	34	SH104	ミニチュア	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	35	SH104	高坏	風化	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
200	36	SH103	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	37	SH103	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○		○			○		
	38	SH103	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	39	SH103	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○	○						
	40	SH103	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	41	SH103	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○	茶粒	
	42	SH103	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	43	SH103	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	44	SH103	高坏	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	灰黄茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	45	SH103	高坏	ケズリ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	46	SH103	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	47	SH103	鉢	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○						茶粒	
202	48	SH105	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	49	SH105	壺	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	50	SH105	免田	ハケメ	ハケメ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	51	SH105	壺	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	52	SH105	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
204	53	SH102	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	54	SH102	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	55	SH102	甕	工具ナデ	ケズリ後ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○							
	56	SH102	甕	工具ナデ	ケズリ後ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○							
	57	SH102	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	58	SH102	甕	工具ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							

表35　古墳時代遺物観察表　(2)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
204	59	SH102	壺	ハケメ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○							
	60	SH102	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	61	SH102	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○			○				
	62	SH102	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	63	SH102	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○	○						
	64	SH102	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	65	SH102	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
205	67	SH101	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○							
	68	SH101	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○							
	69	SH101	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黒褐色	○	○				○			
	70	SH101	甕	工具ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	71	SH101	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	72	SH101	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	73	SH101	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	74	SH101	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	75	SH101	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	76	SH101	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○						茶粒	
	77	SH101	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	78	SH101	ミニチュア	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰褐色	○	○				○			
	79	SH107	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	80	SH107	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○						茶粒	
	81	SH107	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	82	SH107	壺	工具ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	83	SH107	壺	工具ナデ	工具ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	84	SH107	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
206	85	SH107	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	86	SH107	鉢	工具ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	87	SH107	鉢	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	89	SH106	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○							
	90	SH106	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗黄茶褐色	○	○							
	91	SH106	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○							
	92	SH106	甕	工具ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	93	SH106	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	94	SH106	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	95	SH106	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	96	SH106	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	97	SH106	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
207	98	SH106	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	99	SH106	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○				○			
	100	SH106	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	101	SH106	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○		○					
	102	SH106	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○				○			
	103	SH106	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	赤色顔料	暗茶褐色	○	○							
	104	SH106	高坏	ミガキ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	105	SH106	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	106	SH106	鉢	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰褐色	○	○							
209	108	SH116	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	109	SH116	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	110	SH116	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	111	SH115	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	112	SH115	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	113	SH115	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	114	SH115	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	115	SH115	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	
	116	SH115	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
210	117	SH22	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗灰褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	118	SH22	甕	ナデ	ナデ	暗灰褐色	暗茶褐色	○	○							
	119	SH22	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○							
	120	SH22	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	121	SH22	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	122	SH22	坩	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	123	SH22	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	124	SH22	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	125	SH22	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
211	126	SH117	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	127	SH117	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	128	SH117	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	129	SH117	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	130	SH117	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	赤茶褐色	○	○							
212	132	SH60	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	133	SH60	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	134	SH60	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○			○	○	○		
	135	SH60	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	136	SH60-1	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	137	SH60	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	138	SH60	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○					
213	139	SH59-15	甕	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	140	SH593	甕	工具ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	141	SH59	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
214	142	SH59-4	壺	工具ナデ	ナデ	黒褐色	茶褐色	○	○					○		
	143	SH59	鉢	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	灰茶褐色	○					○			
	144	SH59	鉢	ナデ	ナデ	灰茶褐色	白黄茶褐色	○					○			
	145	SH59	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○						○		
	146	SH59	蓋	ナデ	ナデ	暗茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
216	147	SH58	甕	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					○		
	148	SH58-5	甕	ハケメ	ハケメ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	149	SH58	甕	条痕（貝）	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	150	SH58-17	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	151	SH58-6,9	壺	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○		○					
	152	SH58	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	153	SH58	壺	ハケメ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	154	SH58-18	壺	ハケメ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○		○					
	155	SH58-1	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○	○			○		○	茶粒軽石	
	156	SH58-2	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		

表36　古墳時代遺物観察表　(3)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
216	157	SH58	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○			○				
	158	SH58	高坏	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	159	SH58-14	鉢	工具ナデ後指ナデ	工具ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○	○			
219	161	SH25-832,943,1173 1193,1266,1306 1391,1392,1413 1429,1430	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	162	SH25-1367～1369 1372,1379,1440	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	163	SH25-1289	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
220	164	SH25-1099,1209 1210,1415	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○			○	○	○		
	165	SH25-1268,1269 1384,1385	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○	○		
	166	SH25-669 1383,1444	甕	ナデ	ケズリ後ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○	○		
	167	土集19141,19142 SH25-21,24 26,1245	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○	○		
	168	SH25-286	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○	○		
221	169	SH25-212,213 1041,1214 土集19124	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	170	土集19136	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	171	SH25-1248	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○	○	茶粒	
	172	SH25-1141,1370	甕	ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	173	SH25-227,1083	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	灰茶褐色	○	○				○	○		
	174	SH25-1189	甕	ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	175	SH25-1453	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○	○			○	○		
	176	SH25-1260	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	明黄茶褐色	明黄茶褐色	○	○	○		○	○	○		
	177	SH25-550	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○	○		
	178	土集19132 土集19134	甕	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	明茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	179	SH25-140,144 969,971,972 973,976～979	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	茶褐色	赤茶褐色	○	○				○	○		
222	180	SH25-256,1212	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	181	SH25-1032,1211	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	182	SH25-17,1382	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○			
	183	SH25	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	184	SH25-93	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	185	SH25-1317,1424	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	186	SH25-1181,1334	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○	○		
	187	SH25-1053	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	188	SH25-220,221 249,592,1070 1073,1074,1076 1090,1091,1093 1094,1108,1109 1135,1201,1357 1363	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○	○		
223	189	SH25-1172,1331 1335,1389,1394 1405	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○	○		
	190	SH25-380,805,806 807,853, 855,860 861,862,863,867 871,874,875,878, 886,887,903,906 933, 934,945,947 1179, 1308,1318 1320,土集b-19137	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
224	191	SH25-22,719,721 1126,1271 1272,土集19144	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○	○		
	192	SH25-1456	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	193	SH25-136,138,141 154,178, 191,201 980,984,997 1005,1006,1015	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
225	194	SH25-256,1040	壺	ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	195	SH25-453,1035 1212,1413	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○	○			○	○		
	196	SH25-1125,1195 1196	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	197	SH25-1375,1377	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○		茶粒	
	198	SH25-1410	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	199	SH25-16	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○			
	200	SH25-1338	坩	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○					○		
	201	SH25-267,269 1413	坩	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○			○		○		
	202	SH25-1346	坩	ミガキ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○							
	203	SH25	坩	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
226	204	SH25-217,310,1416	坩	ミガキ	ナデ	赤色顔料	暗茶褐色	○	○					○		
	205	SH25-118,131	坩	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	206	SH25-88,1422,1447	坩	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
	207	SH25-1112,1113	高坏	ナデ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○			○	○	○		
	208	SH25-1024,1296	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	209	SH25-1433	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○			○	○			
	210	SH25-879	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○					○		
	211	SH25-149,153	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	212	SH25-152,1167 土集19145	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○				○	○		
	213	SH25-269,320,354	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	214	SH25-1252 土集19144	高坏	ミガキ	ケズリ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○	○		

表37　古墳時代遺物観察表　(4)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
226	215	SH25-1436	高坏	ミガキ	ミガキ	赤色顔料	赤色顔料	○	○				○	○		
	216	SH25-739,761	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	217	SH25	ミニチュア	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	218	イ上13214	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○						○		
	219	SH25	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
228	223	SH20-4	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○			○				
	224	SH20	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	灰茶褐色	○	○							
	225	SH20	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	赤茶褐色	○	○							
	226	SH20-11	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	227	SH20	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	228	SH20	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
229	229	SH20	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○	○							
	230	SH20-6,8	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	231	SH20	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	232	SH20	鉢	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	233	SH20-10	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	234	SH20	高坏	ミガキ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	235	SH20	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	236	SH20	高坏	ハケメ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	237	SH20	高坏	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
231	238	SH18-12,23 24,27,36,38	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	239	SH18-3	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	240	SH18-26	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	241	SH18-30	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	242	SH18-29	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	243	SH18-7	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	244	SH18-1	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	245	SH18	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○							
	246	SH18-4	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	247	SH18	壺	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○							
	248	SH18-8,9	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	249	SH18	坩	ミガキ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○							
233	250	SH19	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	251	SH19	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	252	SH19	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	253	SH19-1	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○							
	254	SH19	鉢	ナデ	ナデ	灰茶褐色	暗褐色	○	○							
	255	SH19	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	256	SH19	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	257	SH19	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	258	SH19	高坏	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
235	259	SH17-2,3,4 10,117,152	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	260	SH17-51	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	261	SH17-59	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	262	SH17-8,32 33,196	壺	ナデ	ナデ	明黄茶褐色	明黄茶褐色	○	○					○		
	263	SH17-148	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
236	264	SH17-30,37 41,124	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	265	SH17-12,13 25,197	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	266	SH17-14,16 21,24	壺	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	267	SH17-6	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	268	SH17-82,83 149,170	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	暗灰茶褐色	○	○					○		
	269	SH17-121	甕?	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
237	271	SH16	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	272	SH16	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	273	SH16	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
239	274	SH15	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	275	SH15	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	276	SH15	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	灰黄茶褐色	○	○		○					
	277	SH15	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	
	278	SH15	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○	○		
	279	SH15	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	280	SH15	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	281	SH15	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
241	283	SH12	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○	○		
	284	SH12	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	285	SH12	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	286	SH12-20	甕	ナデ	工具ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○						茶粒	
	287	SH12-25	甕	ナデ	−	黄茶褐色	−	○	○					○		
	288	SH12-11	坩	風化	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	289	SH12	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	290	SH12	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○	○				○		
	291	SH12-18	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	292	SH12-32	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	293	SH12	高坏?	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	294	SH12	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
243	295	SH93	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	暗赤褐色	○	○						茶粒	
	296	SH93	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	297	SH93	甕	ケズリ後ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	298	SH93	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	299	SH93	壺	ミガキ	ハケメ後ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○			○				
	300	SH93	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	白黄褐色	白黄褐色	○								
	301	SH93	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	暗褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	302	SH93	鉢	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○	茶粒	
	303	SH93	鉢	ナデ	ナデ	白黄褐色	白黄褐色	○								
	304	SH93	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	白黄褐色	白黄褐色	○	○							
	305	SH93	坩	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	306	SH93	高坏	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	307	SH93	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	白黄褐色	○	○							

表38　古墳時代遺物観察表　(5)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
245	308	SH92	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	灰黄茶褐色	○	○	○			○			
	309	SH92貼床	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	黒褐色	○	○				○			
	310	SH92	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	白黄茶褐色	黒褐色	○	○		○		○			
	311	SH92貼床	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗褐色	○	○				○	○	茶粒	
	312	SH92	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					○		
	313	SH92	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	314	SH92	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○	○						
	315	SH92貼床	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○		○		○		茶粒	
	316	SH92	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	白黄茶褐色	灰褐色	○	○							
	317	SH92	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○								
	318	SH92貼床	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	319	SH92貼床	高坏	ケズリ後ナデ	－	赤茶褐色	－	○	○		○			○		
	320	SH92	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
247	322	SH44-73	甕	ハケメ後ナデ	ケズリ後ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	323	SH44-22	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		○		
	324	SH44-2	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	325	SH44-17	甕	ナデ	ハケメ後ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	326	SH44	甕	ハケメ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○			○		○		
	327	SH44-11	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○			○		茶粒	
	328	SH44	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	329	SH44-10	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○					○		
250	330	SH94	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○					○		
	331	SH94	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	332	SH94	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	333	SH94	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	334	SH94	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○					○		
	335	SH94-1	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	336	SH94	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	337	SH94	高坏	風化	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	338	SH94	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	339	SH94	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	340	SH94	鉢	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	341	SH94	ミニチュア	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	342	SH94	ミニチュア	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	343	SH95	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	344	SH95	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○							
	345	SH95	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	346	SH95	壺	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	347	SH95	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	348	SH95	壺	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○				○			
	349	SH95	坩	ミガキ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
	350	SH95	高坏	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○			
	351	SH95	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	352	SH95	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○		○					
	353	SH95	鉢	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○							
	354	SH95	鉢	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
252	355	SH100	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	356	SH100	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	357	SH100	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
	358	SH100	壺	ナデ	ケズリ後ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	359	SH100	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	360	SH100	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○			
	361	SH100	高坏	ミガキ	ミガキ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○							
	362	SH100	高坏	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○						茶粒	
	363	SH100	鉢	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
254	364	SH13	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	365	SH13	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
	366	SH13	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	367	SH13	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗褐色	○	○					○		
	368	SH13	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	369	SH13-8,9	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗褐色	○	○				○			
	370	SH13	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○					○		
255	373	SK83	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	374	SK83- 1	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○							
	375	SK83-4,7	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○	○				○	茶粒	
256	376	SH99	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗灰茶褐色	暗灰茶褐色	○	○							
	377	SH99	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	378	SH99	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
259	379	SH98	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	380	SH98	甕	工具ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	381	SH98	壺	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗黄茶褐色	○	○				○	○		外面スス付着
	382	SH98	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○								
261	385	SH110	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	386	SH110	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	387	SH110-3	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	388	SH110	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	389	SH110	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	390	SH110-1	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	391	SH110-4	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	392	SH110	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	393	SH110	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
262	395	SH111	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○						茶粒	
263	396	SH112	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	茶褐色	○	○							
	397	SH112	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	398	SH112	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	399	SH112	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	400	SH112	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	401	SH112	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
264	402	SH91貼床	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	灰茶褐色	○	○							
	403	SH91	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	404	SH91	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	405	SH91	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	406	SH91-2	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	暗灰茶褐色	○	○							
	407	SH91	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○							

表39　古墳時代遺物観察表　(6)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
264	408	SH91-1	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	暗灰茶褐色	○	○							
266	410	SH47-60,62 105	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗赤茶褐色	○	○			○			茶粒	
	411	SH47-31,70	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗赤茶褐色	○	○				○	○		
	412	SH47-75	甕	工具けずり後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	413	SH47-113	甕	指ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	暗赤茶褐色	○	○				○	○		
	414	SH47	壺	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	415	SH47-45	壺	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○						
	416	SH47-83	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○	○			○			
	417	SH47-7,13,20 38,53,55,94	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
267	418	SH47-2,5,8,9,10,22 23,35,40,44,50,56 58,63,79,84,85,96	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	419	SH47-71	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○					○			
	420	SH47-9	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○			
	421	SH47	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○					○			
	422	SH47-77	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	423	SH47	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	424	SH47	鉢	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	425	SH47	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
268	427	16785	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○							
	428	SH29	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
	429	16788	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	430	16807	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	431	16787	壺	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	432	SH29	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○	○						茶粒	
	433	SH29	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
269	434	SH43	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	435	SH43	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	436	SH43	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	437	SH43	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				○		
	438	SH43-38,39	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	439	SH43-9	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	440	SH43	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○			
272	441	SH46-88	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	442	SH46	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	443	SH46-18	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	444	SH46-3	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○	茶粒	
	445	SH46-73	壺	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	446	SH46-21	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	447	SH46	壺	ケズリ,ナデ	工具ケズリ,ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	448	SH46-119	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	449	SH46-10,131	高坏	ナデ	丁寧なナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	450	SH46-9	高坏	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○					○			
	451	SH46-38,130	坩	ミガキ	ナデ	白黄褐色	白黄褐色	○					○			
	452	SH46	坩	ミガキ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
274	454	SH77-3,7,9,10,11,24	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	455	SH77-4,5	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	456	SH77-14	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	457	SH77-12	壺	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	458	SH77	壺	ハケメ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色						○			
275	459	SH109	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○							
	460	SH109	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	461	SH109	高坏	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○							
278	462	SH74	甕	ケズリ後ナデ	工具ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	463	SH74-21,23	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	464	SH74	甕	ナデ	ナデ	暗灰茶褐色	赤茶褐色	○	○	○			○			
	465	SH74-8	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	466	SH74	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	467	SH74-9	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	468	SH74-26,37,38	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	469	SH74	壺	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○							
	470	SH74-1	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	471	SH74-27	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	472	SH74	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	473	SH74-34	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
280	474	SH87	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○				○			
	475	SH87	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	476	SH87	甕	ハケメ後ナデ	工具ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	477	SH87	甕	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○					○		
	478	SH87-1	甕	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	479	SH87	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰褐色	○	○					○		
	480	SH87	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	481	SH87	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	482	SH87-1	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	483	SH87	壺	ナデ	風化	茶褐色	灰褐色	○	○					○		
	484	SH87	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
282	485	SH86-3	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	486	SH86	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		○		
	487	SH86-7	壺	ケズリ後ナデ	風化	茶褐色	灰茶褐色	○	○			○	○	○		
	488	SH86	不明	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
283	490	SH73	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
284	491	SH97-3	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	492	SH97-10	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		

表40　古墳時代遺物観察表　(7)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
284	493	SH97-9	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	494	SH97-2	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	495	SH97-1	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
286	496	SH96-4,5,13	甕	ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	497	SH96	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	498	SH96-3	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	499	SH96-2	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○					○		
	500	SH96-11	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	501	SH96-10	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	502	SH96-6	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○							
	503	SH96-9	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○							
	504	SH96-1	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○							
	505	SH96-6	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○							
287	507	SK129	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○				○	○		
	508	SK129	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	赤茶褐色	○	○	○						
	509	SK129-1	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗褐色	○	○				○			
	510	SK129-5	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	511	SK129-8	鉢	工具ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
288	512	SH72-4	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	513	SH72-7	鉢	風化	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○							
289	514	SH71-2	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○				
	515	SH71-1	鉢	ナデ	ナデ	茶褐色	灰褐色	○	○				○			
	516	SH71	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○								
291	517	SH34-399	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	518	SH34-525,527	甕	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○				○			
	519	SH34-116	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○				○		茶粒	
	520	SH34-521	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○				○			
	521	SH34-118	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	522	SH34-358	甕	ケズリ後ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○				○	○		
	523	SH34-490	甕	ナデ	工具ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	524	SH34-76	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○					○	茶粒	
	525	SH34-511	壺	ハケメ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○		茶粒	
	526	SH34	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○			○			
	527	SH34-422	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○	○		
	528	SH34-92	坩	ナデ	丁寧なナデ	赤色顔料	茶褐色	○	○					○		
	529	SH34-493,495	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○					○			
	530	SH34-343	坩	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○					○			外面わずかに赤色顔料
	531	SH34-311	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	暗褐色	○								
	532	SH34-295,350 537,539,540	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	533	SH34-347,356	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○							茶粒	
	534	SH34-523	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○								
	535	SH34-355	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	536	SH34-291	鉢	ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	537	SH34-77	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	538	SH34-530,532 533	鉢	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	539	SH34-105	ミニチュア	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	540	SH34	粘土	なし	なし	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○								なし
293	549	SH33-14476	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗黄茶褐色	○	○							
	550	SH33-6	甕	ケズリ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	551	SH33	壺	工具ナデ	ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	552	SH33	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○						○		
295	553	SH70-13,20	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	
	554	SH70-41	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	555	SH70-3,4	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	556	SH70	壺	ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	557	SH70	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	558	SH70-26	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	559	SH70	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	560	SH70-7	坩	風化	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○							茶粒	
296	561	SH70-14,15 17,18	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○					○			
	562	SH70	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○					○			
	563	SH70-5,11 20,21	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○					○		
	564	SH70-17	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	565	SH70-37	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○							茶粒	
	566	SH70	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○							茶粒	
	567	SH70	土錘	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○								
	568	SH52	甕	ナデ	風化	白黄褐色	白黄褐色	○	○							
	569	SH52	高坏	風化	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	570	SH52	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○				○			
	571	SH54	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	572	SH54	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
300	573	SH51	甕	ナデ	ナデ	黒茶褐色	茶褐色	○	○							
	574	SH51	甕	ナデ	ナデ	黒茶褐色	茶褐色	○	○							
	575	SH51-56	甕	ナデ	ナデ	黄褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	576	SH51	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	577	SH51	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	578	SH51	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	579	SH51-61	壺	ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	580	SH51-1	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○							
	581	SH51-69	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○							
	582	SH51	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	583	SH51-31	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	584	SH51	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○	○				○			
	585	SH51-27,43,54	高坏	ナデ	ナデ	暗赤茶褐色	暗赤茶褐色	○					○			二次焼成あり
	586	SH51	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	587	SH51	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	588	SH51	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	589	SH51-57,58	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	590	SH51-7	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黒褐色	○					○			

表41　古墳時代遺物観察表　(8)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
300	591	SH51	高坏	ナデ	不明	赤色顔料	灰茶褐色	○	○				○			
	592	SH51-45	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	593	SH51-64,67,68	鉢	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	594	SH51-11	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	595	SH51-18	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○		茶粒	
	596	SH51	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○	○				○			
	597	SH51-72	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
302	598	SH50	甕	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	599	SH50-10	甕	ナデ	ナデ	黒褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	600	SH50-6	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	601	SH50-11	壺	ハケメ後ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○		○		
	602	SH50-4	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	603	SH50	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○				○			茶粒	
	604	SH50	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○								
	605	SH50-3	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白灰茶褐色	○								
304	607	SH32	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	608	SH32	壺	ナデ	ナデ	白黄褐色	黄褐色	○	○					○		
	609	SH32	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	610	SH32-4	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白灰褐色	○								
	611	SH32,SH63-31	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			脚部面取り
	612	SH32-16	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
305	613	SH31-19,20,26	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○				○			
306	614	SH31-17,21,22 23,25,54,55,56 57,59,61,62,63	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○		○	茶粒	
	615	SH31-8,11,12	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	616	SH31-20,52,64	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○							茶粒	
	617	SH31-33,34 46,47	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○					○		茶粒	
	618	SH31-31,37,50	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○					○		茶粒	
	619	SH31	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	茶褐色	○					○		茶粒	
	620	SH31	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○		茶粒	
	621	SH31-38	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○							茶粒	脚部面取り
	622	SH31-43	高坏	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○					○			
	623	SH31-14,34	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	暗褐色	○							茶粒	
	624	SH31-34,36	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	赤色顔料	茶褐色	○							茶粒	補修痕あり
	625	SH31-38,40,41	鉢	ナデ	ハケメ後ナデ	茶褐色	茶褐色	○					○		茶粒	
310	626	SH30-34	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	627	SH30- 4	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	628	SH30-27	壺	風化	風化	黄褐色	黄褐色	○	○							
	629	SH30-37	坩	ナデ,ミガキ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○				○			
	630	SH30-18	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	631	SH30-11,12	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	茶褐色	○							茶粒	
	632	SH30-16,23,30	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	633	SH30	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	634	SH30-17,19,20 22,24,25,29,35	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
313	636	SH63-29	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				○		
	637	SH63-29	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗黄茶褐色	○	○				○			
	638	SH63-11,18	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○				
	639	SH63	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				○		
	640	SH63	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○		○		
	641	SH63-7	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○					○			
	642	SH63-22	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○				○			
	643	SH63-36,37	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○			
	644	SH63-33	高坏	ナデ	ナデ	白黄茶褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	645	SH63-8,32	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○							茶粒	
	646	SH30-26,30,33 SH63-2,3	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○								
316	649	SH48	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
318	651	SH64-14,15,19	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黒茶褐色	○	○					○		
	652	SH64-28	甕	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					○		
	653	SH64	甕	ハケメ後ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	654	SH64-27	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	黄褐色	○	○					○		
	655	SH64-26	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					○		
	656	SH64- 3	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○			○	○	○		
319	658	SH69	甕	ナデ	ハケメ後ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○								
	659	SH69	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○							茶粒	
321	660	SH84-1,2,3	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	661	SH84	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	662	SH84	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	663	SH84	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	664	SH84	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	665	SH84	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	666	SH84	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○	○		○	○			
	667	SH84	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
	668	SH84	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄褐色	○								
	669	SH84	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄褐色	○								
	670	SH84	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄褐色	○								
	671	SH84	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	672	SH84-4	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	673	SH84	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○							茶粒	
	674	SH84	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	明茶褐色	○					○			
	675	SH84	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○			○				
322	676	SH75	甕	ナデ	風化	茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
324	677	SH76-26,27,28	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○				○		茶粒	
	678	SH76-14,17,19	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○				○		○		
	679	SH76-16,24	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	灰茶褐色	○				○		○		
	680	SH76-22	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○				○		○		
	681	SH76-6	高坏	ナデ	ケズリ・ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○				○		茶粒	
	682	SH76-4,5,7	坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	茶褐色	○					○		茶粒	
	683	SH76	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
325	684	SH40	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	685	SH40-26	甕	風化	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	

表42　古墳時代遺物観察表　(9)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
325	686	SH40-23	壺	風化	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	687	SH40-22	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	688	SH40-29	高坏	ナデ	ミガキ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	689	SH40	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	690	SH40	坩	ナデ,ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
327	692	SH39	甕	ハケメ後ナデ	工具ナデ	灰茶褐色	茶褐色	○	○							
	693	SH39	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	694	SH41	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
	695	SH41	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○						○		
	696	SH41	高坏	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
331	697	SH42-65,72	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰黄茶褐色	○	○			○		○		
	698	SH42-29,111 152,153,161	甕	ナデ	ナデ	灰茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	699	SH42-4	甕	ナデ	ナデ	黒茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	700	SH42-4,128 144,264	甕	ナデ	ナデ	黒茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	701	SH42-274,275	甕	ナデ	ナデ	黒茶褐色	黄茶褐色	○	○			○		○		
	702	SH42-124,265 269,271	甕	ケズリ後ナデ	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○	○		
	703	SH42-10	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	704	SH42	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	705	SH42-215,216	壺	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	706	SH42-150,154,174, 176,268	壺	ナデ	ナデ	白黄褐色	白黄褐色	○					○			
	707	SH42-255	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	708	SH42-79	坩	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
	709	SH42-64	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	710	SH42-212	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
332	711	SH42-71,81,84	高坏	ミガキ	ミガキ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○				○	○		
	712	SH42-31,41,60 69,93,231,259	高坏	ミガキ	ミガキ	白黄茶褐色	白黄茶褐色	○	○				○	○		
	713	SH42-96,106 278	高坏	ナデ	丁寧なナデ	暗赤茶褐色	暗赤茶褐色	○	○		○		○	○		
	714	SH42-290	高坏	ミガキ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○				○		
	715	SH42-236	高坏	ナデ	ケズリ後ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○				○			
	716	SH42	高坏	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○	○				茶粒	
	717	SH42-107,249 252,277	鉢	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○	○		
	718	SH42-246	蓋	ナデ	ケズリ後ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○	○	○	○		
	719	SH42-262	ミニチュア	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○			
333	724	SH85	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○						○		
	725	SH85	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○			
	726	SH85	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
334	727	SH85	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○			
	728	SH85	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○		○			○			
	729	SH85	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	730	SH85	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○					○	○		
	731	SH85	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○						○		
	732	SH85	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○					○			
	733	SH85	高坏	工具ナデ後指ナデ	指ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○				○	○			
	734	SH85	高坏	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	茶褐色	茶褐色	○					○			
	735	SH85	免田	沈線文	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○				○			
337	736	SH78-9	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○			○		○		
	737	SH78	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	738	SH78-11,12	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○				○			
	739	SH78	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	740	SH78	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	741	SH78-33	壺	ミガキ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	742	SH78	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○							茶粒	
	743	SH78-18	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○							茶粒	
	744	SH78	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○								
	745	SH78	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	746	SH78-10	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○							茶粒	
	747	SH78	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○								
339	749	SH 9 -8,22	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	750	SH9-9	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	751	SH9-3	壺?	ナデ	ナデ	赤色顔料	明茶褐色	○	○					○	茶粒	
	752	SH9-4	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	753	SH 9 -12,14,15 16,18,19,20	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	明茶褐色	○	○							
	754	SH 9 -21	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○	○							
342	755	SH6-7	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	756	SH6-5	甕	風化	工具ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	757	SH 6	甕	工具ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	758	SH 6 -21	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	759	SH6-2	壺	ナデ	風化	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	760	SH 6 -12,13 15,19	坩	指ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	761	SH6,SH 6 -20	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	762	SH 6	高坏	指ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	763	SH 6	高坏	指ナデ	指ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○							茶粒	
	764	SH 6	高坏	指ナデ	不明	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	765	SH6-4	高坏	指ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○					○			
	766	SH6-1	高坏	指ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			内面に布目状の圧痕
	767	SH6-3	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	768	SH 6 -22	須恵器	タタキ	タタキ	灰褐色	灰褐色	○								
343	769	SH80	甕	ナデ	ハケメ後ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○			○		○		
	770	SH80	甕	ナデ	ナデ,工具ナデ	茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		工具幅　2.5㎝
	771	SH80-16	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	772	SH80-3	壺	ナデ	ケズリ,ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○	○		茶粒	
	773	SH80-5,19	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				○	○		格子状の変色
	774	SH80-21	高坏	ナデ,ミガキ	ナデ,ミガキ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								

表43　古墳時代遺物観察表　⑽

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
344	775	SH80-1	壺	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	776	SH80	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	茶褐色	○					○			
	777	SH80-24	坩	風化	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○								
	778	SH80-22	坩	ナデ	工具　ナデ	赤色顔料	茶褐色	○					○		茶粒	
	779	SH80-2	高坏	ナデ	ハケメ後ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	780	SH80-19	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	781	SH80-17	高坏	ナデ	ナデ	暗褐色,赤色顔料	灰茶褐色	○								
	782	SH80-31	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								脚部面取り
	783	SH80-25	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	赤色顔料	灰茶褐色	○	○				○			
345	784	SH82	甕	ミガキ	丁寧なナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○					○			
	785	SH82	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	786	SH82	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○				○	○			
	787	SH82	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
347	788	SH83	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	789	SH83	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	790	SH83	甕	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○	○					○	茶粒	
	791	SH83	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄褐色	○								
	792	SH83	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	793	SH83-8	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								煤付着
	794	SH83-2	高坏	ミガキ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	795	SH83-3	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	796	SH83-1	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○					○	○		
	797	SH83-6	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	798	SH83-7	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	799	SH83	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	800	SH83	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○								
	801	SH83	土製品	ナデ	－	黄褐色	－	○					○			
349	802	SH89	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	803	SH89	甕	指ナデ	指ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	
	804	SH89-1	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○	○					○		
	805	SH89	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○							茶粒	
350	806	SH56-1	甕	ナデ	ケズリ後ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
352	807	SH 5	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗茶褐色	○	○							
	808	SH 5 -16,20	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	809	SH 5 -17,21,22 26,27,32,33,34	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
353	810	SH 5	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
354	811	SH 5 -4,5,6,9	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	812	SH 5 -32	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	813	SH 5 -34,36	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	814	SH5-28	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	815	SH 5	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	816	SH5-9	鉢	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	817	SH 5	土製品	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○							
	818	SH 5	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	819	SH 5	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	820	SH 5 -13	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	821	SH 5 -1	須恵器	タタキ	タタキ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○								
356	824	SH 4 -9	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	825	SH 4 -76,96,97	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	826	SH 4 -43,89	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	827	SH 4 -1	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	828	SH 4 -58	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	829	SH 4 -80,85	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	830	SH 4 -32	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					○		
357	831	SH 4 -7,8,10 13～16,22～24 27,35,47,51,54 55,63,73,75,79 90,91	壺	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○	○				○		
	832	SH 4	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	833	SH 4 -66	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○								
	834	SH 4 -78	須恵器	回転ヘラケズリ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	835	SH 4 -77	須恵器	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○						○		
358	836	SH 4 -2,17,83,4319	須恵器	タタキ	タタキ	灰褐色	灰褐色	○						○		
	837	SH 4 -11,31	須恵器	タタキ	タタキ	灰褐色	灰褐色	○						○		
	838	SH 4 -52	須恵器	タタキ	タタキ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○						○		
360	839	SH11	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	840	SH11-12	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	茶褐色	○	○							
	841	SH11-13	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○	○							
	842	SH11-16	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○	○							
	843	SH11-17	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
361	845	SH 8	壺	ハケメ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○			○		○		
	846	SH 8 -15	壺	ナデ	ナデ	茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	847	SH 8 -13	壺	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○	○							
	848	SH 8 -5,14	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○			
	849	SH 8 -4	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○		茶粒	
	850	SH 8	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	茶褐色	○		○			○	○		
	851	SH 8 -9	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○		茶粒	
	852	SH 8	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	黄茶褐色	○					○		茶粒	
	853	SH 8 -8	鉢	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○	○		○		
363	854	SH 7	甕	ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					○		
	855	SH 7	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○							
	856	SH 7	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
365	857	SH 3	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	
	858	SH 3	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤色顔料	○								
	859	SH 3	坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○						○		
366	862	SH 2 -9	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	863	SH 2 -29	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	864	SH 2	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	865	SH 2 -16	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	866	SH 2 -5	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	867	SH 2 -30	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		

表44　古墳時代遺物観察表　(11)

挿図	番号	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
366	868	SH 2	高坏	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	869	SH 2 -10,12	不明	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
368	872	J 5 -26186	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
376	873	SK91-47,48,52	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	874	SK91-20,44	坩	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	875	SK96	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	876	SK193	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	877	周 2	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	878	周 2	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	879	周 2	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	880	SK91	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	881	SK197	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	882	SK135	甕	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	883	SK135	鉢	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○							
377	884	SK113- 2	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	白黄茶褐色	○	○							
	885	SK138-6,7	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○		○					
	886	SK138-1,2,3,4,5	壺	ケズリ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○	茶粒	

表45　古墳時代遺物観察表　(12)

挿図	番号	取上番号	器種１	器種２	石材１	石材２	最大長（mm）	最大幅（mm）	厚さ（mm）	重量（g）
204	66	SH102	石庖丁		SH		41.8	75.8	5	23.93
206	88	SH107	砥石		AN	Ⅱ	156	89.5		730.00
207	107	SH106	台石		AN	Ⅱ	186.5	83.5		1880.00
211	131	SH117	砥石	C	砂岩		253.5	84	53.5	1810.00
226	220	SH25-1360	石庖丁		SH		75	32.4	4.3	15.49
226	221	SH25-1116	砥石	A	砂岩		79.5	52.5	12.5	74.85
236	270	SH17-1	石皿		AN	Ⅱ				
239	282	SH15	砥石		AN	Ⅱ	750	830		430.00
254	371	SH13-1	敲石		砂岩		159	45	28	298.00
254	372	SH13-11	敲石		AN	Ⅱ	141	70	64	952.00
259	383	SH98	礫器	V	SH		715	995		155.00
259	384	SH98	石皿		AN	Ⅱ	150	122		580.00
261	394	SH110-2	石庖丁		SH		41.2	83.3	5.1	25.63
264	409	SH91-4	砥石	A	砂岩		90.5	64.5	11.5	80.20
267	426	SH47	砥石		砂岩		73	60.5	8.5	60.37
272	453	SH46	石庖丁		SH		32.8	32.9	4.4	5.65
282	489	SH86-4	石皿		AN	Ⅱ	200.5	195	41.5	1430.00
286	506	SH96-14	石皿		AN	Ⅱ	140.5	134		1870.00
291	541	SH34-193	敲石		砂岩		166	59	42.5	560.00
291	542	SH34-286	砥石		SH		162	64	39.5	421.00
292	543	SH34-466	棒状礫		砂岩		87	43	16.8	114.44
292	544	SH34-434	棒状礫		砂岩		116.5	54	44.5	282.00
292	545	SH34-463	棒状礫		AN	Ⅱ	124	45	31.5	206.00
292	546	SH34-189	管玉		蛇紋岩		13.5	7	7	1.00
292	547	SH34-165	管玉		蛇紋岩		20.5	8	7.5	1.95
292	548	SH34-164	管玉		蛇紋岩		26	7.5	7.3	2.34
302	606	SH50一括	器種不明		SH		40	17	3.5	3.21
310	635	SH30-38	砥石		砂岩		260	88	55.5	1949.00
313	647	SH63-1	棒状礫		AN	Ⅱ	81	39	23	105.75
313	648	SH63-13	棒状礫		AN	Ⅱ	60.5	30	21	53.16
316	650	SH48-1	石皿		AN	Ⅱ	199	153	77	2885.00
325	691	SH40-18	棒状礫		砂岩		124.5	44	30	211.00
332	720	SH42	スクレイパー		SH		141	44.5	23	144.81
332	721	SH42ピット7	砥石		砂岩		99	89	30	321.00
332	722	SH42-283	砥石		SH		78	69.5	22	137.28
332	723	SH42-289	勾玉		SH		21.5	13.7	4.3	1.65
337	748	SH78	磨製石鏃		SH		24.5	23	3	1.98
355	822	SH5-2	砥石		砂岩		54.5	65.5	24	92.93
355	823	SH5-19	敲石		AN	Ⅱ	88.5	52.5	47.5	285.00
360	844	SH11埋土8	砥石		砂岩		55	79	22.5	123.03
365	860	SH3-1	磨製石鏃		SH		40.5	26	2	2.65
365	861	SH3-2	石皿		AN	Ⅱ	202.5	148	35	1710.00
366	870	SH2	砥石		砂岩		132.5	76	31.5	503.00
366	871	SH2	砥石		砂岩		147	109	37.5	598.00
377	887	SK91-53	石皿		AN	Ⅱ	157	134	82	2035.00
377	888	SK91-31	石皿		AN	Ⅱ	228	165	95	4950.00

表46　古墳時代遺物観察表　(13)

挿図	番号	器種	遺構番号	最大長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重量（g）	備考
216	160	不明	竪穴住居跡16号	2.60	1.20	0.30	2.81	
226	222	不明	竪穴住居跡17号	4.00	2.25	0.10	5.13	
245	321	不明	竪穴住居跡26号	5.75	1.85	0.25	12.02	
318	657	不明	竪穴住居跡66号	4.00	2.70	0.20	9.67	

表47　古墳時代遺物観察表　(14)

挿図	番号	出土区		層	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
380	889	E E	25 25	2 4	一括 12585,14014 14015,14016 14019,14020 14023,14032 14040,14239 14240,14241 14243,14244 14250,14256 14266,14301	甕	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	890	L	15	4	23306	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	891	E	25	3	15033	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○	○			○			

表48　古墳時代遺物観察表　(15)

挿図	番号	出土区		層	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
380	892	K	19	2	19251,19252 19254,19255 19277,19280 22673,22684 22685,22690 22691,24525 24527,24528 24530,24610 24613	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○				○	○		
381	893	D	44	2	2130,2372,2373	甕	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	894	E E	25 25	4 2	14050 11555	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	895	B	39		一括	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	896	I	10	2	一括	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○	○						
	897	J	5	2	26188	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
382	898	J	5	2	一括	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	899	J	9	−	26185	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	900	J	11	−	一括	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	901	K	12	2	一括	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○						
	902	I	9	2	一括	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	903	E	28	3	8228,8244 8245,8238	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	904	F	21	2 4 2	12014 13082 10342	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○	茶粒	
	905	F	28	2 3	一括 8690,9584	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	906	J	18	2	一括	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	○	○						茶粒	
383	907	−	−	−	SH35	甕	工具ナデ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	908	−	−	−	SH21	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○				○			
	909	−	−	−	SH35	甕	ハケメ後ナデ	ハケメ後ナデ	暗茶褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
	910	−	−	−	SH35	甕	ハケメ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
	911	−	−	−	SH21	甕	ケズリ	ケズリ	赤茶褐色	黒褐色	○	○					○		
	912	−	−	−	SH35	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	913	−	−	−	SH21	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	914	B	39	−	一括	甕	ナデ	ナデ	茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	915	J	9	2	一括	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	暗褐色	○	○							
	916	I	9	2	一括	甕	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	917	B	40	2	3464	甕	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	918	I	9	2	一括	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	暗黄茶褐色	○	○					○		
	919	J	12	2	一括	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	920	J	12	2	一括	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○					○		
	921	J J J	17 18 18	2 2 2	一括 一括 一括	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○	茶粒	
	922	J J	5 6	2 2	一括 一括	壺	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	923	J	10	−	一括	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	白灰黄茶褐色	白灰黄茶褐色	○	○					○		
	924	J	10	−	一括	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	925	K	7	−	13453	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					○		
	926	J	6	2	一括	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	927	G	15	4	16983,16984	壺	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○					○		
	928	G	15	4	18294	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	929	J	12	−	一括	壺	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	930	J	5	2	一括	壺	ナデ	ナデ	灰茶褐色	茶褐色	○	○					○		
	931	H	19	4	12795	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○					○		
384	932	J	11	−	一括	壺	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	933	−	−	−	一括	坩	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	934	−	−	−	SH21	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	○	○							
	935	I	10	2	一括	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	936	G	15	4	16969	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	937	J	13	2	一括	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	938	L	16	−	一括	坩	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	939	K	17	2	19336	坩	ケズリ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	940	G	15	4	17657	坩	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	941	I	10	2	一括	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	942	H	15	4	17660	坩	ナデ	ナデ	暗黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	943	J	14	2	一括	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	944	E	28	2	9200,26189	坩	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	945	I	9	−	一括	坩	ナデ	ナデ	赤色顔料	灰黄茶褐色	○	○							
	946	K	11	−	一括	坩	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○	○		
	947	E	28	3 2	9174 一括 11501	高坏	ケズリ後ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	948	I	10	2	一括	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	949	J	10	−	一括	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○	○	茶粒	
	950	E	28	3	9159-2	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	明茶褐色	○	○						茶粒	
	951	I	28	4	22222	高坏	ナデ	ナデ	赤色顔料	赤茶褐色	○	○							
	952	J	5	2	一括	高坏	ミガキ	ナデ	暗黄茶褐色	暗茶褐色	○	○				○			
	953	K	14	2	一括	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				○			
	954	J	6	2	20064	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○				○			
	955	J	6	2	一括	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
385	956	J	5	2	一括	高坏	ナデ	ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○							
	957	J	17	2	一括	高坏	ハケメ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	黄茶褐色	○	○							
	958	E	28	2 2 3	一括 11421 9180,9197,957695 77,9667,9668 9669	甕	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○						茶粒	
	959	J	6	2	一括	鉢	ナデ	ハケメ後ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	960	J	12	2	一括	甕	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○							
	961	−	−	−	SH35	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	灰茶褐色	○	○				○	○		
	962	D	46	2	一括	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	○	○					○		
	963	D	35	2	4387	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○					○		
	964	J	7	2	一括	鉢	ナデ	ナデ	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○						茶粒	
	965	K	7	2	一括	鉢	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							

表49　古墳時代遺物観察表　(16)

挿図	番号	出土区		層	取上番号	器種	調整（外面）	調整（内面）	色調（外面）	色調（内面）	石英	長石	角閃石	雲母	輝石	砂粒	小礫	他	備考
385	966	J	16	2	一括	鉢	ケズリ後ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	967	J	13	2	一括	鉢	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	968	J	12	2	一括	甑?	ナデ	ナデ	灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	969	J	12	2	一括	甑?	ナデ	ナデ	暗灰茶褐色	灰茶褐色	○	○							
	970	J	11	2	一括	ﾐﾆﾁｭｱ	ナデ	ナデ	灰黄茶褐色	灰黄茶褐色	○	○							
	971	D	35	1	一括	須恵器	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	972	D	34	－	一括	須恵器	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								
	973	C	36	2	一括	須恵器	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○								

表50　古墳時代遺物観察表　(17)

挿図	番号	出土区		層	取上番号	器種１	石材１	最大長（mm）	最大幅（mm）	重量（g）	厚さ（mm）
385	974	E	30	3	8894	磨製石鏃	SH	27.8	23.5	1.9	2.7
	975	G	21	2	10000	磨製石鏃	SH	34.0	26.0	2.4	2.4
	976	－	－	－	溝2	磨製石鏃	SH	48.8	25.0	4.8	3.0
	977	－	－	－	SK117	磨製石鏃	SH	35.5	24.8	1.1	2.7
	978	E	24	3	15143	磨製石鏃	SH	32.9	22.7	2.3	2.2
	979	E	30	3	9256	磨製石鏃	SH	18.2	14.3	0.5	1.8
	980	－	－	－	26182	石庖丁	SH	42.7	92.8	30.2	5.2
	981	E	45	2	1082	石庖丁	SH	35.0	79.0	22.0	6.0
	982	J	6	2	一括	石庖丁	SH	31.5	48.0	13.5	6.5
	983	K	16	4	23367	石庖丁	SH	24.5	36.5	5.4	4.8
	984	－	－	－	2623　青2623	砥石	SH	43.0	34.5	14.2	6.5
	985	E	24	2	11649	勾玉	SH	21.0	11.5	1.5	4.8
	986	－	－	－	SH10-9	勾玉	蛇紋岩	17.8	12.5	1.1	5.8
	987	－	－	－	溝一括	小玉	鉛ガラス	4.3	3.5	0.08	3.0
	988	E	55	3	一括	小玉	鉛ガラス	4.7	4.5	0.08	2.3
	989	K	22	2	12904	小玉	カリ石灰ガラス	6.2	5.8	0.16	3.3

表51　古代遺物観察表　(1)

挿図	番号	取上番号（出土区/層）	分類	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	色調 外面	色調 内面	器面調整 外面	器面調整 内面	備考
389	1	青1951（P３/？）	土師器　坏	13.2	4.5	5.2	浅黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ，スス	ヨコナデ，スス	
	2	青1834②（P６/？）	土師器　坏	12.8	4.5	4.6	白黄色	白黄色	スス	ヨコナデ	
	3	青1834①（P６/？）	土師器　埦	－	－	5.8	浅黄橙色	浅黄橙色	スス	スス	
390	4	SK112-2（I22/？）	土師器　埦	－	－	5.4	白黄色	白黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	5	SK12一括（E45/？）	土師器　埦	－	－	－	白黄色	白黄色	ナデ	ナデ	
	6	SK12-7（E45/？）	土師器　甕	28.9	16.8	－	黒茶褐，赤黄褐色	赤茶褐色	ハケ，ナデ，ふきこぼれ	ハケ,ナデ	
	7	SK12一括（E45/？）	黒色土器A類　埦	－	－	－	浅黄色	黒色	ミガキ,スス	ミガキ	
391	10	SK２-13（E45/？） SK２-22（E45/？）	土師器　埦	11.6	5.5	5.6	にぶい黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ,ヘラ切り	ナデ	
	11	SK２-19（E45/？） SK２-20（E45/？）	土師器　埦	11.4	5.1	5.4	浅黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	12	SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？）	土師器　埦	－	－	－	橙色	橙色	ナデ	ナデ	
	13	SK２-6（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？）	土師器　埦	－	－	7.3	灰黄色	灰黄色	ナデ	ナデ	
	14	SK２-5（E45/？）	土師器　埦	－	－	6.8	にぶい黄橙色	にぶい橙色	ヨコナデ,スス	ヨコナデ,スス	
	15	SK２-8（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？）	黒色土器A類　埦	13.0	6.0	7.6	にぶい黄橙色	黒色	ヨコナデ	ミガキ	
	16	SK２-14（E45/？） SK２一括（E45/？）	黒色土器A類　埦	13.7	6.0	6.2	にぶい黄橙色	黒色	ヨコナデ,スス	ヨコナデ,ミガキ	
	17	SK２-3（E45/？）	黒色土器A類　埦	－	－	－	にぶい橙色	にぶい橙色	ナデ,スス	ナデ	
	18	SK２-1（E45/？） SK２一括（E45/？） SK２一括（E45/？）	土師器　甕	22.0	－	－	茶褐色	茶褐色	ヨコナデ,スス	ケズリ,指頭圧痕,スス	
	19	SK２-17（E45/？）	土師器　甕	－	12.7	－	褐色	黒褐色	ハケメ,スス	ハケメ	
	20	SK２-5（E45/？）	須恵器　甕	－	－	－	にぶい黄褐色	にぶい橙色	格子目タタキ	平行文タタキ,同心円当て具痕	
	21	SK２一括（E45/？）	越州窯系青磁	－	－	7.4	うすい黄緑色	うすい黄緑色	目跡,ミガキ	ミガキ	
395	22	一括（H47/Ⅱ）	土師器　坏	11.0	3.2	5.4	にぶい黄橙色	黄橙色	沈線	スス,ヘラケズリ	
	23	26177（I47/Ⅱ）	土師器　坏	10.2	3.6	3.4	灰白色	灰白色	ナデ	ナデ	
	24	一括（K18/？）	土師器　坏	16.0	3.0	10.0	灰黄色	暗灰黄色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	25	一括（I50/Ⅰ）	土師器　坏	－	－	－	にぶい橙色	にぶい橙色	ナデ	ナデ	
	26	5058（M49/Ⅱ）	土師器　坏	14.0	－	－	浅黄色	浅黄色	ナデ	ナデ	
	27	26160（H48/Ⅱ）	土師器　坏	11.4	－	－	橙色	にぶい黄橙色	ナデ	ナデ	
	28	一括（I49/Ⅱ）	土師器　坏	15.0	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ	ナデ	
	29	一括（H49/Ⅱ）	土師器　坏	12.8	－	－	浅黄橙色	浅黄橙色	ナデ	ナデ	
	30	1228（E46/Ⅱ）	土師器　坏	－	－	－	にぶい黄橙色	黄橙色	ヨコナデ	ヘラミガキ	
	31	4764（H49/Ⅱ）	土師器　埦	11.0	－	-	浅黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	32	4756（H49/Ⅱ）	土師器　埦	12.0	－	-	にぶい橙色	にぶい橙色	ヨコナデ	ナデ	
	33	一括（H49/Ⅱ）	土師器　埦	8.0	－	－	明褐色	暗褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	34	一括（H49/Ⅱ）	土師器　埦	8.0	－	－	明褐色	暗褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	35	4767（H49/Ⅱ）	土師器　埦	13.0	－	－	明褐色	にぶい橙色	ヨコナデ	ナデ	
	36	一括（H49/Ⅱ）	土師器　埦	11.0	－	－	浅黄橙色	浅黄橙色	ナデ，沈線	ヨコナデ	
	37	一括（H49/Ⅱ）	土師器　埦	10.6	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	38	3880（F28/Ⅱ）	土師器　埦	10.3	－	－	にぶい橙色	橙色	スス，ヨコナデ	ヨコナデ	
	39	一括（H49/Ⅱ）	土師器　埦	10.8	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	40	5174（H49/Ⅱ）	土師器　埦	12.8	5.8	6.8	にぶい黄橙色	黄橙色	工具ナデ，ヘラ切り	工具ナデ，スス	
	41	5179（H49/Ⅱ） 5211（H49/Ⅱ） 5212（H49/Ⅱ）	土師器　埦	10.8	5.2	4.6	淡黄色	淡黄色	ヨコナデ，スス，ヘラ切り	ヨコナデ，スス	
	42	5047（H49/Ⅱ）	土師器　埦	－	5.1	5.4	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ，ヘラ切り	ヨコナデ	
	43	4752（G50/Ⅱ） 4533（G50/Ⅱ）	土師器　埦	12.2	5.4	5.7	灰白色	灰白色	ヨコナデ，ヘラ切り	ヨコナデ，ケズリ	
	44	26161（H48/Ⅱ）	土師器　埦	－	5.1	5.2	にぶい黄橙色	黄橙色	ナデ，ヘラ切り	ヨコナデ	

表52　古代遺物観察表　(2)

挿図	番号	取上番号（出土区/層）	分類	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調 外面	色調 内面	器面調整 外面	器面調整 内面	備考
395	45	26163（I48/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.0	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ，ヘラ切り	ヨコナデ	
	46	4962（I49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.2	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ，ヘラ切り	同心円状のケズリ	
	47	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.0	浅黄橙色	浅黄色	ナデ，稜線，ススヘラ切り	ナデ	
	48	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	3.8	6.0	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ，ヘラ切り	ケズリ	
	49	一括（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	5.4	にぶい黄橙色	灰黄褐色	ナデ，ススヘラ切り	ナデ	
	50	一括（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	2.9	5.6	にぶい橙色	にぶい橙色	ナデ，ススヘラ切り	ナデ	
	51	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	2.3	5.7	橙色	橙色	ナデ，ヘラ切り	ナデ	
	52	1209（D40/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	5.4	橙色	橙色	ナデ，ヘラ切り	ヘラ線刻，ス	
	53	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.5	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ，ヘラ切り	ナデ，渦巻き状ケズリ	
	54	一括（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	5.2	白黄色	白黄色	ナデ，ヘラ切り	ナデ	
	55	一括（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	2.2	5.5	灰白色	灰白色	平行文，ヨコナデ，ヘラ切り	ナデ	
	56	4911（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	5.4	浅黄色	浅黄色	ナデ，ヘラ切り	ヨコナデ	
	57	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.0	淡黄色	淡黄色	渦巻き状ケズリ，ヘラ切り	ヨコナデ	
	58	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	5.8	にぶい黄橙色	黄橙色	ヨコナデ，指頭圧痕，ス，ヘラ切り	ヨコナデ	
	59	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	4.5	にぶい橙色	にぶい橙色	ナデ，ヘラ切り	ナデ，ヘラ切り	
	60	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.0	浅黄色	浅黄橙色	茶斑点，ヘラ切り	茶斑点	
396	61	一括（H50/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.0	淡黄色	淡黄色	茶斑点，ヘラ切り	茶斑点	
	62	4779（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	2.6	5.4	淡黄色	淡黄色	茶斑点，ヘラ切り	茶斑点	
	63	一括（G50/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.2	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	5本の線，ヘラ切り	ナデ	
	64	一括（H49/？）	土師器　塊	－	－	9.0	灰白色	灰色	圧痕	ヨコナデ	
	65	812（D45/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	9.0	淡黄色	淡黄色	ナデ	ナデ	
	66	26154（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	8.0	浅黄橙色	浅黄橙色	ナデ	反時計回りの渦巻状ケズリ	
	67	一括（H50/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	7.4	浅黄橙色	浅黄橙色	ナデ	木の葉模様，ヘラケズリ	
	68	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	7.0	浅黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ	木の葉模様，ヘラケズリ	
	69	一括（H48/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	7.5	浅黄橙色	浅黄橙色	ヨコナデ	十字ヘラ記号，ス	
	70	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	7.4	淡黄色	淡黄，赤混じり色	ナデ	赤色混じり	
	71	一括（I48/Ⅰ）	土師器　塊	－	－	7.5	にぶい黄橙色	黄橙色	ヨコナデ	ナデ	
	72	一括（J21/Ⅱ）	土師器　塊	15.0	6.0	6.0	にぶい黄橙色	黄橙色	ヨコナデ，ス	ナデ，布目圧痕	
	73	1217（D46/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	4.4	浅黄色	にぶい黄橙色	ヘラケズリ	ヘラミガキ，ス	
	74	一括（J28/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	－	淡黄色	淡黄色	ヘラ記号	タタキ痕	
	75	7605（E26/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	6.4	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ	十字ヘラ記号	
	76	一括（H49/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ	指頭圧痕	
	77	4577（H51/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ナデ	タタキ	
	78	一括（H47/Ⅱ）	土師器　塊	－	－	7.5	にぶい黄橙色	浅黄橙色	ナデ	ヘラミガキ	
	79	一括（I32/Ⅰ）	土師器　皿	22.0	－	－	淡黄，赤混じり色	淡黄，赤混じり色	ナデ	ナデ，ス	
	80	一括（J10/？）	土師器　皿	－	1.0	9.0	浅黄橙色	橙色	ヨコナデ	ヨコナデ，凹凸	
	81	一括（F24/Ⅳ）	土師器　小皿	6.0	1.5	3.8	浅黄橙色	浅黄橙色	ヘラ切り，ス	ス	
	82	一括（I48/Ⅱ）	土師器　甕	32.0	－	－	黄褐色	明褐色	ヨコナデ，ス	ヨコナデ，ヘラケズリ，ス	
	83	一括（I49/Ⅱ）	土師器　甕	26.9	－	－	灰褐色	橙色	ナデ，ヘラケズリ，ハケメ	ナデ，ヘラケズリ	
	84	1050（E45/Ⅱ） 1084（E45/Ⅱ）	土師器　甕	18.0	－	－	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	ナデ	ヘラケズリ，指頭圧痕	
	85	一括（H51/Ⅱ）	土師器　甕	26.4	－	－	にぶい黄褐色	黒褐色	ナデ，ハケメ，ス	ナデ，ハケメ，ス	
	86	619（D45/Ⅱ） 621（D45/Ⅱ） 1089（D45/Ⅱ） 1264（D45/Ⅱ） 1265（D45/Ⅱ） 一括（D45/Ⅱ）	土師器　甕	26.2	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ，ハケメ，ス	ハケメ，ス	
397	87	720（D45/Ⅱ） 722（D45/Ⅱ） 726（D45/Ⅱ） 9？8（D45/Ⅱ）	土師器　甕	14.0	－	－	橙色	明るい橙色	指頭圧痕，ス	ヘラケズリ	
	88	4507（G51/Ⅱ） 4508（G51/Ⅱ） 4509（G51/Ⅱ） 一括（G51/Ⅱ）	土師器　甕	30.4	－	－	黒みがかりの橙色	にぶい褐色	ヘラナデ，指頭圧痕，ス	ユビオサエ	
	89	一括（I47/Ⅱ）	土師器　甕	29.1	－	－	明褐色	明うす褐色	指頭圧痕	ヘラケズリ	
	90	26160（H48/Ⅱ） 一括（H48/Ⅱ）	土師器　甕	18.0	－	－	白茶褐色	白茶褐色	ケズリ	ケズリ	
	91	一括（H49/Ⅱ）	土師器　甕	21.0	－	－	茶褐色	茶褐色	ヨコナデ，ス	ス	
	92	4485（G51/Ⅱ） 4486（G51/Ⅱ） 4487（G51/Ⅱ） 一括（G51/Ⅱ）	土師器　甕	16.4	－	－	にぶい赤褐色	にぶい橙色	ス	ヘラケズリ，ス	
	93	4755（H49/Ⅱ） 一括（H49/Ⅱ）	土師器　甕	27.6	－	－	にぶい橙色	にぶい黄橙色	ハケメ	ヘラケズリ	
	94	551（D46/Ⅱ） 560（D46/Ⅱ）	土師器　甕	27.0	－	－	茶褐色	褐色	ナデ，ス	ナデ	
	95	4769（H49/Ⅱ） 4770（H49/Ⅱ） 4920（H49/Ⅱ）	土師器　甕	29.0	－	－	暗褐色	明褐色	ヨコナデ，ス	ヨコナデ，指頭圧痕	
	96	5098（H52/Ⅱ）	土師器　甕	28.2	－	－	にぶい黄橙色	浅黄橙色	ナデ	ヨコナデ	
398	97	一括（H49/Ⅱ）	土師器　甕	－	－	－	黄褐色	暗褐色	格子目タタキ	ケズリ	
	98	一括（L22/Ⅱ）	土師器　甕	－	－	－	白灰色	白灰色	格子目タタキ	ナデ	
	99	一括（H36/？）	土師器　鉢	21.1	－	－	灰黄色	にぶい黄橙色	ヨコナデ，ス	ヨコナデ	
	100	26157（H48/Ⅱ）	土師器　鉢	26.1	7.7	－	黄橙色	黄橙色	ナデ	ナデ	
	101	一括（H49/Ⅱ） 5067（H49/Ⅱ） 4778（H49/Ⅱ）	土師器　鉢	16.5	－	－	にぶい橙色	にぶい橙色	ヨコナデ，指頭圧痕	ナデ，稜線	
	102	26170（I49/Ⅱ）	土師器　甑	28.6	－	－	橙色	明赤褐色	ケズリ	ヘラケズリ	
	103	5845（G57/Ⅳ）	土師器　把手	－	－	－	にぶい橙色	橙色	－	ケズリ	
	104	一括（H46？48？/Ⅱ）	移動式竈	－	－	－	茶褐色	うすい茶褐色	ナデ，ス	ス，ナデ	
	105	一括（I48/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	12.4	6.2	7.0	にぶい黄橙色	黒色	ヨコナデ，ス	ミガキ	
	106	7207（E26/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	13.6	－	－	淡黄色	黒色	切り離し痕跡，ヨコナデ，ス	ナデ	
	107	一括（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	－	－	－	渋黄色	黒色	ヨコナデ，ス	ヘラミガキ	
	108	26013（I47/Ⅳ）	黒色土器A類　塊	14.0	－	－	黄橙色	にぶい黄橙色	ヨコナデ，ス	ヘラミガキ，ス	
	109	26041（I47/Ⅳ）	黒色土器A類　塊	13.4	－	－	浅黄橙色	黒色	ヨコナデ，ス	ナデ	
	110	一括（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	15.0	－	－	淡黄色	黒色	ヨコナデ，ス	ヨコナデ	
	111	一括（I48/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	13.0	－	－	灰黄褐色	暗灰黒色	ナデ	ナデ，ス	
	112	一括（I49/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	12.8	－	－	浅黄色	黒色	ヨコナデ，ス	ナデ	
	113	11827（H21/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	12.0	－	－	浅黄色	黒色	ヨコナデ，ス	ナデ	
	114	一括（H49/Ⅱ） 一括（I50/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	11.6	－	－	浅黄橙色	暗灰黒色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	115	一括（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　塊	－	－	－	浅黄橙（黒）色	黒色	ケズリ，ヨコナデの痕跡	ヘラミガキ	

表53　古代遺物観察表　(3)

挿図	番号	取上番号（出土区/層）	分類	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調 外面	色調 内面	器面調整 外面	器面調整 内面	備考
398	116	一括（H40/Ⅱ） 一括（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	7.0	にぶい黄橙色	黒色	ナデ	－	
	117	26175（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	9.6	にぶい黄橙色	黒色	スス	ヘラミガキ	
	118	894（E46/Ⅱ） 849（E46/Ⅱ） 一括（E46/Ⅱ） 一括（D46/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	5.4	7.2	にぶい黄橙色	黒色	ヨコナデ，スス	ヘラミガキ	
	119	26159（H48/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	3.0	7.0	にぶい黄橙色	黒色	ヨコナデ，斑点状の塊	ナデ	
	120	一括（H48/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	7.2	淡黄色	黒色	ヨコナデ，斑点状の塊，スス？	ナデ	
	121	10624（H21/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	6.9	浅黄橙色	黒色	ヨコナデ，スス	ミガキ	
399	122	一括（I48/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	8.8	にぶい黄橙色	うすい黒色	黄斑点，スス	－	
	123	4949（H49/Ⅱ）	黒色土器A類　埦	－	－	－	にぶい黄橙色	黒色	渦巻き状の線，スス	ミガキ	
	124	8119（E28/Ⅲ）	黒色土器A類　埦	－	－	7.6	淡黄色	うすい黒色	ヨコナデ	ナデ	
	125	撹乱（J～K13/？）	黒色土器A類　埦	7.3	2.4	－	灰黄色	灰黄色	ナデ，十の線刻	ヘラミガキ	
	126	22375（H28/Ⅳ） 22376（H28/Ⅳ）	黒色土器A類　埦	7.2	－	－	にぶい黄橙色	黒色	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
	127	19058（K17/Ⅳ）	黒色土器B類　埦	－	－	－	黒色	黒色	ミガキ	ミガキ	
	128	26023（I47/Ⅳ）	黒色土器B類　埦	－	－	5.2	うすい黒色	うすい黒色	－	－	
	129	一括（J14/Ⅱ）	黒色土器B類　埦	－	－	7.8	白灰系黒色	灰系黒色	ヨコナデ	ヘラケズリ	
	130	一括（L15/Ⅱ）	黒色土器B類　埦	－	－	7.0	灰系黒色	白灰系黒色	ヘラケズリの痕跡	ヘラケズリ，ヘラミガキ	
	131	一括（H49/Ⅱ）	須恵器　坏　蓋	－	－	－	黄灰色	黄灰色	ナデ	ナデ	
	132	一括（注記なし）	須恵器　坏	13.6	－	－	灰色	灰色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	133	2870（B41/Ⅱ）	須恵器　坏	－	－	8.2	灰色	灰（白灰）色	－	ナデ	
	134	一括（H49/Ⅱ） 一括（H50/Ⅱ） 一括（C35/Ⅱ）	須恵器　甕	30.0	－	－	黒褐色	にぶい褐色	平行文タタキ	タタキ	
	135	一括（I49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	9.0	－	暗赤褐色	褐色	平行文タタキ	当て具痕	
	136	一括（H49/Ⅱ） 一括（H50/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	赤灰色	にぶい褐色	平行文タタキ	タタキ	
	137	4771（H49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	灰褐色	茶褐色	平行文タタキ	タタキ	
	138	一括（L17/？）	須恵器　甕	－	－	－	淡黄色	灰白色	格子目タタキ	タタキ，同心円当て具痕	
	139	一括（I48/Ⅱ） 一括（H48/Ⅱ） 一括（H49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	明赤茶褐色	明赤褐色	平行文タタキ	タタキ，同心円当て具痕	
	140	4618（G52/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	淡黄色	淡黄色	格子目タタキ	格子目タタキ	
	141	一括（I49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	黄灰色	黄灰色	平行文タタキ	タタキ，同心円当て具痕	
	142	1382（D45/Ⅱ） 1383（D45/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	黒灰白色	灰色	平行文タタキ	平行文タタキ	
	143	一括（H49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	灰色	灰色	平行文タタキ	平行文タタキ	
400	144	4947（H49/Ⅱ） 26024（I47/Ⅳ） 一括（H50/Ⅱ） 一括（H49/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	灰褐（褐灰）色	灰褐（褐灰）色	格子目タタキと平行文タタキ	平行文タタキ	
	145	一括（H48/Ⅱ）	須恵器　甕	－	－	－	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	格子目タタキ	平行文タタキ	
	146	1027（E45/Ⅱ） 2862（B41/Ⅱ）	須恵器　壺	－	11.7	－	灰色	灰色	平行文タタキ	ヨコナデ	
	147	一括（K36/？）	須恵器　壺	－	－	－	灰色	灰色	格子目タタキ	ナデ	
	148	4748（G53/Ⅱ）	須恵器　壺	－	－	－	灰，黄灰色	灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ	
	149	5173（H49/Ⅱ） 一括（H49/Ⅱ）	緑釉陶器　碗	18.0	6.4	8.0	うすい黄緑色	うすい黄緑色	線描きの沈線，ナデ	ナデ	
	150	15162（F27/Ⅳ）	越州窯系青磁　碗	17.0	6.5	7.2	茶緑色	茶緑色	ナデ，ミガキ	ナデ，ミガキ	
	151	一括（D44/Ⅱ）	越州窯系青磁　碗	－	－	12.0	うすい黄緑色	うすい黄緑色	ケズリ	目跡？	
	152	一括（H49/Ⅰ） 一括（H49/Ⅱ） 一括（I49/Ⅱ）	越州窯系青磁　碗	－	－	－	暗茶褐色	暗茶褐色	ナデ	ナデ	
	153	一括（H49/Ⅱ） 一括（G49/Ⅱ）	越州窯系青磁　碗	－	－	－	暗茶褐色	暗茶褐色	ナデ	－	

表54　古代遺物観察表　(4)

挿図	番号	取上番号(出土区/層)	分類	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
390	8	SK12- 6	砥石	15.75	8.1	8.95	1925	
	9	SK12- 1 SK12- 3 SK12- 5 SK12- 7	石皿	40.7	21.2	6.2	8308	
400	165	一括（H48/Ⅱ）	砥石	5.2	4.4	1.6	44	
	166	一括（H48/Ⅱ）	軽石	5.4	5.4	1.6	11	

挿図	番号	取上番号（出土区/層）	分類	色調	備考
400	154	7443（E25/Ⅱ）	土錘	白黄色	
	155	一括（H50/Ⅱ）	土錘	赤褐色	
	156	4806（H50/Ⅱ）	土錘	白黄色	
	157	一括（L18/?）	土錘	赤褐色	
	158	一括（E45/Ⅱ）	土錘	白黄色	
	159	1390（D45/Ⅱ）	土錘	白黄色	
	160	1343（D45/Ⅱ）	土錘	白灰色	
	161	一括（E44/Ⅰ）	土錘	白黄色	
	162	一括（C36/?）	焼成粘土塊	白灰色	
	163	一括（I49/Ⅱ）	焼成粘土塊	白黄色	
	164	一括（I49/Ⅱ）	焼成粘土塊	うすい橙色	

表55　中世・近世遺構内遺物観察表　(1)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	調整 外面	調整 内面	法量（cm） 口径	法量（cm） 底径	法量（cm） 器高	備考
420	1	竪穴3	土師器	坏	浅黄橙色	工具ナデ	工具ナデ	11.3	8.6	4.7	

表56　中世・近世遺構内遺物観察表　(2)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
420	2	竪穴3	石器	水晶玉	水晶	1.20	1.18	0.48	0.74	
	3		石器	水晶玉	水晶	1.20	1.20	0.48	0.72	
	4		石器	水晶玉	水晶	1.30	1.35	0.62	1.20	
	5		石器	水晶玉	水晶	0.70	0.73	0.39	0.22	
	6		石器	水晶玉	水晶	0.70	0.70	0.32	0.19	
	7		石器	水晶玉	水晶	0.70	0.68	0.35	0.18	
	8		石器	水晶玉	水晶	0.70	0.74	0.38	0.21	
	9		石器	水晶玉	水晶	1.20	1.15	0.43	0.65	

表57　中世・近世遺構内遺物観察表　(3)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
420	10	竪穴 3	石器	水晶玉	水晶	1.20	1.20	0.48	0.75	
	11		石器	水晶玉	水晶	1.10	1.13	0.45	0.63	
	12		石器	水晶玉	水晶	1.10	1.20	0.48	0.74	
	13		石器	水晶玉	水晶	1.10	1.13	0.43	0.62	
	14		石器	水晶玉	水晶	1.30	1.28	0.54	1.03	
	15		石器	水晶玉	水晶	1.20	1.15	0.43	0.67	
	16		石器	水晶玉	水晶	0.60	0.60	0.32	0.13	

表58　中世・近世遺構内遺物観察表　(4)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
421	17	竪穴 4	青花	皿	小皿	漳洲窯系	−	4.4	−	灰色	透明釉	高台内底無釉	16世紀後半～17世紀初	
422	18	竪穴 6	陶器	鉢	中鉢	肥前	25.6	9.5	10.2	褐灰色	鉄釉・緑彩白泥	外面腰部から下無釉	17世紀中ごろ	
423	19	竪穴 7	陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯	13.4	−	−	灰色	飴釉	残存部施釉	17世紀後半	
	20		陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯	11.1	−	−	にぶい黄橙色	飴釉	残存部施釉	17世紀後半	
	21		陶器	瓶	徳利	備前	−	−	−	褐灰色	−	−		
424	22	竪穴 9	陶器	碗	小碗	肥前系	−	4.5	−	褐灰色	外面青磁釉 内側透明釉	畳付高台内底無釉	1640年～ 1650年	
	23		陶器	鉢	擂鉢	苗代川系堂平窯	−	−	−	褐灰色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀後半	
425	24	竪穴10	青磁	皿	小皿	漳洲窯系	9.0	4.2	2.4	白色	青磁釉	腰部以外は全釉	16世紀後半から17世紀初	
	25		青花	皿	小皿	景徳鎮窯系	10.6	3.4	2.8	白色	透明釉	高台脇より下無釉	16世紀代	
	26		青花	碗	小碗	漳洲窯系	12.4	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後半	
	27		青花	碗	小碗	漳洲窯系	12.6	−	−	灰色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後半	
	28		染付	碗	小碗	肥前	−	4.2	−	白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後半	
426	29		染付	碗	小碗	肥前	8.3	−	−	灰白色	透明釉	残存部施釉	1620年代～30年代	筒型
	30		染付	碗	小碗	肥前	10.6	−	−	灰白色	透明釉	残存部施釉	1630年代～40年代	
	31		染付	碗	小碗	肥前	11.0	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	天目
	32		染付	鉢	小鉢	肥前	11.0	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	小鉢
	33		染付	皿	中皿	肥前	15.0	6.2	3.7	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～40年代	
	34		染付	皿	小皿	肥前	12.9	4.7	3.2	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀前半	
	35		陶器	碗	小碗	肥前	12.6	−	−	灰白色	透明釉	残存部施釉	1610年代～40年代	呉来手
	36		陶器	碗	小碗	肥前	−	5.0	−	灰白色	透明釉 銅緑釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀前半	
	37		陶器	鉢	擂鉢	肥前	33.4	10.2	12.7	赤褐色	鉄釉	口縁部内外施釉	17世紀前半	
427	38	竪穴11	白磁	皿	小皿	景徳鎮窯系	−	6.2	−	灰色	透明釉	畳付釉剥ぎ	16世紀代	
	39	竪穴12	青花	皿	小皿	漳洲窯系	10.8	5.2	2.6	灰色	透明釉	高台内側釉無し	16世紀後半～17世紀初	
429	40	建物 1	青磁	椀	中椀	龍泉窯系	16.0	5.2	7.4	橙色	青磁釉	畳付きと高台内釉剥ぎ	15世紀後半～16世紀前半	
430	41	建物 2	陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯	11.2	4.0	6.5	にぶい橙色	飴釉・透明釉	残存部全面施釉	17世紀後半	掛分け

表59　中世・近世遺構内遺物観察表　(5)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
430	42	建物 3	鉄製品	鉄滓	−	7.6	5.5	2.8	149.6	

表60　中世・近世遺構内遺物観察表　(6)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
431	43	土坑 2	白磁	皿	小皿	景徳鎮窯系	11.6	6.0	3.1	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀代	
	44		陶器	皿	−	肥前か？	5.0	2.0	1.8	にぶい赤褐色	透明釉か	残存部全面施釉	1590年代～1610年代	

表61　中世・近世遺構内遺物観察表　(7)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
431	45	土坑 2	鉄製品	釘	3.3	1.4	1.1	4.89	
	46		鉄製品	釘	4.7	1.0	0.7	2.33	
	47		鉄製品	釘	3.8	0.9	0.6	1.44	
	48		鉄製品	釘	4.2	0.7	0.5	1.15	
	49		鉄製品	釘	3.7	0.9	0.6	1.39	
435	50	土坑18	鉄製品	釘	4.6	0.7	1.0	3.29	
	51		鉄製品	釘	5.1	0.8	0.5	2.75	
	52		鉄製品	釘	3.6	1.2	0.7	3.41	
436	53	土坑19	鉄製品	釘	3.4	0.7	0.7	2.38	
	54	土坑20	鉄製品	釘	2.5	0.7	0.7	1.93	
	55		鉄製品	釘	3.6	0.8	0.3	2.3	

表62　中世・近世遺構内遺物観察表　(8)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
440	56	大型土坑 1	白磁	皿	小皿	漳洲窯系	13.0	5.2	3.1	灰色	透明釉	高台腰部から下無釉	16世紀後半	輪状釉剥ぎ
	57		白磁	碗	小碗	肥前	−	4.8	−	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～40年代	
	58		陶器	碗	小碗	肥前	−	4.4	−	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1610年代～30年代	砂目
	59		陶器	皿	中皿	肥前	−	−	−	にぶい橙色	透明釉	残存部全釉	1600年代～1630年代	
	60		陶器	皿	中皿	肥前	−	11.6	−	にぶい黄色	鉄絵・白化粧土・透明釉	内面底部施釉	1610年代～1650年代	砂胎土目
	61		陶器	甕	中甕	肥前	31.8	−	−	にぶい褐色	口唇部内面銅緑釉内面鉄泥	内面無釉	17世紀中～末	二彩手

表63　中世・近世遺構内遺物観察表　(9)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	調整		法量（cm）			
						外面	内面	口径	底径	器高	備考
440	62	大型土坑 1	土師質土器	茶釜	表（黒）	ナデ	ケズリ	−	−	−	裏（黒褐色）

表64　中世・近世遺構内遺物観察表　(10)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
441	63	大型土坑 2	青磁	椀	中椀	龍泉窯系	−	5.3	−	灰白色	青磁釉	高台内底釉剥ぎ	15世紀代～16世紀代	鎬連弁
	64		青花	碗	大碗	漳洲窯系	13.4	4.8	5.3	灰白色	透明釉	畳付・高台内底無釉	16世紀末	巻き貝
	65		青花	皿	皿	漳洲窯系	−	5.8	−	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	16世紀代	
	66		青磁	碗	中碗	肥前	−	4.6	−	灰白色	青磁釉	畳付以外施釉	16世紀後半	砂付着
	67		染付	碗	小碗	肥前	−	−	−	白色	透明釉	残存部全面施釉	1650年代～1660年代	
	68		陶器	皿	中皿	肥前内野山窯	−	4.6	−	灰白色	内面銅緑釉・ 外面透明釉	腰部から高台内底無釉	16世紀～17世紀代	蛇ノ目釉剥ぎ
	69		陶器	皿	大皿	肥前	−	6.8	−	にぶい黄褐色	灰釉	外面高台腰部より内底無釉	1590年代～1610年代	
	70		陶器	鉢	片口	苗代川系	14.8	−	−	灰赤色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀前半	串木野窯か？

表65　中世・近世遺構内遺物観察表　(11)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	調整		法量（cm）			備考
						外面	内面	口径	底径	器高	
441	71	大型土坑 2	瓦質土器	火鉢	灰黄色	ナデ	ナデ	26.0	－	－	
	72		瓦質土器	火鉢	表（黄橙色）	ヘラナデ	ヘラナデ	－	－	－	裏（にぶい黄褐色）
	73		瓦質土器	火鉢	暗灰色	ヘラナデ	ケズリ	－	－	－	
	74		土師質土器	茶釜	黒褐色	ヘラナデ	ヘラナデ	17.2	－	－	

表66　中世・近世遺構内遺物観察表　(12)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
441	75	大型土坑 2	鉄製品	鉄滓	10.0	13.7	5.5	800	
	76		鉄製品	鉄滓	7.3	9.0	4.8	295	
	77		鉄製品	鉄滓	6.8	8.7	4.1	305	

表67　中世・近世遺構内遺物観察表　(13)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類 色　調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
442	78	大型土坑 3	青花	碗	小碗	景徳鎮窯系	－	－	－	白色	透明釉	残存部全釉	1590年代～1630年代	
443	79	大型土坑 4	青磁	椀	大椀	龍泉窯系	14.6	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	13世紀～14世紀	
	80		青磁	皿	中皿	龍泉窯系	－	5.6	－	灰白色	青磁釉	畳付から高台内底無釉	14世紀末～15世紀前	
	81		青花	皿	小皿	漳洲窯系	9.4	3.6	2.3	灰白色	透明釉	外面腰部から高台内底無釉	16世紀後半	
	82		陶器	碗	中碗	九州産か？	12.0	－	4.3	灰白色	黒釉	残存部全面施釉	18世紀代	

表68　中世・近世遺構内遺物観察表　(14)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
443	83	大型土坑 4	鉄製品	刀子？	5.6	3.2	0.7	20.22	

表69　中世・近世遺構内遺物観察表　(15)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色　調	釉薬の種類 色　調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
444	84	大型土坑 5	青磁	皿	小皿	漳洲窯系	11.4	5.0	2.7	灰白色	青磁釉	畳付から高台内底無釉	15世紀後半～16世紀前半	
	85		青花	皿	大皿	漳洲窯系	－	69.5	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	畳付に籾付着
	86		青花	皿	中皿	景徳鎮窯系	－	5.6	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後半	
	87		青花	皿	小皿	景徳鎮窯系	9.6	3.0	2.6	灰白色	透明釉	腰部から高台内底無釉	16世紀	
	88		赤絵	碗	小碗	肥前	－	－	－	灰白色	内外面 白化粧土赤絵	残存部全面施釉	1650年代～1660年代	
	89		染付	碗	大碗	肥前	12.6	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀代	
	90		染付	碗	中碗	肥前	11.4	4.8	5.4	灰白色	透明釉	畳付き釉剥ぎ	17世紀代	
	91		白磁	碗	大碗	肥前	13.6	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀代	
	92		染付	碗	中碗	肥前	10.6	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀代	
	93		白磁	碗	小杯	肥前	6.4	2.8	4.0	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	94		白磁	碗	小杯	肥前	6.0	1.7	3.6	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	周辺に砂粒付着
445	95		染付	皿	大皿	肥前	－	7.2	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～1640年代	
	96		染付	皿	大皿	肥前	－	5.7	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	97		染付	皿	台付皿	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	畳付・高台内底無釉	1650年代～1660年代	
	98		染付	皿	台付皿	肥前	－	10.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	99		染付	鉢	中鉢	肥前	－	8.6	－	灰白色	透明釉	畳付・高台内底無釉	1630年代～1640年代	
	100		染付	瓶	徳利	肥前	－	6.8	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ・高台内底内面無釉	17世紀代	
	101		陶器	碗	中碗	肥前内野山窯	11.7	4.6	6.8	灰白色	内外面銅緑釉 透明釉	高台腰から内底無釉	17世紀後半	
	102		陶器	碗	中碗	肥前	9.6	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後半	
	103		陶器	碗	大碗	肥前内野山窯	12.4	－	－	灰白色	外面銅緑釉 内面透明釉	残存部全面施釉	17世紀後半	
	104		陶器	碗	小杯	肥前	8.6	4.0	4.1	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1610年代～1640年代	
	105		陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯か？	－	6.8	－	灰白色	鉄釉	高台脇から高台内底無釉	17世紀後半	
	106		陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯	－	4.0	－	灰白色	飴釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半	
	107		陶器	皿	小皿	肥前	12.1	5.0	2.6	灰色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	1590年代～1610年代	見込み砂目
446	108		陶器	皿	大皿	肥前	33.0	－	－	灰色	内面白化粧土鉄絵・緑彩	外面腰部から下無釉	1630年代～1660年代	
	109		陶器	皿	大皿	肥前	－	－	－	にぶい赤褐色	白化粧土・褐釉	残存部全面施釉	17世紀中～末	
	110		陶器	皿	台付皿	龍門司系	－	6.4	－	灰白色	透明釉	蛇の目状に釉剥ぎ	17世紀後半	
	111		陶器	鉢	小鉢	肥前	11.0	－	－	にぶい橙色	鉄釉	外面中位以下無釉	18世紀代	
	112		陶器	瓶	徳利	肥前	－	－	－	褐灰色	白化粧土 刷毛目・鉄彩	内面無釉	17世紀後半	
447	113		陶器	鉢	擂鉢	肥前	26.0	－	－	褐灰色	鉄釉	内外面口縁部施釉	17世紀	
	114		陶器	鉢	擂鉢	肥前	36.0	－	－	にぶい橙色	鉄釉	内外面口縁部施釉	17世紀	
	115		陶器	甕	大甕	苗代川系堂平窯	35.2	－	－	灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	116		陶器	壺	小壺	苗代川系堂平窯	14.0	10.0	9.6	灰褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	117		陶器	灯明具	灯明皿	龍門司系山元窯	9.0	4.4	2.5	暗灰黄色	飴釉	外面腰部・外底面無釉	17世紀後半	見込み外底面・胎土目3カ所
	118		陶器	仏具	仏飯器	龍門司系	9.1	4.9	5.7	灰黄色	飴釉	外面脚部無釉	17世紀末～18世紀初頭	見込み蛇ノ目釉剥ぎ

表70　中世・近世遺構内遺物観察表　(16)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
448	119	大型土坑 5	鉄製品	釘	－	6.4	0.9	0.8	5.21	
	120		鉄製品	釘	－	5.3	0.9	0.6	3.55	
	121		鉄製品	釘	－	5.0	0.8	0.7	4.25	
	122		軽石製品	－	軽石	16.5	9.3	7.2	310	
	123		軽石製品	－	軽石	10.9	7.5	4.3	100	

表71　中世・近世遺構内遺物観察表　(17)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	古銭名	重さ（g）	備考	挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	古銭名	重さ（g）	備考
448	124	大型土坑 5	古銭	寛永通寶	3.76	二枚重なっている	449	138	大型土坑 5	古銭	寛永通寶	8.60	二枚重なっている
	125		古銭	寛永通寶	2.69			139		古銭	寛永通寶	2.39	
	126		古銭	寛永通寶	2.81			140		古銭	寛永通寶	2.68	
	127		古銭	寛永通寶	3.79			141		古銭	寛永通寶	2.95	
	128		古銭	寛永通寶	1.68			142		古銭	寛永通寶	3.55	
	129		古銭	寛永通寶	6.14	二枚重なっている		143		古銭	寛永通寶	3.87	
	130		古銭	寛永通寶	4.86	二枚重なっている		144		古銭	寛永通寶	3.85	裏に文の文字あり
	131		古銭	朝鮮通寶	1.42			145		古銭	寛永通寶	3.81	裏に文の文字あり
449	132		古銭	寛永通寶	3.73			146		古銭	寛永通寶	2.98	
	133		古銭	寛永通寶	2.53			147		古銭	寛永通寶	2.94	
	134		古銭	寛永通寶	3.24	裏に文の文字あり		148		古銭	寛永通寶	2.91	
	135		古銭	寛永通寶	3.49			149		古銭	寛永通寶	2.64	
	136		古銭	寛永通寶	2.60			150		古銭	寛永通寶	2.76	
	137		古銭	寛永通寶	2.64			151		古銭	寛永通寶	4.05	裏に文の文字あり

表72　中世・近世遺構内遺物観察表　(18)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	古銭名	重さ(g)	備考
449	152	大型土坑5	古銭	寛永通寶	3.50	
	153		古銭	寛永通寶	2.65	
	154		古銭	寛永通寶	2.78	
450	155		古銭	寛永通寶	3.00	
	156		古銭	寛永通寶	3.40	
	157		古銭	寛永通寶	3.55	
	158		古銭	寛永通寶	3.21	
	159		古銭	寛永通寶	3.72	
	160		古銭	寛永通寶	3.28	
	161		古銭	寛永通寶	2.79	
	162		古銭	寛永通寶	3.17	
	163		古銭	寛永通寶	2.93	
	164		古銭	嘉祐通寶	5.15	
450	165	大型土坑5	古銭	寛永通寶	2.40	
	166		古銭	寛永通寶	2.70	
	167		古銭	寛永通寶	3.62	
	168		古銭	寛永通寶	3.16	
	169		古銭	寛永通寶	3.41	
	170		古銭	寛永通寶	3.38	
	171		古銭	寛永通寶	2.60	
	172		古銭	寛永通寶	2.87	
	173		古銭	寛永通寶	3.73	
	174		古銭	寛永通寶	3.49	
	175		古銭	寛永通寶	3.18	
	176		古銭	寛永通寶	3.69	

表73　中世・近世遺構内遺物観察表　(19)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量(cm) 口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
451	177	大型土坑6	青花	碗	小碗	景徳鎮窯系	−	5.1	−	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀前～中	
	178		陶器	碗	小碗	龍門司系山元窯	7.8	4.8	1.8	灰色	飴釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半	見込みに胎土目
	179		陶器	鉢	擂鉢	苗代川窯系	22.4	−	−	灰黄褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	18世紀前半	
	180		陶器	壺	壺	苗代川系堂平窯か？	−	−	−	黄灰色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀前半	同心円蔵きあり

表74　中世・近世遺構内遺物観察表　(20)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	法量(cm) 口径	底径	器高	備考
451	181	大型土坑6	瓦質土器	火鉢	にぶい橙	40.0	−	−	

表75　中世・近世遺構内遺物観察表　(21)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量(cm) 口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
452	182	大型土坑7	青花	碗	小碗	景徳鎮窯系	−	5.4	−	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後半	
	183		陶器	皿	中皿	肥前	14.0	−	−	灰黄色	灰釉	外面腰部以下無釉	1610年代～1640年代	
	184		陶器	壺	大壺	肥前	−	10.2	−	灰黄色	鉄釉	内面・外底面腰部から無釉	16世紀末～17世紀初め	

表76　中世・近世遺構内遺物観察表　(22)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量(cm) 口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
453	185	大型土坑8	青花	皿	中皿	漳洲窯系	12.8	4.4	4.3	灰白色	透明釉	高台脇から高台内底無釉	16世紀後半～17世紀初め	輪状に釉剥ぎ
	186		白磁	碗	中碗	肥前	10.8	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1640年代	
	187		染付	皿	中皿	肥前	14.6	7.0	3.9	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	1650年代～1660年代	日ノ字鳳凰文
	188		染付	皿	中皿	肥前	14.4	5.8	3.2	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～1640年代	
	189		白磁	碗	小杯	肥前	5.4	2.4	4.1	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1640年代～1660年代	
	190		陶器	碗	小碗	肥前	−	4.6	−	にぶい橙色	銅緑釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀中～後半	
	191		陶器	碗	中碗	薩摩か？	12.4	−	−	灰白色	鉄釉か	残存部全面施釉		焼成不良
	192		陶器	碗	小碗	肥前	−	4.1	−	灰黄褐色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半	白化粧土による巻き刷毛目
	193		陶器	皿	中皿	肥前	−	4.8	−	にぶい黄橙色	灰釉	上面施釉・外面腰部から底面無釉	1610年代～1630年代	砂目4カ所

表77　中世・近世遺構内遺物観察表　(23)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	調整 外面	内面	法量(cm) 口径	底径	器高	備考
453	194	大型土坑8	土師質土器	焙烙	にぶい黄橙色	ナデ	ナデ	19.0	16.6	3.6	

表78　中世・近世遺構内遺物観察表　(24)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量(cm) 口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
453	195	大型土坑8	陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	31.0	−	−	褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	17世紀後半	貝目
	196		陶器	壺	壺	苗代川系堂平窯	−	19.8	−	赤褐色	鉄釉	残存部施釉	17世紀後半	

表79　中世・近世遺構内遺物観察表　(25)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
453	197	大型土坑8	軽石製品	軽石製品	軽石	14.3	12.2	7.0	240	

表80　中世・近世遺構内遺物観察表　(26)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
455	198	炉状遺構4	石器	金床石	安山岩	28.0	30.4	6.0	7160	
456	199	炉状遺構8	石器	金床石	安山岩	30.8	22.0	8.2	7690	

表81　中世・近世遺構内遺物観察表　(27)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量(cm) 口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
458	200	溝	青磁	椀	中椀	龍泉窯系	−	5.0	−	灰白色	青磁釉	畳付と高台内面無釉	14世紀末～15世紀前	
	201		青磁	皿	中皿	景徳鎮系	14.0	−	−	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後～16世紀初	稜花皿
	202		青磁	皿	中皿	景徳鎮系	−	5.8	−	灰色	青磁釉	畳付と高台内面無釉	15世紀代	
	203		青磁	皿	盤	景徳鎮系	−	−	−	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀代	
	204		青磁	壺	小壺	中国南部か？	4.8	−	−	灰色	青磁釉	内面無釉	明時代	
	205		白磁	椀	大椀	漳洲窯系	13.2	−	−	灰色	透明釉	外面腰部以下無釉	16世紀後半～17世紀初	
	206		白磁	皿	中皿	景徳鎮窯系	14.6	8.0	3.5	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後半	
	207		青花	碗	大碗	景徳鎮窯系	13.8	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	
	208		青花	碗	小碗	景徳鎮窯系	−	−	−	灰白色	透明釉	残存部施釉	16世紀代	
	209		青花	碗	小碗	景徳鎮窯系	−	−	−	灰白色	透明釉	残存部施釉	16世紀代	
	210		青花	碗	大碗	景徳鎮窯系	14.0	−	−	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀前～中	
460	211		青花	碗	大碗	景徳鎮窯系	−	5.5	−	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀代	
	212		青花	碗	大碗	漳洲窯系	−	5.0	−	灰白色	透明釉	畳付から高台内底無釉	16世紀後半～17世紀初	輪状に釉剥ぎ
	213		青花	皿	小皿	漳洲窯系	−	4.4	−	灰白色 にぶい橙色	透明釉	畳付高台内底無釉	16世紀後半～17世紀初	
	214		青花	皿	小皿	漳洲窯系	−	4.7	−	灰白色	透明釉	高台脇から高台内底無釉	16世紀後半	
	215		輸入陶器	碗	小碗	中国南部か？	−	4.6	−	にぶい黄橙色	鉄釉	内面施釉	明時代前半	天目碗
	216		輸入陶器	壺	小壺	中国か？	11.0	−	−	にぶい黄橙色	無釉	−	明時代前半	

表82　中世・近世遺構内遺物観察表　(28)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
460	217	溝	輸入陶器	壺	小壺	中国	11.1	－	－	褐灰色	灰釉	口唇部以外施釉	明時代	
	218		輸入陶器	碗	大碗	朝鮮	－	5.8	－	灰白色	白濁した透明釉	畳付から高台内底無釉	16世紀代	
	219		輸入陶器	皿	小皿？	朝鮮	－	－	－	灰色	灰釉か	残存部全面施釉		
	220		染付	碗	中碗	肥前	－	5.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	221		染付	碗	中碗	肥前	10.4	－	－	白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1640年代	
	222		染付	碗	中碗	肥前	－	4.8	－	灰白色	透明釉	畳付以外全釉	18世紀前半	
	223		染付	皿	中皿	肥前	16.2	－	－	灰白色	透明釉内面鉄絵	残存部全面施釉	1630年代～1650年代	
461	224		陶器	碗	中碗	肥前	－	4.0	－	にぶい黄橙色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半～18世紀初め	内外面内刷毛目・鉄絵
	225		陶器	碗	中碗	龍門司系	11.3	－	－	灰黄褐色	鉄釉	残存部全面施釉	18世紀代	
	226		陶器	碗	中碗	龍門司系	10.3	4.6	4.1	灰白色	鉄釉か	畳付釉剥ぎ	18世紀代	蛇ノ目釉剥ぎ
	227		陶器	碗	中碗	肥前	－	4.6	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半	呉器手碗
	228		陶器	碗	小碗	肥前	－	3.7	－	赤灰色	褐釉	外面腰部以下無釉	16世紀末～17世紀初め	
	229		陶器	皿	大皿	肥前	24.6	－	－	にぶい黄橙色	白化粧土鉄絵緑彩	残存部全面施釉	1640年代～1660年代	
	230		陶器	皿	大皿	肥前	－	－	－	オリーブ灰色	透明釉	残存部施釉	1590年代～1630年代	
	231		陶器	皿	中皿	肥前内野山窯	－	6.6	－	灰白色	内面銅緑釉外面透明釉	高台脇から高台内底無釉	17世紀後半	蛇ノ目釉剥ぎ
	232		陶器	皿	中皿	肥前	12.2	4.7	3.0	灰黄色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	1590年代～1610年代	見込みに胎土目４カ所
	233		陶器	皿	中皿	肥前	13.1	4.6	4.8	灰白色	灰釉	畳付釉剥ぎ	1610年代～1630年代	
	234		陶器	皿	中皿	肥前	13.0	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1590年代～1630年代	
	235		陶器	皿	中皿	肥前	－	4.8	－	灰白色	内面銅緑釉・外面透明釉	外面腰部から高台内底無釉	17世紀後半～18世紀初め	蛇ノ目釉剥ぎ
	236		陶器	皿	中皿	肥前内野山窯	14.0	4.8	3.9	灰白色	褐釉	高台脇から高台内底無釉	17世紀後半～18世紀初め	見込み無釉
	237		陶器	皿	中皿	肥前	11.1	4.4	2.4	灰色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	1610年代～1630年代	
462	238		陶器	皿	中皿	肥前	16.0	－	－	にぶい黄橙色	透明釉	残存部全面施釉	1610年代～1630年代	
	239		陶器	皿	中皿	肥前	14.5	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1610年代～1640年代	
	240		陶器	瓶	徳利	苗代川系	－	9.2	－	灰黄褐色	鉄釉	内面無釉	17世紀初頭	串木野窯か？
	241		陶器	水注	蓋	肥前	8.8	8.4	0.6	灰色	無釉	―	16世紀末～17世紀初め	
	242		陶器	鉢	片口	薩摩か	－	－	－	赤褐色	飴釉	口縁部	17世紀代か	
	243		陶器	鉢	擂鉢	肥前	28.0	－	－	灰色	鉄釉	内外口縁部施釉	1630年代～1650年代	
	244		陶器	壺	大壺	備前	12.3	－	－	灰色	無釉	―	13世紀代	
	245		陶器	壺	小壺	肥前	7.0	6.9	10.8	灰色	灰釉	高台脇から高台内底無釉	17世紀か？	
	246		陶器	甕	大甕	肥前	30.3	－	－		鉄釉	内外面施釉・口唇部釉剥ぎ	17世紀代	貝目
	247		陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	24.9	－	－	にぶい赤褐色	鉄釉	内外面施釉・口唇部釉剥ぎ	17世紀中葉	口唇部貝目・堂平窯Ⅰb期
	248		陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	－	21.0	－	暗褐色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀前半	堂平窯Ⅰ期

表83　中世・近世遺構内遺物観察表　(29)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	法量（cm）			備考
						口径	底径	器高	
463	249	溝	瓦質土器	擂鉢	浅黄橙色	39.5	－	－	
	250		瓦質土器	火鉢	灰黄色	－	26.5	－	

表84　中世・近世遺構内遺物観察表　(30)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	法量（cm）		備考
						長さ	幅	
463	251	溝	土製品	土錘	灰黄色	3.9	1.9	
	252		土製品	土錘	灰黄色	7.0	1.6	
	253		土製品	土錘	灰黄色	4.1	2.5	

表85　中世・近世遺構内遺物観察表　(31)

挿図番号	掲載番号	遺構名	種別	器種	色調	調整		法量（cm）			備考
						外面	内面	口径	底径	器高	
463	254	溝	土師質土器	茶釜	―	ナデ	ナデ・指押さえ	16.6	－	－	
	255		土師質土器	焙烙	淡黄色	ナデ	ナデ	16.6	11.4	4.2	

表86　中世・近世遺構内遺物観察表　(32)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
464	256	溝	土師質土器	鞴の羽口	8.9	12.4	－	－	
	257		土師質土器	鞴の羽口	9.5	11.4	－	－	
	258		土師質土器	鞴の羽口	15.5	10.4	－	－	
	259		土師質土器	鞴の羽口	6.0	9.5	－	－	
	260		土師質土器	鞴の羽口	12.5	10.1	－	－	

表87　中世・近世遺構内遺物観察表　(33)

挿図番号	掲載番号	遺構名	分類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
465	261	溝	鉄製品	鉄滓	7.9	9.2	3.0	260	
	262		鉄製品	鉄滓	7.4	8.7	3.5	177	
	263		鉄製品	鉄滓	7.6	11.2	2.7	255	
	264		鉄製品	鉄滓	6.4	8.5	3.0	210	
	265		鉄製品	鉄滓	7.2	8.2	5.2	390	
	266		鉄製品	鉄滓	8.6	6.9	2.5	167	
	267		鉄製品	鉄滓	11.3	9.0	3.6	330	
	268		鉄製品	鉄滓	6.2	9.3	4.3	165	
	269		鉄製品	鉄滓	15.0	9.1	3.6	500	
	270		軽石製品	軽石製品	12.0	6.0	3.9	45	

表88　中世・近世遺構内遺物観察表　(34)

挿図番号	掲載番号	ピット番号	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
466	271	12	陶器	碗	中碗	龍門司系	9.8	4.0	4.8	浅黄橙色	飴釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末～18世紀前半	蛇ノ目釉剥ぎ
	272	12	陶器	碗	中碗	龍門司系	11.6	4.4	5.8	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末～19世紀前半	蛇ノ目釉剥ぎ
	273	18	陶器	碗	中碗	龍門司山元窯	11.0	4.8	6.8	灰白色	飴釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀か	胎土目４カ所
	274	11	陶器	碗	中碗	竪野系冷水窯か	－	5.4	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	275	19	染付	碗	中碗	肥前	10.5	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1640年代～1650年代	
	276	24	陶器	鉢	片口	苗代川系堂平窯	－	12.7	－	赤灰色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀代	
	277	30	白磁	皿	小皿	景徳鎮窯系	12.7	7.6	3.3	灰色	白濁した透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀代	
	278	29	染付	皿	小皿	肥前	12.5	4.9	3.1	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代	砂粒付着
	279	32	陶器	仏具	香炉	肥前か	11.7	－	－	灰黄色	褐釉	口唇部から外面施釉	17世紀代	
	280	36	染付	皿	中皿	肥前	14.4	6.0	3.5	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1640年代～1650年代	周辺に砂粒付着
	281	33	青花	皿	小皿	景徳鎮窯系	10.0	3.8	2.6	灰白色	透明釉	高台脇から高台内底無釉	16世紀後半	外底面砂粒付着
467	282	39	染付	碗	中碗	肥前	11.2	4.7	5.9	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	籾圧付着
	283	41	陶器	碗	中碗	肥前内野山窯	－	4.2	－	灰白色	外面銅緑釉・内面褐釉	外面高台腰部より内底無釉	17世紀代	
	284	44	陶器	瓶	徳利	苗代川系	－	6.8	－	暗赤灰色	鉄釉	内面無釉	17世紀初頭	串木野窯か
	285	47	土師質土器		焙烙	－	－	13.0	－	にぶい黄橙色	無釉	－	－	
	286	54	青花	皿	中皿	景徳鎮窯	－	17.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後～17世紀初	
	287	49	陶器	碗	大碗	龍門司系山元窯	12.8	－	－	灰白色	飴釉	残存部全面施釉	17世紀後半	
	288	62	染付	碗	中碗	肥前	10.8	4.4	6.0	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	

表89　中世・近世遺構内遺物観察表　(35)

挿図番号	掲載番号	ピット番号	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
							口径	底径	器高					
467	289	67	青花	Ⅲ	小皿	景德鎮窯系	12.0	7.2	2.4	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀前半～中	
	290	78	青磁	Ⅲ	小皿	景德鎮窯系	13.2	－	－	灰色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀代	
	291	91	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	13.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀前半～中	
	292	100	青花	Ⅲ	小皿	景德鎮窯系	9.8	5.4	2.3	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀前半～中	
	293	102	陶器	瓶	徳利	苗代川系堂平窯	8.0	－	－	褐灰色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	294	55	陶器	Ⅲ	小皿	肥前内野山窯	13.6	－	－	灰白色	内面銅緑釉・外面透明釉	残存部全面施釉	17世紀後半～18世紀初め	
	295	55	陶器	鉢	擂鉢	肥前	－	－	－	褐灰色	鉄釉	内外面口縁部施釉	1630年代～1650年代	
	296	15	陶器	鉢	擂鉢	備前	－	13.2	－	にぶい黄褐色	無釉	－	16世紀代	
	297	89	瓦質土器		火鉢	－	37.0	－	－	にぶい黄橙色	無釉	－	－	
	298	31	陶器	鉢	擂鉢	備前	－	14.0	－	にぶい赤褐色	無釉	－	15世紀代	
468	299	104	陶器	碗	中碗	肥前内野山窯	11.4	4.4	6.4	灰白色	内外面銅緑釉	高台脇から高台内底無釉	17世紀後半	
	300	111	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	9.2	－	－	灰白色	灰釉	高台腰部から下無釉	1590年代～1610年代	
	301	115	陶器	碗	大碗	龍門司系	12.4	－	－	灰白色	鉛釉	口縁部内面から外面腰部まで施釉	17世紀後半	
	302	119	陶器	碗	中碗	龍門司系山元窯か	12.0	－	－	灰色	鉛釉	残存部全面施釉	17世紀後半	
	303	120	色絵	碗	中碗	肥前	－	－	－	白色	透明釉	残存部全面施釉	1650年代～1660年代	
	304	125	染付	碗	大碗	肥前	－	4.5	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1640年代～1650年代	
	305	126	白磁	Ⅲ	小皿	景德鎮窯系	12.2	6.8	3.0	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀末	
	306	134	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	13.1	5.1	4.4	にぶい黄色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	1610年代～1630年代	見込みに砂目三カ所
	307	108	陶器	鉢	－	－	－	－	－	にぶい黄橙色	－	－	－	

表90　中世・近世遺構内遺物観察表　(36)

挿図番号	掲載番号	ピット番号	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
468	308	25	二次加工	滑石製品	滑石	4.9	6.2	0.7	49.2	
	309	42	鉄製品	鞍	－	3.6	1.1	0.1	1.4	
	310	132	石器	金床石	－	20.2	13.4	6.5	3590	
469	311	83	石器	茶臼	－	32.5	15.4	11.1	6450	
	312	118	石器	茶臼	－	30.9	16.7	10.4	7430	

表91　中世・近世包含層遺物観察表　(1)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	器種	色調	調整		法量（cm）			備考
							外面	内面	口径	底径	器高	
470	313	F－18	Ⅳ16872	土師器	Ⅲ	浅黄橙	ナデ	ヘラケズリ	8.6	6.3	1.4	底部糸切り
	314	K－20		土師器	Ⅲ	橙	ヘラケズリ	ナデ	9.5	5.6	1.8	底部糸切り
	315	F－23	Ⅱ11272	土師器	Ⅲ	橙	ヘラケズリ	ヘラケズリ	7.8	6.0	1.4	底部糸切り
	316	K－20		土師器	Ⅲ	にぶい橙	ヘラナデ	ヘラナデ	9.2	5.5	1.4	底部糸切り
	317	J－16	Ⅳ	土師器	Ⅲ	橙	ヘラナデ	ヘラケズリ	9.7	7.8	1.2	底部糸切り
	318	D－27	Ⅲ8502	土師器	Ⅲ	にぶい黄橙	ヘラナデ	ヘラケズリ	6.8	5.3	1.9	底部糸切り
	319	G－27	Ⅱ8068	土師器	坏	にぶい橙	ヘラナデ	ヘラケズリ	12.3	10.0	3.4	底部糸切り
	320	J－35	Ⅱ	土師器	坏	にぶい橙	ヘラケズリ	ヘラナデ	12.0	7.8	3.0	底部糸切り
	321	J－26	Ⅳ22467	土師器	坏	橙	ヘラナデ	ヘラケズリ	－	10.0	－	底部糸切り
	322	F－27	Ⅱ7916	土師器	坏	にぶい黄橙	ヘラケズリ	ヘラケズリ	－	10.0	－	底部糸切り
	323	B－40	Ⅱ3317	土師器	坏	橙	ヘラケズリ	ヘラナデ	－	9.6	－	底部糸切りスス有り
	324	C－39	Ⅱ	土師器	坏	にぶい橙	ヘラナデ	ヘラナデ	－	8.8	－	脚付
	325	D－44	Ⅰ	土師器	燈器	橙	ヘラナデ	ヘラナデ	－	2.8	－	底部糸切り

表92　中世・近世包含層遺物観察表　(2)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
								口径	底径	器高					
471	326	H－32	Ⅰ	青磁	椀	中椀	景德鎮窯系	－	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後～16世紀中	剣先連弁
	327	D.E38	カクラン	青磁	椀	大椀	景德鎮窯系	14.0	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後～16世紀	
	328	H－26		青磁	椀	大椀	景德鎮窯系	16.0	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後～16世紀初	
	329	D.E38	カクラン	青磁	椀	大椀	景德鎮窯系	17.0	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後	
	330	J.K 9		青磁	椀	大椀	龍泉窯系	－	6.6	－	灰白色	青磁釉	高台内底釉剥ぎ	14世紀末～15世紀前半	
	331	G－31	Ⅰ	青磁	椀	大椀	龍泉窯系	－	6.4	－	灰白色	青磁釉	高台内底無釉	14世紀末～15世紀前半	
	332	F－29	9598	青磁	Ⅲ	小Ⅲ	龍泉窯系	12.4	－	－	灰白色	青磁釉	残存部全面施釉	15世紀後	
	333	H－28	Ⅳ22509	白磁	椀	大椀	景德鎮窯系	－	5.8	－	灰白色	青磁釉	外面腰部から高台内底無釉	12世紀～13世紀	
	334	G－52	Ⅳ25985	白磁	Ⅲ	小Ⅲ	景德鎮窯系	12.0	6.6	2.5	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀代	
	335	D.E38	カクラン	白磁	Ⅲ	小Ⅲ	景德鎮窯系	12.0	6.4	3.0	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀代	
	336	J－33		白磁	Ⅲ	小Ⅲ	漳洲窯系	11.4	4.8	3.0	灰色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	16世紀後半～17世紀	

表93　中世・近世包含層遺物観察表　(3)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
								口径	底径	器高					
471	337	D－45	Ⅱ	白磁	椀	小杯	景德鎮窯系	－	3.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後～17世紀	
472	338	E－43		青花	碗	大碗	景德鎮窯系	13.6	－	－	灰色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後	
	339	D.E38	カクラン	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	－	－	灰色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後	
	340	G－23	Ⅱ11215	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	5.4	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1590年代～1630年代	
	341	H－32，I32		青花	碗	大碗	景德鎮窯系	12.4	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀前～16世紀中	
	342	E－44，D44	1471	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	
	343	大型	カクラン	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	4.9	－	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	16世前～16世紀中	連子碗
	344	C－39		青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	4.6	－	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	16世紀後	饅頭心
	345	I－31	Ⅰ	青花	碗	大碗	景德鎮窯系	－	5.4	－	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	16世紀後	饅頭心
	346	F－32		青花	碗	大碗	漳洲窯系	12.4	4.6	4.2	灰白色	透明釉	高台脇から高台内底面無釉	16世紀後	見込み輪状に釉剥ぎ
	347	E－39		青花	碗	大碗	漳洲窯系	－	4.4	－	灰色	透明釉	高台脇から高台内底面無釉	16世紀後	見込み輪状に釉剥ぎ
	348	D.E38	カクラン	青花	碗	大碗	漳洲窯系	－	4.6	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後～17世紀前	
	349	J－6		青花	碗	大碗	漳洲窯系	12.6	－	－	灰色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後～17世紀前	
	350	I－49	Ⅱ5184	青花	碗	大碗	漳洲窯系	13.2	－	－	浅黄色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	
473	351	F－24	Ⅱ11694	青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	13.6	7.1	3.0	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後	
	352	I－33		青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	18.6	11.1	3.6	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀後	
	353	E－48		青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	24.4	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀代	
	354	D.E38	カクラン	青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	－	2.4	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀前～16世紀中	
	355	C－34		青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	－	3.6	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	16世紀前～16世紀中	
	356	C－35		青花	Ⅲ	中Ⅲ	景德鎮窯系	－	6.5	－	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀前	
	357	J－11		青花	Ⅲ	中Ⅲ	漳洲窯系	－	6.5	－	灰白色	透明釉	高台脇から高台内底無釉	16世紀後～17世紀初	
	358	C－44	Ⅱ2222	青花	Ⅲ	中Ⅲ	漳洲窯系	－	4.4	－	灰白色	透明釉	高台内底無釉	16世紀後	
	359	一括		青花	Ⅲ	中Ⅲ	漳洲窯系	－	3.8	－	灰白色	透明釉	高台内底無釉	16世紀後	
474	360	I－32	Ⅰ	青花	Ⅲ	小Ⅲ	漳洲窯系	10.2	4.9	3.1	灰白色	透明釉	畳付から高台内部無釉	16世紀後	見込み輪状に釉剥ぎ
	361	J－35，J－37		青花	Ⅲ	小Ⅲ	漳洲窯系	－	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	16世紀後～17世紀初	
	362	C－33		色絵	Ⅲ	小Ⅲ	景德鎮窯系	－	－	－	灰白色	外面透明釉・内面色絵	残存部全面施釉	16世紀代	
	363	I－32		青花	碗	大碗	ベトナム	－	5.8	－	灰白色	透明釉	畳付から高台内部無釉	17世紀代	見込み輪状に釉剥ぎ
	364	F－29	Ⅱ8734	青磁	碗	中碗	肥前	－	5.0	－	にぶい橙色	青磁釉	畳付から高台内部無釉	1630年代～1640年代	
	365	I－31		白磁	碗	中碗	肥前	－	6.5	－	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	

表94　中世・近世包含層遺物観察表　(4)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
								口径	底径	器高					
474	366	D.E38	カクラン	染付	碗	中碗	肥前	10.6	－	－	灰色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1650年代	
	367	K－33		染付	碗	中碗	肥前	12.0	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1640年代	天目碗
	368	G－24	Ⅱ11581	染付	碗	中碗	肥前	11.0	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1640年代～1650年代	
	369	I－31	Ⅰ	染付	碗	中碗	肥前	－	4.2	－	褐灰色	外面鉄釉・内面透明釉	外面腰部から高台内底無釉	1630年代～1640年代	鉄絵
	370	J－38	Ⅱ18496	染付	碗	中碗	肥前	10.6	5.1	6.5	灰白色	外面鉄釉・内面透明釉	外面腰部から高台内底無釉	1630年代～1640年代	天目碗
	371	F－51	カクラン	染付	碗	中碗	肥前	11.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1640年代～1660年代	
	372	E－39		染付	碗	中碗	肥前	11.4	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1650年代～1660年代	
	373	D－34		染付	碗	大碗	肥前	13.0	－	－	灰黄色	透明釉	残存部全面施釉	1640年代～1660年代	
475	374	G－50	Ⅱ	染付	碗	中碗	肥前	－	5.2	－	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	嬉野産饅頭心
	375	E－31		染付	碗	中碗	肥前	－	4.3	－	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	376	SH－11		染付	碗	中碗	肥前	－	3.8	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	377	H－50	Ⅰ	染付	碗	小碗	肥前	－	3.8	－	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1680年代～1700年代	
	378	K－37		染付	碗	中碗	肥前	10.0	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	湯飲み碗　嬉野産か？
	379	一括		染付	碗	中碗	肥前	11.8	－	－	白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	
	380	I－37		染付	碗	中碗	肥前	11.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	
	381	I－31		染付	碗	中碗	肥前	9.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀末～18世紀初	
	382	H－31		染付	碗	中碗	肥前	12.0	4.4	5.9	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	
	383	F－52	カクラン	染付	碗	中碗	肥前	10.2	4.4	6.9	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1640年代～1660年代	天目碗
	384	H－50	Ⅱ	染付	碗	大碗	肥前	14.4	5.0	6.1	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末～18世紀初	うがい碗
	385	D.E38	カクラン	染付	碗	中碗	肥前	11.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	18世紀後	くらわんか碗
	386	I－31		染付	碗	小杯	肥前	7.0	3.5	5.2	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後～	
	387	D－41		染付	碗	小杯	肥前	8.4	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年～1640年	
	388	D－41	3.5	染付	碗	小杯	肥前	6.0	3.0	3.8	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	
	389	F－19	Ⅱ10452	白磁	碗	小杯	肥前	5.9	2.6	3.9	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代か	畳付砂付着
	390	G－31	Ⅰ	染付	碗	小杯	肥前	7.0	3.3	3.6	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後～18初	
	391	J－38		染付	碗	小杯	肥前	8.0	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1690年代～1730年代	
	392	I－31		白磁	鉢	小鉢	肥前	－	－	－	白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀末～18世紀初	猪口
	393	D－47	Ⅰ	染付	鉢	小鉢	肥前	5.5	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀末～18世紀前	
	394	J.K－6		染付	碗	小碗	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1780年代～1810年代	茶飲み碗
476	395	J－38		染付	碗	中碗	薩摩	－	4.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	19世紀代	
	396	H－31		染付	碗	中碗	薩摩	－	5.8	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	19世紀	広東碗
	397	D－39		染付	Ⅲ	中皿	肥前	14.0	5.9	3.6	灰白色	白化粧・透明釉	畳付は釉剥ぎ	1610年代～1630年代	
	398	C－37	Ⅱ4272	染付	Ⅲ	中皿	肥前	15.4	6.2	3.1	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～1640年代	
	399	G－33	Ⅱ	染付	Ⅲ	小皿	肥前	13.6	5.0	3.7	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～1640年代	
	400	D－41	Ⅰ	染付	Ⅲ	中皿	肥前波佐見産	14.2	5.8	4.3	白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	
	401	G－32		染付	Ⅲ	小皿	肥前波佐見産	13.6	4.6	3.9	灰白色	透明釉	外面腰部から高台内底無釉	17世紀後	蛇ノ目釉剥ぎ
	402	F－54	Ⅰ	染付	Ⅲ	小皿	肥前	13.6	5.5	3.5	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	403	F－42	Ⅱ	染付	Ⅲ	小皿	肥前	13.0	3.8	4.4	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1630年代～1640年代	
	404	D－39		染付	Ⅲ	中皿	肥前	－	5.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代	
	405	I－32	Ⅰ	染付	Ⅲ	中皿	肥前	－	6.2	－	にぶい黄橙色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	406	I－31	Ⅰ	染付	Ⅲ	中皿	肥前	14.4	6.8	2.7	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1640年代	
	407	C－36		染付	Ⅲ	中皿	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1630年代～1640年代	
	408	G－22	Ⅳ1364	白磁	Ⅲ	小皿	肥前	10.0	4.2	2.3	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	409	I－32	Ⅰ	白磁	Ⅲ	中皿	肥前	13.8	－	－	灰白色	透明釉	外面腰部以下無釉	17世紀後	
477	410	H－31		染付	蓋	蓋	肥前	18.0	－	－	灰白色	透明釉	身請け部無釉	18世紀後	
	411	G－23	Ⅱ11226	染付	蓋	蓋	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	18世紀後～19世紀初	
	412	D－33		染付	瓶	徳利	肥前	4.0	－	－	灰白色	透明釉	内面無釉	1650年代～1670年代	
	413	I－50	Ⅰ	染付	瓶	徳利	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	内面無釉	1630年代～1640年代	
	414	一括		染付	瓶	徳利	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	内面無釉	1630年代～1640年代	
	415	E－55	Ⅳ7374	染付	瓶	徳利	肥前	－	－	－	灰白色	透明釉	内面無釉	18世紀代	
	416	D－33，K－24		赤絵染付	Ⅲ	中皿	肥前	23.0	－	－	灰白色	白化粧土内面赤絵	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
	417	D－33，K－25		赤絵染付	Ⅲ	中皿	肥前	－	9.1	－	灰白色	白化粧土・内面赤絵	畳付は釉剥ぎ	1650年代～1660年代	
478	418	大型	カクラン	陶器	碗	中碗	瀬戸美濃	11.0	－	－	灰黄色	鉄釉	高台腰より下部無釉	16世紀後～17世紀前	天目碗
	419	G－53	Ⅱ	陶器	碗	中碗	瀬戸美濃	11.6	5.8	4.3	灰白色	鉄釉	高台腰より下部無釉	16世紀後～17世紀前	天目碗
	420	D－42		陶器	碗	中碗	肥前	12.0	－	－	にぶい橙色	鉄釉	外面腰部から無釉	17世紀前	
	421	E－30	Ⅱ11508	陶器	碗	中碗	肥前	10.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	呉器手
	422	K－32		陶器	碗	大碗	肥前内野山窯	15.3	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1610年代～1640年代	天目碗
	423	D.E38	カクラン	陶器	碗	中碗	肥前	11.6	－	－	灰褐色	灰釉	残存部全面施釉	1590年代～1610年代	沓形
	424	D.E38	カクラン	陶器	碗	中碗	肥前	11.0	－	－	灰色	透明釉	残存部全面施釉	1610年代～1640年代	白天目型
	425	G－23	11219 11618	陶器	碗	中碗	肥前	12.0	4.2	6.9	灰黄色	外面銅緑釉・内面透明釉	畳付から高台内底無釉	17世紀中	漆あとあり
	426	D.E38	カクラン	陶器	碗	中碗	肥前	11.6	4.4	5.7	灰色	灰釉	外面腰部から高台内底面無釉	16世紀末～17世紀初	
	427	D－49		陶器	碗	中碗	肥前	－	5.0	－	灰白色	外面鉄泥・内面透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	
	428	D.E38	カクラン	陶器	碗	中碗	肥前	－	4.4	－	にぶい赤褐色鉄釉	黒釉	外面腰部から高台内底面無釉	1610年代	
	429	D－33		陶器	碗	中碗	肥前	－	5.0	－	灰色	銅緑釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後	
	430	J－38		陶器	碗	小碗	肥前	9.0	－	－	灰白色	透明釉・外面に鉄絵	残存部全面施釉	17世紀末～18世紀前	
	431	J－37		陶器	碗	中碗	肥前	10.0	－	－	灰白色	外面銅緑釉・内面透明釉	残存部全面施釉	18世紀代	
	432	H－50	Ⅰ	陶器	碗	中碗	肥前	－	4.0	－	褐灰色	銅緑釉	畳付は釉剥ぎ	18世紀代	蛇ノ目釉剥ぎ
	433	E－45	Ⅱ1047	陶器	碗	中碗	肥前	－	5.0	－	褐灰色	灰釉鉄絵	腰部から高台内底無釉	1590年代～1610年代	
	434	一括		陶器	碗	中碗	肥前か龍門司系か	10.2	4.0	7.2	黒褐色	鉄釉	外面腰部から高台内底無釉	17世紀代	元立院か
	435	大型	カクラン	陶器	碗	中碗	肥前か龍門司系か	11.4	4.5	6.0	赤色	鉄釉か	外面一部無釉	17世紀前	
	436	大型，近土	カクラン	陶器	碗	大碗	肥前か薩摩か	14.0	－	－	灰白色	青磁釉？	残存部全面施釉		焼成不良
	437	B－39，大型Ⅱ4296，カクラン		陶器	碗	中碗	肥前か薩摩か	11.4	4.0	6.5	暗赤褐色	鉄釉	腰部から高台内底無釉	17世紀代	
	438	D－41		陶器	碗	中碗	肥前か堅野系か	－	－	－	灰黄色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
479	439	G－21	Ⅱ	陶器	碗	中碗	堅野系冷水窯	－	4.7	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	440	H－33	Ⅰ	陶器	碗	中碗	堅野系冷水窯	－	4.5	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	441	K－32	Ⅳ25491	陶器	碗	中碗	堅野系冷水窯	－	4.3	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀代	
	442	G－31		陶器	碗	中碗	龍門司系か	12.0	－	－	灰白色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀後以降	
	443	C－37	Ⅱ4315	陶器	碗	中碗	龍門司系山元窯	－	6.3	－	灰色	鉄釉	畳付釉剥ぎ	17世紀後半	見込み・畳付胎土目４カ所
	444			陶器	碗	中碗	龍門司系山元窯	－	5.0	－	灰色	飴釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀後半	見込み胎土目あり
	445			陶器	碗	中碗	龍門司系	11.2	4.4	5.8	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末～18世紀前半	蛇ノ目釉剥ぎ
	446	C－43	Ⅱ	陶器	碗	中碗	龍門司系	－	5.0	－	にぶい橙色	褐釉	高台脇から高台内底無釉	18世紀後半	蛇ノ目釉剥ぎ
	447	F－54	カクラン	陶器	碗	中碗	龍門司系	－	4.5	－	褐灰色	鉄釉	高台脇から高台内底無釉	18世紀後半	蛇ノ目釉剥ぎ
	448	G－31	Ⅰ	陶器	碗	中碗	龍門司系	－	5.0	－	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末から18世紀初頭	蛇ノ目釉剥ぎ
	449	D－38	大型土坑	陶器	碗	中碗	龍門司系	－	4.2	－	灰色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末から18世紀初頭	蛇ノ目釉剥ぎ
	450	D－38	大型土坑，カクラン	陶器	碗	中碗	龍門司系	11.5	4.3	5.8	灰白色	透明釉	畳付は釉剥ぎ	17世紀末から18世紀初頭	蛇ノ目釉剥ぎ

表95　中世・近世包含層遺物観察表　(5)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	分類	器種	産地	法量（cm）			胎土の色調	釉薬の種類色調	施釉部位	時期	備考
								口径	底径	器高					
479	451	J－35，J－37		陶器	碗	中碗	龍門司系	12.0	4.4	5.3	灰白色	透明釉か	畳付は釉剥ぎ	17世紀末から18世紀初頭	蛇ノ目釉剥ぎ・焼成不良
	452	G－50	Ⅱ	陶器	碗	中碗	薩摩	12.8	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀後	内面に鉄絵
	453	C－34		陶器	碗	中碗	龍門司系	－	3.2	－	にぶい黄橙色	白化粧，透明釉	畳付から高台内底無釉	18世紀後半	
	454	大型	カクラン	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	13.3	5.0	4.0	灰白色	灰釉	畳付高台内底無釉	16世紀末～17世紀初	
	455	G－32		陶器	Ⅲ	小皿	肥前	－	4.1	－	灰色	灰釉	腰部から高台内底無釉	1590年代～1610年代	
480	456	DE－38	カクラン	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	11.0	3.6	3.4	にぶい赤褐色	灰釉	外面中位から高台内底無釉	1590年代～1610年代	見込みに胎土目
	457	L-31, K-31, J-33		陶器	Ⅲ	小皿	肥前	－	5.0	－	灰白色	透明釉	畳付釉剥ぎ	1610年代～1630年代	見込み・畳付砂目
	458	I－37，I－38		陶器	Ⅲ	小皿	肥前	13.2	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	1610年代～1630年代	見込み砂目
	459	G－18		陶器	Ⅲ	小皿	肥前	－	3.6	－	灰黄色	透明釉	外面腰部から高台内底無釉	18世紀前	見込みに鉄絵・京焼風陶器
	460	G－51，I－49	Ⅳ，Ⅱ	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	13.0	4.6	3.3	灰色	内面銅緑釉・外面透明釉	外面腰部から高台内底無釉	17世紀後～18世紀末	蛇ノ目釉剥ぎ
	461	C－38	Ⅱ4294	陶器	Ⅲ	小皿	肥前	10.2	4.6	3.1	灰白色	灰釉	外面腰部から高台内底無釉	16世紀末～17世紀初	
	462	G－50	Ⅱ4523，4825	陶器	Ⅲ	大皿	肥前	32.4	－	－	にぶい橙色	透明釉	外面腰部から無釉	1590年代～1610年代	
	463	I－51，G－50	Ⅱ4709，Ⅱ4825	陶器	Ⅲ	大皿	肥前		8.6	－	にぶい橙色	灰釉	外面中位から高台内底無釉	1590年代～1610年代	見込みに胎土目
	464	I－51	Ⅱ4710	陶器	Ⅲ	大皿	肥前	－	7.6	－	にぶい橙色	灰釉・鉄絵	外面腰部から高台内底無釉	1590年代～1630年代	
	465	D－52		陶器	Ⅲ	中皿	龍門司系	18.6	－	－	灰白色	透明釉	残存部全面施釉	17世紀末～18世紀初頭	
	466	J－37		陶器	Ⅲ	中皿	龍門司系	22.6	－	－	灰白色	鉛釉	残存部全面施釉	17世紀後半以降	
481	467	D－27	Ⅲ8506	陶器	瓶	瓶子	瀬戸美濃	－	－	－	灰白色	灰釉	内面無釉	15世紀代	
	468	D－28	Ⅲ8507	陶器	瓶	瓶子	瀬戸美濃	－	－	－	灰白色	灰釉	内面無釉	15世紀代	
	469	C-38, D-38, DE38	Ⅱ4338，カクラン	陶器	瓶	徳利	瀬戸美濃	－	8.6	－	灰白色	鉄釉	外面腰部から外底面無釉・内面無釉	16世紀末～17世紀初	
	470	F－52	カクラン	陶器	瓶	徳利	肥前	－	11.0	－	灰黄色	鉄釉	内面無釉	16世紀末～17世紀初	
	471	C－36		陶器	瓶	徳利	肥前	－	－	－	にぶい黄色	灰釉	内面無釉	16世紀末～17世紀初	
	472	D－56	Ⅲ5644	陶器	瓶	徳利	肥前	－	7.8	－	褐灰色	鉄釉	畳付から高台内底無釉・内面無釉	17世紀前	
	473	D－42		陶器	瓶	徳利	肥前	－	－	－	灰色	白化粧土に鉄釉か	内面無釉	17世紀中～17世紀後	
	474	E－35	Ⅱ4456	陶器	瓶	徳利	肥前	－	5.4	－	浅黄色	透明釉	外面腰部から高台内底面内面無釉	17世紀後～18世紀	
	475	C－38，D－38	4334，ｶｸﾗﾝ	陶器	瓶	徳利	肥前	－	7.4	－	褐灰色	鉄釉	外面腰部以下と内面無釉	16世紀末～17世紀初め	
	476	K－32		陶器	瓶	徳利	苗代川系堂平窯	6.6	－	－	褐灰色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀前半	堂平窯Ⅰ期
	477	C－34		陶器	瓶	徳利	薩摩か	－	6.2	－	にぶい赤褐色	鉄釉	底部と内側無釉	18世紀代か	
	478	I－31	Ⅰ	陶器	鉢	片口	苗代川系堂平窯	－	－	－	暗灰黄色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	17世紀前半	
	479	G－51	Ⅱ4527	陶器	鉢	片口	苗代川系堂平窯	16.0	－	－	明赤褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	480	C－35	Ⅰ	陶器	鉢	片口	薩摩苗代川窯系	19.6	12.4	11.1	黄灰色	鉄釉	口唇部無釉	17世紀初頭	串木野窯か
	481	D－34		陶器	鉢	片口	苗代川系堂平窯	20.0	－	－	灰白色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀前半	堂平窯Ⅰ期
482	482	－		陶器	鉢	擂鉢	備前	－	－	－	褐灰色	無釉	－		
	483	I－32		陶器	鉢	擂鉢	備前	－	－	－	にぶい褐灰色	無釉	－		
	484	G－24	Ⅱ1211	陶器	鉢	擂鉢	備前	－	11.0	－	褐灰色	無釉	－		
	485	C－46	Ⅰ	陶器	鉢	擂鉢	肥前	－	－	－	にぶい赤褐色	鉄釉	口縁部内外面施釉	17世紀代	
	486	F－20	Ⅱ5231	陶器	鉢	擂鉢	肥前	－	－	－	褐灰色	鉄釉	口縁部内外面施釉	17世紀代	
	487	大型	カクラン	陶器	鉢	擂鉢	肥前	31.0	－	－	にぶい赤褐色	鉄釉	口縁部内外面施釉	1590年代～1630年代	
	488	D－33	Ⅰ	陶器	鉢	擂鉢	苗代川系	－	－	－		鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	18世紀前半	
	489	DE－38	カクラン	陶器	鉢	擂鉢	苗代川系	25.0	－	－	灰赤色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	18世紀前半	
	490	L－32	Ⅱ	陶器	鉢	擂鉢	苗代川系	32.0	－	－	黄灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	18世紀前半	
	491	F－52，F－53		陶器	鉢	擂鉢	苗代川系	32.0	13.6	14.8	褐灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・外底面貝目	18世紀前半	
	492	G－24	Ⅱ11198	陶器	鉢	擂鉢	苗代川系	24.8	－	－	明赤褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	18世紀前半	
	493	F－27	7930	陶器	鉢	擂鉢	苗代川系堂平窯	－	－	－	明赤褐色	鉄釉	残存部全面施釉	18世紀前半	
483	494	一括		陶器	鉢	擂鉢	龍門司系山元窯	26.4	－	－	灰褐色	鉄釉	口縁部内外面施釉・貝目	17世紀後半	
	495	H－51	Ⅱ4558	陶器	鉢	擂鉢	苗代川窯	－	9.2	－	赤色	鉄釉	残存部外面施釉	18世紀前半	
	496	I－32	Ⅰ	陶器	鉢	擂鉢	苗代川窯	－	14.0	－	赤褐色	鉄釉	残存部全面施釉	18世紀前半	
	497	D－34	Ⅰ	陶器	蓋	蓋	肥前	9.4	9.0	2.0	褐灰色	無釉	－	16世紀末～17世紀初め	
	498	J－29	Ⅱ	陶器	蓋	蓋	苗代川系堂平窯	6.0	－	－	赤褐色	鉄釉	上面のみ施釉	18世紀後半以降	土瓶の蓋
	499	G－51	Ⅰ，Ⅳ	陶器	蓋	蓋	苗代川系堂平窯	23.0	上径14	4.8	褐灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	17世紀後半	外底面貝目堂平窯Ⅱ期
	500	H－32，I－32		陶器	蓋	蓋	苗代川系堂平窯	32.0	－	－	にぶい黄褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	501	SH11	カクラン	陶器	蓋	蓋	苗代川系堂平窯	24.4	－	－	赤灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	502	F－30	Ⅱ11527	陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	40.8	－	－	にぶい橙色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀中	堂平窯Ⅱb期
	503	F－56	Ⅳ5975	陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	30.4	－	－	黄灰色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
484	504	F－55，E－27		陶器	甕	甕	苗代川系堂平窯	30.8	－	－	にぶい赤褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	505	G－50	Ⅱ	陶器	甕	甕	苗代川系	－	－	－	明赤褐色	鉄釉	残存部全面施釉	17世紀初頭か	串木野窯か
	506	K－17	Ⅳ23108	陶器	甕	甕	琉球産	－	－	－	暗褐色	無釉	無釉	17世紀後半	
	507	K－32		陶器	壺	壺	肥前	－	－	－	にぶい赤褐色	白化粧土に鉄絵・透明釉	残存部全面施釉	1590年代～1610年代	鉄絵
	508	G－49	Ⅱ4542	陶器	壺	壺	苗代川系堂平窯	14.4	－	－	にぶい褐色	鉄釉	口唇部釉剥ぎ・貝目	17世紀後半	堂平窯Ⅱ期
	509	－	一括	陶器	仏具	花器	肥前	－	－	－	褐灰色	鉄釉	内面無釉	17世紀後～18世紀初	
	510	E－30	Ⅱ1522	陶器	仏具	花器	肥前	6.6	－	－	にぶい赤褐色	鉄釉	内面無釉	17世紀後～18世紀初	
	511	－	Ⅱ11209	陶器	仏具	花器	肥前	－	6.6	－	暗赤褐色	白化粧土に鉄釉	外面腰部から高台内底無釉	17世紀前	
	512	E－30	Ⅳ14275	陶器	仏具	香炉	肥前	－	4.0	－	にぶい赤褐色	無釉	－	17世紀後半～18世紀初	獅子頭付
	513	G－24	Ⅱ11207	陶器	仏具	香炉	－	－	6.2	－	灰白色	白化粧土に黄釉	内面と外底面無釉	18世紀後	軟質施釉陶器
	514	G－22	Ⅱ11751	陶器	仏具	香炉	肥前	10.6	5.2	4.3	灰白色	鉄釉	外面腰部から高台内底面無釉	17世紀末～18世紀初	焼成不良
	515	大型	カクラン	陶器	仏具	線香立て	肥前	－	7.5	－	褐灰色	鉄釉	残存部無釉	17世紀末～18世紀初	

表96　中世・近世包含層遺物観察表　(6)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	種別	器種	色調	法量（cm）			備考
							口径	底径	器高	
485	516	G－27	Ⅲ	瓦質土器	擂鉢	灰	40.0	－	－	
	517	k－15	Ⅳ23356	瓦質土器	擂鉢	灰	－	－	－	
	518	I－32		瓦質土器	擂鉢	にぶい褐	21.0	12.2	8.6	
	519	E－24	Ⅱ9772	瓦質土器	擂鉢	にぶい褐	－	－	－	
	520	I－38	Ⅱ18490	瓦質土器	擂鉢	灰	－	13.0	－	
	521	I－32	Ⅰ	瓦質土器	擂鉢	灰	－	13.2	－	
	522	D－39		瓦質土器	火鉢	にぶい黄橙	40.0	－	－	
	523	D－43	Ⅱ2454	土師質土器	茶釜	にぶい橙	16.2	－	－	
	524	I－50F－50	Ⅱ4969Ⅱカクラン	土師質土器	鉢	橙	－	17.4	－	高台内はナデ

表97　中世・近世包含層遺物観察表　(7)

挿図番号	掲載番号	出土区	層位	器種	法量（cm）			重さ（g）	備考
					長さ	幅	厚さ		
486	525	E－31	Ⅱ9284	鞴の羽口	14.7	10.0	9.8	1340.0	
	526	E－31	Ⅱ9284	鞴の羽口	10.0	10.8	6.5	640.0	
	527	G－29	Ⅱ4070	鉄滓	11.0	8.6	6.0	438.0	
	528	G－28	Ⅱ4010	鉄滓	10.7	9.2	3.5	400.0	
	529	G－29	Ⅱ4082	鉄滓	8.0	10.5	4.2	595.0	
	530	K－29～31		鉄製品	6.2	2.0	0.6	15.64	
	531	E－25	Ⅱ	鉄製品	5.9	2.4	0.5	11.24	
	532	K－17		鉄製品	4.7	2.8	0.3	7.89	
	533	K－17		鉄製品	2.5	1.4	0.9	4.44	
	534	F－27	Ⅱ	鉄製品	9.4	2.4	1.0	49.12	
	535	F－27	Ⅱ	鉄製品	8.0	2.1	0.6	24.78	
	536	D－36	表	鉄製品	7.1	2.0	0.8	14.64	
	537	D－44	Ⅱ997	鉄製品	4.8	1.1	0.9	19.16	

表98　中世・近世包含層遺物観察表　(8)

挿図番号	掲載番号	出土区	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
487	538	H－28	滑石製品	石鍋	滑石	17.0	－	－	247	
	539	K－1623551	滑石製品	石鍋	滑石	14.2	5.3	3.0	210	
	540	G－2010699	滑石製品	二次加工品	滑石	5.5	3.4	2.0	75	
	541	K－15	滑石製品	二次加工品	滑石	6.6	4.6	2.3	60	
	542	F－283887	滑石製品	二次加工品	滑石	7.5	6.2	1.6	116	
	543	E－267570	滑石製品	二次加工品	滑石	3.5	1.2	1.1	5	
	544	F－1816150	滑石製品	二次加工品	滑石	3.9	1.1	1.1	5	
	545	L－16	滑石製品	二次加工品	滑石	6.5	2.3	1.5	32.27	
488	546	D－31	石器	金床石	安山岩	33.4	32.8	8.5	125000	
489	547	J－11	石器	砥石	砂岩	31.2	10.4	6.4	3200	
	548	G－28	石器	砥石	天草石	5.0	2.9	1.9	36.05	
	549	J－9	石器	砥石	砂岩	14.5	8.3	4.3	612	
	550	J－18	石器	砥石	砂岩	8.8	12.4	5.6	529	
490	551	大型土坑	石器	軽石製品	軽石	9.9	9.2	4.3	100	
	552	大型土坑	石器	軽石製品	軽石	10.3	6.6	4.7	95	
	553	遺構一括	石器	軽石製品	軽石	17.0	9.8	5.2	255	
	554	J－14	石器	軽石製品	軽石	8.0	4.8	4.4	39.32	
	555	J－18	石器	軽石製品	軽石	7.4	4.8	2.8	12.86	
	556	C－36	石器	軽石製品	軽石	4.5	4.4	1.2	5	
	557		くし	－	－	5.2	2.1	3.0	2.3	

表99　中世・近世包含層遺物観察表　(9)

挿図番号	掲載番号	出土区	分類	古銭名	重さ（g）	備考
490	558		古銭	洪武通寶	3.95	2枚
	559		古銭	洪武通寶	4.09	2枚
	560	E－55Ⅳ20533	古銭	寛永通寶	1.78	
	561	H48Ⅱ一括	古銭	寛永通寶	2.74	

表100　中世・近世包含層遺物観察表　(10)

挿図番号	掲載番号	出土区	分類	器種	石材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
写真図版96	562	表層	鉛玉	－	－	1.4	1.2	0.9	4.1	

第４章　自然科学分析

第１節　自然科学分析の概要

自然科学分析は，平成22年度に３項目を行った。

まず弥生時代の土坑を対象に，遺構の内容物や性格に関する情報を得ることを目的とした土壌理化学分析を，パリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。

次に縄文・古墳時代の住居跡から出土した炭化物についての放射性炭素年代測定を，パレオ・ラボＡＭＳ年代測定グループに依頼した。

さらに，Ⅳ層等から出土した土器に付着した炭化物，弥生土坑出土炭化物の放射性炭素年代測定を㈱加速器分析研究所に依頼した。

分析の結果については，納品された各報告書を基に，時代・遺構ごとに編集を行い掲載した。

また，当センターで行った銅戈の形状観察と成分分析，ガラス製小玉の成分分析，透明玉の成分分析，赤色顔料の成分分析結果もここに掲載した。銅戈については九州国立博物館の協力を得てＸ線ＣＴ調査を行い，３Ｄ透過画像等の提供を受けた。

第２節　下鶴遺跡の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

下鶴遺跡は，鹿児島県伊佐市大口下殿に所在し，羽月川右岸の河岸段丘上（標高171ｍ）に立地する。遺跡の東側に，川内川の支流である羽月川が流れる。調査区からは，弥生時代中期の土坑群などが検出されている。

本報告では，土坑墓の可能性が指摘される土坑や，弥生時代中期の壺形土器が完形で出土する土坑などを対象に，遺構の内容物や性格に関する情報を得ることを目的として土壌理化学分析を実施する。この他，比較試料としての包含層土壌については，古環境推定を目的として花粉分析，植物珪酸体分析を併せて実施する。

１　試料

分析に用いる試料は，土坑墓の可能性が指摘されている２基の弥生土坑37号（ＳＫ185），19号（ＳＫ189）及び弥生土坑16号（ＳＫ202）内出土の壺形土器，第368図872（以下872）内の覆土を対象とする。

37号は東西を長軸とする長方形を呈しており，試料は西側覆土上部から試料番号１，西側覆土底部から試料番号２，中央底部から試料番号３，南側底部から試料番号４，北側底部から試料番号５，合計５点が採取されている。

19号は南北を長軸とする長方形を呈しており，試料は南側覆土上部から試料番号６，南側覆土底部から試料番号７，中央底部から試料番号８，北側底部から試料番号９，東側底部から試料番号10，北側上部から試料番号11，北側底部から試料番号12，合計７点が採取されている。

16号及び872の土器内では，土器内土壌がそれぞれ１点（試料番号13,14）供されたほか，比較試料としてＬ－Ｋ－15区壁面より採取された包含層Ａ，Ｂ，Ｃの３点（試料番号15～17）が供試された。

土壌理化学分析は，これら全点の試料について実施する。また，包含層試料の３点（試料番号15～17）について，花粉分析，植物珪酸体分析を実施する。

２　分析方法

⑴土壌理化学分析

土坑が墓として利用されていたか検討する場合，骨の主成分であるリン酸およびカルシウムの含量を測定することが多い。しかし，カルシウムはイオン化しやすく，移動しやすい性質があるため，土壌中で移動・拡散して濃集部を把握することが難しい。一方，リン酸は，骨以外に植物体にも含まれている。そのため，リン酸含量が高い土壌があったとしても，その供給源として動物質以外に植物質の影響も考慮しなければならない。そこで今回，植物の影響を除いてリン酸含量の富化を検討するためにリン酸含量と腐植含量を測定した。

リン酸含量は硝酸・過塩素酸分解－バナドモリブデン酸比色法，腐植含量はチューリン法（土壌標準分析・測定法委員会，1986）でそれぞれ行う。以下に各項目の操作工程を示す。

分析試料の調製については，試料を風乾後，土塊を軽く崩して２㎜の篩でふるい分けをする。この篩通過試料を風乾細土試料とし，分析に供する。また，風乾細土試料の一部を乳鉢で粉砕し，0.5㎜篩を全通させ，粉砕土試料を作成する。風乾細土試料については，105℃で４時間乾燥し，分析試料水分を求める。

リン酸含量については，粉砕土試料1.00gをケルダール分解フラスコに秤量し，はじめに硝酸（HNO_3）約５㎖を加えて加熱分解する。放冷後，過塩素酸（$HClO_4$）約10㎖を加えて再び加熱分解を行う。分解終了後，水で100㎖に定容して，ろ過する。ろ液の一定量を試験管に採取し，リン酸発色液を加えて分光光度計によりリン酸（P_2O_5）濃度を測定する。測定値と加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりのリン酸含量（P_2O_5㎎／g）を求める。

腐植含量については，粉砕土試料0.100～0.500gを100㎖三角フラスコに正確に秤りとり，0.4Ｎクロム酸・硫酸混液10㎖を正確に加え，約200℃の砂浴上で正確に

５分間煮沸する。冷却後，0.2%フェニルアントラニル酸液を指示薬に0.2N硫酸第一鉄アンモニウム液で滴定する。滴定値及び加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりの有機炭素量（Org－C乾土%）を求める。これに1.724を乗じて腐植含量（%）を算出する。

⑵花粉分析

試料約10gについて，水酸化カリウムによる泥化，篩別，重液（臭化亜鉛，比重2.3）による有機物の分離，フッ化水素酸による鉱物質の除去，アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸１の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い，物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。

残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作成し，400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し，出現する全ての種類について同定・計数する。

⑶植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理，沈定法，重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重2.5）の順に物理・化学処理を行い，植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後，プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。

400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し，その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下，短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下，機動細胞珪酸体と呼ぶ）を，近藤（2010）の分類を参考に同定し，計数する。なお，分析の際には，分析試料の乾燥重量，プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し，堆積物１gあたりの植物珪酸体含量（同定した数を堆積物１gあたりの個数に換算）を求める。

結果は，植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際，各分類群の含量は10の位で四捨五入して100単位に丸め，100個／g未満は「＜100」で表示する。合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また，植物珪酸体含量の層位的変化も図示する。

3　結果

⑴土壌理化学分析

結果を表101，第492図に示す。比較試料の包含層における腐植含量とリン酸含量は層位によって大きく異なり，包含層Ｃで最も少なく腐植0.81%，リン酸0.74P_2O_5mg／g，土坑埋土と同一層位とされる包含層Ｂでは腐植3.19%，リン酸2.81P_2O_5mg／gである。さらに，包含層Ａでは腐植6.00%，リン酸6.71P_2O_5mg／gにまで増加する。

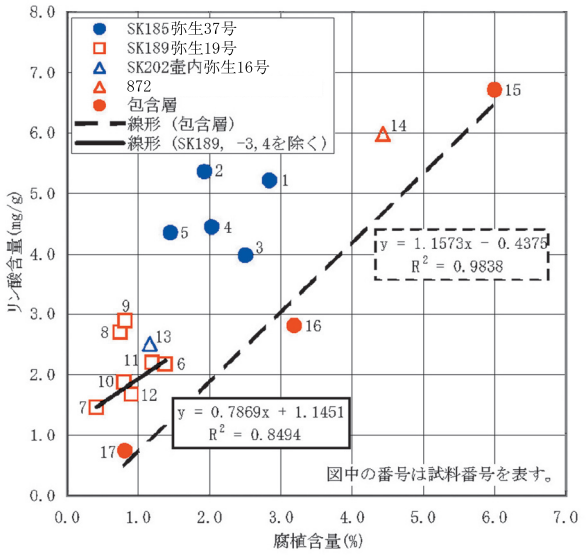
なお，包含層Ｂと同様に暗褐色を呈する37号の埋土は，腐植含量は1.45～2.84%と包含層Ｂと同等以下であるのに対し，リン酸含量は3.97～5.35P_2O_5mg／gと高い水準にある。

また，暗褐色以外ににぶい黄褐色や褐色の土壌も埋土とする19号は，腐植含量は最も高い試料でも1.38%，リン酸含量も包含層Ｂと同等以下であるが，19号－３，４については他の埋土と比べてややリン酸が多い傾向が認められる。

表101　土壌理化学分析結果

試料番号	試料名		土性	土色		腐植含量(%)	P_2O_5(mg/g)
1	弥生土坑37号	−1	CL	10YR3/3	暗褐	2.84	5.21
2		−2	SCL	10YR3/3	暗褐	1.93	5.35
3		−3	CL	10YR3/3	暗褐	2.50	3.97
4		−4	CL	10YR3/3	暗褐	2.03	4.44
5		−5	SCL	10YR3/4	暗褐	1.45	4.35
6	弥生土坑19号	−1	SL	10YR3/4	暗褐	1.38	2.17
7		−2	SL	10YR4/4	褐	0.41	1.46
8		−3	SL	10YR4/3	にぶい黄褐	0.74	2.70
9		−4	SL	10YR4/3	にぶい黄褐	0.81	2.89
10		−5	SL	10YR4/3	にぶい黄褐	0.79	1.88
11		−6	SL	10YR3/4	暗褐	1.19	2.21
12		−7	SL	10YR3/4	暗褐	0.90	1.68
13	弥生土坑16号内壺		SL	10YR4/3	にぶい黄褐	1.16	2.52
14	872内の土		SiL	10YR3/2	黒褐	4.43	5.98
15	包含層A		LiC	10YR2/2	黒褐	6.00	6.71
16	包含層B		LiC	10YR3/3	暗褐	3.19	2.81
17	包含層C		SCL	10YR4/3	にぶい黄褐	0.81	0.74

1)土色：マンセル表色系に準じた新版標準土色帖(農林省農林水産技術会議監修,1967)による。
2)土性：土壌調査ハンドブック(ペドロジスト懇談会編,1984)の野外土性による。
SiL･･･シルト質壌土(粘土0～15%、シルト45～100%、砂0～55%)
SL･･･砂壌土(粘土0～15%、シルト0～35%、砂65～85%)
CL･･･埴壌土(粘土15～25%、シルト20～45%、砂3～65%)
SCL･･･砂質埴壌土(粘土15～25%、シルト0～20%、砂5～85%)
LiC･･･軽埴土(粘土25～45%、シルト0～45%、砂10～55%)



第492図　腐植含量とリン酸含量の相関

一方，にぶい黄褐色の土壌を埋土とする16号壺内は腐植1.16%，リン酸2.52 P_2O_5mg／g，黒褐色の土壌を埋土とする弥生１遺物内（壺内）では腐植4.43%，リン酸5.98 P_2O_5mg／gと包含層Ａに類した高い値となるが，どちらも腐植に対するリン酸の量は包含層と比較してやや多い傾向にある。

⑵花粉分析

結果を表102に示す。分析した３点の包含層試料のいずれも，花粉化石の産出状況が悪く，定量解析が行えるだけの個体数を得ることができなかった。わずかに検出される種類をみると，木本花粉ではモミ属，コナラ属コナラ亜属が，草本花粉ではイネ科，タンポポ亜科が認められるのみである。また，それらの保存状態は悪く，花粉外膜が破損あるいは溶解している状態であった。プレパラート内の状況を図版に示す。

⑶植物珪酸体分析

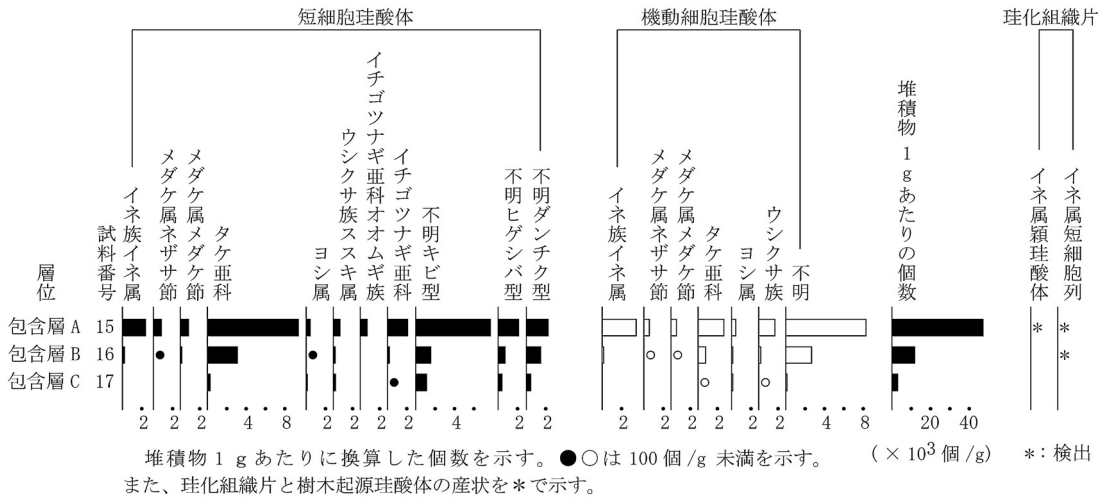
表102　花粉分析結果

種　　類	L-K-15区 包含層A	包含層B	包含層C
試料番号	15	16	17
木本花粉			
モミ属	1	－	－
コナラ属コナラ亜属	1	－	－
草本花粉			
イネ科	－	1	1
タンポポ亜科	1	－	－
不明花粉	－	－	1
シダ類胞子			
シダ類胞子	－	5	1
合　計			
木本花粉	2	0	0
草本花粉	1	1	1
不明花粉	0	0	1
シダ類胞子	0	5	1
総計（不明を除く）	3	6	2

結果を表103，第493図に示す。各試料からは植物珪酸体が検出されるものの，保存状態が悪く，表面に小孔（溶食痕）が認められる。

包含層Ｃの植物珪酸体含量は，約3,000個／gである。タケ亜科，ヨシ属，ススキ属を含むウシクサ族，イチゴツナギ亜科などがわずかに見られる。

上位の包含層Ｂは植物珪酸体含量が増えて約1.2万個／gとなり，さらに上位の包含層Ａがさらに増えて約4.7万個／gとなる。植物珪酸体含量に違いが見られるものの，両層に見られる分類群は同様である。すなわち，栽培植物であるイネ属や栽培種を含むオオムギ族とともに，メダケ属（ネザサ節やメダケ節）を含むタケ亜科，ヨシ属，ススキ属を含むウシクサ族，イチゴツナギ亜科などが認められる。なお，包含層Ｂではタケ亜科，包含層Ａではタケ亜科とイネ属の産出が目立つ。イネ属機動細胞珪酸体の含量は，包含層Ｂで約100個／g，包含層Ａで約3,500個／gである。また，包含層Ｂからはイネ属短細胞列が，包含層Ａからはイネ属穎珪酸体・短細胞列も検出される。



第493図　植物珪酸体含量の層位的変化

表103　植物珪酸体含量　（個/g）

種　　類	L-K-15区 包含層A	包含層B	包含層C
試料番号	15	16	17
イネ科葉部短細胞珪酸体			
イネ族イネ属	2,400	200	−
メダケ属ネザサ節	800	<100	−
メダケ属メダケ節	800	100	−
タケ亜科	9,400	3,100	300
ヨシ属	400	<100	100
ウシクサ族ススキ属	700	200	200
イチゴツナギ亜科オオムギ族	700	−	−
イチゴツナギ亜科	2,100	200	<100
不明キビ型	7,700	1,500	1,100
不明ヒゲシバ型	2,100	700	400
不明ダンチク型	2,200	1,500	500
イネ科葉身機動細胞珪酸体			
イネ族イネ属	3,500	100	−
メダケ属ネザサ節	600	<100	−
メダケ属メダケ節	600	<100	−
タケ亜科	2,700	800	<100
ヨシ属	400	100	100
ウシクサ族	1,700	200	<100
不明	8,300	2,700	100
合　　計			
イネ科葉部短細胞珪酸体	29,500	7,700	2,600
イネ科葉身機動細胞珪酸体	17,700	4,100	300
総　計	47,200	11,800	3,000
珪化組織片			
イネ属穎珪酸体	＊	−	−
イネ属短細胞列	＊	＊	−

1)含量は、10の位で100単位に丸めている。
2)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。
3)<100：100個/g未満。
4)−：未検出、＊：検出。

4　考察

⑴土坑の内容物・性格推定

リンは生物にとって主要な構成元素であり，動植物中に普遍的に含まれる元素であるが，特に人や動物の骨や歯には多量に含まれている。生物体内に蓄積されたリンはやがて土壌中に還元され，土壌有機物や土壌中の鉄やアルミニウムと難溶性の化合物を形成する。特に，活性アルミニウムの多い火山灰土壌ではリン酸の固定力が高いため，遺跡での生物起源残留物の痕跡確認などに有効である。

ところで，土壌中に普通に含まれるリン酸量，いわゆる天然賦存量については，いくつかの報告事例があるが（Bowen，1983；Bolt･Bruggenwert，1980；天野ほか，1991；川崎ほか，1991など），これらの事例から推定される天然賦存量の上限は約3.0P_2O_5mg／g程度である。また，人為的な影響（化学肥料の施用など）を受けた黒ボク土の既耕地では5.5P_2O_5mg／g（川崎ほか，1991）という報告例があり，当社におけるこれまでの分析調査事例では骨片などの痕跡が認められる土壌では6.0P_2O_5mg／gを越える場合が多い。なお，本調査では土坑埋土と同一層位とされる包含層Ｂについて調査を行い，2.81P_2O_5mg／gとの値が得られているため，本報告では土坑埋土のリン酸量を評価するにあたっては3.0P_2O_5mg／gを一応の目安とする。

遺構ごとにみると，37号－１～５の全点（試料番号１～５）のリン酸量は，3.97～5.35P_2O_5mg／gであり，いずれも3.0P_2O_5mg／gを超えるリン酸が検出された。第492図に掲げた包含層の腐植含量とリン酸含量の相関をもとに，各試料のリン酸レベルを評価してみると，今回調査を実施した土坑及び壺内の埋土の中でも，37号ではその傾向が顕著である。

19号では，19号－1,2,5,6,7（試料番号6，7，10～12）の５点は包含層との差が判然とせず，かつ腐植含量とリン酸含量の間に一定した関係が見られるため，リン酸富化の可能性を積極的に評価するには至らない。ただし，その中でも19号－3,4（試料番号8,9）に関しては同土坑の中でもリン酸が多い傾向にあり，外的要因によってリン酸が富化されている可能性が高い。

16号壺内（試料番号13）については，19号－1,2,5,6,7の線形分布に近いところに位置するため，積極的な評価は難しい。

872内（試料番号14）も，リン酸量が5.98P_2O_5mg／gと高い値を示し，37号と同様に3.0P_2O_5mg／gを超える。ただし，872内は腐植含量も多く，包含層Ａに近い特徴を有することから，得られたリン酸量も腐植に由来すると想定される。よって，リン酸の富化を検討する上での判断目安として，3.0P_2O_5mg／gは適切ではなく，さらに基準を高く見積もる必要がある。第492図の相関をもとに評価をすると，872内については確かに包含層よりリン酸が多い傾向はあるものの，その差が有為であるかは判然としない。

以上のことから，37号及び19号の土坑２基については外的な要因によるリン酸富化の可能性が指摘されるが，16号及び872内に関してはリン酸の特異的富化を認めるまでには至らないと判断される。なお，37号及び19号において過度のリン酸が蓄積されている事実は，土坑内にこれらの成分を富化するに至る内容物が存在していた可能性を示唆する。調査所見において土坑墓の可能性が挙げられていることを踏まえれば，墓としての機能を有していたことを支持する結果とも捉えられる。今後，脂質分析や微細遺物鑑定などの他の調査手法によるクロスチェックを行うことが望ましい。

⑵古植生と植物利用

Ｌ－Ｋ－15区壁面に見られた包含層Ａ～包含層Ｃ（試料番号15～17）では，花粉化石はほとんど検出されず，古植生推定のための定量解析を行うことができなかった。花粉化石・シダ類胞子の産出状況が悪い場合，元々取り込まれる花粉量が少なかった，あるいは，取り込まれた花粉が消失した，という２つの可能性があげられる。包含層はいずれも砂礫混じりの粗粒堆積物である。花粉はシルト粒子とその挙動を共にすることから，堆積時に花粉が取り込まれにくかった可能性がある。また，一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が，常に酸化状態にあるような場合，花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村，1967；徳永・山内，1971；三宅・中越，1998など）。珪藻分析などを実施し

ていないため詳細な堆積環境は不明であるが，包含層Ａより検出された花粉化石の保存状態が悪いことなどを考慮すると，堆積時に取り込まれた花粉・シダ類胞子も，その後の経年変化により分解・消失した可能性が考えられる。なお，わずかに検出された種類から，少なくともモミ属，コナラ属コナラ亜属等の木本類，イネ科，タンポポ亜科等の草本類が，周辺に生育していたことが窺える。

一方，植物珪酸体の産状をみると，包含層Ｃでは検出された分類群からタケ亜科，ヨシ属，ススキ属，イチゴツナギ亜科などのイネ科が生育していたと考えられる。ただし，その含量が概して少ないことから，土層に植物珪酸体が蓄積されにくい状態であったことが想定される。この要因には，花粉同様に取り込まれにくかった，あるいは粗粒堆積物であるために植物珪酸体が流亡しやすかったことなどが考えられる。

包含層Ｂ及び包含層Ａより検出された植物珪酸体は，その含有量に大きな差が認められるものの，検出される種類は類似しており，タケ亜科が多産する傾向も類似する。得られた分類群から包含層Ｂ及び包含層Ａ堆積時の周辺に，ネザサ節，メダケ節などのタケ亜科をはじめとしてヨシ属，ススキ属，イチゴツナギ亜科，ウシクサ族などのイネ科植物が生育していたことが窺える。本遺跡は河岸段丘上に立地していることから，比較的乾いた場所に生育する種類を多く含む分類群であるタケ亜科やススキ属，花粉で認められたタンポポ亜科等が生育していたと思われる。また周囲に羽月川なども存在することから，湿潤な場所に生育するヨシ属も周辺に生育していたと考えられる。ただし，包含層Ｂ試料採取地点付近の土層をみると，包含層Ａが包含層Ｂ～Ｃにかけて大きく落ち込んでいる部分が見られる。これらの包含層がいずれも粗粒砕屑物で構成されていることを考慮すると，植物珪酸体が下方へ流入しやすかった可能性があり，包含層Ｂに包含層Ａに含まれる植物珪酸体の影響が及んでいた可能性も否定できない。

なお，包含層Ａではイネ属やオオムギ族が検出された。特にイネ属については，穎珪酸体や短細胞列などの珪化組織片も検出されること，包含層Ａではイネ属機動細胞珪酸体含量が約3,500個／gと比較的多く認められることなどから，当該期における稲作やムギ栽培，及びそれらの利用が窺える。耕作地点の推定などについては，周辺に分布する当該期の堆積層（包含層）におけるイネ属珪酸体の情報を蓄積すると共に，種実・微細物分析などを併せて実施し，検討することが望まれる。

引用文献

天野洋司・太田　健・草場　敬・中井　信，1991，中部日本以北の土壌型別蓄積リンの形態別計量．農林水産省農林水産技術会議事務局編「土壌蓄積リンの再生循環利用技術の開発」，28－36．

Bowen,H.J.M.,1979,EnvironmentalCemistry of Elements.［浅見輝男・茅野充男（訳），1983，環境無機化学，元素の循環と生化学，博友社，297ｐ．］

Bolt,G.H.&Bruggenwert,M.G.M.，1976，SOILCHEMISTRY.［岩田進午・三輪睿太郎・井上隆弘・陽捷行（訳），1980，土壌の化学．学会出版センター，309ｐ．］

土壌標準分析・測定法委員会編，1986，土壌標準分析・測定法．博友社，354ｐ．

川崎　弘・吉田　澪・井上恒久，1991，九州地域の土壌型別蓄積リンの形態別計量．農林水産省農林水産技術会議事務局編「土壌蓄積リンの再生循環利用技術の開発」，23－27．

近藤錬三，2010，プラント･オパール図譜．北海道大学出版会，387ｐ．

三宅　尚・中越信和，1998，森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態．植生史研究，６，15－30．

中村　純，1967，花粉分析．古今書院，232ｐ．

農林省農林水産技術会議事務局監修，1967，新版標準土色帖．

ペドロジスト懇談会，1984，野外土性の判定．ペドロジスト懇談会編「土壌調査ハンドブック」，博友社，39－40．

徳永重元・山内輝子，1971，花粉・胞子．化石の研究法，共立出版株式会社，50－73．

第３節　放射性炭素年代測定

株式会社パレオ・ラボ

１　はじめに

鹿児島県下鶴遺跡住居跡から出土した炭化物について，加速器質量分析法（ＡＭＳ法）による放射性炭素年代測定を行った。

２　試料と方法

試料は，比較的新しい時代の住居と考えられていたことから，炭化材試料については木口面において最外年輪が確認出来る試料を選定した。なお，一部の試料においては，最外年輪部と思われる試料は最外？とした。

測定試料の情報，調製データは表104のとおりである。試料は調製後，加速器質量分析計（コンパクト　AMS：NEC製　1.5SDH）を用いて測定した。得られた^{14}Ｃ濃度について同位体分別効果の補正を行った後，^{14}Ｃ年代，暦年代を算出した。

３　結果

表105に，同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（δ^{13}Ｃ），同位体分別効果の補正を行って暦年較正

に用いた年代値，慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した^{14}C年代，^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲を，第494～497図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下１桁を丸めていない値であり，今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C年代はＡＤ1950年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C年代（yrBP）の算出には，^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また，付記した^{14}C年代誤差（±１σ）は，測定の統計誤差，標準偏差等に基づいて算出され，試料の^{14}C年代がその^{14}C年代誤差内に入る確率が，68.2%であることを示す。

なお，暦年較正の詳細は以下のとおりである。暦年較正とは，大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5568年として算出された^{14}C年代に対し，過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動，及び半減期の違いに近いものを算出することである。

^{14}C年代の暦年較正にはOxCal4.1（較正曲線データ：Intcal09）を使用した。なお，１σ暦年代範囲は，OxCalの確率法を使用して算出された^{14}C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり，同様に２σ暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は，その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は^{14}C年代の確率分布を示し，二重曲線は暦年較正曲線を示す。

４　考察

各試料の較正した暦年代は，以下の通りである。なお，より確率の高い２σ暦年代範囲について考察する。

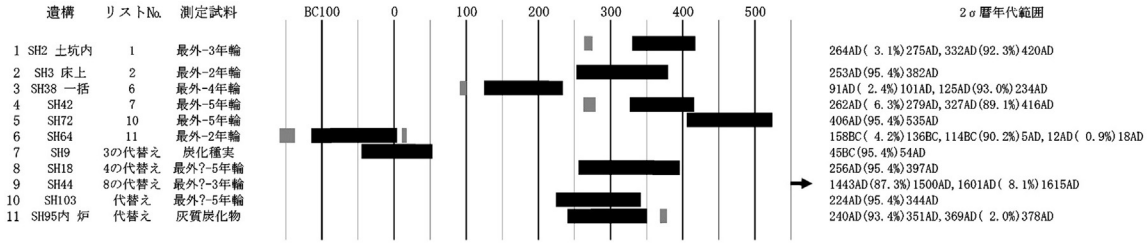
古墳住居91号から出土した炭化材は（PLD－16235），２σ暦年代範囲において264－275 calAD（3.1%），332－420 calAD（92.3%）であり，確率の高い範囲では４世紀前半～５世紀前半である。

表104　測定試料及び処理

試料No.	測定番号	遺跡データ	報告データ	試料データ	前処理
1	PLD-16235	遺構：SH2 土坑内 試料No. 1	古墳住居91号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外-3年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
2	PLD-16236	遺構：SH3 床上 試料No. 2	古墳住居90号	試料の種類：炭化材(アカガシ亜属) 試料の性状：最外-2年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
3	PLD-16237	遺構：SH38 一括 グリッド：G-16 試料No. 6	縄文住居1号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外-4年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
4	PLD-16238	遺構：SH42 試料No. 7	古墳住居74号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外-5年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
5	PLD-16239	遺構：SH72 試料No. 10	古墳住居52号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外-5年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
6	PLD-16240	遺構：SH64 グリッド：H-27 試料No. 11	古墳住居66号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外-2年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N) 処理時の知見:飛散有
7	PLD-16263	遺構：SH9 試料No. 3	古墳住居78号	試料の種類：炭化種実(スモモの未熟核) 試料の性状：破片1点 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
8	PLD-16264	遺構：SH18 試料No. 4	古墳住居19号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外?-5年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
9	PLD-16265	遺構：SH44 試料No. 8	古墳住居27号	試料の種類：炭化物・材(アカガシ亜属) 試料の性状：最外?-3年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
10	PLD-16325	遺構：SH103	古墳住居4号	試料の種類：炭化材(散孔材) 試料の性状：最外?-5年輪 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)
11	PLD-16357	遺構：SH95	古墳住居29号	試料の種類：炭化物(灰質炭化物) 試料の性状：種類および年輪等は不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2N, 水酸化ナトリウム:1N, 塩酸:1.2N)

表105　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

試料No.	測定番号	δ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲	
					1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
1	PLD-16235 試料No. 1	-27.18±0.15	1675±18	1675±20	348AD(25.8%)370AD 378AD(42.4%)408AD	264AD(3.1%)275AD 332AD(92.3%)420AD
2	PLD-16236 試料No. 2	-27.75±0.17	1727±18	1725±20	257AD(43.0%)302AD 316AD(25.2%)344AD	253AD(95.4%)382AD
3	PLD-16237 試料No. 6	-24.11±0.17	1847±18	1845±20	130AD(45.5%)176AD 190AD(22.7%)212AD	91AD(2.4%)101AD 125AD(93.0%)234AD
4	PLD-16238 試料No. 7	-26.56±0.17	1682±18	1680±20	345AD(68.2%)400AD	262AD(6.3%)279AD 327AD(89.1%)416AD
5	PLD-16239 試料No. 10	-28.32±0.16	1610±19	1610±20	413AD(29.9%)438AD 488AD(38.3%)531AD	406AD(95.4%)535AD
6	PLD-16240 試料No. 11	-29.67±0.27	2045±20	2045±20	91BC(19.3%)70BC 60BC(38.6%)20BC 13BC(10.3%)1BC	158BC(4.2%)136BC 114BC(90.2%)5AD 12AD(0.9%)18AD
7	PLD-16263 試料No. 3	-25.06±0.17	1999±20	2000±20	39BC(68.2%)24AD	45BC(95.4%)54AD
8	PLD-16264 試料No. 4	-28.90±0.27	1712±22	1710±20	261AD(18.6%)281AD 325AD(49.6%)383AD	256AD(95.4%)397AD
9	PLD-16265 試料No. 8	-27.84±0.18	396±17	395±15	1449AD(68.2%)1479AD	1443AD(87.3%)1500AD 1601AD(8.1%)1615AD
10	PLD-16325	-26.66±0.18	1760±20	1760±20	241AD(23.1%)260AD 282AD(45.1%)324AD	224AD(95.4%)344AD
11	PLD-16357	-12.53±0.17	1742±18	1740±20	253AD(10.4%)264AD 276AD(57.8%)332AD	240AD(93.4%)351AD 369AD(2.0%)378AD



第494図　各試料の暦年較正図（２σ暦年代範囲）

古墳住居90号から出土した炭化材は（PLD－16236），２σ暦年代範囲において253－382 calAD（95.4%）であり，確率の高い範囲では３世紀中頃～４世紀後半である。

縄文住居１号一括取上げ試料として出土した炭化材は（PLD－16237），２σ暦年代範囲において91－101 calAD（2.4%），125－234 calAD（93.0%）であり，確率の高い範囲では２世紀前半～３世紀前半である。

古墳住居74号から出土した炭化材は（PLD－16238），２σ暦年代範囲において262－279 calAD（6.3%），327－416 calAD（89.1%）であり，確率の高い範囲では４世紀前半～５世紀前半である。

古墳住居52号から出土した炭化材は（PLD－16239），２σ暦年代範囲において406－535 calAD（95. 4%）であり，確率の高い範囲では５世紀初頭～６世紀前半である。

古墳住居66号から出土した炭化材は（PLD－16240），２σ暦年代範囲において158－136 calBC（4.2%），114 calBC－５ calAD（90.2%），12－18 calAD（0.9%）であり，確率の高い範囲では紀元前２世紀後半～紀元後１世紀初頭である。

以上の炭化材試料は，いずれも最外年輪のある試料であり，伐採年代を示す。

古墳住居78号から出土した炭化種実は（PLD－16263），２σ暦年代範囲において45 calBC－54 calAD（95.4%）であり，確率の高い範囲では紀元前１世紀中頃～紀元後１世紀中頃である。この試料は，炭化種実（スモモの未熟核）であり，採取または枯渇した年代を示す。

古墳住居19号から出土した炭化材は（PLD－16264），２σ暦年代範囲において256－397 calAD（95.4%）であり，確率の高い範囲では３世紀中頃～４世紀末である。

古墳住居27号から出土した炭化材は（PLD－16265），２σ暦年代範囲において1443－1500 calAD（87.3%），1601－1615 calAD（8.1%）であり，確率の高い範囲では15世紀中頃～15世紀末である。

古墳住居４号から出土した炭化材は（PLD－16325），２σ暦年代範囲において224－344 calAD（95.4%）であり，確率の高い範囲では３世紀前半～４世紀中頃である。

以上の炭化材は，最外年輪があると思われる試料である。

古墳住居29号から出土した灰質炭化物は（PLD－16357），２σ暦年代範囲において240－351 calAD（93.4%），369－378calAD（2.0%）であり，確率の高い範囲では３世紀前半～４世紀中頃である。この試料は，炉内の灰質炭化物であることから粉末状であり，炭化物の種類等は同定できない。

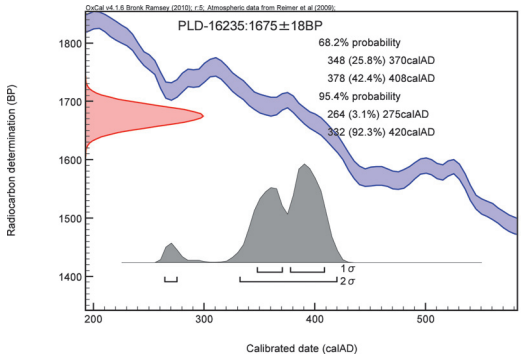
参考文献

Bronk Ramsey, C. (1995) Radiocarbon Calibration andAnalysis of Stratigraphy: The OxCal Program. Radiocarbon, 37, 425-430.

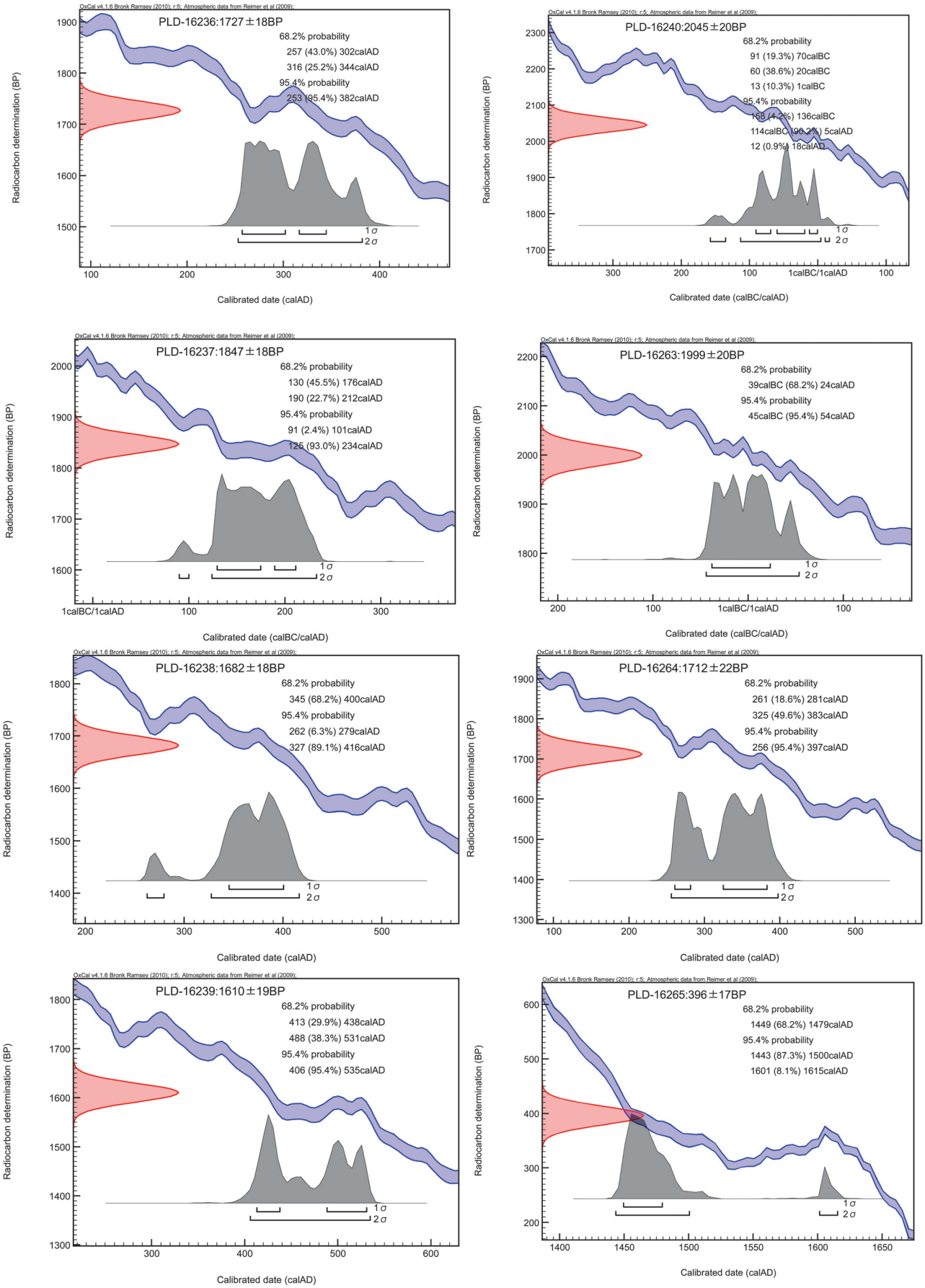
Bronk Ramsey, C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal. Radiocarbon, 43, 355－363.

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．　日本先史時代の14Ｃ年代，　３－20.

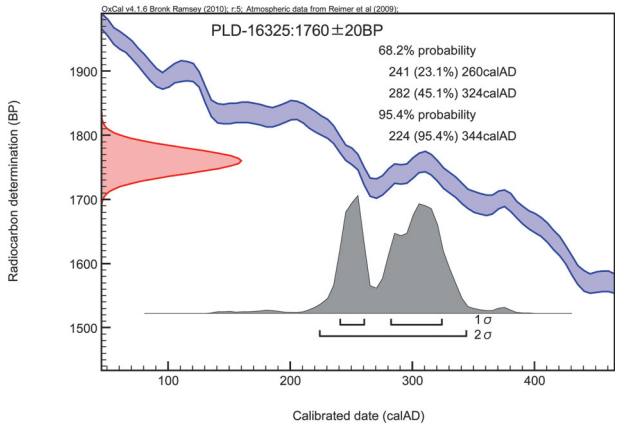
Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0?50,000 Years cal BP.　Radiocarbon, 51, 1111-1150.

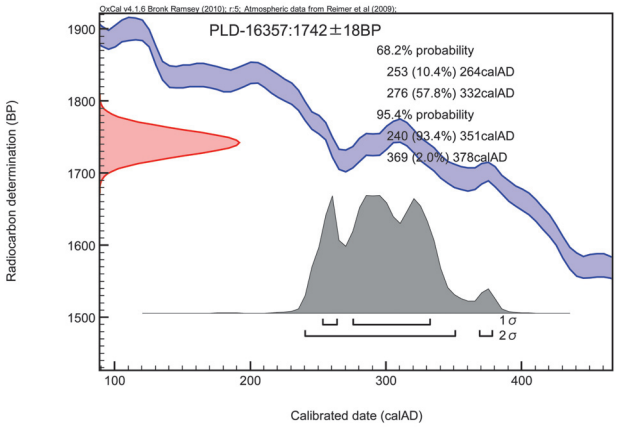


第495図　暦年較正①


OxCal v4.1.6 Bronk Ramsey (2010); r:5; Atmospheric data from Reimer et al (2009);
PLD-16236:1727±18BP
68.2% probability
257 (43.0%) 302calAD
316 (25.2%) 344calAD
95.4% probability
253 (95.4%) 382calAD
Radiocarbon determination (BP)
Calibrated date (calAD)
PLD-16240:2045±20BP
68.2% probability
91 (19.3%) 70calBC
60 (38.6%) 20calBC
13 (10.3%) 1calBC
95.4% probability
168 (4.2%) 136calBC
114calBC (96.2%) 5calAD
12 (0.9%) 18calAD
Calibrated date (calBC/calAD)
PLD-16237:1847±18BP
68.2% probability
130 (45.5%) 176calAD
190 (22.7%) 212calAD
95.4% probability
91 (2.4%) 101calAD
125 (93.0%) 234calAD
PLD-16263:1999±20BP
68.2% probability
39calBC (68.2%) 24calAD
95.4% probability
45calBC (95.4%) 54calAD
PLD-16238:1682±18BP
68.2% probability
345 (68.2%) 400calAD
95.4% probability
262 (6.3%) 279calAD
327 (89.1%) 416calAD
PLD-16264:1712±22BP
68.2% probability
261 (18.6%) 281calAD
325 (49.6%) 383calAD
95.4% probability
256 (95.4%) 397calAD
PLD-16239:1610±19BP
68.2% probability
413 (29.9%) 438calAD
488 (38.3%) 531calAD
95.4% probability
406 (95.4%) 535calAD
PLD-16265:396±17BP
68.2% probability
1449 (68.2%) 1479calAD
95.4% probability
1443 (87.3%) 1500calAD
1601 (8.1%) 1615calAD
1σ
2σ

第496図　暦年較正②





第497図　暦年較正③

第４節　下鶴遺跡における放射性炭素年代

（株）加速器分析研究所

１　測定対象試料

下鶴遺跡は，鹿児島県伊佐市大口下殿字下鶴に所在し，川内川支流の羽月川右岸の河岸段丘に立地する。測定対象試料は，Ⅳ層等から出土した土器に付着した炭化物７点（IAAA－101440～101443，101445～101447），弥生土坑34号出土炭化物１点（IAAA－101444）の合計８点である（表106）。土器の付着物はすべて外面から採取された。

２　化学処理工程

⑴メス・ピンセットを使い，根・土等の付着物を取り除く。

⑵酸－アルカリ－酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後，超純水で中性になるまで希釈し，乾燥させる。ＡＡＡ処理における酸処理では，通常１mol／ℓ（１M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い，0.001Mから１Ｍまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が１Ｍに達した時には「AAA」，１Ｍ未満の場合は「AaA」と表106に記載する。

⑶試料を燃焼させ，二酸化炭素（CO_2）を発生させる。

⑷真空ラインで二酸化炭素を精製する。

⑸精製した二酸化炭素を，鉄を触媒として水素で還元し，グラファイト（Ｃ）を生成させる。

⑹グラファイトを内径１㎜のカソードにハンドプレス機で詰め，それをホイールにはめ込み，測定装置に装着する。

３　測定方法

３MVタンデム加速器（NEC Pelletron ９SDH－２）をベースとした^{14}Ｃ－AMS専用装置を使用し，^{14}Ｃの計数，^{13}Ｃ濃度（^{13}Ｃ／^{12}Ｃ），^{14}Ｃ濃度（^{14}Ｃ／^{12}Ｃ）の測定を行う。測定では，米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

４　算出方法

⑴δ^{13}Ｃは，試料炭素の^{13}Ｃ濃度（^{13}Ｃ／^{12}Ｃ）を測定し，基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表106）。ＡＭＳ装置による測定値を用い，表中に「ＡＭＳ」と注記する。

⑵^{14}Ｃ年代（Libby Age：yrBP）は，過去の大気中^{14}Ｃ濃度が一定であったと仮定して測定され，1950年を基準年（０yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には，Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach　1977）。^{14}Ｃ年代はδ^{13}Ｃによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表106に，補正していない値を参考値として表107に示した。^{14}Ｃ年代と誤差は下１桁を丸めて10年単位で表示される。また，^{14}Ｃ年代の誤差（±１σ）は，試料の^{14}Ｃ年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

⑶pMC（percent Modern Carbon）は，標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}Ｃ濃度の割合である。ｐＭＣが小さい（^{14}Ｃが少ない）ほど古い年代を示し，pMCが100以上（^{14}Ｃの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ^{13}Ｃによって補正する必要があるため，補正した値を表106に，補正していない値を参考値として表107に示した。

⑷暦年較正年代とは，年代が既知の試料の^{14}Ｃ濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ，過去の^{14}Ｃ濃度変化などを補正し，実年代に近づけた値である。暦年較正年代は，^{14}Ｃ年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり，１標準偏差（１σ＝68.2%）あるいは２標準偏差（２σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が^{14}Ｃ年代，横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は，δ^{13}Ｃ補正を行い，下一桁を丸めない^{14}Ｃ年代値である。なお，較正曲線および較正プログラムは，データの蓄積によって更新される。また，プログラムの種類によっても結果が異なるため，年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは，暦年較正年代の計算に，IntCal09データベー

ス（Reimer et al. 2009）を用い，OxCalv4.1較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については，特定のデータベース，プログラムに依存する点を考慮し，プログラムに入力する値とともに参考値として表107に示した。暦年較正年代は，^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」（または「cal BP」）という単位で表される。

5　測定結果

土器付着炭化物の^{14}C年代は，１が3610±30yrBP，２が3660±30yrBP，３が3590±30yrBP，４が3590±30yrBP，６が3320±30yrBP，７が3370±30yrBP，８が2400±30yrBPである。

１～４はおおむね近い年代値で，１と２，１と３と４の間では，各々誤差（±１σ）の範囲内で値が重なる部分を持ち，近接した年代値となっている。暦年較正年代（１σ）は，１が2018～1924cal BC，２が2129～1978cal BC，３が2007～1898cal BC，４が2009～1904cal BCの間に各々複数の範囲で示され，いずれも縄文時代後期前葉から中葉頃に相当する。試料が採取された土器の型式は，１・２が市来式，３・４が丸尾式と見なされている。

６と７の^{14}C年代値は誤差（±１σ）の範囲内で重なる部分を持ち，近い値を示す。暦年較正年代（１σ）は，６が1630～1532cal BC，７が1727～1629cal BCの間に各々２つの範囲で示され，縄文時代後期中葉頃に当たる。試料が採取された土器の型式は西平式と見なされている。

表106

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ^{13}C (‰) (AMS)	δ^{13}C補正あり Libby Age (yrBP)	δ^{13}C補正あり pMC (%)
IAAA-101440	1	H-20区Ⅳ層　縄文368	土器付着	AaA	**-26.58 ± 0.41**	**3,610 ± 30**	**63.83 ± 0.23**
IAAA-101441	2	G-20区Ⅳ層　縄文305	土器付着	AaA	**-25.57 ± 0.42**	**3,660 ± 30**	**63.38 ± 0.23**
IAAA-101442	3	E-23区Ⅳ層　縄文431	土器付着	AaA	**-23.48 ± 0.51**	**3,590 ± 30**	**63.97 ± 0.23**
IAAA-101443	4	F-22区Ⅳ層　縄文433	土器付着	AaA	**-24.08 ± 0.71**	**3,590 ± 30**	**63.94 ± 0.23**
IAAA-101444	5	遺構:弥生土坑34号	炭化物	AAA	**-25.51 ± 0.28**	**2,400 ± 30**	**74.17 ± 0.25**
IAAA-101445	6	E-56区Ⅳ層, F-54区Ⅳ層接合 縄文796	土器付着	AaA	**-27.64 ± 0.40**	**3,320 ± 30**	**66.16 ± 0.23**
IAAA-101446	7	F-22区Ⅱ層　縄文799	土器付着	AaA	**-26.21 ± 0.40**	**3,370 ± 30**	**65.70 ± 0.23**
IAAA-101447	8	M-17区　弥生48	土器付着	AaA	**-27.18 ± 0.34**	**2,400 ± 30**	**74.22 ± 0.25**

［＃3810］

表107

測定番号	δ^{13}C補正なし Age (yrBP)	δ^{13}C補正なし pMC (%)	暦年較正用 (yrBP)	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
IAAA-101440	3,630 ± 30	63.63 ± 0.22	3,606 ± 28	2018calBC - 1995calBC (18.3%) 1981calBC - 1924calBC (49.9%)	2031calBC - 1892calBC (95.4%)
IAAA-101441	3,670 ± 30	63.31 ± 0.22	3,662 ± 28	2129calBC - 2088calBC (28.3%) 2047calBC - 2011calBC (25.0%) 2000calBC - 1978calBC (14.9%)	2136calBC - 1953calBC (95.4%)
IAAA-101442	3,560 ± 30	64.17 ± 0.22	3,589 ± 29	2007calBC - 2005calBC (1.7%) 1975calBC - 1898calBC (66.5%)	2026calBC - 1884calBC (95.4%)
IAAA-101443	3,580 ± 30	64.06 ± 0.21	3,592 ± 29	2009calBC - 2001calBC (5.6%) 1977calBC - 1904calBC (62.6%)	2026calBC - 1886calBC (95.4%)
IAAA-101444	2,410 ± 30	74.10 ± 0.24	2,399 ± 26	510calBC - 437calBC (52.8%) 424calBC - 404calBC (15.4%)	726calBC - 693calBC (5.6%) 541calBC - 398calBC (89.8%)
IAAA-101445	3,360 ± 30	65.80 ± 0.22	3,318 ± 27	1630calBC - 1602calBC (22.4%) 1592calBC - 1532calBC (45.8%)	1681calBC - 1524calBC (95.4%)
IAAA-101446	3,390 ± 30	65.54 ± 0.23	3,374 ± 28	1727calBC - 1721calBC (4.6%) 1691calBC - 1629calBC (63.6%)	1746calBC - 1608calBC (94.1%) 1570calBC - 1561calBC (0.9%) 1546calBC - 1541calBC (0.4%)
IAAA-101447	2,430 ± 30	73.89 ± 0.24	2,395 ± 26	509calBC - 437calBC (52.5%) 421calBC - 403calBC (15.7%)	721calBC - 694calBC (4.1%) 540calBC - 397calBC (91.3%)

［参考値］

８の暦年較正年代（１σ）は，509～403cal BCの間に２つの範囲で示され，弥生時代前期から中期頃に当たる。試料が採取された土器の型式は入来式と見なされている。

弥生土坑34号出土炭化物５の^{14}C年代は2400±30yrBPである。暦年較正年代（１σ）は510～404cal BCの間に２つの範囲で示され，弥生時代前期から中期頃に当たる。

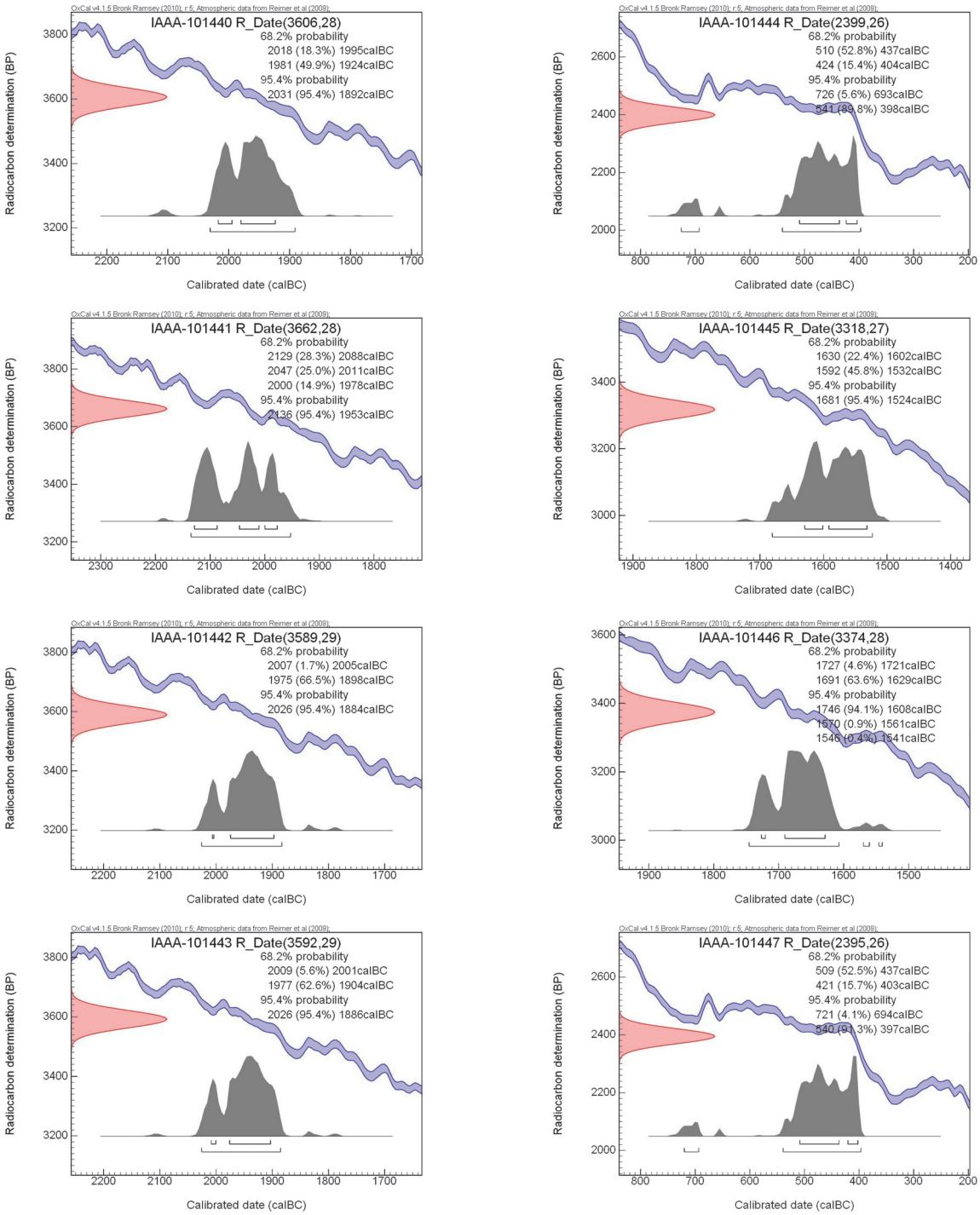
試料の炭素含有率は，１，３～５，７，８が50％を超えているのに対し，２は約15％，６は約27％と炭化物としては低い値を示した。化学処理，測定上の問題は明確には認められないが，２と６については若干注意を要する。

文献

Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150



第498図　暦年較正年代グラフ

第５節　弥生土坑34号内出土の銅戈について

弥生土坑34号内で出土した県内初出土の銅戈について，九州国立博物館の協力を得て形状観察と成分分析を行ったので報告する。

１　資料

弥生土坑34号内出土銅戈

２　観察・分析方法

⑴形状観察

当センターにおいて目視及びＸ線透過撮影装置（日立製作所PI－CR－1500）による診断をした後，九州国立博物館の協力を得てＸ線ＣＴ調査（YXLON International社，Y.CT Modular321 FPD）を行った。

⑵成分分析

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（堀場製作所製ＸＧＴ－1000，Ｘ線管球ターゲット：ロジウム）を使用し，次の条件で分析した。

分析にあたって，表面については遺物表面に付着した土・緑青等をエタノールで洗浄後６か所を分析し，平均値を示した。また，切先破片については出土した２つの破片のうち，大きいほうの断面を，エタノールで洗浄後５か所分析し，平均値を示した。標準試料による補正はしていない。

【分析条件】

Ｘ線照射径	：100 μm
測定時間	：100 s
Ｘ線管電圧	：15/50kV（多元素測定）
	：50kV
電流	：自動設定
パルス処理時間	：P3
Ｘ線フィルタ	：なし
試料セル	：なし
定量補正法	：スタンダードレス

３　結果

⑴形状観察

切っ先部分が衝撃及び腐食により破損している（写真１）。また，刃部中央やや上に刃こぼれがあり，そこから亀裂が広がっていることが確認できる。そのほかは特に目立った腐食や亀裂は見られず，表面の状態も安定しているように見える。表面には緑青はほとんど見られず，洗浄した銅戈表面は青灰色である。

写真１　先端破損部

当センターのＸ線透過撮影装置で撮影したところ，亀裂が目視以上に広がっていることや，表面には現れていないが亀裂の周囲で内部の腐食が進行している可能性があることがわかった（第152図，Ｐ172）。そこで，九州国立博物館に依頼してＸ線ＣＴ調査を行った。その結果，写真２，３のとおり内部に大きな腐食部分が存在することが明らかになった。

⑵　成分分析

蛍光Ｘ線分析の結果を次項に示す（第499図・第500図）。錫（Sn）・鉛（Pb）・銅（Cu）の明らかなピークが見られる。定量補正なしのため参考値ではあるが，表面６回，切っ先破片５回の重量濃度測定の平均値を下に示す。分析は非破壊で，腐食面を測定していることを考慮しても，錫の含有量が極めて多い。

	重量濃度平均値（%）	
	表面	切っ先破片
Cu銅	14.3	15.2
Sn錫	68.3	69.9
Pb鉛	17.0	14.4
その他	0.3	0.4

４　まとめ

外見上は安定しているように見えるが，内部がかなり腐食している。出土した銅戈下部は折れているが，この破断面付近に見られる内部の腐食はわずかであることから，内部の大きな腐食は刃部の刃こぼれから広がる亀裂によるものであることがわかる。

また，分析結果では銅に比べて錫の割合がかなり高くなっている。荒神谷遺跡の青銅器では銅が約82%で，錫・鉛がそれぞれ6.1%，8.6%，瓜生堂遺跡の銅戈では銅75～80%，錫15～20%，鉛約５%という値が報告されている。今回の分析は銅戈表面を非破壊で測定した。腐食により表面の銅成分が溶出した可能性も考えられるが，表面の緑青はわずかであり，銅と錫の割合が逆転するほどの値は他の分析報告とは明らかに異なっている。

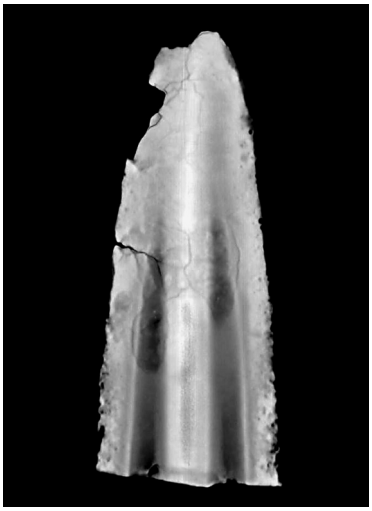
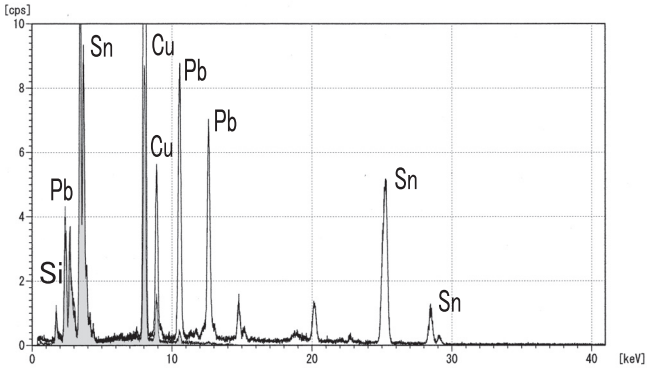
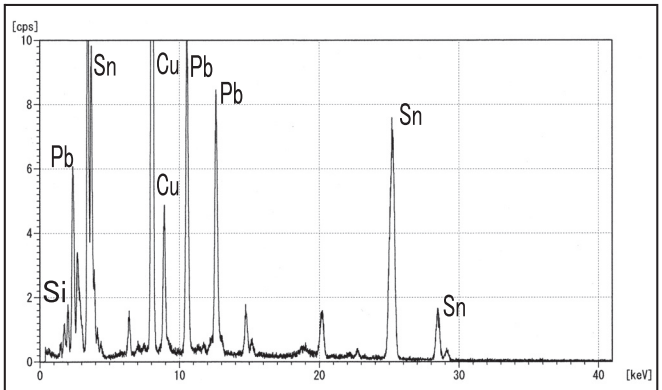


写真２　３Ｄ透過画像
（画像提供：九州国立博物館）



元 素	質量濃度 [%]	3σ [%]	強度 [cps/mA]
Si けい素	3.96	0.51	16.50
Ca カルシウム	1.15	0.26	21.28
Fe 鉄	0.32	0.06	12.43
Cu 銅	15.02	0.28	832.92
Sn 錫	64.17	0.66	365.94
Pb 鉛	15.38	0.39	280.31

第499図　下鶴遺跡出土銅戈表面の蛍光Ｘ線分析結果



元 素	質量濃度 [%]	3σ [%]	強度 [cps/mA]
Si けい素	3.95	0.55	16.07
Ca カルシウム	0.28	0.21	4.91
Fe 鉄	0.19	0.06	7.12
Cu 銅	14.27	0.27	771.57
Sn 錫	63.70	0.68	345.50
Pb 鉛	17.61	0.42	312.02

第500図　下鶴遺跡出土銅戈切っ先破片の蛍光Ｘ線分析結果

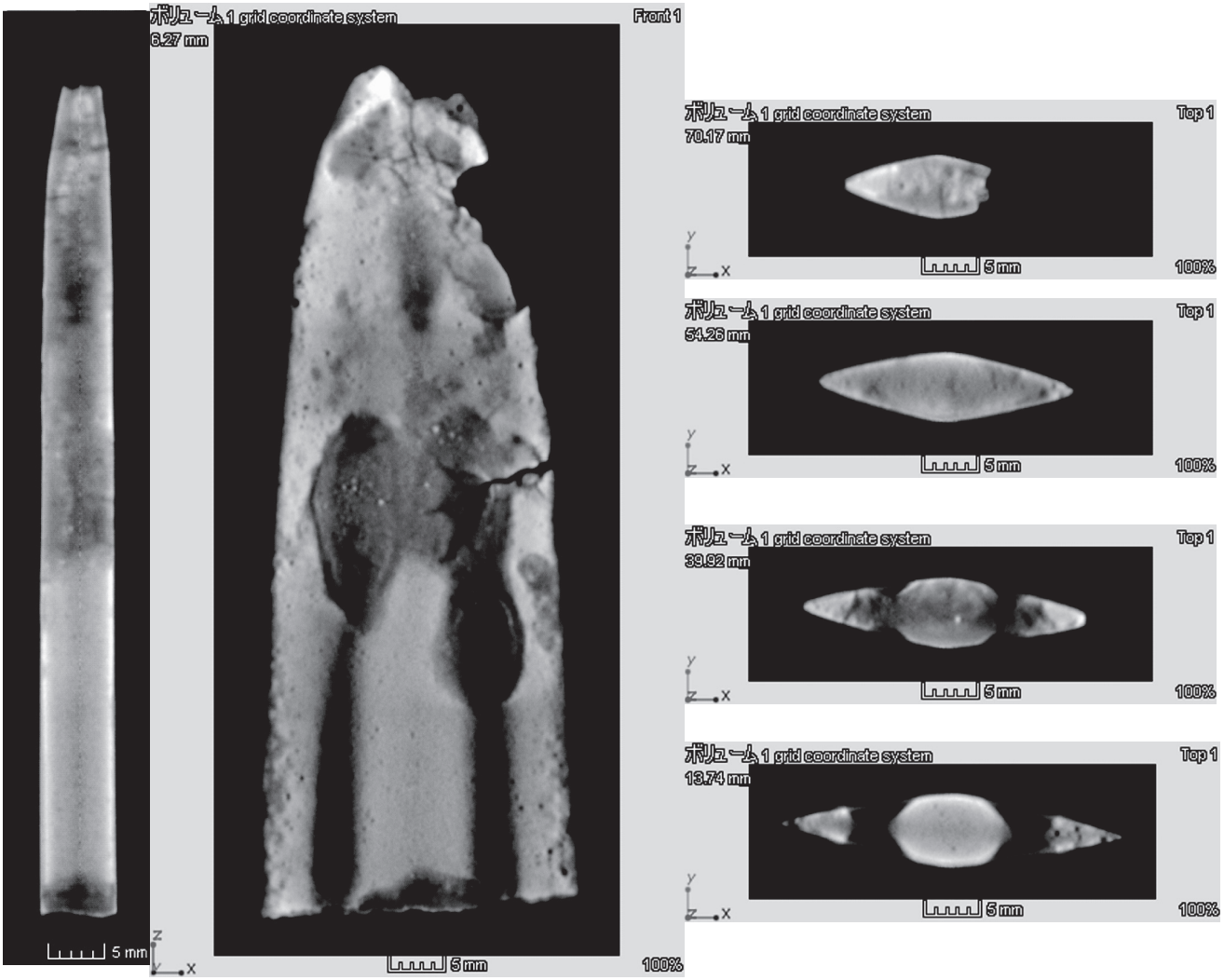


写真３　下鶴遺跡出土銅戈のＸ線ＣＴ画像（画像提供：九州国立博物館，一部トリミング処理）

第６節　下鶴遺跡ガラス小玉の分析について

本遺跡出土のガラス玉について，双眼実体顕微鏡による形状視察とエネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置による成分分析を行った。

１　資料

下鶴№12904（緑小玉），Ｅ－55区Ⅲ層（緑小玉），溝一括（緑小玉）

２　観察・分析方法

⑴　形状観察

双眼実体顕微鏡による８～20倍観察を，透過光及び反射光のもとで行った。

⑵　蛍光Ｘ線分析

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（堀場製作所製ＸＧＴ－1000，Ｘ線管球ターゲット：ロジウム，Ｘ線照射径100㎛）を使用し，次の条件により分析を行った。

Ｘ線管電圧：15／50kV	電流：自動設定
測定時間：200Ｓ	Ｘ線フィルタ：なし
試料セル：なし	パルス処理時間：Ｐ３
定量補正法：スタンダードレス	

３　結果

⑴　形状観察

①下鶴№12904（緑小玉）

光をほとんど通さない，薄い緑色のガラスである（写真１）。エタノールに浸し，透過光により撮影したものである。内部には気泡が見られる。表面の凹凸と同様，きれいな円形をしている（写真２）。このことから，延伸して成型されたものではなく，鋳型を用いて製作されたものと考える。

②下鶴Ｅ－55区Ⅲ層（緑小玉）

透明な薄い緑色のガラスである（写真３）。エタノールに浸し，透過光により撮影したものである。内部には気泡が見られる。表面の凹凸と同様，きれいな円形をしている（写真４）。下鶴№12904（緑小玉）同様に，鋳型を用いて製作されたものと考える。

③下鶴溝一括（緑小玉）

光をほとんど通さない，濃い緑色のガラスである（写真５）。エタノールに浸し，透過光により撮影したものである。表面には気泡が見られ，きれいな円形をしている（写真６）。成型方法は，上記２つと同様である。

⑵　蛍光Ｘ線分析

分析結果にはスペクトル，質量濃度，蛍光Ｘ線強度を示した。ここでいう質量濃度は，標準試料を用いないＦＰＭ定量による値であり，ひとつの目安とする。

①ガラスの種類

（ア）下鶴№12904（緑小玉）

スペクトルを見ると，微量の鉛（Pb）のピークも見られるもののけい素（Si）が７割近く存在し，カリウム（K），カルシウム（Ca）も顕著であり，カリ石灰ガラス（$K_2O-CaO-SiO_2$系）であると判断した。

（イ）下鶴Ｅ－55区Ⅲ層（緑小玉）

純粋なガラス質を形成しており，鉛（Pb）の成分が重量パーセント濃度における割合としてけい素（Si）同様，約半数近くを占めている。以上から，鉛ガラス（$PbO-SiO_2$系）であると判断した。

（ウ）下鶴溝一括（緑小玉）

（イ）下鶴Ｅ－55区Ⅲ層（緑小玉）と同様に，鉛（Pb）の割合が多く，鉛ガラス（$PbO-SiO_2$系）であると判断した。

②着色剤

（ア）下鶴№12904（緑小玉）

鉄（Fe），銅（Cu）のピークも見られる。発色は鉄及び銅によるもので，それぞれを添加したものと考える。

（イ）下鶴Ｅ－55区Ⅲ層（緑小玉）

鉄（Fe），銅（Cu）及びすず（Sn）のピークもわずかだが見られる。発色は鉄及び青銅によるもので，それぞれを添加したものと考える。

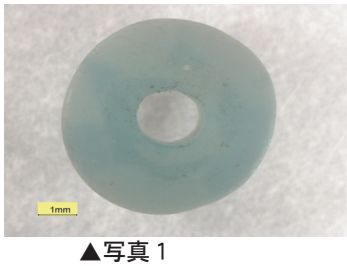
（ウ）下鶴溝一括（緑小玉）

鉄（Fe），銅（Cu）のピークも見られる。発色は，（ア）下鶴№．12904（緑小玉）と同様の理由と考えられる。

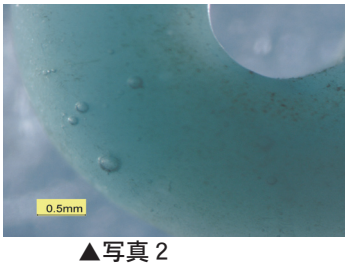
参考・引用文献

肥塚隆保　　2002「古代ガラス」『文化財のための保存科学入門』角川学芸出版

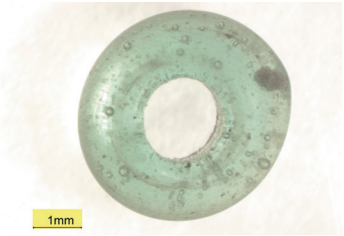
溝口学ほか　　2009「下ノ原Ｂ遺跡」『鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（137）』鹿児島県立埋蔵文化財センター



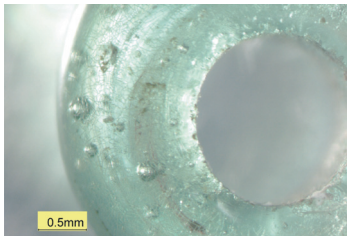
▲写真１



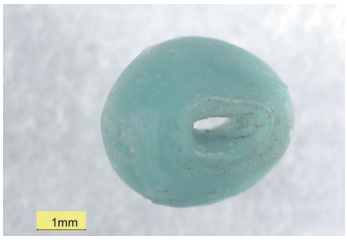
▲写真２



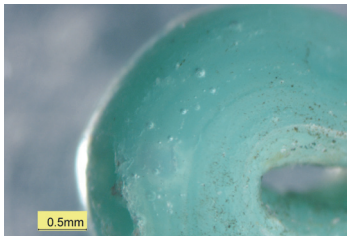
▲写真３



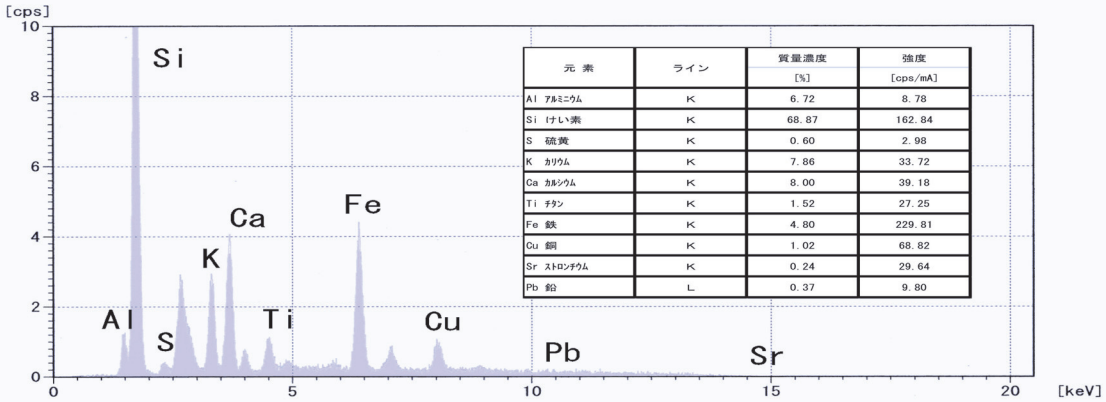
▲写真４



▲写真５

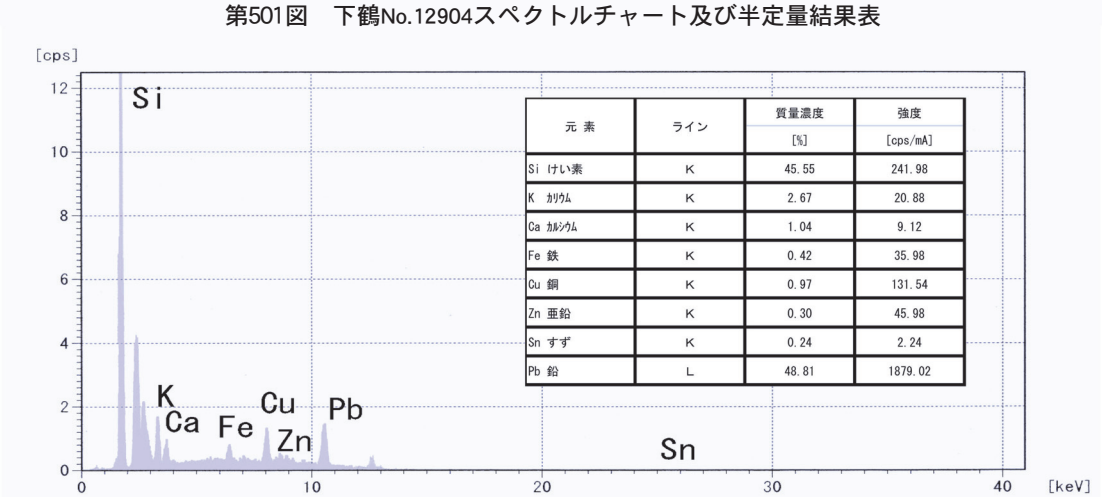


▲写真６



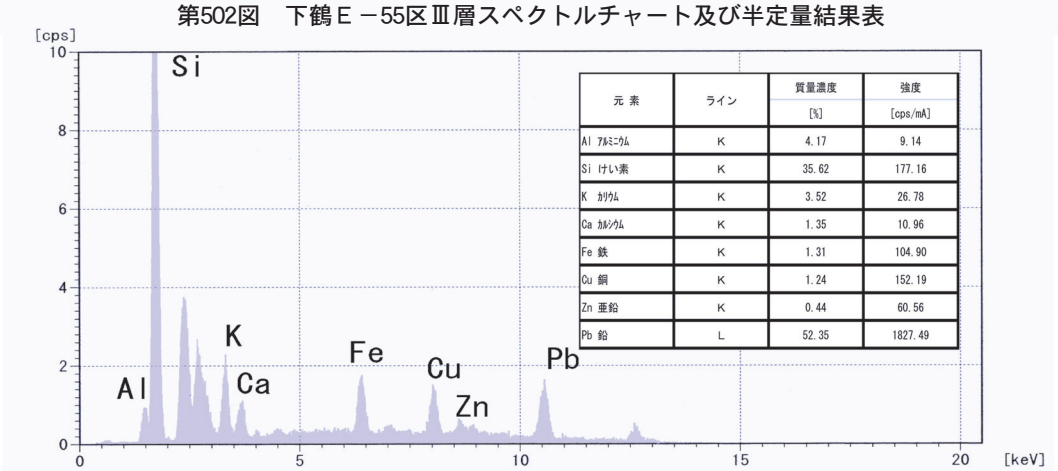
元 素	ライン	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	K	6.72	8.78
Si けい素	K	68.87	162.84
S 硫黄	K	0.60	2.98
K カリウム	K	7.86	33.72
Ca カルシウム	K	8.00	39.18
Ti チタン	K	1.52	27.25
Fe 鉄	K	4.80	229.81
Cu 銅	K	1.02	68.82
Sr ストロンチウム	K	0.24	29.64
Pb 鉛	L	0.37	9.80

第501図　下鶴No.12904スペクトルチャート及び半定量結果表



元 素	ライン	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Si けい素	K	45.55	241.98
K カリウム	K	2.67	20.88
Ca カルシウム	K	1.04	9.12
Fe 鉄	K	0.42	35.98
Cu 銅	K	0.97	131.54
Zn 亜鉛	K	0.30	45.98
Sn すず	K	0.24	2.24
Pb 鉛	L	48.81	1879.02

第502図　下鶴Ｅ－55区Ⅲ層スペクトルチャート及び半定量結果表



元 素	ライン	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	K	4.17	9.14
Si けい素	K	35.62	177.16
K カリウム	K	3.52	26.78
Ca カルシウム	K	1.35	10.96
Fe 鉄	K	1.31	104.90
Cu 銅	K	1.24	152.19
Zn 亜鉛	K	0.44	60.56
Pb 鉛	L	52.35	1827.49

第503図　下鶴溝一括スペクトルチャート及び半定量結果表

第７節　赤色顔料が塗布された薄片について

中世土坑12号内で検出された，赤色顔料が塗布された薄片について形状観察と成分分析を行ったので報告する。

１　資料

土坑内に点在していた薄片及び膜状に残る断片を含むブロック。

写真１　膜状に残る薄片とブロック

２　観察・分析方法

⑴検出及び形状観察

膜状に残された断片を含むブロックを，バインダーで補強しながら竹串・筆等で慎重に検出していき，４㎝角ほどの，口縁部と思われる二つ折り状・二重の膜を得た。赤色顔料は膜の外面全面に塗布されており，内面には見られない。この膜と，点在していた薄片の中から状態のいいものを数点選び，双眼実体顕微鏡（Nikon SMZ1000）による表面観察と断片観察及び走査型電子顕微鏡（日本電子製JSM－5300LV）による観察を行った。断片観察は，薄片をエポキシ樹脂に封入し，表面研磨してプレパラートを作成したものを観察した。

⑵成分分析

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（堀場製作所製ＸGT－1000，Ｘ線管球ターゲット：ロジウム）を使用し，次の条件で分析した。資料は取り上げ時にバインダーで保護していたため，アセトン及びエタノール洗浄したのち，非破壊で分析した。標準試料による補正はしていない。

【分析条件】

Ｘ線照射径	：100 μm
測定時間	：200 s（各電圧100s）
Ｘ線管電圧	：15/50kV（多元素測定）
電流	：自動設定
パルス処理時間	：P3
Ｘ線フィルタ	：なし
試料セル	：なし
定量補正法	：スタンダードレス

３　結果

⑴　形状観察

ブロック内から得られた膜は椀の口縁部のような形状を呈しており，木胎相当部分が消失したものと思われる。ブロックの断面にも同様の形状のものが現れている。残存部から推定すると，口径７㎝弱の，赤色顔料を内外面に塗布した容器であると思われる。塗布面の厚さは0.008～0.02㎜で，緻密である（写真２）。表面に残された埋土にはバブル状の火山ガラスが多く見られた（写真３）。この膜の反対面には筋状の突起が見られる。その形状から，年輪による木目ではなく維管束であると思われる（写真４）。

顔料塗布面を電子顕微鏡で観察した結果，微細な粒子が見られた（写真５）。これは当センターでこれまでに確認している水銀朱付着土器に見られるものと同様の粒子である。

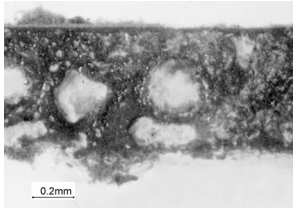


写真２　薄片断面

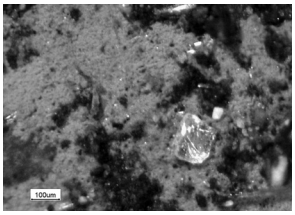


写真３　薄片水銀朱付着面
中央右下が火山ガラス。

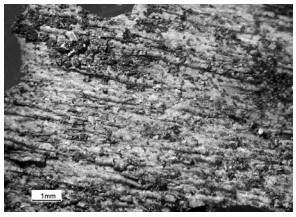


写真４　薄片裏面

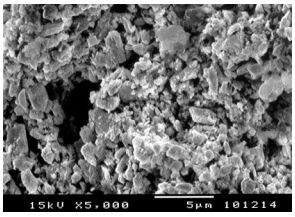
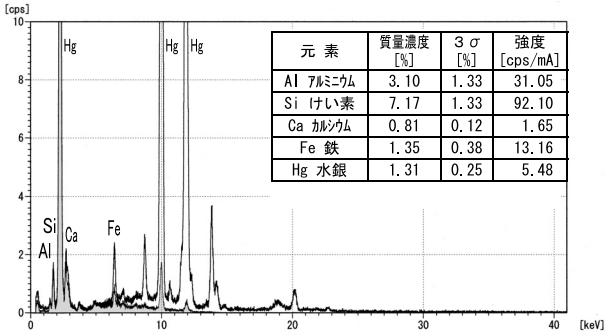


写真５　電子顕微鏡画

⑵　成分分析

顔料面を分析した結果，顕著な水銀（Hg）のピークが見られた（第504図）。裏面も同様に分析してみたが，土壌成分と思われるケイ素（Si），アルミニウム（Al），鉄（Fe）のほか，水銀（Hg）の強いピークと微量の硫黄（S）を検出した。



元 素	質量濃度 [%]	3σ [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	3.10	1.33	31.05
Si けい素	7.17	1.33	92.10
Ca カルシウム	0.81	0.12	1.65
Fe 鉄	1.35	0.38	13.16
Hg 水銀	1.31	0.25	5.48

第504図　蛍光Ｘ線分析結果

４　まとめ

この薄片は植物性の材料に水銀朱（HgS）を塗布した，何らかの容器であることが想定できる。しかし，この薄片は土坑内の広い範囲に点在しており，現場採取で数10点，室内精査ではおよそ500点を確認している。この状況をみると，膜状に残った部分以外は粉々（おそらく数ミリ角にもなるほど）に砕かれて撒かれ，水銀朱が染みこんだ部分のみが残ったと思われる。

5　鹿児島県内における水銀朱塗布例

当センターではこれまでに，県内４遺跡から縄文時代晩期の土器付着２例，弥生～古墳時代の土坑墓床面散布１例，古墳時代の人骨（頭蓋骨）付着１例，中近世の輸入陶磁器付着１例の水銀朱を確認している。

第８節　下鶴遺跡出土透明玉の成分について

○　蛍光Ｘ線分析結果（数字は質量％，標準試料による補正なし）

	表面
Siケイ素	99.68

（注意）　サンプル15点の質量％の平均値

No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
99.93	99.91	99.88	99.99	98.49
No.7	No.8	No.9	No.10	No.11
99.98	99.82	99.76	99.29	99.75
No.12	No.13	No.14	No.15	No.16
99.98	99.82	99.33	99.23	99.99

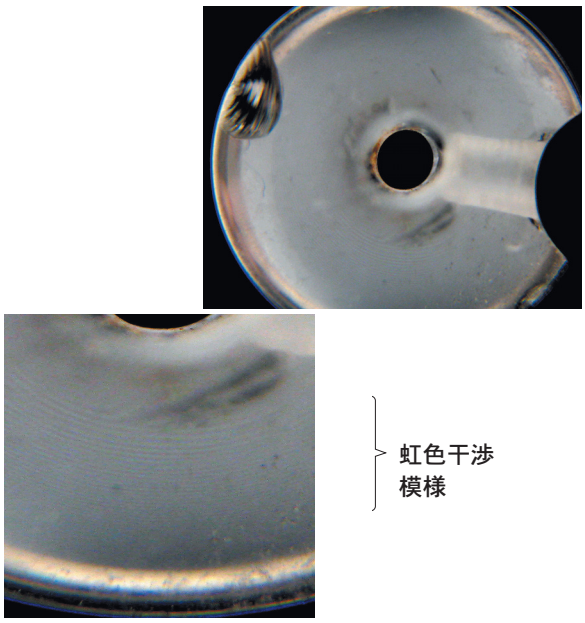
※　表面：遺物表面に付着した土・緑青等を超音波洗浄機で洗浄後，遺物１点につき３か所を分析した値の平均値を示した。

※　遺物番号No.２～16についても，Siケイ素の質量％を示す。

※　一般的なガラスも，水晶も物質の組成は，二酸化ケイ素（SiO_2）が主成分。ガラスの大部分が多成分ケイ酸塩ガラス。

○　偏光板観察結果

ガラスの場合は，黒い筋が十字干渉模様のように見えるが，水晶の場合は，虹色（リング）干渉模様が見える。



○　分析結果について

まず，ケイ素の含有量が極めて多いという点が特徴。分析は非破壊で，腐食面を測定しているとはいえ，プラスチックなど高分子化合物の組成とは異なることがうかがえる。

また，偏光板の用いた観察により一般的なガラスというより水晶の可能性が高いと思われる（ガラスの十字干渉模様が観察されない）。

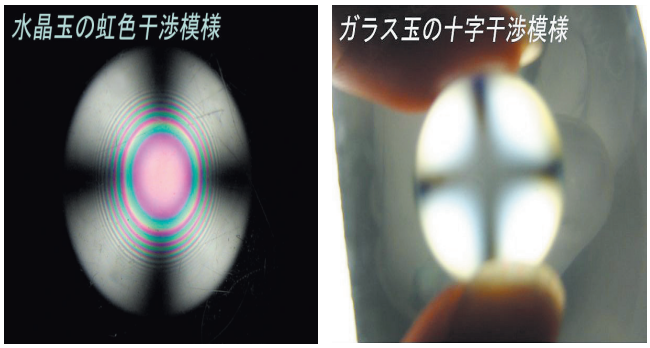
課題

１．透明玉の径が小さい場合，水晶に特有の虹色（リング）干渉模様がはっきり出ない場合がある。また，虹色干渉模様を撮影するのも困難な面がある。通常は，径が20㎜以下の場合は難しいが，肉眼では観察が可能であり，今回はその点を考慮した。（サンプルは，すべて20㎜以下のもの）

２．水晶にも天然と人工のものがあり，比較方法はあるものの，やはり径が小さいと明確な差は出ない。

３．上記２については，喜界町の大ウフ遺跡でも同様のものが出土しており，現在，奈文研で鑑定を依頼しているということなので，結果に注目することが望まれる。

４．遺物番号No.4とNo.14には，横から中心部に穴が開いており，理由は不明。また，この横からの穴の通路を拡大するとドリルのようならせん状の痕跡らしきものが見ることができる。



参考　偏光板観察による干渉模様について

第９節　赤色顔料について

下鶴遺跡出土の赤色顔料については，７点（土壌内６点，土器表面塗布１点）の資料について分析を行い，県内出土の赤色顔料との比較を行った。

Ⅰ　赤色顔料の分析

１　資料①（土壌）

古墳住居15号，古墳住居54号赤色顔料，古墳住居60号ポイント８，古墳住居62号，古墳住居64号No.38，古墳住居79号地点Ａ

２　資料②（土器表面塗布）

縄文土坑31号レイアウト番号121

３　観察・分析方法

⑴　形状観察

観察用の試料を採取し，走査型電子顕微鏡（日本電子製ＪＳＭ－5300ＬＶ）による1000～2000倍観察を行った。

⑵　成分分析

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（堀場製作所製XGT－1000，Ｘ線管球ターゲット：ロジウム，Ｘ線照射径100μｍ）を使用して，非破壊で測定した。分析条件は次のとおりである。

Ｘ線照射径	：100 μｍ
測定時間	：200 ｓ
Ｘ線管電圧	：15kV
電流	：1000/700μＡ
パルス処理時間	：P3
Ｘ線フィルタ	：なし
試料セル	：なし
定量補正法	：スタンダードレス

４　結果

⑴　形状観察

54号及び62号に，直径１μｍあまりの棒状の粒子が見られるが，これはパイプ状粒子と判断できる。そのほかの資料（15号，60号）からもパイプ状粒子が見られた。

⑵　蛍光Ｘ線分析

分析の結果，いずれも強い鉄（Fe）のピークが得られた。赤色顔料が認められた。（内１点は土器塗布）。土壌（79号）についても鉄のピークが見られる部分があったが，ケイ素（Si）やカルシウム（Ca）などのピークとの比較や分析結果の検討，及び電子顕微鏡観察の結果から，この粒子は鉱物由来のベンガラであると考えられる。

同様に，64号と縄文土坑31号も鉱物由来のベンガラと考えられるが，特に土器付着物はパイプ状の形状が見えにくい傾向が強いので検討を要する。

Ⅱ　鹿児島県内における赤色顔料の観察例

これまでに，県内各地の多くの遺跡で赤色顔料を確認しており，データを蓄積してきた。鹿児島県内では，岩本遺跡や稲荷原遺跡の岩本式土器に付着していた例など，縄文時代早期初頭にはすでに使われていたことが分かっている。

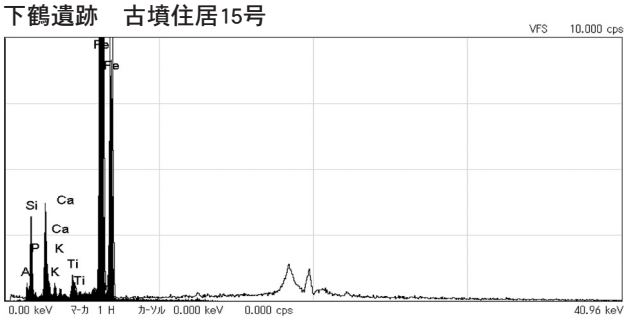
今回は，土壌内試料の分析が大半を占めており，顔料以外の鉱物微量成分が検出されてしまう結果となっている。また，ベンガラも現段階では古墳時代以降になると非パイプ状のものしか確認できていない。

参考・引用文献

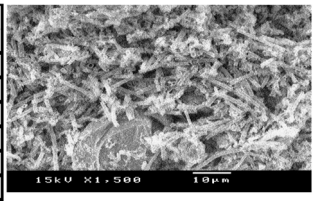
内山伸明ほか2007「鹿児島県における赤色顔料に関する調査事例」『日本文化財科学会第24回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会

内山伸明ほか2008「上水流遺跡出土の赤色粒子と鉄バクテリアとの関連について」『日本文化財科学会第25回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会

下鶴遺跡　古墳住居15号

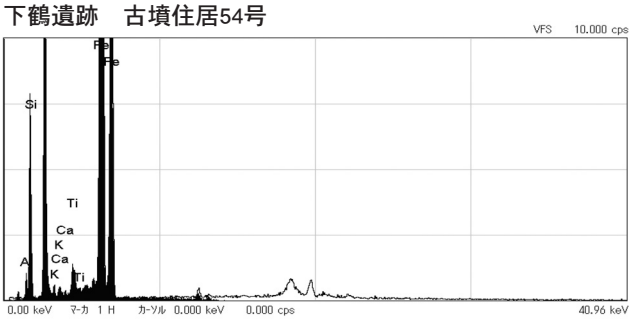


元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	5.03	5.39
Si けい素	17.83	41.67
P リン	0.27	0.98
K カリウム	1.01	10.34
Ca カルシウム	0.19	2.02
Ti チタン	0.32	18.60
Fe 鉄	75.35	5761.48

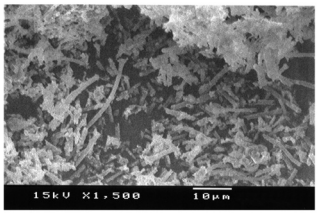


第505図　蛍光Ｘ線分析結果①

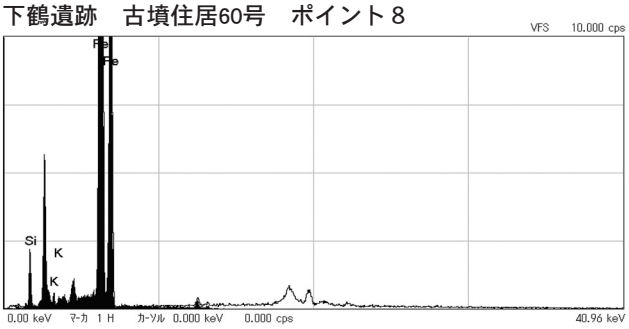
下鶴遺跡　古墳住居54号



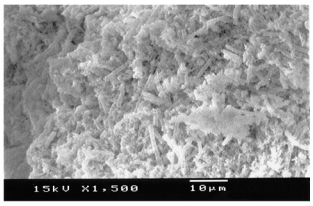
元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	3.24	5.60
Si けい素	18.15	78.84
K カリウム	0.38	7.31
Ca カルシウム	0.17	4.22
Ti チタン	0.17	20.34
Fe 鉄	77.89	11627.04



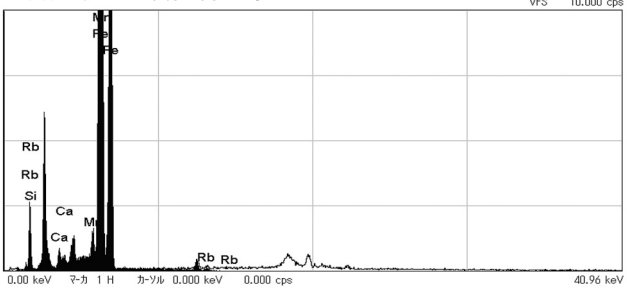
下鶴遺跡　古墳住居60号　ポイント８



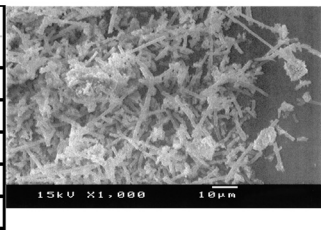
元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Si けい素	12.94	20.79
K カリウム	0.47	6.52
Fe 鉄	86.37	6559.09
Cu 銅	0.22	1.64



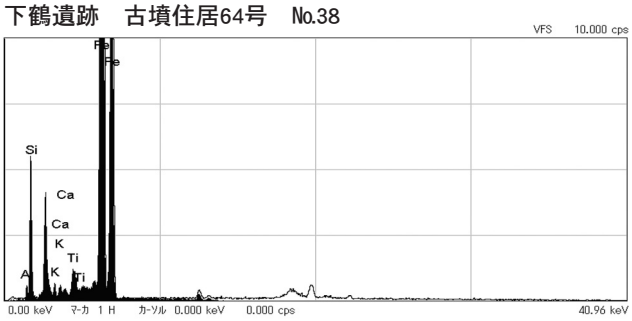
下鶴遺跡　古墳住居62号



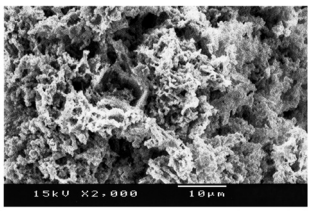
元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Si けい素	7.32	25.34
Ca カルシウム	0.26	5.90
Mn マンガン	0.38	55.81
Fe 鉄	91.99	11701.38
Rb ルビジウム	0.05	4.70



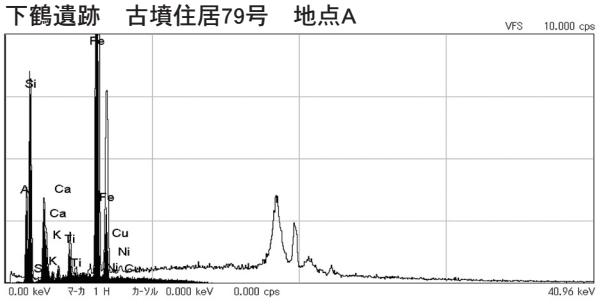
下鶴遺跡　古墳住居64号　No.38



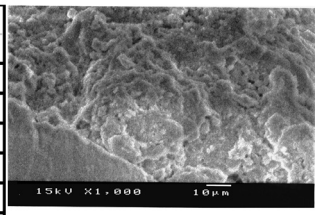
元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	1.83	3.13
Si けい素	11.06	40.90
K カリウム	0.20	4.12
Ca カルシウム	0.06	1.53
Ti チタン	0.10	11.78
Mn マンガン	0.06	5.47
Fe 鉄	86.69	10831.03



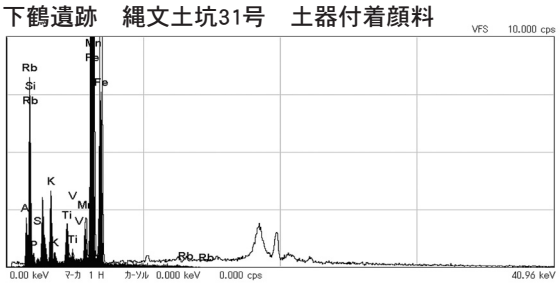
下鶴遺跡　古墳住居79号　地点A



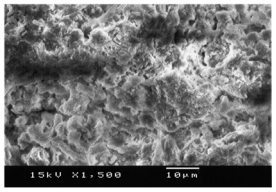
元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	27.48	42.26
Si けい素	52.95	110.27
S 硫黄	0.04	0.69
K カリウム	0.60	3.62
Ca カルシウム	0.84	6.55
Ti チタン	1.39	46.39
Mn マンガン	0.14	27.06
Fe 鉄	16.52	1270.68



下鶴遺跡　縄文土坑31号　土器付着顔料



元素	質量濃度 [%]	強度 [cps/mA]
Al アルミニウム	15.51	25.76
Si けい素	32.05	104.44
P リン	0.88	4.17
S 硫黄	0.18	2.11
K カリウム	4.75	54.39
Ti チタン	1.19	73.73
V バナジウム	0.01	0.84
Mn マンガン	0.44	40.36
Fe 鉄	44.93	4991.26
Rb ルビジウム	0.06	7.95



第506図　蛍光Ｘ線分析結果②

第５章　総括

第１節　縄文時代

縄文時代の調査の成果として，遺構は，竪穴住居跡が４基，集石が１基，土坑が34基検出された事が挙げられる。遺物は縄文時代早期，中期，後期，晩期の遺物が出土している。

縄文土器と判別できた土器総数は5,153点あり,そのうち類別できたものは3,681点で，掲載できた遺物は1,027点であった。石器は製品，素材，剥片など含めて総数38，595点が出土し，製品4,281点を確認した。その内486点の遺物を掲載した。

遺構については，竪穴住居跡が４軒検出され，いずれも埋土内出土遺物から，縄文後期相当の遺構と考えられる。集石は遺跡内中央東側，羽月川の近くに検出された。構成礫の中に，打製石斧，石皿片などを含むが，時期の特定には至らなかった。土坑はほぼ遺跡内北側に集中して検出された。土坑内に良好な状況での遺物の出土がほとんど見られなかったことから，各土坑の帰属時期を判断することは一部を除いて困難であった。

その中でＫ－20区に検出された土坑31号は，埋土中に完形の鉢が出土し，後期相当の土坑であろうと判断できる遺構である。

土器については，Ⅰ類の押型文土器，変形撚糸文土器は，ごく少数の出土であり，Ｋ－22区に集中することは判明したが，早期該当の遺構は皆無で当時の様子を考察するには資料不足であった。

中期～晩期になると，後期を中心に遺物数も増加する。

Ⅱ類の並木式土器は，遺跡北側に集中する傾向が見られた。Ⅲ類の阿高系土器から増加が認められ，Ⅳ類・Ⅶ類・Ⅷ類に遺物出土のピークが見られる。

Ⅳ類市来式土器・Ⅶ類鐘崎式土器・Ⅷ類北久根山式土器の遺物分布は，ほぼ同様の分布範囲を示し，市来式の深鉢，鐘崎式，北久根山式の鉢をセットとする補完関係（本田1993）を示しているようである。同様にＸⅣ類の台付皿の遺物分布も類似した出土状況を示している。

Ⅴ類丸尾式土器・Ⅵ類納曽式土器・Ⅸ類辛川式土器・Ｘ類西平式土器になると遺物出土量が減少に転じるが，遺物の分布範囲は遺物出土のピーク期とほぼ同様な状況を示す。

その中でもＸ類の西平式土器は，遺跡内北側に出土の中心をもっていたピーク期と比較すると，遺跡南側Ｅ～Ｈ，54～56区に出土の中心が見られ，活動の中心が移動しているものと考えられる。また土坑内からの西平式土器の一括出土も見られた。

ＸⅠ類・ＸⅡ類の後期後葉（出土数は極めて少数）から晩期になると出土量が，またやや増加する。Ｅ－30区，Ｅ－43区に集中的に出土を見るが，周辺には当該期と想定できる遺構は確認できない，そもそも土器集中部付近には遺構そのものが検出されていない。

石器については，石材を肉眼で観察できる諸特徴から判断したところ，包含層の出土状況は表４のように日東産の黒曜石（Ⅱ）が全体の80％以上を占める結果となった。産地が近いということもあり，地理的な特徴を反映している。その他の黒曜石では，桑ノ木津留産（Ⅲ）や霧島系と思われるもの（Ⅵ）以外にも，腰岳産（Ⅳ）や淀姫産（Ⅴ）など西北九州の黒曜石も含まれている。分布としてはＦ－54，55区にフレイクやチップが集中する石材が多い。（第84図～86図参照）。後世の削平により，遺跡の中心部における石材・石器の広がりの状況を正確に把握することは困難で，グループ分けをするには至らなかった。器種別では二次加工剥片，石核，打製石鏃と続いており，それぞれ黒曜石を利用したものが大部分を占める。その中でも特徴的なものとして，サイドブレイドに類似する剥片石器がある。

サイドブレイドは，縦長剥片を素材とし，剥片の長軸あるいは短軸の両端または一端を調整剥離や切断によって加工を施し，刃部に使用痕が見られる小型の石器である。その縦長剥片を作り出す技法として，佐賀県伊万里市の鈴桶遺跡の資料に見られる「鈴桶型石刃技法」が知られている。石核の側縁部に打撃を加えて縦長の剥片を連続して剥離する技術であり，打面形成においてクレステッド調整や頭部調整剥離，頭部の研磨を施すことを特徴とする（小畑2002）。石材は鈴桶遺跡近くの腰岳産黒曜石が用いられている。今回，本遺跡で出土したサイドブレイドに類似する石器は，鈴桶技法を用いてつくられたような縦長剥片を素材としており，石材には腰岳産や桑ノ木津留産など不純物の少ない良質の黒曜石が使用されている。またその縦長剥片を作り出すように割られた石核も，腰岳の黒曜石だけでなく在地の黒曜石にも見られた。このことから西北九州からの石材・石器の流入とともに，技術の広がりの可能性も考えられる。サイドブレイドはこれまで本県ではあまり取り上げられることが少なかったもので，荘貝塚など薩摩半島西海岸でわずかに報告されていたが，これに類するものが内陸でも出土している例として，今後の資料の増加と検討を待ちたい。

また縄文時代後期から晩期の特徴的な石鏃として紹介されている五角形鏃も３点出土している。石材は他の遺跡の報告でも多い腰岳産黒曜石とチャートであった。共伴する土器型式を調べたところ入佐式土器など比較的晩期特有の土器が多い地点で出土しているが，明確に時代を断定するには至らなかった。

本遺跡と同じように市来式土器・鐘崎式土器・北久根山式土器を大量に出土した遺跡に干迫遺跡がある。干迫遺跡の調査をふまえ，二つの北久根山式土器の伝播ルートが想定されている。一つは，天草諸島や長島を含む西海岸南下ルートで，もう一つは，内陸部のルート，「人吉盆地から加久藤盆地あるいは大口盆地へ南下し，さらに干迫遺跡のある鹿児島湾奥へ到達し，鹿児島湾沿岸部へと広がるルート」（前迫2004）が想定されており，今回の調査成果はまさに，この想定を補強する結果となった。同様に石器についても，西北九州からの石材，石器制作技術の伝播ルートのひとつとしての可能性を示す調査結果となった。

（引用・参考文献）

出水市教育委員会　1979 「荘貝塚」『出水市文化財調査報告書』１

小畑弘己　2002 「鈴桶遺跡と鈴桶技法について」『Stone Sources』No.1　石器原産地研究会

鹿児島県立埋蔵文化財センター　1997 『干迫遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（22）

上敷領久　1989 「縄文時代の剥片石器製作技術－特に中・西北九州地方について－」『物質文化』52　物質文化研究会

千葉豊　編　2010 『西日本の縄文土器　後期』真陽社

本田道輝　1993 「南島と市来式系土器」『南日本文化研究所叢書』18　鹿児島短期大学付属南日本文化研究所

前迫亮一　2004 「南の北久根山式土器－干迫遺跡出土資料の位置づけ－」『鹿児島考古』38　鹿児島県考古学会

横田義章　1976 「西九州における縄文時代の一剥片石器群」『九州歴史資料館研究論集』２　九州歴史資料館

第２節　弥生時代

弥生時代の調査の成果としては，52基の土坑が検出された事が挙げられる。包含層からの土器は弥生時代早期を中心に363点が出土し，353点が類別でき，内99点を掲載した。

土坑の分布はＫ・Ｌ－12～15区に集中しており，また，一部の土坑では，土坑床面周縁部に溝状の掘り込みが見られるものがある。同様の事例が伊佐市菱刈町（旧菱刈町）の前畑遺跡で確認されており，組合わせ式木棺墓の可能性が指摘されている（菱刈町教育委員会1983）。

土坑内遺物は，土坑19号から入来式土器の甕底部と壺形土器の胴部が埋土内上位で出土し，土坑43号からはピット，樹痕などとの切り合いはあるものの，土坑コーナー付近，床面直上で横倒しになった入来式の甕形土器が出土している。土坑48号からは土坑埋土内中位に入来式の壺形土器が出土している。

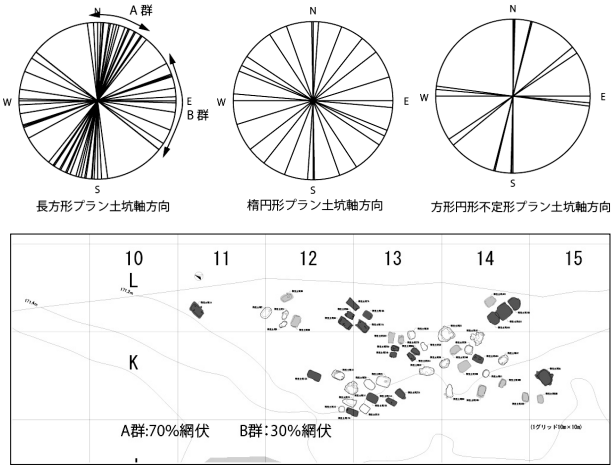
さらに土坑34号埋土内では，床面から６㎝ほど上位で切っ先が短く丸みを帯び，匙状の樋を有し，脊が細く薄い細形銅戈が出土した。本資料は，弥生前期末から中期前半のものと考えられ，周辺出土の入来式土器とは時期的に整合する。土坑内からの武器形青銅器の出土は戦闘行為による殺傷具あるいは，他地域の有力者から威信財として分与されたものを副葬した等の意見がある。その他の土器片は，埋土内，中位以上から出土しており，出土レベルに差がみられ，銅戈については棺内への副葬と考えるのが妥当であろう。本遺跡出土の銅戈は，列島最南端の出土例となる。また武器形青銅器の出土例としては，志布志市有明町の土橋遺跡採集品に次ぎ県内２例目である。

また，土坑19号，土坑37号内土壌サンプルの科学分析の結果，リン酸含有量の富化がみられた。このようなことから，これら土坑は土坑墓と考えることが妥当であろう。また一部の土坑墓には木棺が存在していた可能性も十分に考えられるものである。

さらに土坑17号北側に隣接した円形の土坑内に入来式の壺形土器が検出され，検出状況から壺棺墓と認定した。壺内の土壌についても科学分析を実施したが，前述のようなリン酸含有量の富化は確認されなかった。

土坑墓が集中して検出されることは，墓域が認識されていたことを示していると考えられ，土坑墓がほとんど切り合わないことは，地上標識や土盛りの可能性を伺わせ，埋葬部が認識できうる時間幅（地上標識や土盛りが失われてしまう時間幅）での墓域の利用も伺わせる。

墓域を形成する土坑墓が多数検出される反面，住居跡は検出されていない。当時，墓域と居住域とが明確に区分されていたことの現れともとらえられる。



第507図　土坑長軸方向及びＡ・Ｂ群分布状況

平面形態が長方形の土坑長軸方向は，南北方向（Ａ群）と東西方向（Ｂ群）の２者に，ある程度の偏り（第507図）をみせ，分布範囲としての偏りまではみられない。しかし当時，埋葬に際して共通理解された埋葬方向が存在したこと，埋葬方向の差は埋葬習俗の変化などを示唆している可能性がある。

土坑34号内出土の銅戈に加え，土坑墓集中域の直近，Ｋ－14区包含層から破鏡も出土している。破鏡は主として漢式鏡の舶載品を故意に分割することによってより多くの従属首長層に分配する政治的行為と解されている。本遺跡出土の破鏡は平縁素文の外区片で内区側両端に穿孔を施すもので，鏡式の特定には及ばなかった。穿孔は一方が欠損しているが懸垂用の穿孔と思われる。穿孔を施した破鏡は弥生後期後半から終末に見られ，当遺跡出土の銅戈とは時期が異なる。また弥生後期段階では，穿孔した破鏡は副葬されることは少なく，葬送儀礼よりも集落域などにおける様々な儀礼行為の場で使用された可能性が高い（辻田2005）。当遺跡内での破鏡の出土状況も上記の用途で使用され，その後廃棄されたことを想起させる。

また，遺跡北側の切り合う古墳住居の最古段階と考えられる住居内埋土に流入するような形で，祭祀や埋葬時の供献土器としてよく見られる重弧文を施す免田式土器の破片が出土しており，弥生時代後期から古墳時代初頭に何らかの祭祀や儀礼的行為が行われたことを示唆しているようである。

本遺跡からは，弥生時代早期～終末期までの土器が出土している。時期ごとの遺物量を比較すると，弥生早期のものと思われる甕が多く，遺跡の下流側に集中している。前期～中期の甕は下流側に広く分布しているが，土坑墓が集中する上流の北側調査区の土坑墓周辺でも出土が見られる。太型の玉縁状口縁を呈すいわゆるボテ甕も，北側調査区に分布しているが，遺跡中央部からも若干出土している。ボテ甕は阿蘇山系及び霧島山系とその周辺でみられる特徴的な土器で，「山の弥生土器」とも言われる。器壁が厚く，胎土に石英や角閃石を多く含み，色調などが共通している。近隣の前畑遺跡や野中遺跡からも類似の土器が出土している。

宮崎・鹿児島県内の霧島山麓で，類似するボテ甕が出土した遺跡では，共伴土器に見られる共通項として黒髪式土器を伴うことや須玖式土器を伴うことが挙げられている（東1998）。本遺跡からも黒髪式土器や，須玖式土器の暗紋を施す壺の口縁部が出土しているが，共伴関係については今後の課題としたい。

弥生時代の石器としては抉入柱状片刃石斧が出土した。古墳時代の住居跡からの出土だが，県内では約20例目，大口においては採集品はあるが，発掘では初の出土である。鹿児島県内出土の柱状片刃石斧は高橋貝塚（南さつま市）で７点，入来遺跡（日置市）で５点など薩摩半島南部の西海岸で多いが，王子遺跡（鹿屋市）や夏井土光（志布志市）などでも出土し，県内全域に分布している。東和幸氏の比較によると，「幅は約3.3㎝で共通し，厚さは3.5㎝～４㎝の範囲に収まり規格性がある」と指摘している。本遺跡で出土した石斧も，幅3.2㎝，厚さ3.7㎝と類似している。また，「石材は全て目の細かな頁岩のようなものである」とあり，これもまた共通する。鹿児島県内では未だこの様な石材は確認されておらず，他県の限られた産地のものであると思われる（東2005）。

以上のことから，柱状片刃石斧は北部九州などから製品として運ばれてきた可能性も考えられ，大陸系磨製石斧が出土するのは弥生期における拠点集落があった地域なのではないかと思われる。周辺の下ノ原Ｂ遺跡では磨製穿孔具が出土しており，さらに弥生文化流入の痕跡を示す資料となった。

（引用・参考文献）
大口市郷土史編さん委員会　1981 『大口郷土史』 大口市
鹿児島県立埋蔵文化財センター　2009 『下ノ原Ｂ遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（137）
辻田淳一郎　2005 「破鏡の伝世と副葬－穿孔事例の観察から－」『史淵』142　九州大学
東憲章　1998 「山の弥生土器」宮崎県考古学会　第36回例会発表要旨
東和幸　2005 「鹿児島県における弥生時代石斧の概要」『石器原産地研究会第７回研究集会－今山玄武岩産地と各地の弥生時代の石斧生産－』
菱刈町教育委員会　1983 『前畑遺跡』菱刈町埋蔵文化財発掘調査報告書（２）
本田道輝　1992 「鹿児島県下の弥生時代の石器と金属器出土遺跡地名表」『南九州地域における原始・古代文化の諸様相に関する総合的研究』 鹿児島大学法文学部

第３節　古墳時代

古墳時代の遺構は，竪穴住居跡93軒，土坑28基，埋設土器１基，柱穴群多数など，数多く検出された。これらは，調査区のほぼ全域に広がっており，当該期にこの地が利用されていたことを如実に示している。特に，調査区北側にかけて竪穴住居跡が密に検出されている。

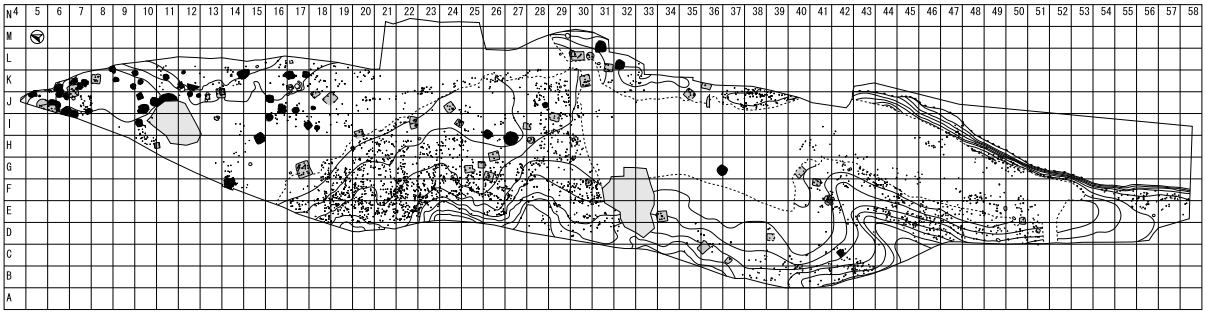
はじめに竪穴住居跡の形状についてみていきたい。本遺跡の竪穴住居跡は，方形ないし長方形を呈するものが多いが，不定形のものも相当数検出されている。特に，北側調査区において後者は多い。ただし，北側調査区は層位が不安定で深く削平を受けているなど，検出が床面と思われる硬化面直上で確認されるなど，一部の竪穴住居跡は掘り方のみ残存しているなどプランを確定する上で必ずしも条件が十分であったとはいえない。５～９号が切り合っている状況などから見ても，円形が古く方形が新しいことが言え，さらに両者の時期差は遺構内出土遺物を見る限り，一型式内か二型式内に収まりそうである。また，花弁形住居跡も確実にプランを把握できたものが３軒ある。この３軒も他の竪穴住居跡とは時間的に明確な差は認められない。これらのことから，本遺跡の竪穴住居跡の形状は，方形を基調としつつ花弁形がこれに組み合わさるとまとめることが出来よう。ところで，方形プランのものの一部には掘り方において特徴的なものが検出されている。63号や64号，79号など，意識的に溝の作出やコーナー部分の深掘りを行っている。後者は，時期は下るが下耳切第３遺跡においても確認され,「貼床除去後の住居の掘削底面に注目」した結果,「不作為に床面が掘削されるのではなく,一定の工法が用いられた」と指摘する材料となっている（今塩屋編2006)。本県においても留意すべき事項であろう。

次に，土坑は円形や楕円形などのプランが多数を占める。この中で，2基は隣接して周溝状の遺構が見られた。当初は，周溝状遺構として調査検討を進めていったが，花弁形住居跡の床面構造とも考えられ，最終的に土坑として捉えている。今後の類例を待ちたい。

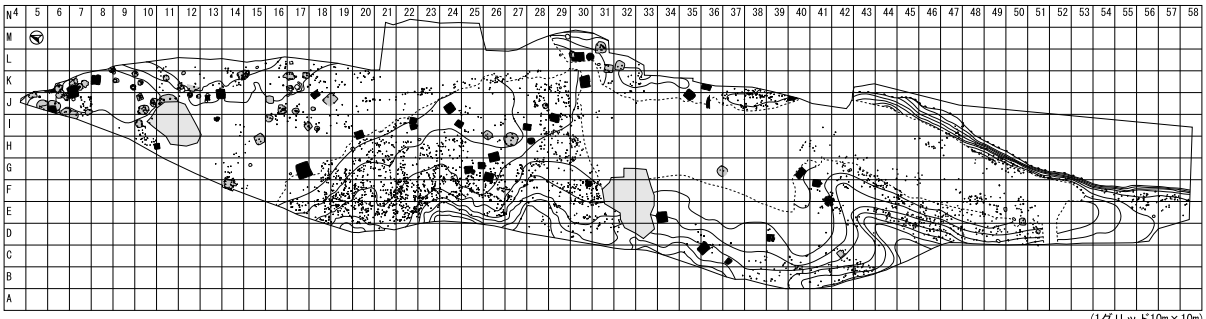
また，柱穴群は，本遺跡から複数時期のものが数千基検出されている。これらは埋土の特徴などから大きく三時期に分かれる。この内，黒色土を埋土に持つ柱穴は古墳時代や古代の他の遺構埋土と類似点が多く，両時期の可能性が高いと考えた。だが，掘立柱建物跡を復元できたものは古代の１基のみであった。柱穴内からの遺物出土も極端に少なく，このため十分な時期判断が出来ていない。これらの柱穴は，古墳時代の遺構配置図に掲載しているが，古代期の可能性も含んでいる。だが，古墳時代のものも含まれていることを考えると，小屋的な構造物も考えなくてはならいであろう。本県において，古墳時代の掘立柱建物跡の検出例は集落遺跡が多い割に意外と少ない。集落遺跡調査の課題として，今後検討すべき課題であろう。

さて，これらの遺構から出土する土器の特徴は，甕ではⅡ類が圧倒的に多い。この甕Ⅱ類は，中村直子氏の言う東原式土器にほぼ相当し，一部辻堂原式土器を含んでいる。包含層においても，甕Ⅱ類の出土は突出しており，古墳時代の中でも東原式土器から辻堂原式土器の段階すなわち，中期前半に中心時期があったことを示している。更なる詳細な時期や前後関係については，坩や高坏などの赤色顔料を塗布する資料も遺構内からは多く出土しており，これに注目した。このような資料は，辻堂原式土器段階から顕著に見られ，赤色顔料塗布資料の有無は精粗の差も含まれるであろうが，時期を分ける際の目安ともなる。また，須恵器も辻堂原式土器段階から見られる遺物である。つまり，両者を含まない竪穴住居跡は僅か

古い様相



新しい様相



（1グリッド10m×10m）

第508図　古い様相と新しい様相の竪穴住居跡

ながらではあろうが古い傾向にあると言えるのである。第508図はこの観点で図示している。なお，隣接する遺跡に梅木遺跡がある。ここでも東原式土器がまとまって出土しており，当該期における両遺跡は一連のものである可能性が高い。さらに，西側には墓地としての焼山遺跡があり，詳細な年代観は再検討しなくてはならないが，これらの遺跡も合わせて考えなくてはならない。

最後に，特徴的な壺について述べたい。壺Ⅲ類としたものは，いわゆる２重口縁の形状を成す。この資料は，成川式土器様式が主体を占める遺跡において類例は決して多いとは言えない。この資料を検討した角南聡一郎氏は，「南九州型二重口縁壺」と，従来山陰系とされたものの内二重口縁壺についてこのように提唱している（角南2000）。近年では，指宿市南摺ケ浜遺跡や鹿屋市祓川地下式横穴墓３号供献土器など，県内各地で出土している。本遺跡のものは，口縁部が外反するものや内湾するもの，頸部には突帯をめぐらせるものや，胴部の突帯も最大径上あるものやその上位にあるものなど様々なバリエーションがある。これらは，その多くが東原式土器から辻堂原式土器にかけての甕と遺構内で共に出土しており，特に竪穴住居跡17号では複数の２重口縁壺が共に出土している。時間的な位置づけに関しては複数の遺跡資料を検討して行わなくてはならないが，形式の組み合わせを検討する上で重要な資料となるであろう。

本遺跡を含めた伊佐地方は，池畑耕一氏によると「宮崎平野系のものが主体となるが，一部に成川式土器の影響が入っている」とされており（池畑2009），周辺地域との関係を考えることの出来る地域である。本遺跡の土器は，甕の脚部作出も含め，宮崎的様相が窺えつつも成川式土器様式を保有する集団であるとまとめられよう。伊佐地方では，同時期で且つ集落遺跡である下ノ原Ｂ遺跡などの発見が相次いだ。今後は，河岸段丘に集落が形成されている事実を踏まえ，大住や焼山といった古くから周知されている墓域との関係など，伊佐地方という面で捉えていく必要があると言えよう。

（引用・参考文献）

池畑耕一　2009 「土器の特殊性から見た古墳時代における南九州の文化圏」『地域の考古学』

今塩屋毅行編　2006 『下耳切第３遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第125集　宮崎県埋蔵文化財センター

角南聡一郎　2000 「南九州型二重口縁壺の提唱－畿内との関係性からみた壺の変容過程－」『大河』第７号　大河同人

第４節　古代

古代の遺構は，土坑３基のほか調査区内から多数の柱穴が検出された。建物跡として復元できたものは，2間×３間の掘立柱建物跡１棟に留まった。この掘立柱建物跡を構成する柱穴内から出土した遺物（坏，埦の供膳具）にススが付着するものは，遺物包含層資料も含めて27点確認できた。土坑は３基検出され，全て円形を呈し，単一埋土で，黒褐色土の中にアカホヤ小ブロックが混在する。この中で特筆すべきは土坑３号であろう。土坑３号内の一括資料の分類をはじめ古代土器の分類は，中村和美氏の形式設定（中村1997）に基づいて行った。土師器埦については，10は埦Ｃａ，11は埦Ｃｂになる。13は埦Ａｂ１と推定できる。15，16の黒色土器Ａ類埦は，前者を埦Ａｂ2，後者を埦Ｂｂとする。21の越州窯系青磁は，椀Ⅰ－５類の底部を４分の１程度残す。これらの特徴から概ね９世紀後半から10世紀中頃に該当すると思われる。この越州窯系青磁は包含層において４点確認され，鹿児島県内28遺跡で出土し，薩摩半島に多く分布している（中村2006）。

次に包含層遺物について述べたい。土師器坏（22～30）を形式分類すると，22は坏ＡａＯ，23，24は坏ＡｂＯになる。土師器埦（31～78）は原則として高台を有し，坏より深さのあるものである。体部形態は直線的なもの（ａ），丸みをもつもの（ｂ）があり，高台形態としてハの字状のもの，短い高台を貼り付けるもの，充実高台を持つ薩摩タイプ（中村1997）がある。40～63の24点中，口縁部から底部まで残存する40～44の５点を形式分類すると，全て薩摩川内市西ノ平遺跡土坑Ｅ出土資料と同じ埦Ｃｂになる。64～78の15点中ハの字状高台のみ残る64～71の８点は形式分類上，埦Ａｂ１と推定できる。79～81の皿（小皿）は，口径に対し器高が低いものであり，皿と小皿の区別は口径10㎝を境界とし，底部切り離し技法により分類できる。79は底部切り離し技法が不明で形式分類に至らず，80は皿Ｃで，81は完全な形の小皿Ａで形式分類できる。82～98は土師器甕で，82～86は口縁部内面に稜線があり，87～96は稜線がない。104は移動式竈の一部と思われる。

黒色土器Ａ類埦（105～115）と同底部（116～126）は，底部の切り離し技法より，105，117～120を埦Ａｂ2，121，122，124～126を埦Ｂｂそして116を埦Ｃｂと推測する。出土数の少ない黒色土器Ｂ類埦（127～130）は，底部の推測で128を埦Ｃｂ，129，130を埦Ｂｂと思われる。これらの土器の時期は10世紀から11世紀前半に相当すると考えられる。

陶磁器では緑釉陶器がある。９世紀後半から11世紀前半に鉛釉陶器で越州窯系青磁の模倣から生産が始まったこの陶器は，東海，近江，京都，長門・周防を産地とする。薩摩国では，薩摩国府跡や薩摩国分寺跡，京田遺跡，大島遺跡をはじめその周辺計10遺跡から出土し，国分寺や国衙に関連する遺跡である。大隅国では３遺跡から出土し，霧島市本御内遺跡は大隅国分寺に隣接する。出土数は少ないが，国分寺等の役所的建造物周辺で出土していることに注目する。149（碗）は硬質で土師質の胎土に淡緑色の施釉がかかり，貼り付け高台を持つ。白色の胎土で釉の剥落があり，色むらがなく均質で等厚を特徴とする東海産と思われる（註１）。次に越州窯系青磁であるが，大宰府陶磁器分類（『大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』）に従うと三つに大別される。150は全面施釉で高い高台を持ち畳付上に目跡がつく椀Ⅰ－２ａオ類，151は全面施釉で高台畳付の釉を削り目跡がつく椀Ⅰ－２ａウ類となる。同一個体と思われる152，153は粗い胎土に黒色粒子の斑点が入り，部分施釉で発色が悪くむらの多い椀Ⅱ－２ｂ類となる。時期区分については，149は９世紀後半，150～153は８世紀末から10世紀中頃にあてはまると推測できる。

この他に土錘，焼成粘土塊，砥石そして軽石などが出土しており，これらより古代における遺跡のピークは，10世紀前半頃ではないかと推測する。

以上，古代における遺構と遺物を概観してきた。これまでの先哲による立証等を踏まえると，本遺跡の位置は，薩摩国と大隅国の境界（分岐点）となる。この境界を出土遺物での検討を試みる。本県における緑釉陶器と越州窯系青磁の出土遺跡を見ると，両者が出土する遺跡が９遺跡，そのうち６遺跡が薩摩国分寺周辺に分布している（中村2006）。本遺跡においても，両者が出土しており薩摩国府跡や薩摩国分寺跡との関連を示唆するものといえよう。

（註）

１　山本信夫氏（早稲田大学客員准教授）よりご教示

（引用・参考文献）

山本信夫　2002 『大宰府条坊跡ＸＶ　陶磁器の分類編～太宰府市の文化財第49集～』太宰府市教育委員会

中村和美　1997 「鹿児島県における古代の在地土器」『鹿児島考古』第31号　鹿児島県考古学会

中村和美　2006 「８　土師器と須恵器　９　交易」『先史・古代の鹿児島（通史編）』鹿児島県教育委員会

第５節　中世・近世

本遺跡の中世・近世は，多種，多様な遺構や遺物が検出，出土している。遺構は，掘立柱建物跡が14棟，竪穴建物跡が13軒，土坑が29基，大型土坑が８基，炉状遺構が19基，溝状遺構が３条，柱穴と思われるピット群が約4，000基検出されている。これらの遺構の検出例は，山城の調査報告に多くみられる。本遺跡は河川に隣接する遺跡であるので，山城の様相とは異なる。本稿では特徴のある遺構・遺物について若干の考察を交えながら述べておきたい。

掘立柱建物跡は，14棟復元することができたが，ピットの総数から想定すると，まだ，増加する可能性が考えられる。今回の調査では，14号のような，総柱や増設したような建物跡は他には検出されなかったが，同様の形状のものは，他にも存在したと思われる。また，2号と３号のように建て替えもあったと考えられる。

竪穴建物跡は，13軒検出されている。ほとんどが方形で他の遺跡のものと類似している。竪穴建物跡３号からは，三つ足のついた土師器（第420図１）と穿孔のある水晶玉の15点（第420図２～16）が出土している。三足坏は，県内では，鹿児島市加栗山遺跡・日置市伊集院町柳原遺跡・いちき串木野市栫城跡・霧島市隼人町弥勒院跡で出土している。これらの形状には，多少の違いはあるが，土坑墓からの出土が多く，仏具として取り扱っているものが多い。本遺跡では，同じ遺構内で水晶玉も出土していることから土坑墓の可能性も考えられるが，遺構の形状や埋土の堆積状況から，竪穴建物跡とした。この土師器を仏具と考えるなら，供献土器の役割があったと思われる。また，同じく土坑墓の可能性のあるものとして，竪穴建物跡５号は，形状が博多遺跡群の土坑墓（博多遺跡群第80次調査報告　ＳＫ－360)と類似している。しかし，本遺跡のものは規格が小さく，柱穴の数も少ない。また，遺構内遺物の出土はなく，埋土の状況が他の竪穴建物跡と類似していた。こちらも可能性の一つとして留めておきたい。竪穴建物跡や建物状遺構は，埋土の状況や遺構内遺物で時期差はあると思われる。

土坑は29基と大型土坑が８基検出されている。大型土坑としたもののうち５基は素掘りの井戸と思われる。土坑では土坑墓と思われるものが多数であったが，木製品が埋設されたものが３基検出された。また，その他では掘り込みが浅く鉄滓などの廃棄と思われる土坑や用途の不明なものも検出された。

炉状遺構は19基検出された。文献等で確認することは出来なかったのだが，発掘作業中に現場作業員さんから口伝でこの地のことを「かじやしき」と呼んでいたときいた。鍛冶が行われていたことは，鞴の羽口や鉄滓の出土から十分考えられる。埋土を一部サンプリングして，粒状滓などの採取を行った。しかし，鍛冶炉であることを確認することはできなかった。同じような形状の炉状遺構は，伊佐市大口では大口平出水の馬場Ａ遺跡や辻町２遺跡からも検出されている。さらに，馬場Ａ遺跡では掘立柱建物跡内でのカマド跡が検出されており，本遺跡でもこのような屋内炉の可能性は柱穴数からは考えられる。炉状遺構の時期は，掘立柱建物跡に切られている（炉状遺構５号）ものもあることから，中世から近世と時期差もあるのではないかと考えられる。

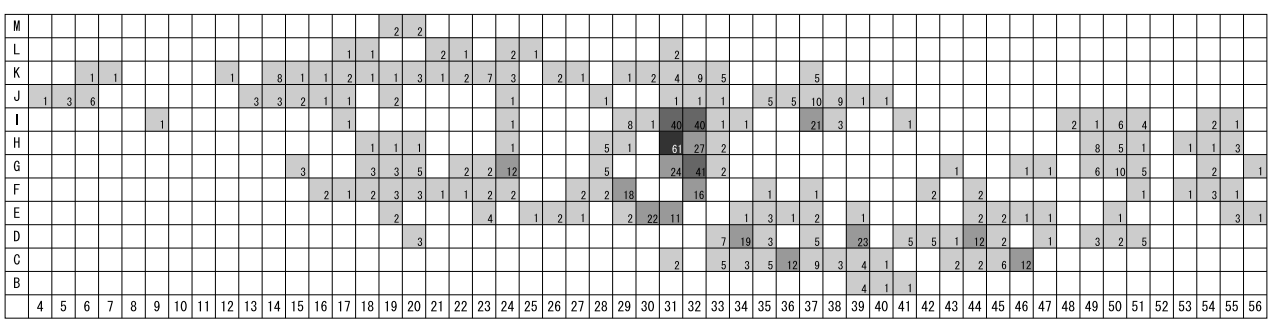
溝状遺構は，3条検出されている。遺跡の東に位置する羽月川へ向かって伸びている２号３号は，標高が河川側に徐々に下がっていることからこの川への水の排出が考えられる。南さつま市上水流遺跡では本遺跡と同じように河川に隣接し，大型土坑や炉状遺構，溝状遺構の検出されている。上水流遺跡では，溝状遺構の埋土の堆積中に砂質土が検出されているが，本遺跡では砂質土は検出されなかった。しかし，鉄滓や鞴の羽口が出土していることから，鍛冶炉に関係すると思われる。区画の役割もしていたと考えられている上水流遺跡の大溝から，本遺跡でもその点を考慮したが，遺構・遺物の広がりに差異が無いため，排水溝として記載した。周囲にある素掘りの井戸や木製品が検出された土坑を取水と考えると排水溝としての役割が想定される。

中世・近世の埋土の状況で，特に注目したいのは，この時代に造成を行ったことが考えられることである。遺跡の北側から羽月川の方でみられるアカホヤ消滅ラインである。本遺跡は，ほとんどの遺構をアカホヤ上面で検出していたのだが，アカホヤ面が検出されず，時期判定が難しい場所もあった。ピット内の埋土の色調も，中世に想定したものと近世に想定したものに，差違が見られず，時期差がないことがわかった。羽月川に隣接することから，河川に関する工事などが考えられるが，詳細を解明するまでには至らなかった。

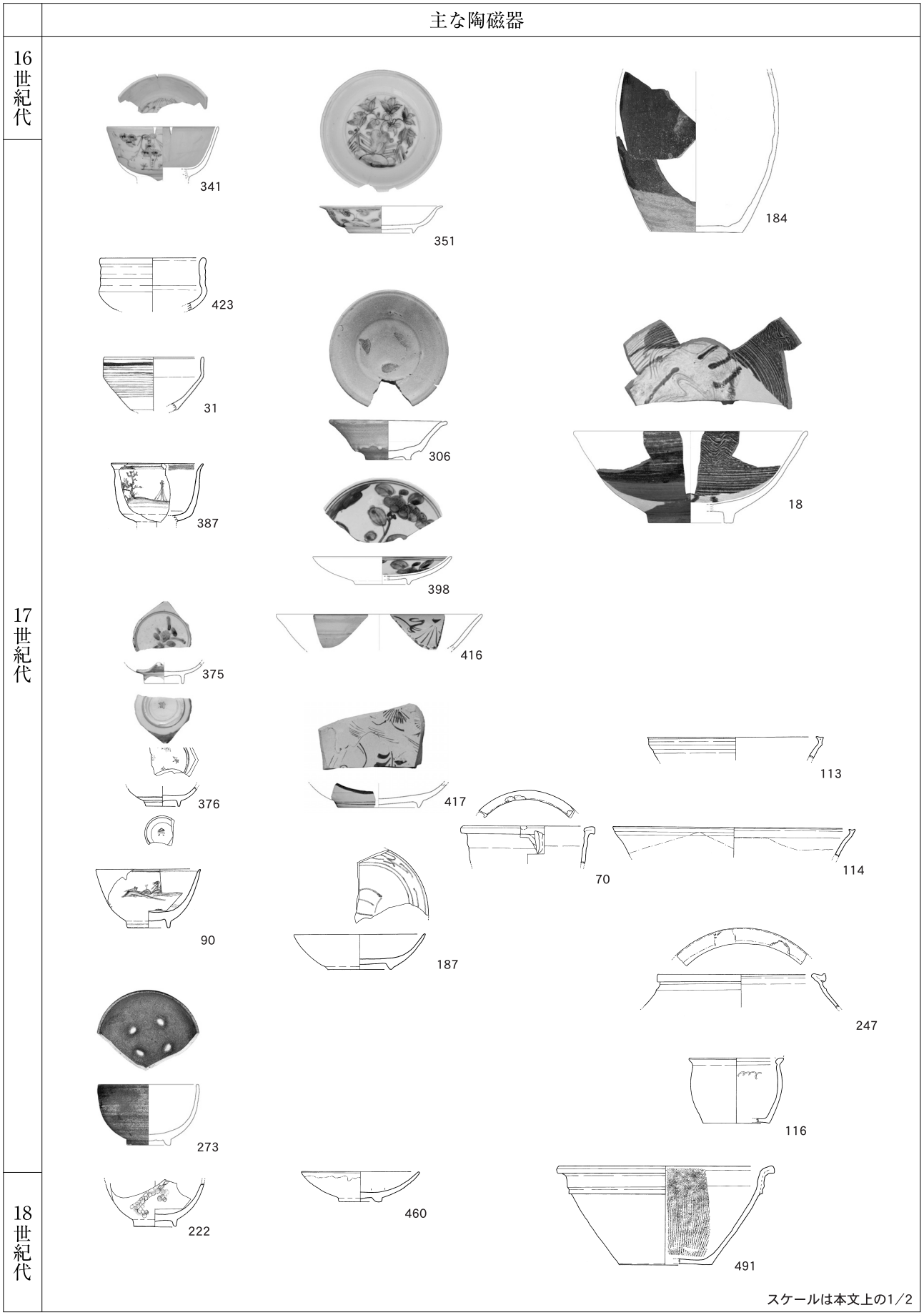
中世・近世の遺物は，調査の概要での遺物の分類内でも述べたが，多種・多様に出土している。遺物の分類については，大橋康二氏・渡辺芳郎氏・関一之氏・関明恵氏に御教示頂いた。総点数は2384点である。器種分類については，「東京都新宿区　内藤町遺跡　第Ⅱ分冊（遺物編)」を参考にした。ほとんどの遺物を一括で取り上げていたため，10ｍ×10ｍのグリッド内での出土状況は紙面の都合上，16世紀後半～17世紀の肥前産陶磁器（第509図）のみ掲載しているが，産地と時期がわかるものを中心にカウントを行った。これらの図からも，広範囲で出土していることがいえる。特に，Ｇ～Ｉ―31・32区での出土量が多い。ここは，掘立柱建物跡１号や土坑23号，炉状遺構５号・６号が検出された所である。また，ピット数も多い所である。

これらの遺物量を時期別に揚げていくと，表108のようになる。

中世の遺物である土師器の出土量は，62点出土している。12世紀から13世紀の青磁･白磁は171点出土している。14世紀から15世紀の青磁・白磁は103点出土している。国産陶磁器では，瀬戸・美濃の瓶子（第481図467・468）や備前の擂鉢（第467図298他）が出土している。16世紀後半から18世紀初頭になると，全体の出土量が増加する。



第509図　16世紀後半～17世紀の肥前産陶磁器出土状況



第510図　下鶴遺跡陶磁器編年図

16世紀代の景徳鎮系が128点，16世紀末以降の漳洲窯系が120点，16世紀末から18世紀にかけての肥前陶磁器が816点出土している（肥前磁器が309点，肥前陶器が507点）。その内訳は，16世紀末から17世紀前期の初期伊万里と言われるものから17世紀後期の輸出向けの量産タイプまで幅広く出土している。そして，17世紀初頭から18世紀初頭の薩摩産陶器が590点出土している。これは，16世紀～17世紀の陶磁器の総計の65％にあたる。18世紀・19世紀の遺物も出土しているが，その量は格段に減少しており，約10％である。（編年については第510図を参考にされたい。）

以上のことから，中世・近世に於ける本遺跡の中心は16世紀後半から18世紀初頭までと考えられる。

今までの県内の近世を中心とした遺跡では，17世紀代の遺物量は少なく，18世紀になると肥前磁器を中心にその出土量が増大し，19世紀では薩摩産磁器が肥前磁器より出土量が増加するという傾向がみられる。しかし，本遺跡は，これまでの遺跡とは出土傾向が異なっている。

次に，本遺跡の中心をなす時期の出土遺物から近世の様相を考えてみたい。

まず，17世紀末に相当する肥前内野山窯産の銅緑釉の中に漆による補修痕のある碗（第478図425）がみられる。漆による補修痕は，掲載以外にも，2点確認することができた。2点とも肥前の銅緑釉碗である。また，同じような時期に化粧道具の一つであるうがい碗（第475図384）が出土している。うがい碗は，女性がお歯黒を塗った後にうがいをする時に使用した碗である。これは，掲載以外のものは確認できなかった。これらのことは，この時期に本遺跡が生活の場であったことを裏付ける資料と言える。また，補修痕は，当時の人々が物を大切に使っていたことがわかる資料である。

次に，17世紀後半の薩摩焼である龍門司系山元窯（姶良市加治木町）製品の出土とそれに続く初期の龍門司系製品の出土の多いことがあげられる。山元窯は加治木島津家の保護の元に稼働した窯でその製品は上級階層にのみ流通する。これまでの出土遺跡は鹿児島市寿国寺跡，垂水・宮之城島津家屋敷跡などの島津家とつながりのある寺院，役所，屋敷跡などである。しかし，その出土量は少量である。それに対して，本遺跡では，山元窯産の遺物量は判別できるものだけでも16点，また，初期の龍門司窯系産と思われるものについては88点と出土量は多い。このことは，本遺跡に加治木島津家と深いつながりのある人物が居住していた可能性を伺わせる。

また，茶釜（第440図62他），茶臼（第469図311他１点），茶碗（第440図57他）等，茶の湯に関連する資料が出土していることから上級階層の人物の存在が考えられる。また，器種別に見ていくと，大形の碗や鉢・大皿・小坏等，いわゆる「もてなすための陶磁器」が多く出土していることからも，同様のことが言える（表109・表110参照）。

そのほかに特筆しておく遺物として，17世紀半ばの肥前染付の日ノ字鳳凰文（第453図187他掲載以外にも２点確認）や荒磯文（第445図96）などの量産タイプといわれるもの（第476図402），ベトナム産青花碗（第474図363）などの輸入陶磁器が出土していることは，本遺跡が川を利用しての交易を行っていたことが考えられる資料である。

これまでのことをふまえて，上級階層の人物像について考えてみたい。

まず，本遺跡の西側にあった高殿城（小鷹城）の城主が考えられる。（第２章第２節　歴史的環境参照）高殿城についての文献は少なく，城主としてわかっているのは米良氏のみである。米良氏が居城していた時期が16世紀末なので，全てにおいて米良氏は該当しない。

次に，考えられるのは，当時の地頭職である。この地の地頭は羽月地頭である。羽月地頭は天正８年（1580）の猿渡越中守信光の着任から代々続いている。地頭は島津氏とも関係もあり，交易もできたと思われる。しかし，確証のある人物は不明である。

本遺跡は，18世紀以降になると遺物量は減少する。その要因は不明であるが，本遺跡の調査起因である河川の洪水など度々おこったと思われる。想像の域ではあるが，洪水などで生活拠点が変わったことは考えられる。

本遺跡は，県内の中世・近世の遺跡でも類例が少なく，また，伊佐盆地の中世・近世の様相を知る上で貴重な遺跡である。今後の調査の中で，このような遺跡が発掘され，明らかになることを期待したい。

（引用・参考文献）

東京都建設局新宿区内藤町遺跡調査会　1992「東京都新宿区　内藤町遺跡　－放射５号線整備事業に伴う緊急発掘調査報告書－　第Ⅱ分冊　（遺物編）」

広島県立歴史博物館　2005「草戸千軒町遺跡調査研究報告７　重要文化財　広島県草戸千軒町遺跡出土品指定品目録」

福岡市教育委員会　1996「福岡市埋蔵文化財調査報告第448集　博多51博多遺跡群第80次調査報告」

佐賀県教育委員会　1996「九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書（20）内野山北窯跡」

鹿児島県立埋蔵文化財センター　2010『栫城跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（155）

鹿児島県立埋蔵文化財センター　2008『上水流遺跡２』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（121）

鹿児島県加治木町教育委員会　1995『山元古窯跡』加治木町埋蔵文化財発掘調査報告書１

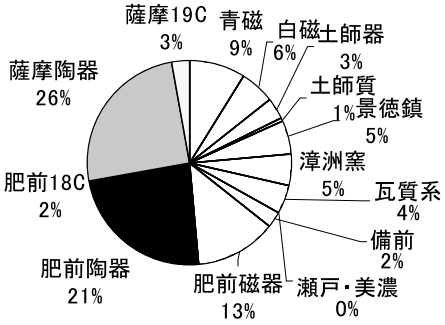


表108　中世・近世遺物分類

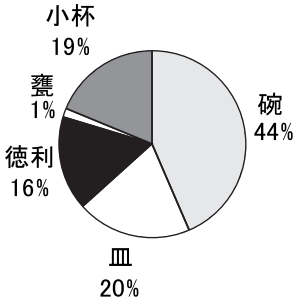


表109　肥前磁器器種別

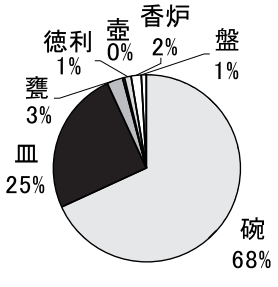


表110　肥前陶器器種別

第６節　総括

これまで見てきたように，本遺跡では縄文時代から近世に至るまで，幅広い時代や時期の遺構遺物が発見された。そして，驚くほどに広い流通圏を有していることも解った。繰り返しになるが再度述べておきたい。

縄文時代においては，後期に遺跡の中心期がある。北久根山式土器がまとまって出土している点や，腰岳産黒曜石の流入から，山間部の移動ルートが想定でき，在地産黒曜石による鈴桶石刃技法に類似する資料の出土からは，単純にモノの移動ばかりでない点が示唆された。竪穴住居跡が４軒検出された点においても，伊佐地方における集落のあり方など多くの問題を提起した。隣接する羽月川では，過去に橿原文様類似の石製品も先学によって採集・紹介されており，より広域的な人々の営みが窺い知れる。なお，早期の押型文土器や変形撚糸文土器も少数ながら出土しており，早期中葉段階には既に羽月川から離水していた事が窺える。

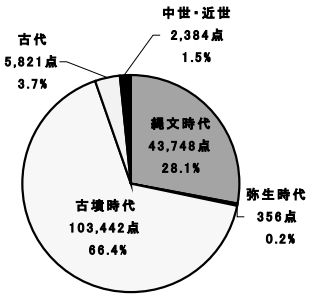
弥生時代においては，中期前半に遺跡の中心期がある。銅戈が出土した土坑群がその主体を成す。主軸の方向が２方向にまとまる点などから，集団墓としての位置づけが可能と考えられ，これまで前畑遺跡のみが突出していた当地域の墓制の先行事例として，また，連綿と弥生文化が育まれてきた事を示してくれた。さらに，銅戈の出土は現段階における日本最南端の事例となり，南九州と他地域との関係に新たな課題を与える結果となった。既存の土器型式で言うと，これらは入来式土器段階に当たる。この入来式土器は，遠くは岡山県や高知県などにおいても出土しており，その広域性の背景も視野に入れなくてはならい。

古墳時代においては，中期前半に遺跡の中心期がある。93軒からなる集落は，複数期に細分されるとはいえ，現段階におけるこの地方最大の規模であり，このような集落が，河岸段丘上に形成されていた点は注目すべき事例である。遺跡に隣接する羽月川は川内川の支流の１つであり，この川内川を遡ると，湧水町，えびの市となる。湧水町での当該期の遺跡のあり方は今なお不明な点もあるが，えびの市では，当遺跡を遙かに凌ぐ規模の集落や地下式横穴墓の発見が相次いでいる。これらの地域は，成川式土器様式の境界にあり，土器から集団を探っていく上で，今回の遺構遺物は検討する上で重要なものとなるであろう。

古代においては，10世紀前半に遺跡の中心期がある。越州窯系青磁や緑釉陶器の出土など，単なる一般集落とは異なっていた可能性が考えられる。また，土坑３号出土の一括資料は，土師器椀・甕・黒色土器・越州窯系青磁など豊富な組み合わせを有しており，今後の南九州における古代土器研究の上で欠くことの出来ないものとなった。このような特殊遺物が出土する背景の一つには，公的施設の他に官道も忘れてはならい。平田信芳氏によると，古代官道が当遺跡周辺にあった可能性も指摘されており（平田2006），大峰遺跡などの周辺遺跡も含めて再検討する必要がある。

中世から近世にかけては，16世紀後半から18世紀初頭に遺跡の中心期がある。これまで当該期の調査は，窯跡などの生産遺跡以外では鹿児島城下の調査など比較的上級階層の屋敷跡を対象とした事例が多く，地方における近世の調査事例は決して多くはなかった。加えて，18世紀以降の資料数に対し，17世紀のそれは少ない。今回の調査では，この希薄さを埋めると共に，伊佐という地方における陶磁器流通の様相を解明する糸口が見えてきたと言っても良い。加えて，茶の湯に関する遺物やもてなすための陶磁器が出土していることから，一般集落とは考えにくい。山元窯や初期龍門司系の遺物が出土していることを考えると，第５節で触れたが，加治木島津家と深いつながりのある人物に関する遺跡の可能性がある。

さて，今回の下鶴遺跡の発掘調査では，周知されている遺跡のほぼ全域を調査対象とした。その対象面積は40,400㎡であり，総遺物点数は176,768点に上る。この内時期判断できた遺物は155,751点で，これを時代別に示したものが第511図になる。調査対象面積の内，約１／３がアカホヤ火山灰層上面まで削平を受けていたことを考えると，遺物の密度は非常に高く，各時期の遺構数から見ても，この地が生活に適した環境であった点を補強する。



第511図　時代別出土点数

このように，各時代において幅広い地域の遺物がこの下鶴遺跡からは出土している。その背景は，やはり川内川水系という河川を抜きにして考えることは不可能であろう。河川との関わりという点で，この遺跡の遺構や遺物は解釈することが出来るのである。調査報告において述べてきたように，多くの成果が見られ，多くの課題が浮かび上がってきた。本報告を嚆矢として，より多くの議論が出来ることを願ってやまない。

最後に，遺跡の調査から報告書作成に至るまで，地元伊佐市をはじめ多くの方々や関係機関の協力をいただいた。末筆ながら感謝申し上げると共に，今後，下鶴遺跡の成果が幅広く活用される事を願って総括としたい。

（引用・参考文献）

平田信芳　2006「大隅・薩摩の古代官道」『地名研究会報』第93号
鹿児島地名研究会

写　真　図　版